

令和4年度
男女共同参画社会についての市民意識調査
－ 報告書 －

令和5年3月

始良市

目 次

I.	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象等	1
3.	本報告書を見る際の注意事項	1
II.	調査結果の概要	3
1.	男女平等の意識について	3
2.	就業について	3
3.	家庭生活について	4
4.	仕事と家庭・地域への取組について	5
5.	男女の人権について	5
6.	悩みや相談について	6
7.	始良市の男女共同参画施策について	6
III.	調査結果	7
1.	回答者の属性	7
2.	男女平等の意識について	10
(1)	各分野の男女の地位の平等感	10
(2)	日常生活で男女の地位に不平等を感じていること	24
(3)	男女平等になるために重要なこと	32
(4)	性別による負担感や生きづらさの有無	35
(5)	性別による負担感や生きづらさの内容	37
(6)	関連用語の認知度	40
3.	就業について	45
(1)	女性が職業をもつことについての考え	45
(2)	職業	50
(3)	就労希望	52
(4)	職場での性別による処遇の違い	55
(5)	女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの	58
(6)	管理職以上に昇進することへのイメージ	62
(7)	女性が働き続けるために必要なこと	65
(8)	男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするために必要なこと	68
4.	家庭生活について	71
(1)	家庭における夫婦の役割分担	71
(2)	新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化	77
(3)	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方	80
5.	仕事と家庭・地域への取組について	83
(1)	地域活動への参加状況	83
(2)	地域における活動のやりがいや苦勞していること	89

(3)	生活の中での優先度	98
(4)	男女が家事などに積極的に参加するために必要なこと	102
(5)	政策決定・自治組織に女性が少ない理由	107
6.	男女の人権について	110
(1)	配偶者等からのDV被害経験の有無	110
(2)	交際相手からのDV被害経験の有無	115
(3)	DVにあった際の相談の有無	119
(4)	DVにあった際に相談しなかった理由	122
(5)	DV防止に必要なこと	125
7.	悩みや相談について	128
(1)	不安や悩みの有無と内容	128
(2)	不安や悩みの相談の有無	133
8.	始良市の男女共同参画施策について	135
(1)	男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと	135
(2)	男女共同参画社会の実現に向けた意見・要望等（自由意見）	140

調査票

I. 調査の概要

1. 調査目的

「第2次始良市男女共同参画基本計画（女性活躍推進計画含む）」、「第2次始良市配偶者暴力防止計画」の事業の参考にするとともに、今後の計画策定の基礎資料とするために調査を実施した。

2. 調査対象等

- ① 対象 始良市在住の18歳以上の市民2,000人
- ② 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ③ 調査方法 郵送による配布、郵送ならびにWebによる回収
- ④ 調査期間 令和4年9月29日(木)～10月21日(金)
- ⑤ 配布件数・回収状況等

配布件数	回収件数	回収率
2,000件	848件 (郵送：653件、Web：195件)	42.4%

3. 本報告書を見る際の注意事項

- ① 集計結果は百分率で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の場合は、回答の総数が有効回収数の実数より多くなるので、合計は100%を超える場合がある。
- ③ 集計表中の . % (網掛け) の数値は、各属性で最も割合が高いものである(無回答は除く)。
- ④ グラフ中における「n」は、各設問の回答者数(サンプル数)のことである。「n」の少ない属性については、統計的誤差が生じる可能性が高く分析には適さないため、コメントは控えている。
- ⑤ 集計表中の「性別」及び「年代等」の区分けを行っているが、各区分に無回答のデータが含まれているため、各区分の合計と総計の数値が異なる場合がある。
- ⑥ 性別欄で「3 ()」と回答した方と無回答の方は、回答者の数が少なかったため、合算して「性別無回答ほか」として集計している。
- ⑦ 集計表中の「子の有無」の区分は、「子の年代」(複数回答)の回答を次の通り合計している。「乳幼児」：「乳児(1歳未満)」と「幼児(1歳以上)」の合計、「小・中学生」：「小学生」と「中学生」の合計、「その他(大学生、結婚した子ども等)」：「高校生、大学生(高専、短大専門学校を含む)」と「学校を卒業した未婚の子ども」と「結婚した子ども」の合計、「いない」：「無回答」。
- ⑧ 自由記述は1人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、それぞれを1件として分類している。また、掲載については、なるべく多くの方の意見や要望を掲載するため、回答の文中から一部抜粋した場合もある。

⑨ 調査結果の分析にあたり、下記文献と比較している。

- 平成 29 年度 男女共同参画に関する市民意識調査（始良市）
（18 歳以上の男女 2,000 人、有効回収数 987 人）
※ 本文中では、「前回調査」または「平成 29 年度始良市調査」と表記している。
- 令和 3 年度 男女共同参画に関する県民意識調査（鹿児島県）
（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 2,094 人）
※ 本文中では、「鹿児島県調査」または「令和 3 年度鹿児島県調査」と表記している。
- 令和元年度 男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）
（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 2,645 人）
※ 本文中では、「内閣府調査」または「令和元年度内閣府調査」と表記している。
- 令和 2 年度 男女間における暴力に関する調査（内閣府）
（20 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 3,438 人）
※ 本文中では、「内閣府調査」または「令和 2 年度内閣府・DV 調査」と表記している。
- 令和 3 年度 第 3 回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（内閣府）
（15 歳以上の国内居住のインターネットパネル登録モニター 有効回収数 10,126 人）
※ 本文中では、「内閣府調査」または「令和 3 年度内閣府・コロナ下の生活意識・行動変化調査」と表記している。
※ 有効回収数は、規則的な回答が随所に出てくるサンプルを 2 件除外したものである。
※ グラフ及び集計表は当該調査個票データより作成したものである。

II. 調査結果の概要

1. 男女平等の意識について

各分野の男女の地位の平等感に関して8つの分野について聞いたところ、「平等である」と回答した割合は「学校教育の中で」(53.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「家庭の中で」(41.0%)となっている。

一方、『男性優遇』とする人の割合が高くなっているのは、「政治の場で」(74.6%)が最も高く、次いで「社会通念、慣習・しきたりなどで」(72.5%)、「社会全体で」(70.4%)の順となっており、これらの分野では、『男性優遇』が『女性優遇』より約7割以上高く、依然として男女の地位の不平等感が存在していると考えられる。

前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、すべての分野で減少している。そのなかでも「学校教育の中で」と回答した割合が最も減少しており、7.1ポイント低くなっている。一方、『男性優遇』は増加しており、「法律や制度で」では9.7ポイント増加している。

内閣府調査と比較すると、すべての分野で「平等である」と回答した割合は低く、特に「地域社会の中で」で18.4ポイント、「社会通念、慣習・しきたりなどで」で10.3ポイント低くなっている。

男女平等になるために重要なことについては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」(36.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」(16.1%)、「行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」(12.4%)の順となっている。

男女共同参画の関連用語の認知度について聞いたところ、「よく知っている」と回答した割合は「男女雇用機会均等法」(34.1%)、「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」(26.5%)、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」(23.9%)、「男女共同参画社会」(21.1%)、「性的指向、性自認（LGBTQ）」(18.6%)、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」(13.4%)、「ダイバーシティ（多様性）」(10.3%)を除く他の用語は1割に満たない。

また、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」、「アウティング（本人の了承なくその人の性的指向や性自認について暴露すること）」、「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」については、半数以上の人「知らない」と回答している。

2. 就業について

女性が職業をもつことについての考えについては、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」(56.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(24.1%)の順となっている。

性別で見ると、男女とも「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が最も高く、半数を占めている。

前回調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は14.2ポイント増加、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は16.7ポイント減少している。

また、鹿児島県調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は4.0ポイント高くなっており、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は5.3ポイント低くなっている。

就労希望について、現在、無職の人に、今後どのような形で働きたいか聞いたところ、「働くつもりはない（働くことができない場合を含む）」(56.8%)と答えた人を除き、「パートタイム、アルバイト、嘱託」(17.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「家業に従事」(5.9%)、「常勤（フルタイム）」(5.3%)の順となっている。

職場での性別による処遇の違いについては、「特に性別により処遇が異なっていることはない」(42.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「わからない」(15.3%)、「管理職への登用に差がある」(13.9%)、「賃金に格差がある」(13.7%)、「昇進、昇格に格差がある」(11.0%)の順となっている。

性別でみると、女性は「特に性別により処遇が異なっていることはない」と回答した割合が男性より15.6ポイント高く、男性は「募集・採用の機会に格差がある」と回答した割合が女性より10.7ポイント高くなっている。また、「特に性別により処遇が異なっていることはない」と「中高年女性には退職を促すような雰囲気がある」を除くすべての項目で男性が女性を上回っている。

「特に性別により処遇が異なっていることはない」と回答した割合は、20～60歳代女性は年代が上がるほど高く、50歳代男性では4割を超えている。

女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものについては、「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」(43.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」(33.0%)の順となっている。

性・年代別でみると、女性は「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」では30～80歳代で最も高くなっており、「女性はリーダーにふさわしくないという偏見が存在すること」と回答した割合は40～60歳代で4割を超えている。また、「セクシュアルハラスメントやマタニティ・ハラスメント等のハラスメントが存在すること」と回答した割合は、男女とも20～30歳代で4割を超えている。

管理職以上に昇進することへのイメージについては、「責任が重くなる」(71.6%)と回答した割合が最も高く、次いで「能力が認められた結果である」(50.5%)、「やるべき仕事が増える」(38.2%)の順となっている。

性別でみると、女性は「仕事と家庭の両立が困難になる」と回答した割合が男性より18.0ポイント高く、30歳代の半数が回答している。

性・年代別でみると、女性は20～30歳代と50歳代の8割以上が「責任が重くなる」、男性は40歳代の半数以上が「やるべき仕事が増える」と回答している。

女性が働き続けるために必要なことに関する意識については、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」(75.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」(56.0%)、「育児休業後に職場復帰しやすくするための支援制度の充実」(51.7%)の順となっている。

性別でみると、「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」と回答した割合は女性が男性より9.7ポイント高くなっている。男性は「育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止」、「男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革」などと回答した割合が女性より高くなっている。

性・年代別でみると、男女とも10歳代を除くすべての年代で「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」と回答した割合が最も高くなっている。また、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」、「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」と回答した割合は、30歳代の女性が高く7割を超えている。

3. 家庭生活について

家庭における夫婦の役割分担に関して4項目についてたずねたところ、「妻」と回答した割合が高いのは、「家事」(64.6%)、「育児」(40.3%)、「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(32.9%)（「該当しない」を除く）で、これらの項目については家庭における役割が「妻」に偏っていることがうかがえる。「夫」と回答した割合は「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(19.9%)を除くといずれも2.0%以下となっている。また、「夫と妻が分担」と回答した割合は、「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(32.1%)で最も高く、次いで「家事」(28.8%)、「育児」(21.9%)となっている。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、『反対』(63.0%)する人の割合が『賛成』(32.8%)する人の割合を大きく上回っている。

性別でみると、女性は「どちらかといえば反対」(37.6%)、男性は「どちらかといえば賛成」(31.5%)と回答した割合が最も高くなっている。また、男女とも『反対』が『賛成』を上回り、女性では36.2ポイント、男性では20.8ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、『反対』する人の割合は増加傾向がみられ、前回調査より12.9ポイント増加している。

4. 仕事と家庭・地域への取組について

地域活動への参画状況については、地域における活動への参加状況についてみると、「自治会、校区コミュニティ協議会などの地区を単位とした団体活動」(42.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(13.7%)、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」(12.5%)、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」(7.0%)の順となっている。

性別でみると、女性は「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」などと回答した割合が男性より高く、男性は「民生委員・児童委員、スポーツ推進員などの公的な委員活動」などで女性より高くなっている。

生活の中での優先度について、『現状』では、「家庭生活」を優先している(31.1%)と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している(20.9%)、「仕事」を優先している(15.4%)の順となっている。

一方、『希望』では、「家庭生活」を優先したい(27.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい(23.9%)、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい(14.9%)の順となっている。

『現状』と『希望』を比較すると、ともに「家庭生活」を優先している(したい)と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している(したい)の順となっており、『現状』と『希望』の回答傾向に大きな差はみられない。

性別でみると、女性は家庭生活を優先し、男性は家庭生活以外に仕事も優先している傾向がみられる。

性・年代別でみると、『希望』では、30歳代と50歳代の女性、50~60歳代の男性では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した割合が最も高くなっている。

男女が家事などに積極的に参加するために必要なことについては、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」(50.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をする事」(37.3%)、「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(29.7%)の順となっている。

性・年代別でみると、10歳代、50~60歳代を除く女性と30歳以上の男性は「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」と回答した割合が最も高くなっている。

5. 男女の人権について

配偶者等からのDV被害経験の有無については、「いずれかの暴力」を受けた経験は、「何度もあった」(10.5%)と「一、二度あった」(15.3%)を合わせて、3割弱の人が『あった』と回答している。

性別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』と回答した割合は、女性(32.0%)が男性(16.7%)を大きく上回っている。

性・年代別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』と回答した割合は、40歳代の女性が41.1%と最も高く、4割を超えている。

交際相手からの DV 被害経験の有無については、「いずれかの暴力」を受けた経験は、「あった」(16.0%)、「なかった」(76.1%)となっている。

暴力の種類別でみると、『あった』と回答した人の割合は、「心理的攻撃」(11.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「身体的暴行」(8.1%)、「性的強要」(5.2%)、「経済的圧迫」(5.1%)の順となっている。

性・年代別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が「あった」と回答した割合は、30～50歳代の女性が約2～4割、10～20歳代と40歳代の男性が2割弱となっている。また、いずれの暴力でも30～50歳代の女性は『あった』と回答した割合が高くなっている。

DVにあった際の相談の有無については、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(38.4%)と回答した割合が最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」(24.5%)、「友人、知人に相談した」(23.2%)の順となっている。

DVにあった際に相談しなかった理由については、「相談してもむだだと思ったから」(33.0%)が最も高く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」(29.7%)、「相談するほどのことではないと思ったから」(28.6%)の順となっている。

DV防止に必要なことについては、「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(57.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(47.4%)、「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(43.4%)の順となっており、学校や家庭における人権問題や暴力を防止するための若年層への教育が求められていると思われる。

6. 悩みや相談について

不安や悩みの有無と内容については、「ある」と回答した人は55.1%、「ない」と回答した人は37.0%となっており、「ある」と回答した割合が半数を占めている。

「ある」と回答した人の不安や悩みの内容についてみると、「病気・障がいなど身体の健康について」(39.4%)と回答した割合が最も高く、次いで「自分や家族の将来について」(37.0%)、「生活費・借金などお金について」(30.8%)の順となっている。

不安や悩みの相談の有無については、「家族や親戚に相談した」(50.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「友人、知人に相談した」(32.8%)、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(23.9%)、「医療関係者(医師、看護師、助産師など)に相談した」(13.1%)、「職場関係者(上司、同僚、部下など)に相談した」(9.3%)の順となっている。

性別でみると、男女ともに「家族や親戚に相談した」と回答した割合が最も高く、女性で6割弱、男性で4割強となっている。

7. 始良市の男女共同参画施策について

男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきことについては、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」(44.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」(31.4%)、「保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実させる」(25.7%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実させる」、「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」と回答した割合は7.0ポイント以上減少している。

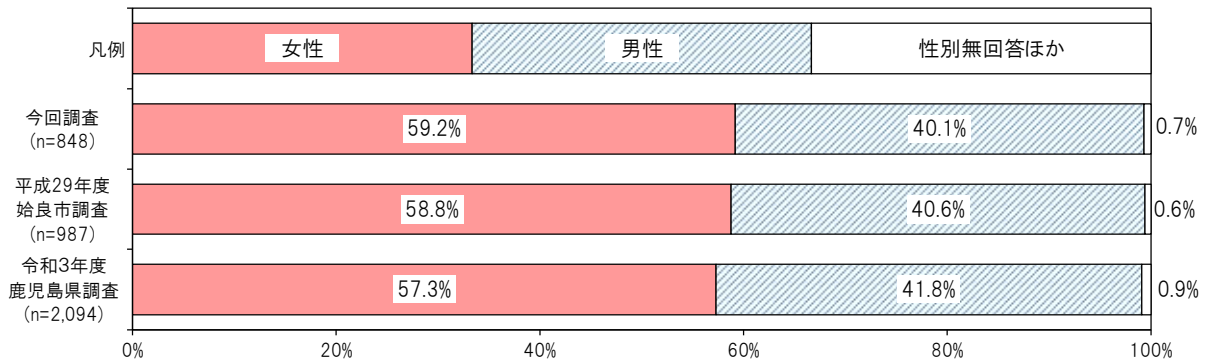
III. 調査結果

1. 回答者の属性

① 性別

性別は、「女性」(59.2%)、「男性」(40.1%)、「性別無回答ほか」(0.7%)となっている。

図表 1-1 性別

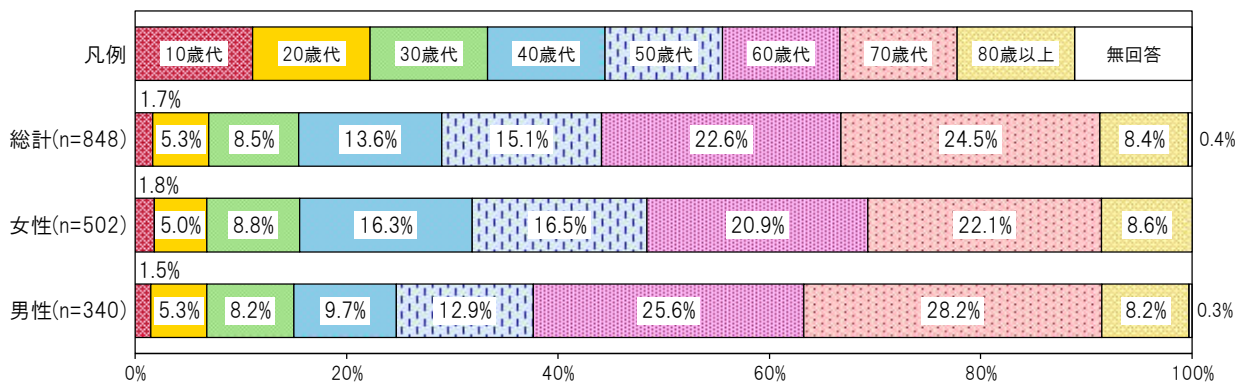


※「性別無回答ほか」は前回調査、鹿児島県調査では「無回答」

② 年齢

年齢は、「70歳代」(24.5%)が最も多く、次いで「60歳代」(22.6%)、「50歳代」(15.1%)、「40歳代」(13.6%)、「30歳代」(8.5%)、「80歳以上」(8.4%)、「20歳代」(5.3%)、「10歳代」(1.7%)の順となっている。

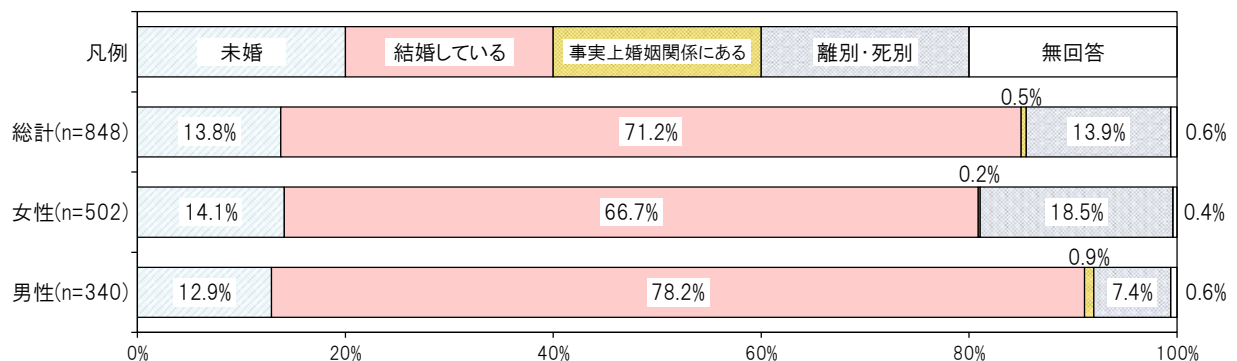
図表 1-2 年齢



③ 結婚の有無

結婚の有無は、「結婚している」(71.2%)が最も多く、次いで「離別・死別」(13.9%)、「未婚」(13.8%)、「事実上婚姻関係にある」(0.5%)の順となっている。

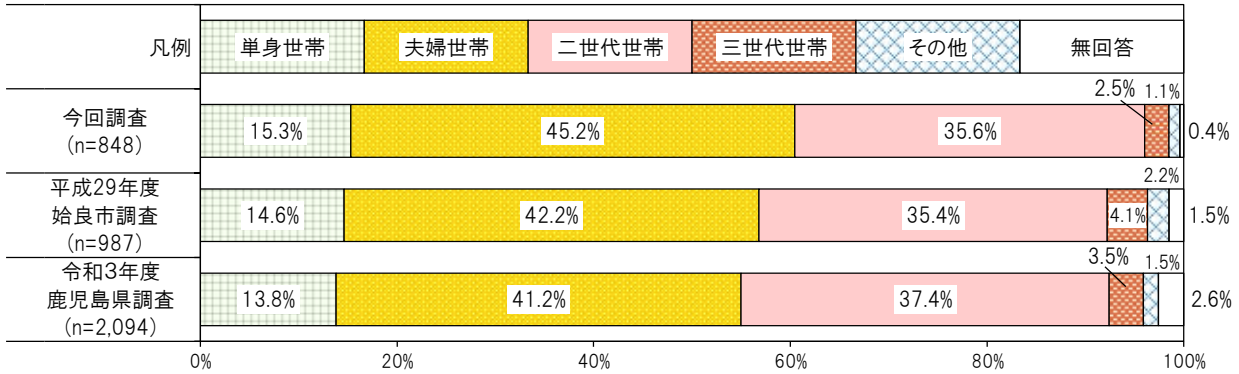
図表 1-3 結婚の有無



④ 世帯構成

世帯構成は、「夫婦世帯」(45.2%) が最も多く、次いで「二世帯世帯(親と子など)」(35.6%)、「単身世帯」(15.3%)、「三世帯世帯(親と子と孫など)」(2.5%)、「その他」(1.1%) の順となっている。

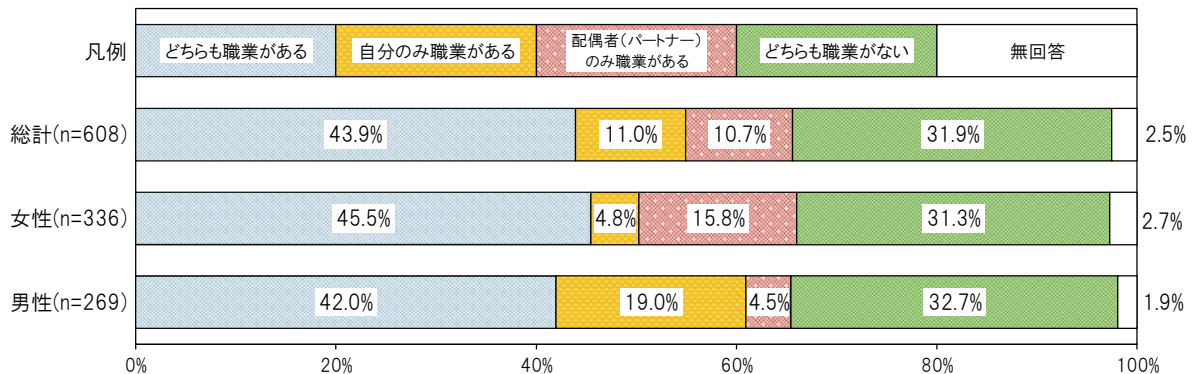
図表 1-4 世帯構成



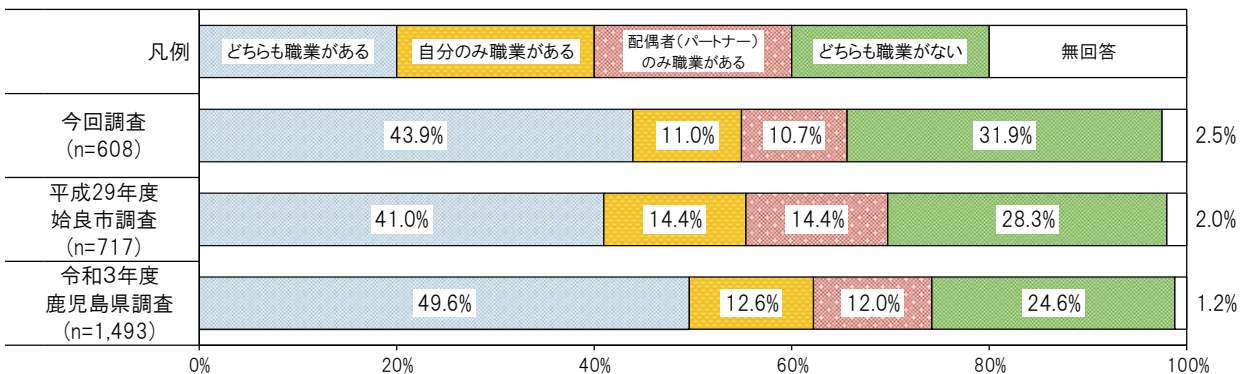
⑤ 夫婦の就労状況

夫婦の就労状況は、「どちらも職業がある」(43.9%) が最も多く、次いで「どちらも職業がない」(31.9%)、「自分のみ職業がある」(11.0%)、「配偶者(パートナー)のみ職業がある」(10.7%) の順となっている。

図表 1-5 夫婦の就労状況【性別】



図表 1-6 夫婦の就労状況【前回調査、鹿児島県調査】

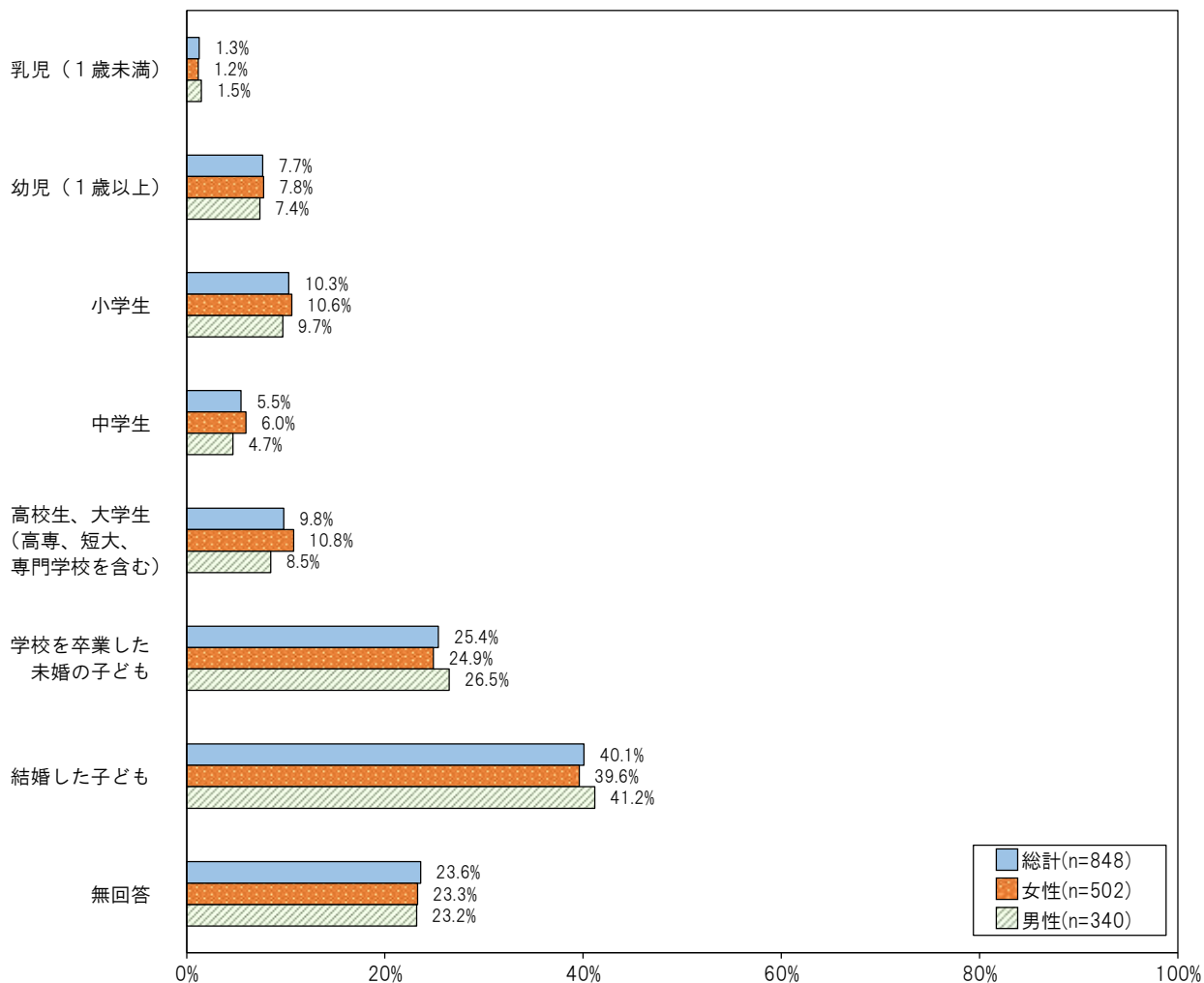


※夫婦の就労状況は結婚している人(事実上婚姻関係にある人を含む)を対象としている。

⑥ 子どもの年代

子どもの年代は、「結婚した子ども」(40.1%)が最も多く、次いで「学校を卒業した未婚の子ども」(25.4%)、「小学生」(10.3%)、「高校生、大学生(高専、短大専門学校を含む)」(9.8%)、「幼児(1歳以上)」(7.7%)、「中学生」(5.5%)、「乳児(1歳未満)」(1.3%)の順となっている。

図表 1-7 子どもの年代・複数回答



※お子さんがいらっしゃる方のみ対象としている。

2. 男女平等の意識について

(1) 各分野の男女の地位の平等感

問7 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
(各項目についてあてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 2-1)

各分野の男女の地位の平等感についてみると、「平等である」と回答した割合は「学校教育の中で」(53.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「家庭の中で」(41.0%)、「法律や制度で」(34.6%)、「地域社会の中で」(28.1%)、「職場の中で」(26.2%)、「社会全体で」(13.4%)、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(12.3%)、「政治の場で」(11.3%)の順となっている。

また、すべての分野で『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)が『女性優遇』(「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」)を上回っており、特に「政治の場で」、「社会通念、慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」、「地域社会の中で」、「職場の中で」、「家庭の中で」は、『男性優遇』が『女性優遇』より40.0ポイント以上高くなっている。

[性別、性・年代別] (図表 2-2～図表 2-13)

性別でみると、すべての分野で「平等である」と回答した割合は男性が女性を上回っており、『男性優遇』は女性が男性を上回っている。特に「法律や制度で」についてはその差が最も大きく、「平等である」と回答した割合は男性が女性を20.5ポイント上回っているのに対し、『男性優遇』と回答した割合は女性が男性を18.1ポイント上回っている。また、『男性優遇』と回答した女性の割合は「政治の場で」、「社会通念、慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」などが特に高く、7割を超えている。

性・年代別でみると、女性は「平等である」と回答した割合は、「職場の中で」では40歳以下で最も高くなっている。一方で40歳未満では『男性優遇』と回答した割合が半数を超えている。また、男性の30歳代以下では「平等である」と回答した割合は、「家庭の中で」、「学校の中で」、「職場の中で」、「法律や制度で」で高くなっている。

[「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別] (図表 2-14～図表 2-21)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別で分野ごとにみると、すべての分野で、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「反対」、「どちらかといえば反対」の人は、『男性優遇』と回答した割合が高い傾向がみられる。なかでも「政治の場で」と「社会全体で」、「社会通念、慣習・しきたりなどで」では「反対」、「どちらかといえば反対」と回答した人の7割以上が『男性優遇』と回答している。

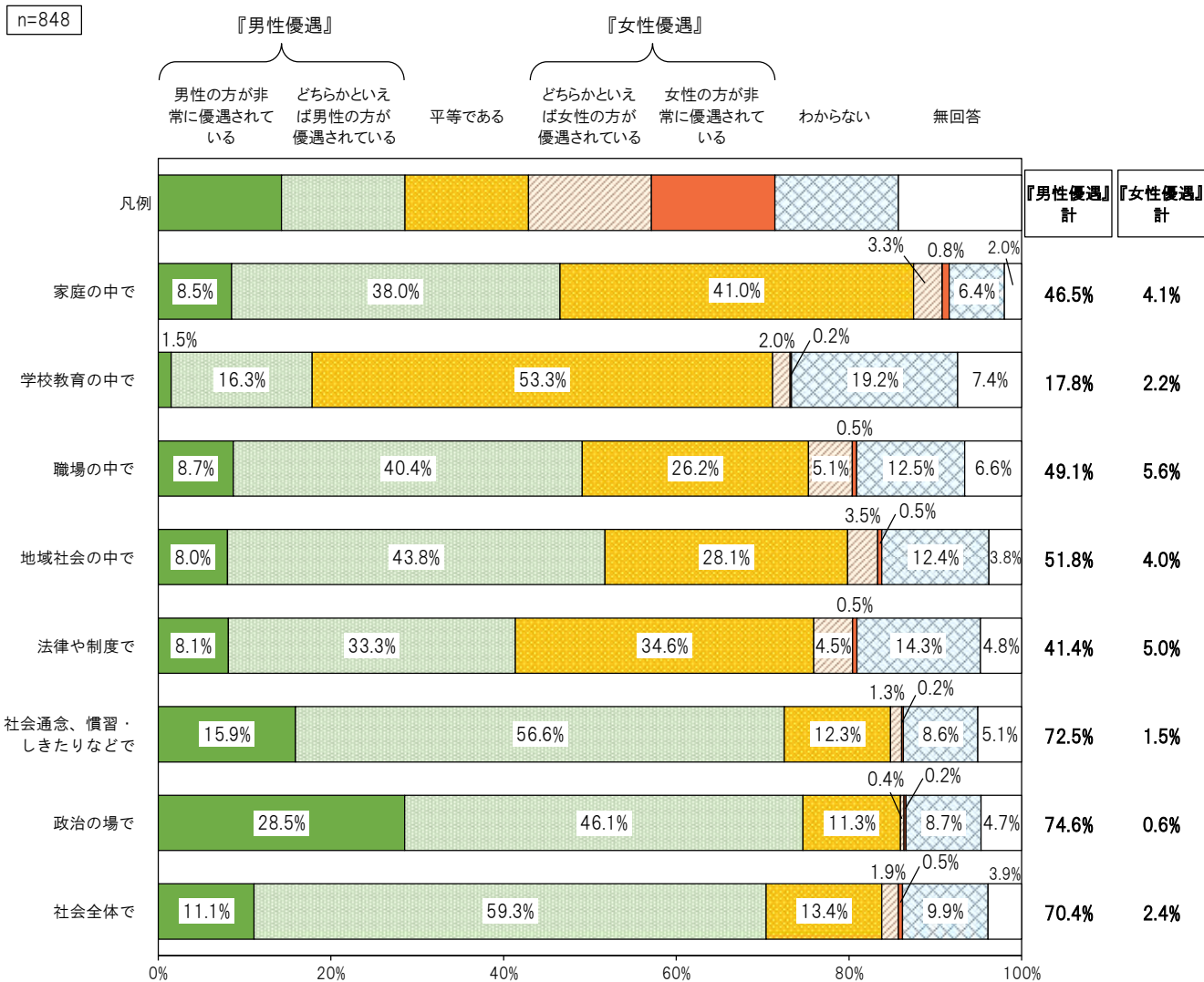
[前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査との比較] (図表 2-22～図表 2-27)

前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、すべての分野で減少傾向にある。そのなかでも「学校教育の中で」と回答した割合が最も減少しており、7.1ポイント低くなっている。一方、『男性優遇』は増加しており、「法律や制度で」では9.7ポイント増加している。

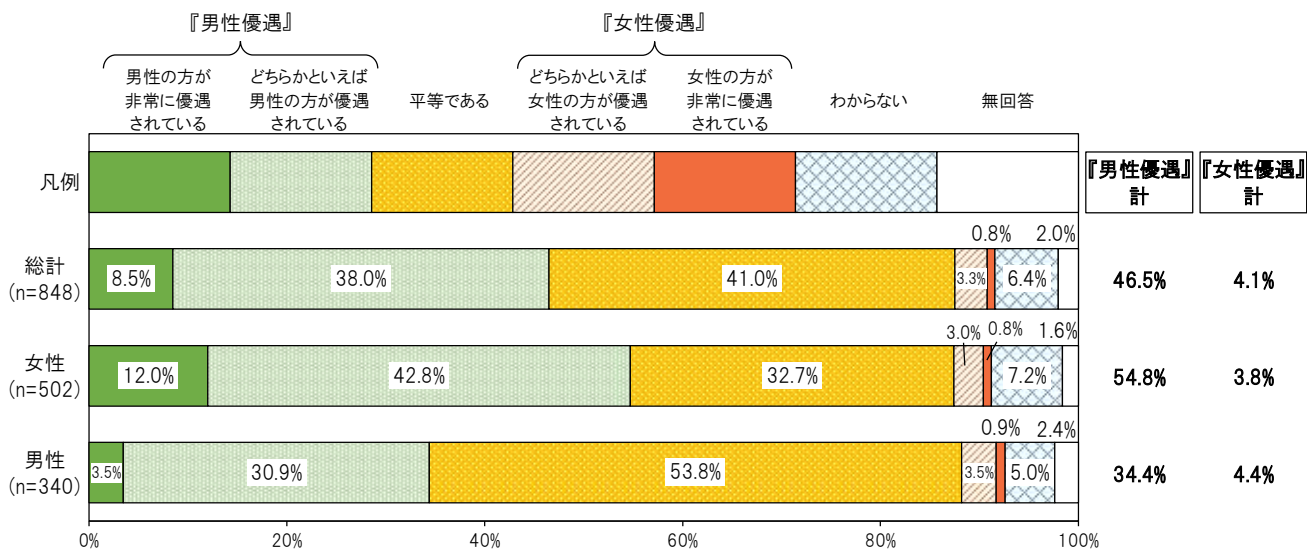
鹿児島県調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、「地域社会の中で」を除いたすべての分野で低くなっており、「学校教育の中で」では4.6ポイント低くなっている。

内閣府調査と比較すると、すべての分野で「平等である」と回答した割合は低く、特に「地域社会の中で」で18.4ポイント、「社会通念、慣習・しきたりなどで」で10.3ポイント低くなっている。

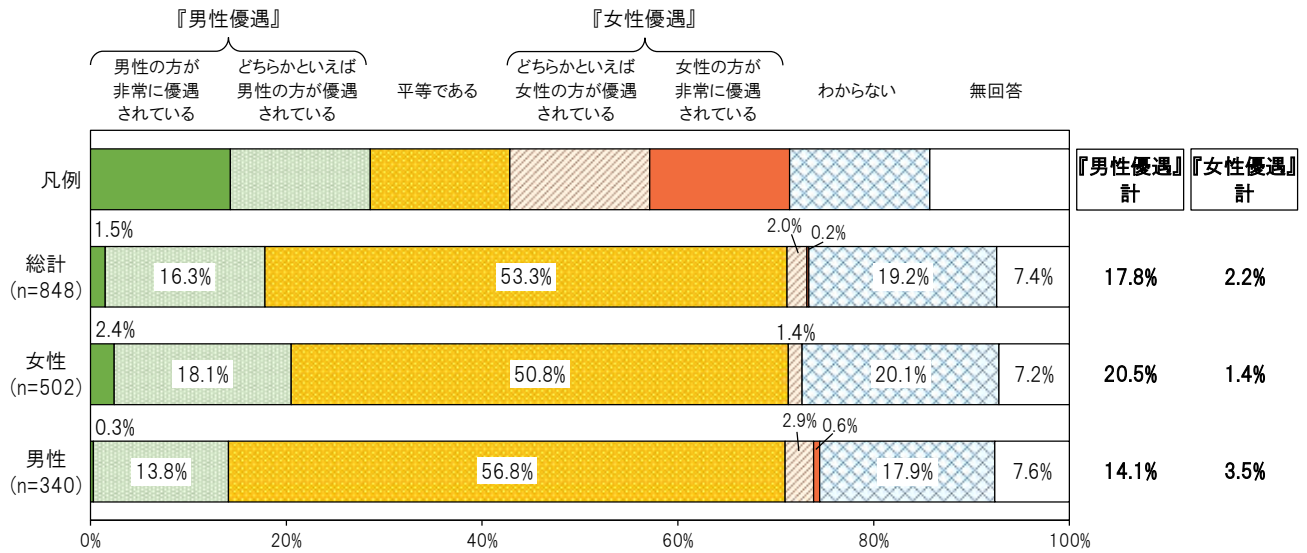
図表 2-1 各分野の男女の地位の平等感【総計】



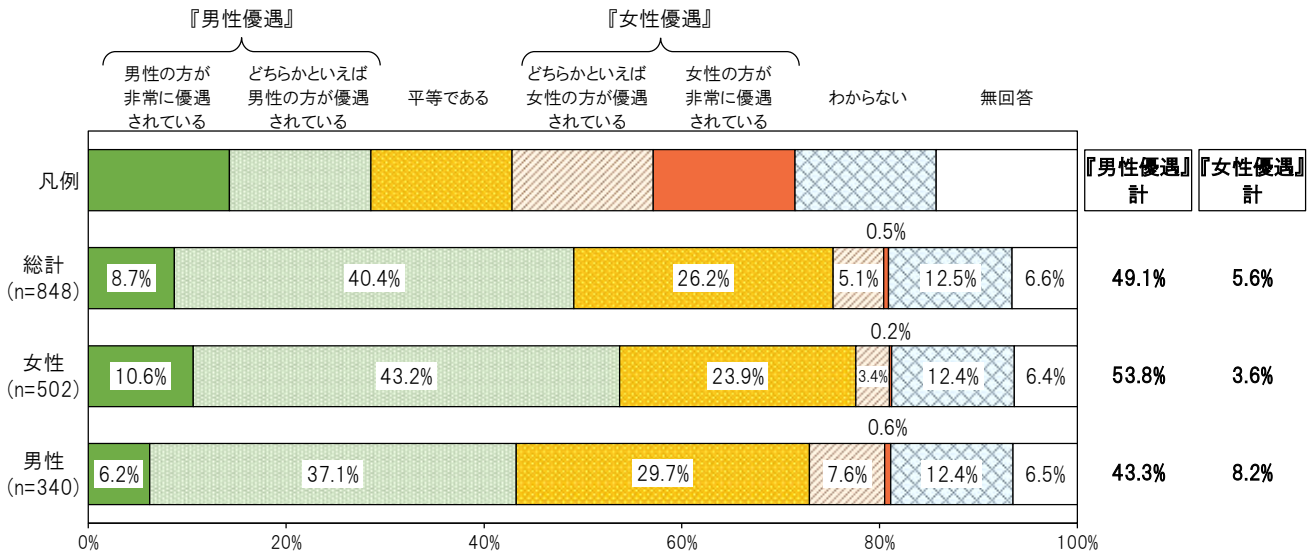
図表 2-2 各分野の男女の地位の平等感 **家庭の中で**【性別】



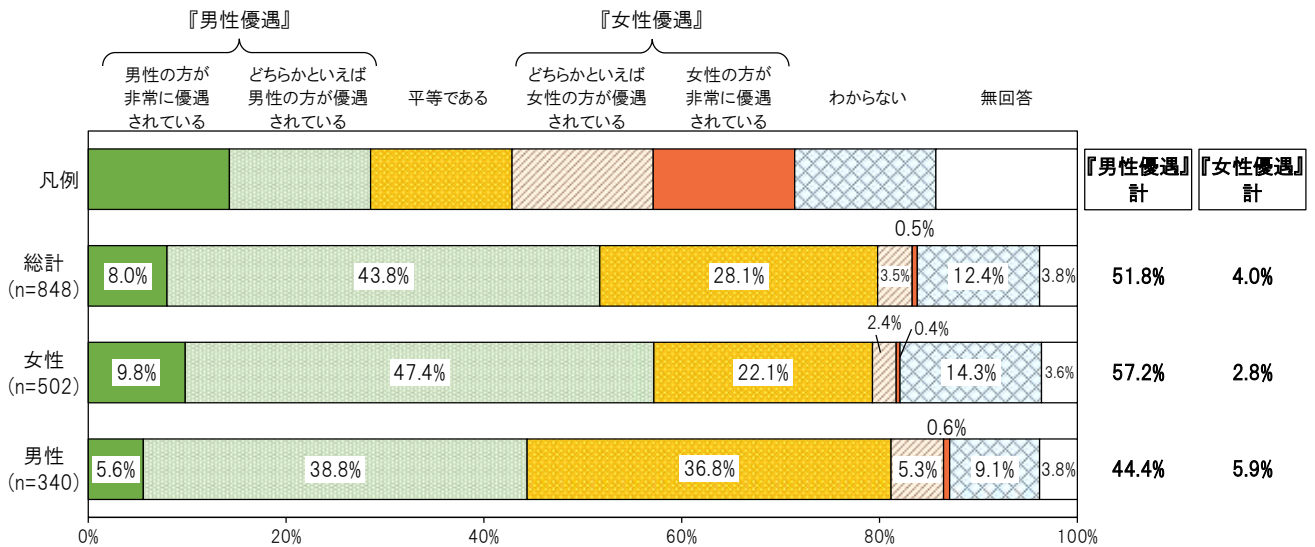
図表 2-3 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 【性別】



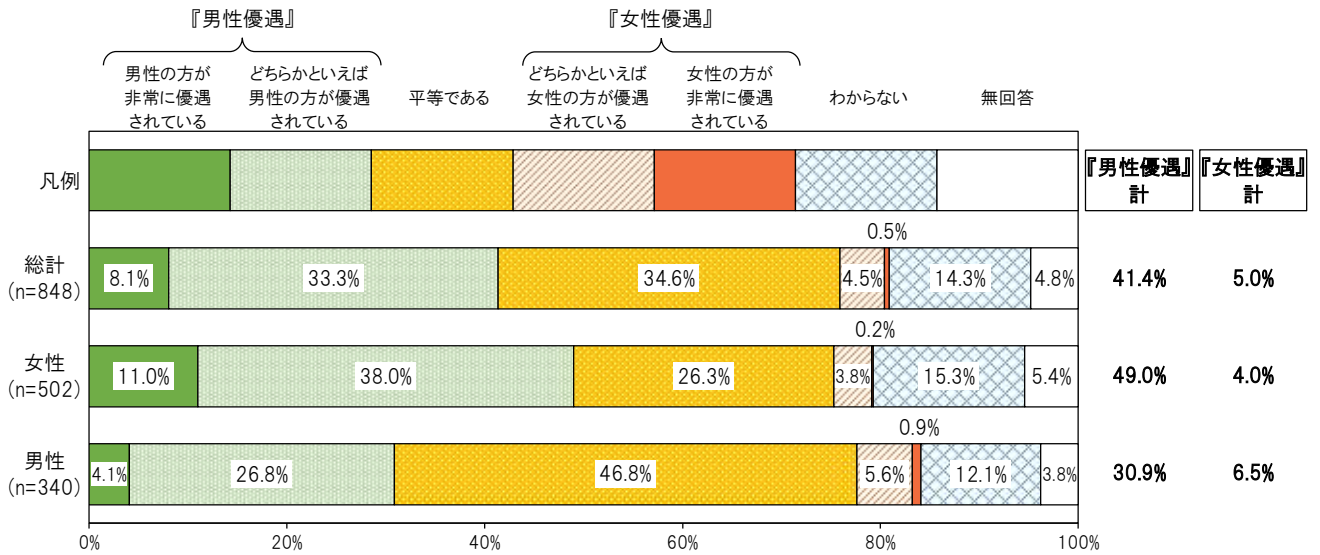
図表 2-4 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 【性別】



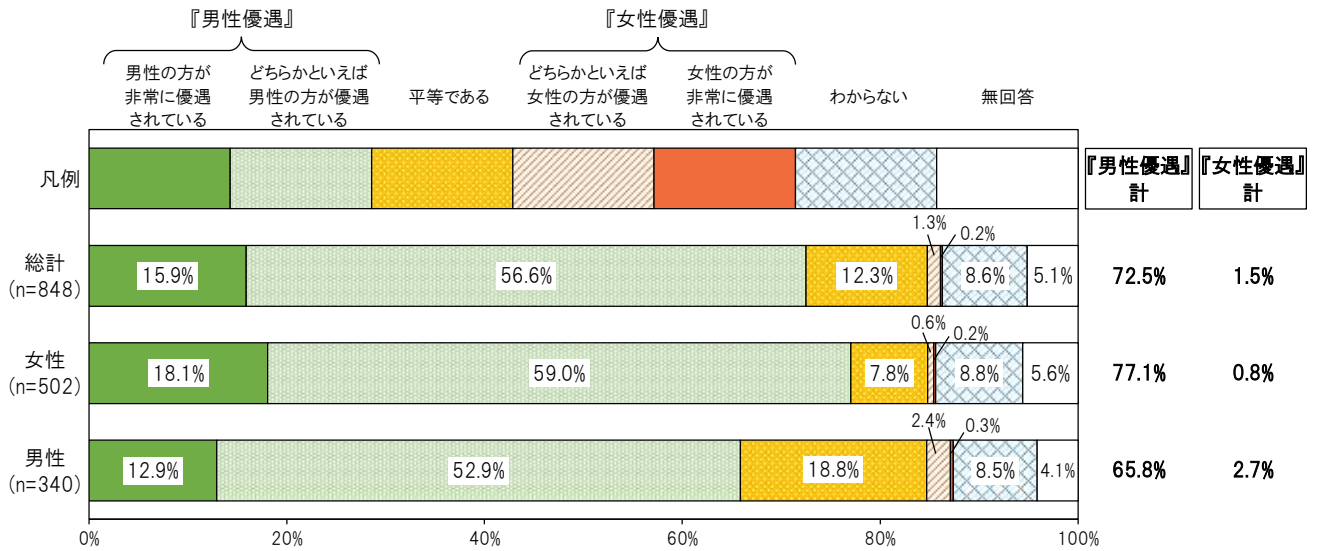
図表 2-5 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 【性別】



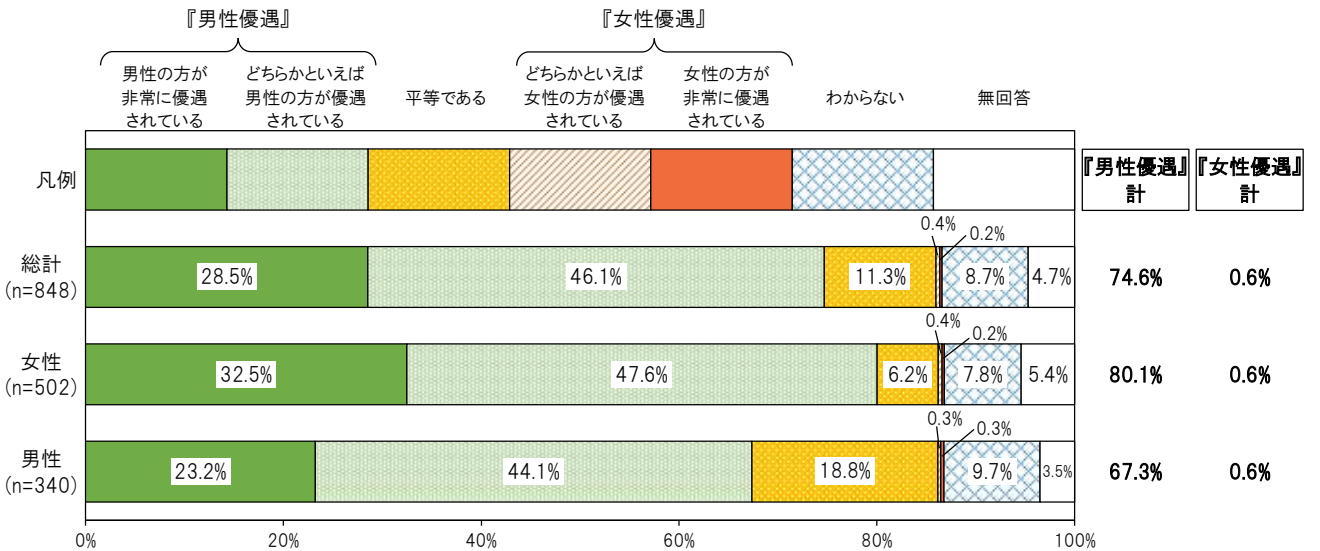
図表 2-6 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度で** 【性別】



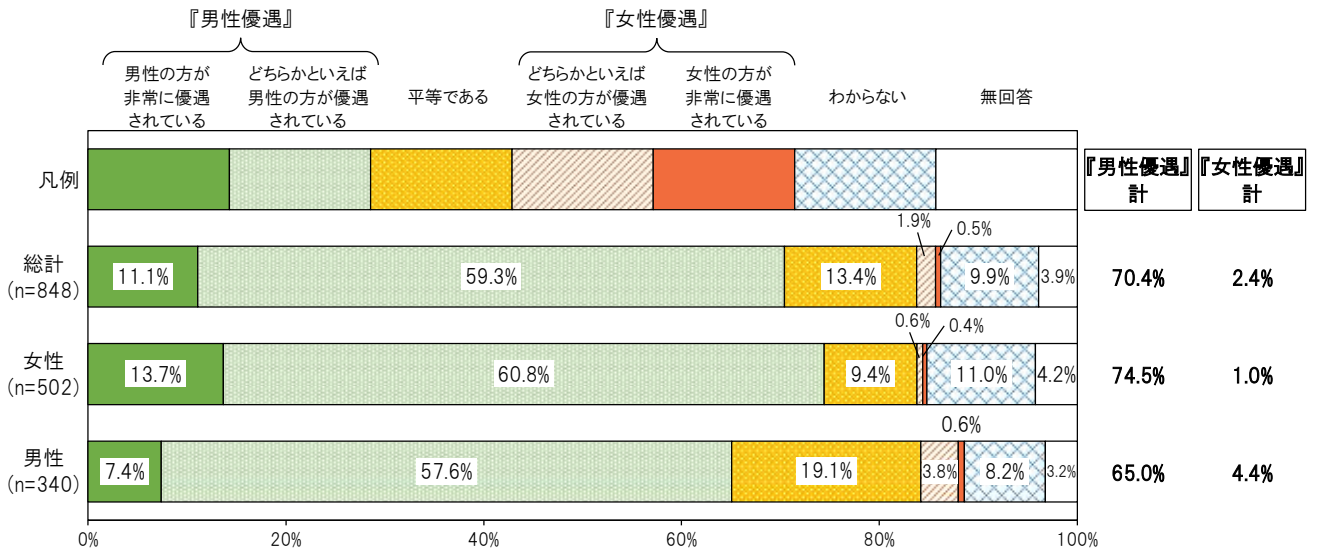
図表 2-7 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念、慣習・しきたりなどで** 【性別】



図表 2-8 各分野の男女の地位の平等感 **政治の場で** 【性別】



図表 2-9 各分野の男女の地位の平等感 **社会全体で** 【性別】



図表 2-10 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】1/4

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	【 家 庭 の 中 で 】							【 学 校 教 育 の 中 で 】							
		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
総計	848	72	322	348	28	7	54	17	13	138	452	17	2	163	63	
	100.0%	8.5%	38.0%	41.0%	3.3%	0.8%	6.4%	2.0%	1.5%	16.3%	53.3%	2.0%	0.2%	19.2%	7.4%	
平成29年度始良市調査	987	67	357	411	43	4	70	35	5	102	596	21	4	187	72	
	100.0%	6.8%	36.2%	41.6%	4.4%	0.4%	7.1%	3.5%	0.5%	10.3%	60.4%	2.1%	0.4%	18.9%	7.3%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	157	780	896	81	19	97	64	19	256	1,212	50	5	393	159	
	100.0%	7.5%	37.2%	42.8%	3.9%	0.9%	4.6%	3.1%	0.9%	12.2%	57.9%	2.4%	0.2%	18.8%	7.6%	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0%	9.3%	35.6%	45.5%	6.5%	0.7%	2.4%	-	3.3%	15.2%	61.2%	2.3%	0.3%	17.7%	-	
性・年代別	女性	502	60	215	164	15	4	36	8	12	91	255	7	0	101	36
		100.0%	12.0%	42.8%	32.7%	3.0%	0.8%	7.2%	1.6%	2.4%	18.1%	50.8%	1.4%	0.0%	20.1%	7.2%
	10歳代	9	1	1	7	0	0	0	0	0	1	6	2	0	0	0
		100.0%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	1	10	7	1	0	5	1	1	4	13	1	0	5	1
		100.0%	4.0%	40.0%	28.0%	4.0%	0.0%	20.0%	4.0%	4.0%	16.0%	52.0%	4.0%	0.0%	20.0%	4.0%
	30歳代	44	5	18	16	2	0	3	0	2	7	25	2	0	8	0
		100.0%	11.4%	40.9%	36.4%	4.5%	0.0%	6.8%	0.0%	4.5%	15.9%	56.8%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%
	40歳代	82	14	38	24	0	2	4	0	2	15	43	0	0	20	2
		100.0%	17.1%	46.3%	29.3%	0.0%	2.4%	4.9%	0.0%	2.4%	18.3%	52.4%	0.0%	0.0%	24.4%	2.4%
	50歳代	83	14	42	19	3	0	4	1	1	15	49	1	0	13	4
		100.0%	16.9%	50.6%	22.9%	3.6%	0.0%	4.8%	1.2%	1.2%	18.1%	59.0%	1.2%	0.0%	15.7%	4.8%
	60歳代	105	8	47	42	4	0	2	2	2	22	56	0	0	18	7
		100.0%	7.6%	44.8%	40.0%	3.8%	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%	21.0%	53.3%	0.0%	0.0%	17.1%	6.7%
	70歳代	111	11	44	36	4	2	13	1	2	22	45	1	0	27	14
		100.0%	9.9%	39.6%	32.4%	3.6%	1.8%	11.7%	0.9%	1.8%	19.8%	40.5%	0.9%	0.0%	24.3%	12.6%
	80歳以上	43	6	15	13	1	0	5	3	2	5	18	0	0	10	8
		100.0%	14.0%	34.9%	30.2%	2.3%	0.0%	11.6%	7.0%	4.7%	11.6%	41.9%	0.0%	0.0%	23.3%	18.6%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	12	105	183	12	3	17	8	1	47	193	10	2	61	26	
	100.0%	3.5%	30.9%	53.8%	3.5%	0.9%	5.0%	2.4%	0.3%	13.8%	56.8%	2.9%	0.6%	17.9%	7.6%	
10歳代	5	0	0	2	2	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
20歳代	18	0	5	12	0	0	1	0	0	4	12	0	0	2	0	
	100.0%	0.0%	27.8%	66.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	
30歳代	28	0	7	19	1	0	1	0	0	5	14	2	0	7	0	
	100.0%	0.0%	25.0%	67.9%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	17.9%	50.0%	7.1%	0.0%	25.0%	0.0%	
40歳代	33	2	12	12	3	3	0	1	0	6	21	3	1	2	0	
	100.0%	6.1%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%	18.2%	63.6%	9.1%	3.0%	6.1%	0.0%	
50歳代	44	2	15	23	2	0	2	0	1	3	29	0	0	9	2	
	100.0%	4.5%	34.1%	52.3%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	2.3%	6.8%	65.9%	0.0%	0.0%	20.5%	4.5%	
60歳代	87	4	32	43	0	0	5	3	0	15	50	2	0	13	7	
	100.0%	4.6%	36.8%	49.4%	0.0%	0.0%	5.7%	3.4%	0.0%	17.2%	57.5%	2.3%	0.0%	14.9%	8.0%	
70歳代	96	3	24	56	4	0	5	4	0	10	51	1	1	19	14	
	100.0%	3.1%	25.0%	58.3%	4.2%	0.0%	5.2%	4.2%	0.0%	10.4%	53.1%	1.0%	1.0%	19.8%	14.6%	
80歳以上	28	1	10	15	0	0	2	0	0	4	14	0	0	7	3	
	100.0%	3.6%	35.7%	53.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	10.7%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	2	1	1	0	1	1	0	0	4	0	0	1	1	
	100.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	

図表 2-11 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】 2/4

上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	【 職 場 の 中 で 】							【 地 域 社 会 の 中 で 】							
		男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば平等である	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば平等である	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
総計	848	74 8.7%	343 40.4%	222 26.2%	43 5.1%	4 0.5%	106 12.5%	56 6.6%	68 8.0%	371 43.8%	238 28.1%	30 3.5%	4 0.5%	105 12.4%	32 3.8%	
平成29年度始良市調査	987	71 7.2%	392 39.7%	280 28.4%	51 5.2%	6 0.6%	114 11.6%	73 7.4%	56 5.7%	406 41.1%	308 31.2%	45 4.6%	6 0.6%	107 10.8%	59 6.0%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	170 8.1%	862 41.2%	577 27.6%	116 5.5%	17 0.8%	217 10.4%	135 6.4%	149 7.1%	965 46.1%	570 27.2%	91 4.3%	4 0.2%	204 9.7%	111 5.3%	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
性・年代別	女性	502 100.0%	53 10.6%	217 43.2%	120 23.9%	17 3.4%	62 12.4%	32 6.4%	49 9.8%	238 47.4%	111 22.1%	12 2.4%	2 0.4%	72 14.3%	18 3.6%	
	10歳代	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	
	20歳代	25 100.0%	5 20.0%	5 20.0%	7 28.0%	3 12.0%	0 0.0%	4 16.0%	1 4.0%	2 8.0%	9 36.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%	7 28.0%	1 4.0%
	30歳代	44 100.0%	6 13.6%	10 22.7%	14 31.8%	3 6.8%	0 0.0%	11 25.0%	0 0.0%	5 11.4%	15 34.1%	14 31.8%	2 4.5%	0 0.0%	8 18.2%	0 0.0%
	40歳代	82 100.0%	12 14.6%	34 41.5%	22 26.8%	5 6.1%	0 0.0%	8 9.8%	1 1.2%	17 20.7%	36 43.9%	16 19.5%	1 1.2%	0 0.0%	12 14.6%	0 0.0%
	50歳代	83 100.0%	9 10.8%	42 50.6%	18 21.7%	5 6.0%	0 0.0%	6 7.2%	3 3.6%	9 10.8%	39 47.0%	18 21.7%	3 3.6%	1 1.2%	11 13.3%	2 2.4%
	60歳代	105 100.0%	8 7.6%	56 53.3%	27 25.7%	0 0.0%	1 1.0%	7 6.7%	6 5.7%	7 6.7%	64 61.0%	21 20.0%	2 1.9%	1 1.0%	7 6.7%	3 2.9%
	70歳代	111 100.0%	8 7.2%	52 46.8%	24 21.6%	1 0.9%	0 0.0%	14 12.6%	12 10.8%	5 4.5%	59 53.2%	22 19.8%	1 0.9%	0 0.0%	17 15.3%	7 6.3%
	80歳以上	43 100.0%	5 11.6%	15 34.9%	4 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 23.3%	9 20.9%	4 9.3%	14 32.6%	12 27.9%	1 2.3%	0 0.0%	7 16.3%	5 11.6%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	340 100.0%	21 6.2%	126 37.1%	101 29.7%	26 7.6%	2 0.6%	42 12.4%	22 6.5%	19 5.6%	132 38.8%	125 36.8%	18 5.3%	2 0.6%	31 9.1%	13 3.8%
	10歳代	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	20歳代	18 100.0%	2 11.1%	5 27.8%	6 33.3%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 50.0%	7 38.9%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%
	30歳代	28 100.0%	3 10.7%	8 28.6%	7 25.0%	7 25.0%	1 3.6%	2 7.1%	0 0.0%	3 10.7%	13 46.4%	7 25.0%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%
	40歳代	33 100.0%	1 3.0%	9 27.3%	14 42.4%	6 18.2%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	3 9.1%	12 36.4%	13 39.4%	4 12.1%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%
	50歳代	44 100.0%	3 6.8%	17 38.6%	16 36.4%	4 9.1%	0 0.0%	3 6.8%	1 2.3%	3 6.8%	21 47.7%	11 25.0%	2 4.5%	0 0.0%	6 13.6%	1 2.3%
	60歳代	87 100.0%	6 6.9%	41 47.1%	27 31.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%	4 4.6%	6 6.9%	38 43.7%	32 36.8%	2 2.3%	0 0.0%	7 8.0%	2 2.3%
	70歳代	96 100.0%	5 5.2%	38 39.6%	21 21.9%	5 5.2%	0 0.0%	13 13.5%	14 14.6%	4 4.2%	30 31.3%	40 41.7%	5 5.2%	1 1.0%	8 8.3%	8 8.3%
	80歳以上	28 100.0%	1 3.6%	7 25.0%	8 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	9 32.1%	3 10.7%	0 0.0%	8 28.6%	12 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	6 21.4%	2 7.1%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	性別無回答ほか	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%

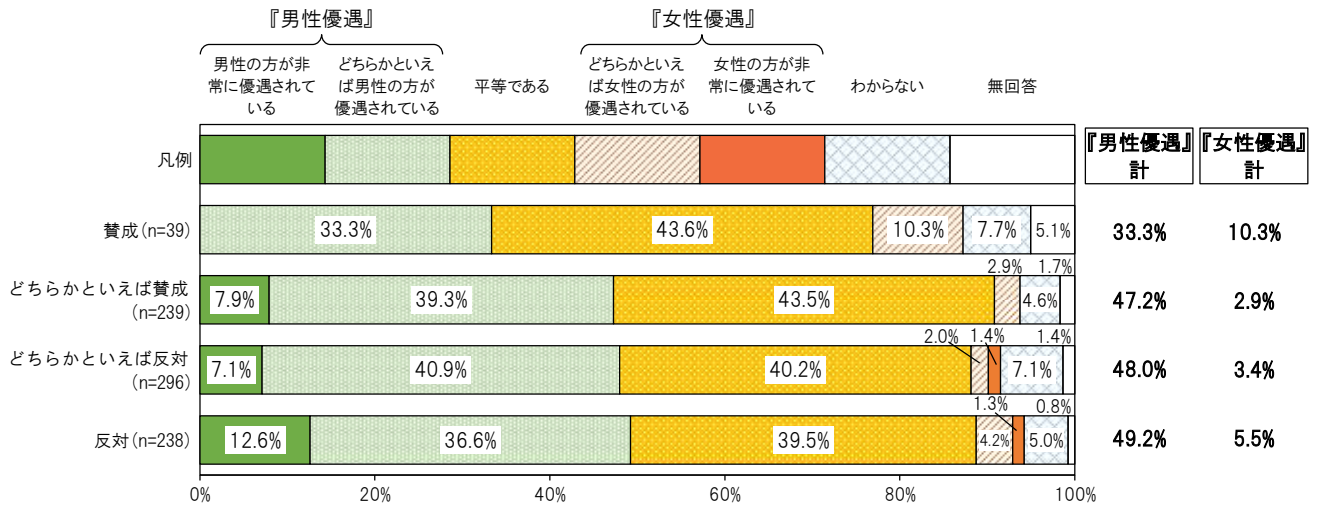
図表 2-12 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】3/4

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	【法律や制度で】							【社会通念、慣習・しきたりなどで】							
		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
総計	848	69	282	293	38	4	121	41	135	480	104	11	2	73	43	
	100.0%	8.1%	33.3%	34.6%	4.5%	0.5%	14.3%	4.8%	15.9%	56.6%	12.3%	1.3%	0.2%	8.6%	5.1%	
平成29年度始良市調査	987	45	267	408	57	14	145	51	141	513	159	25	4	100	45	
	100.0%	4.6%	27.1%	41.3%	5.8%	1.4%	14.7%	5.2%	14.3%	52.0%	16.1%	2.5%	0.4%	10.1%	4.6%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	128	685	731	104	16	312	118	327	1,116	316	40	5	198	92	
	100.0%	6.1%	32.7%	34.9%	5.0%	0.8%	14.9%	5.6%	15.6%	53.3%	15.1%	1.9%	0.2%	9.5%	4.4%	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0%	10.3%	36.6%	39.7%	4.0%	0.4%	9.0%	-	19.1%	51.0%	22.6%	2.1%	0.2%	5.0%	-	
性・年代別	女性	502	55	191	132	19	1	77	27	91	296	39	3	1	44	28
		100.0%	11.0%	38.0%	26.3%	3.8%	0.2%	15.3%	5.4%	18.1%	59.0%	7.8%	0.6%	0.2%	8.8%	5.6%
	10歳代	9	2	0	3	2	0	2	0	2	4	2	0	0	1	0
		100.0%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	20歳代	25	2	5	7	4	0	6	1	3	15	3	0	0	2	2
		100.0%	8.0%	20.0%	28.0%	16.0%	0.0%	24.0%	4.0%	12.0%	60.0%	12.0%	0.0%	0.0%	8.0%	8.0%
	30歳代	44	5	17	11	2	0	9	0	13	25	2	1	0	3	0
		100.0%	11.4%	38.6%	25.0%	4.5%	0.0%	20.5%	0.0%	29.5%	56.8%	4.5%	2.3%	0.0%	6.8%	0.0%
	40歳代	82	17	23	21	6	0	15	0	24	41	6	1	0	10	0
		100.0%	20.7%	28.0%	25.6%	7.3%	0.0%	18.3%	0.0%	29.3%	50.0%	7.3%	1.2%	0.0%	12.2%	0.0%
	50歳代	83	8	41	17	2	0	11	4	17	55	4	0	0	5	2
		100.0%	9.6%	49.4%	20.5%	2.4%	0.0%	13.3%	4.8%	20.5%	66.3%	4.8%	0.0%	0.0%	6.0%	2.4%
	60歳代	105	11	49	26	1	1	13	4	17	68	11	0	1	5	3
		100.0%	10.5%	46.7%	24.8%	1.0%	1.0%	12.4%	3.8%	16.2%	64.8%	10.5%	0.0%	1.0%	4.8%	2.9%
	70歳代	111	7	45	31	2	0	14	12	11	65	7	1	0	12	15
		100.0%	6.3%	40.5%	27.9%	1.8%	0.0%	12.6%	10.8%	9.9%	58.6%	6.3%	0.9%	0.0%	10.8%	13.5%
	80歳以上	43	3	11	16	0	0	7	6	4	23	4	0	0	6	6
		100.0%	7.0%	25.6%	37.2%	0.0%	0.0%	16.3%	14.0%	9.3%	53.5%	9.3%	0.0%	0.0%	14.0%	14.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	340	14	91	159	19	3	41	13	44	180	64	8	1	29	14
		100.0%	4.1%	26.8%	46.8%	5.6%	0.9%	12.1%	3.8%	12.9%	52.9%	18.8%	2.4%	0.3%	8.5%	4.1%
	10歳代	5	0	1	2	1	0	1	0	0	1	2	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
20歳代	18	0	8	7	0	0	3	0	4	9	2	0	0	3	0	
	100.0%	0.0%	44.4%	38.9%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	22.2%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	
30歳代	28	3	6	12	5	1	1	0	8	13	6	0	1	0	0	
	100.0%	10.7%	21.4%	42.9%	17.9%	3.6%	3.6%	0.0%	28.6%	46.4%	21.4%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	
40歳代	33	0	10	15	5	1	2	0	6	18	4	3	0	1	1	
	100.0%	0.0%	30.3%	45.5%	15.2%	3.0%	6.1%	0.0%	18.2%	54.5%	12.1%	9.1%	0.0%	3.0%	3.0%	
50歳代	44	2	15	23	1	0	2	1	6	25	6	2	0	4	1	
	100.0%	4.5%	34.1%	52.3%	2.3%	0.0%	4.5%	2.3%	13.6%	56.8%	13.6%	4.5%	0.0%	9.1%	2.3%	
60歳代	87	4	34	35	3	0	9	2	14	52	14	1	0	4	2	
	100.0%	4.6%	39.1%	40.2%	3.4%	0.0%	10.3%	2.3%	16.1%	59.8%	16.1%	1.1%	0.0%	4.6%	2.3%	
70歳代	96	5	15	49	4	1	15	7	4	51	21	1	0	12	7	
	100.0%	5.2%	15.6%	51.0%	4.2%	1.0%	15.6%	7.3%	4.2%	53.1%	21.9%	1.0%	0.0%	12.5%	7.3%	
80歳以上	28	0	2	15	0	0	8	3	2	10	9	0	0	4	3	
	100.0%	0.0%	7.1%	53.6%	0.0%	0.0%	28.6%	10.7%	7.1%	35.7%	32.1%	0.0%	0.0%	14.3%	10.7%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	1	2	0	0	2	1	0	4	1	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	

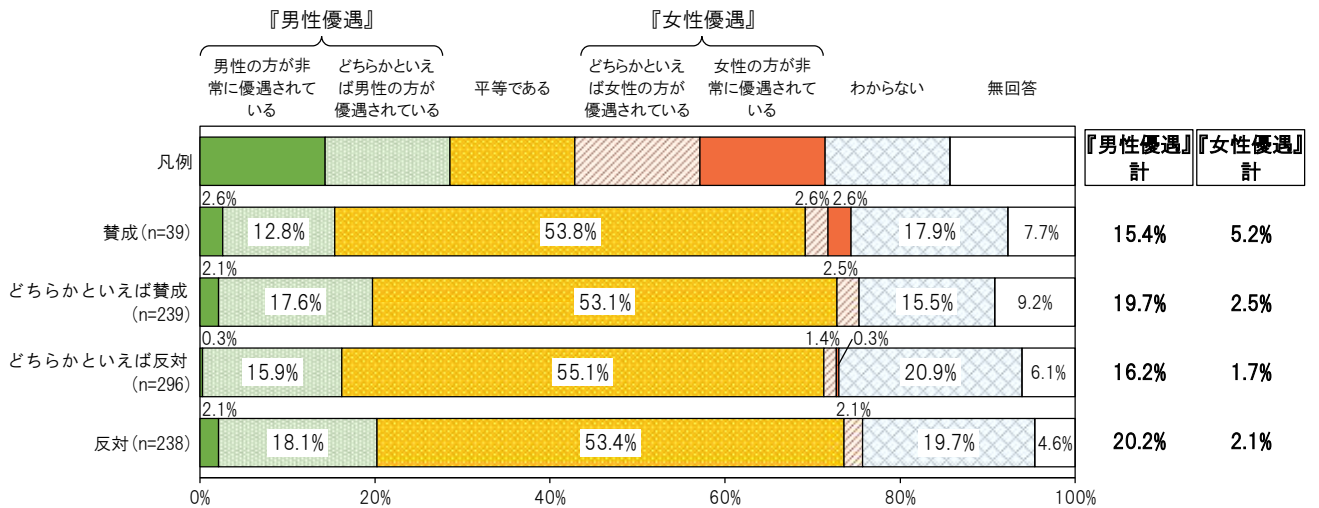
図表 2-13 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】 4/4

上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	【政治の場で】							【社会全体で】							
		男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない
総計	848	242	391	96	3	2	74	40	94	503	114	16	4	84	33	
	100.0%	28.5%	46.1%	11.3%	0.4%	0.2%	8.7%	4.7%	11.1%	59.3%	13.4%	1.9%	0.5%	9.9%	3.9%	
平成29年度始良市調査	987	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
性・年代別	女性	502	163	239	31	2	1	39	27	69	305	47	3	2	55	21
		100.0%	32.5%	47.6%	6.2%	0.4%	0.2%	7.8%	5.4%	13.7%	60.8%	9.4%	0.6%	0.4%	11.0%	4.2%
	10歳代	9	2	6	0	0	0	1	0	1	4	1	0	0	3	0
		100.0%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	20歳代	25	8	13	2	0	0	0	2	4	11	2	1	1	5	1
		100.0%	32.0%	52.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	16.0%	44.0%	8.0%	4.0%	4.0%	20.0%	4.0%
	30歳代	44	22	19	0	0	1	2	0	8	25	7	0	0	4	0
		100.0%	50.0%	43.2%	0.0%	0.0%	2.3%	4.5%	0.0%	18.2%	56.8%	15.9%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	40歳代	82	38	31	2	1	0	10	0	18	42	8	1	0	13	0
		100.0%	46.3%	37.8%	2.4%	1.2%	0.0%	12.2%	0.0%	22.0%	51.2%	9.8%	1.2%	0.0%	15.9%	0.0%
	50歳代	83	36	32	6	0	0	7	2	12	56	5	0	0	8	2
		100.0%	43.4%	38.6%	7.2%	0.0%	0.0%	8.4%	2.4%	14.5%	67.5%	6.0%	0.0%	0.0%	9.6%	2.4%
	60歳代	105	27	61	6	0	0	6	5	12	74	10	0	1	6	2
		100.0%	25.7%	58.1%	5.7%	0.0%	0.0%	5.7%	4.8%	11.4%	70.5%	9.5%	0.0%	1.0%	5.7%	1.9%
	70歳代	111	22	58	11	1	0	7	12	11	66	11	1	0	11	11
		100.0%	19.8%	52.3%	9.9%	0.9%	0.0%	6.3%	10.8%	9.9%	59.5%	9.9%	0.9%	0.0%	9.9%	9.9%
	80歳以上	43	8	19	4	0	0	6	6	3	27	3	0	0	5	5
		100.0%	18.6%	44.2%	9.3%	0.0%	0.0%	14.0%	14.0%	7.0%	62.8%	7.0%	0.0%	0.0%	11.6%	11.6%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	79	150	64	1	1	33	12	25	196	65	13	2	28	11	
	100.0%	23.2%	44.1%	18.8%	0.3%	0.3%	9.7%	3.5%	7.4%	57.6%	19.1%	3.8%	0.6%	8.2%	3.2%	
10歳代	5	0	1	3	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
20歳代	18	5	8	2	0	0	3	0	1	11	1	2	0	3	0	
	100.0%	27.8%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	61.1%	5.6%	11.1%	0.0%	16.7%	0.0%	
30歳代	28	10	12	4	0	0	2	0	4	19	2	0	1	2	0	
	100.0%	35.7%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	67.9%	7.1%	0.0%	3.6%	7.1%	0.0%	
40歳代	33	12	11	9	0	0	1	0	3	22	3	4	1	0	0	
	100.0%	36.4%	33.3%	27.3%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	9.1%	66.7%	9.1%	12.1%	3.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	44	11	21	8	1	0	2	1	2	27	11	2	0	1	1	
	100.0%	25.0%	47.7%	18.2%	2.3%	0.0%	4.5%	2.3%	4.5%	61.4%	25.0%	4.5%	0.0%	2.3%	2.3%	
60歳代	87	20	47	14	0	0	4	2	9	55	15	1	0	4	3	
	100.0%	23.0%	54.0%	16.1%	0.0%	0.0%	4.6%	2.3%	10.3%	63.2%	17.2%	1.1%	0.0%	4.6%	3.4%	
70歳代	96	19	38	19	0	1	13	6	5	46	24	4	0	12	5	
	100.0%	19.8%	39.6%	19.8%	0.0%	1.0%	13.5%	6.3%	5.2%	47.9%	25.0%	4.2%	0.0%	12.5%	5.2%	
80歳以上	28	2	11	5	0	0	7	3	0	14	7	0	0	5	2	
	100.0%	7.1%	39.3%	17.9%	0.0%	0.0%	25.0%	10.7%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	17.9%	7.1%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	2	1	0	0	2	1	0	2	2	0	0	1	1	
	100.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	

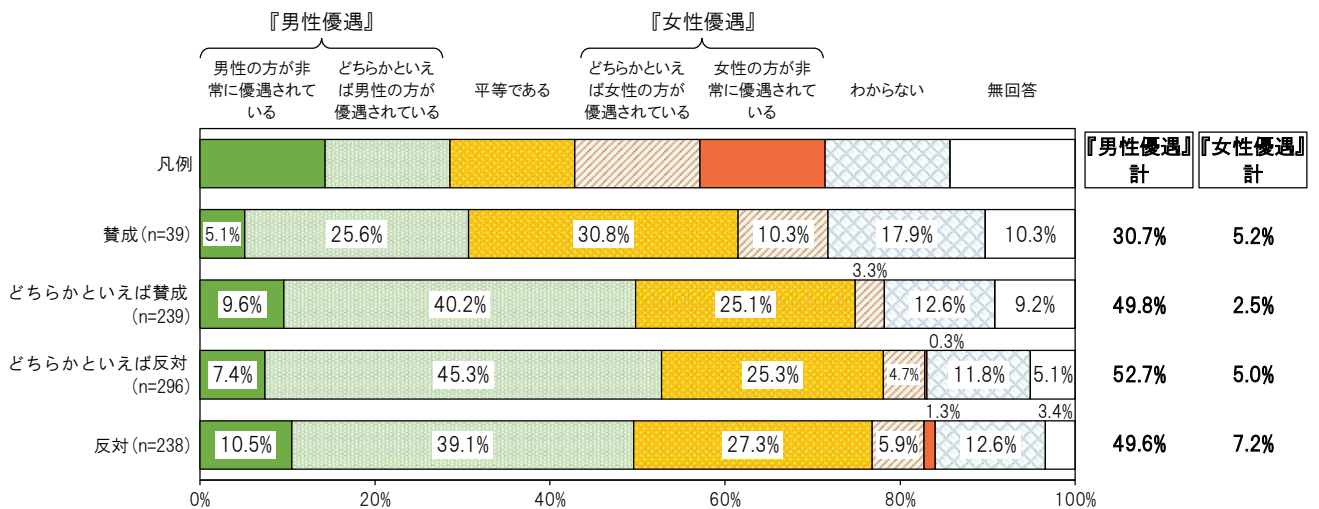
図表 2-14 各分野の男女の地位の平等感 **家庭の中で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



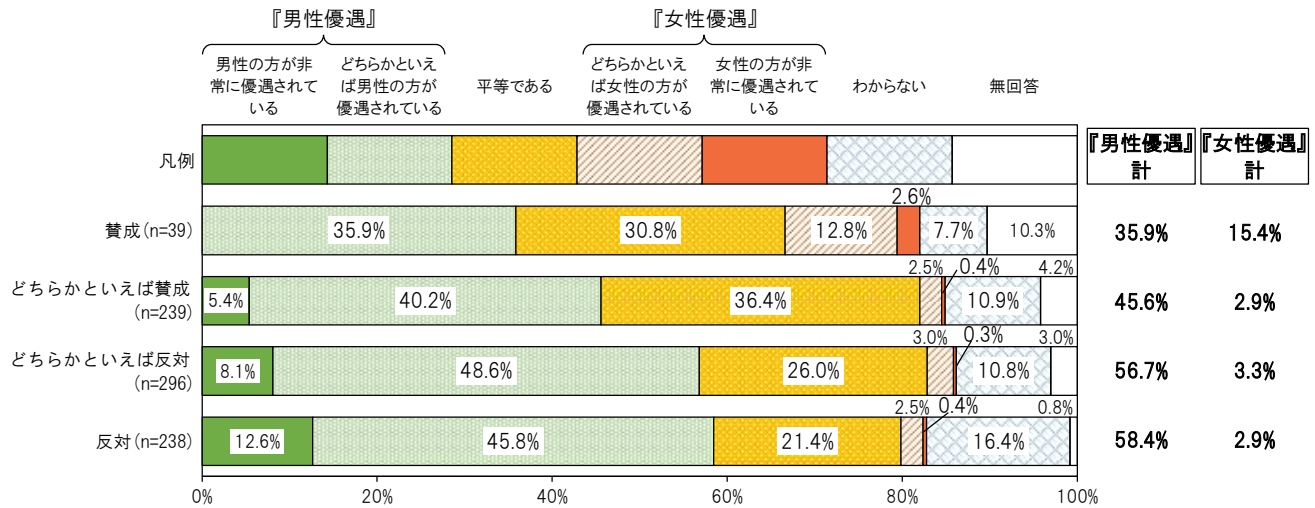
図表 2-15 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



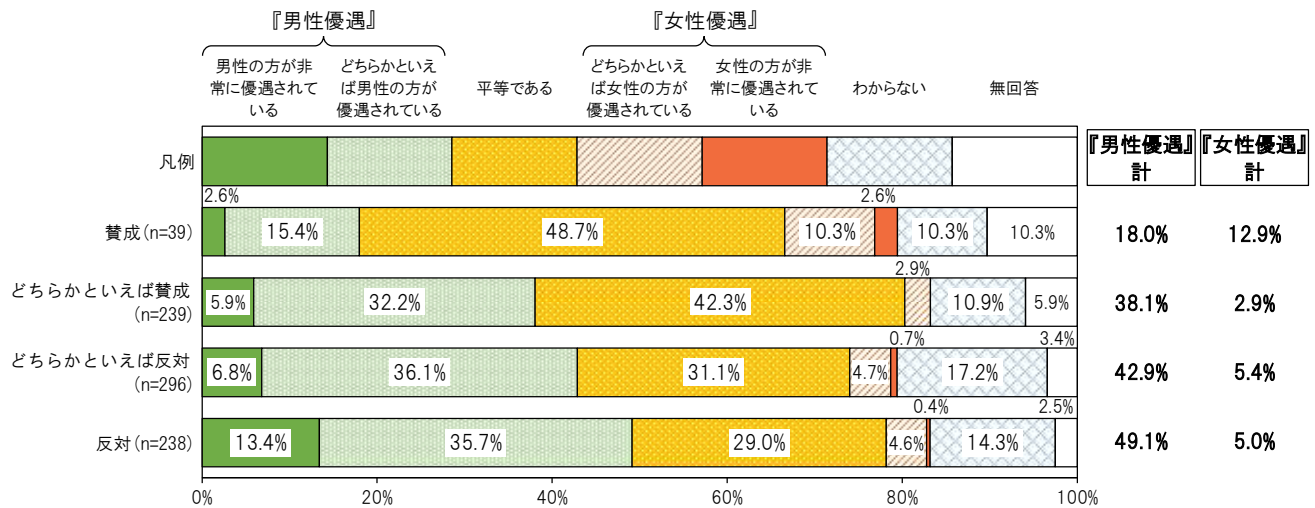
図表 2-16 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



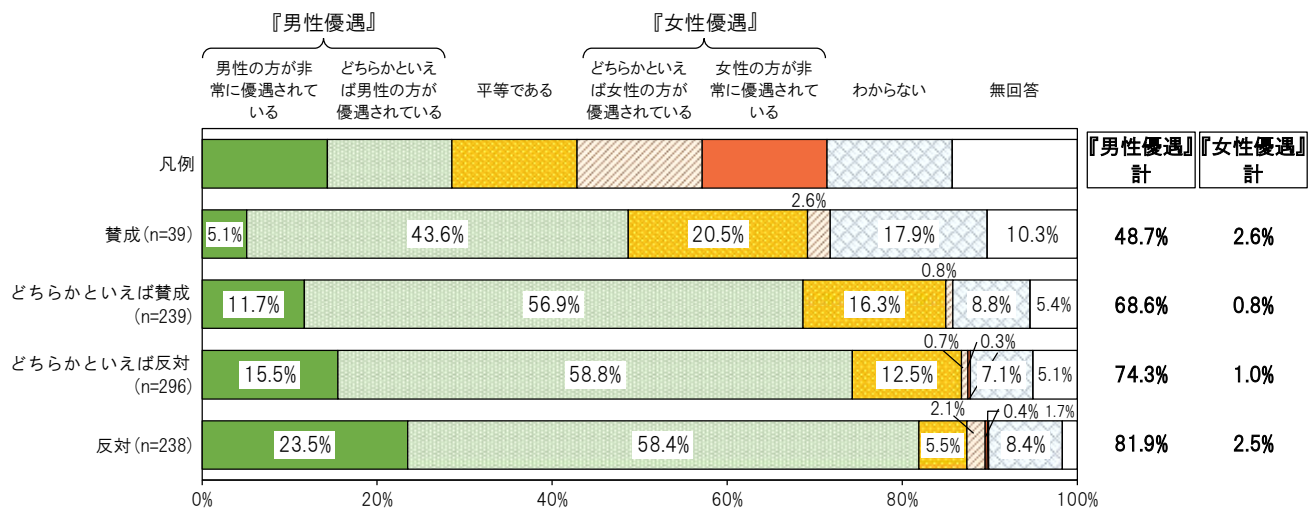
図表 2-17 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



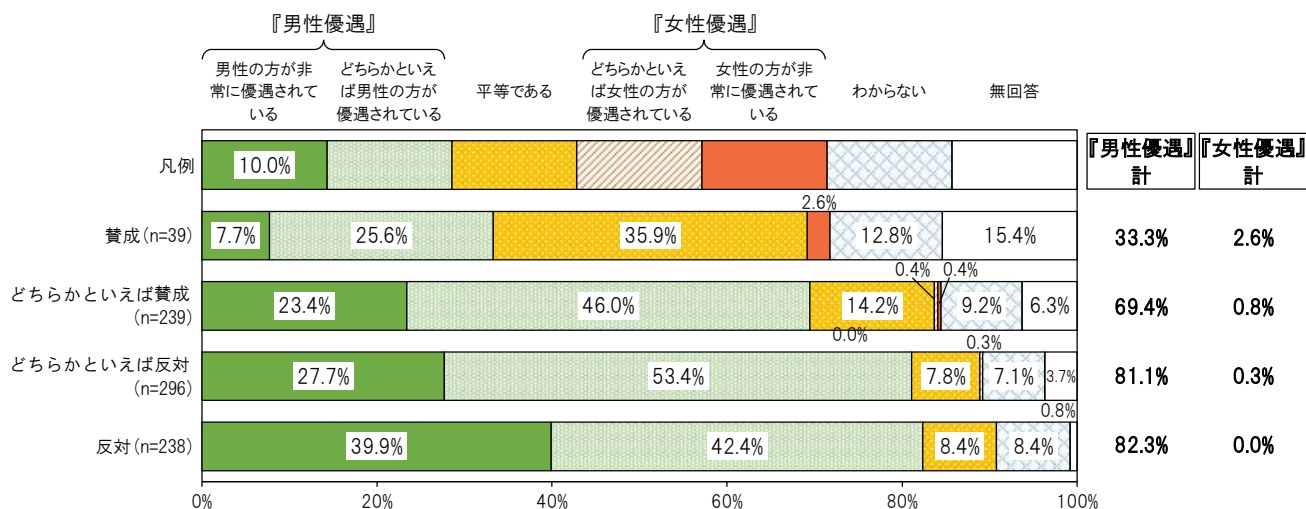
図表 2-18 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



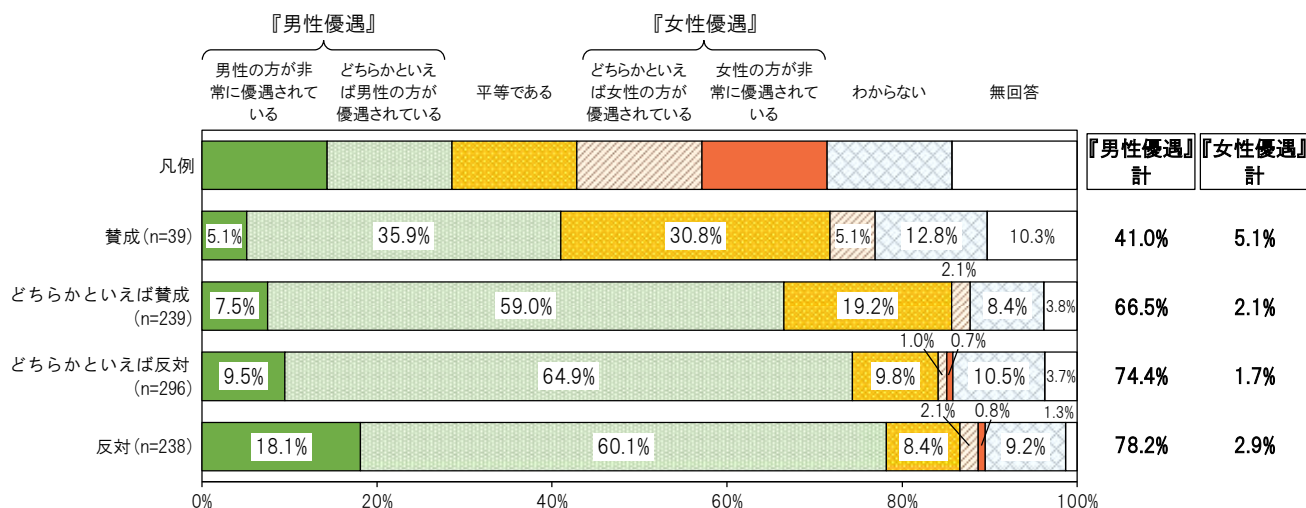
図表 2-19 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念、慣習・しきたりなどで** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



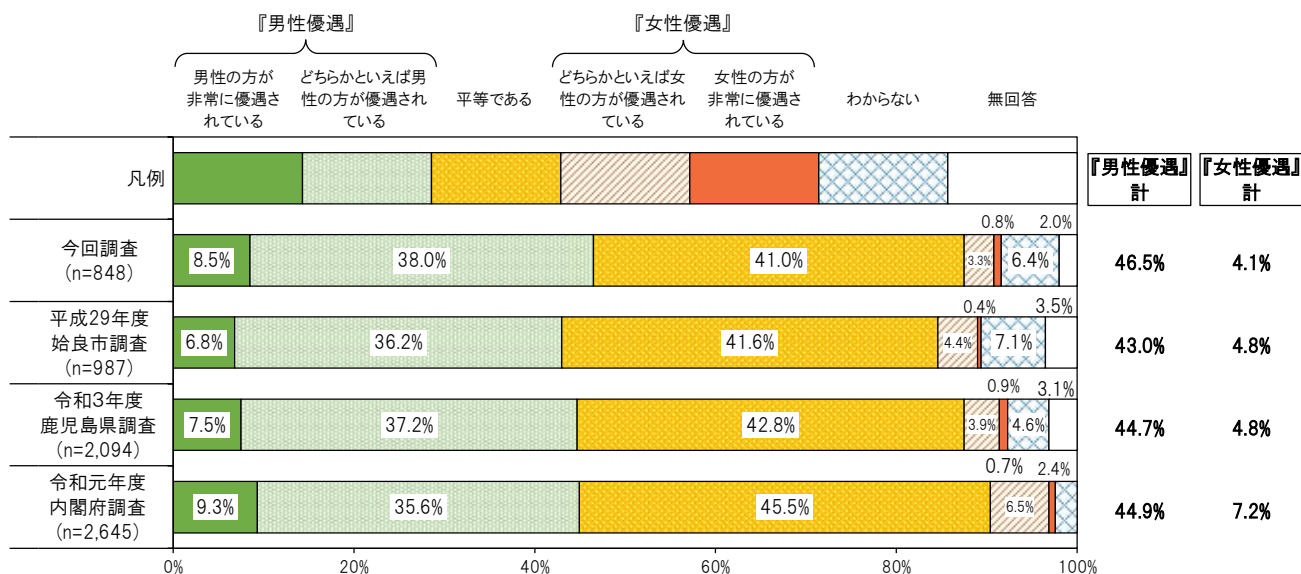
図表 2-20 各分野の男女の地位の平等感 **政治の場で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



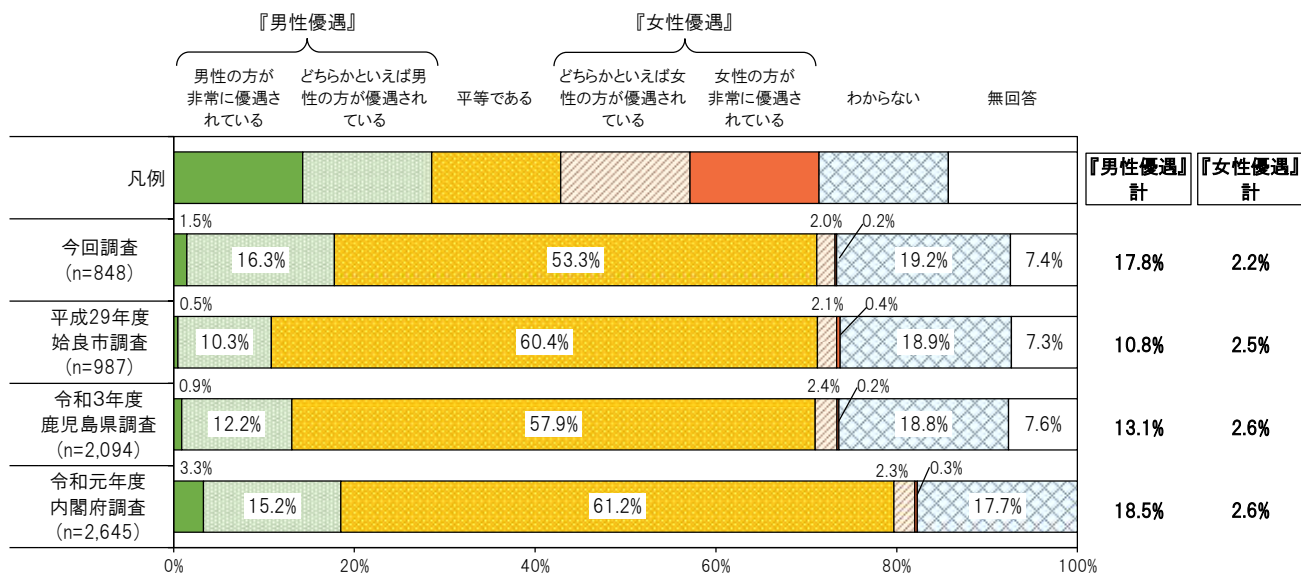
図表 2-21 各分野の男女の地位の平等感 **社会全体で** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



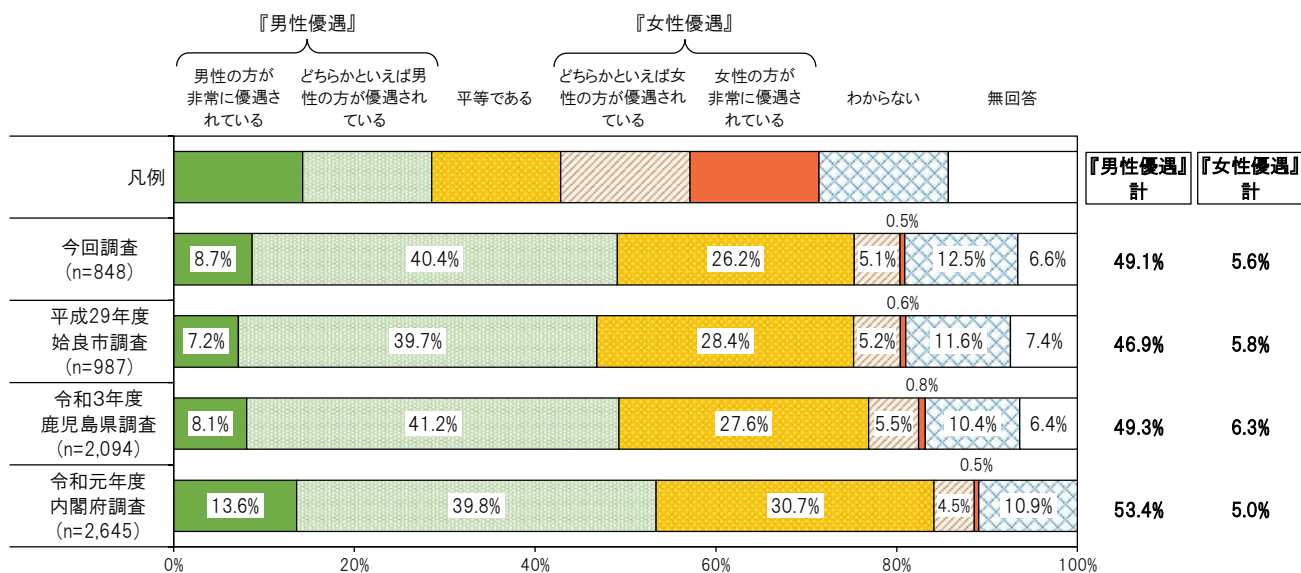
図表 2-22 各分野の男女の地位の平等感 **家庭の中で** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



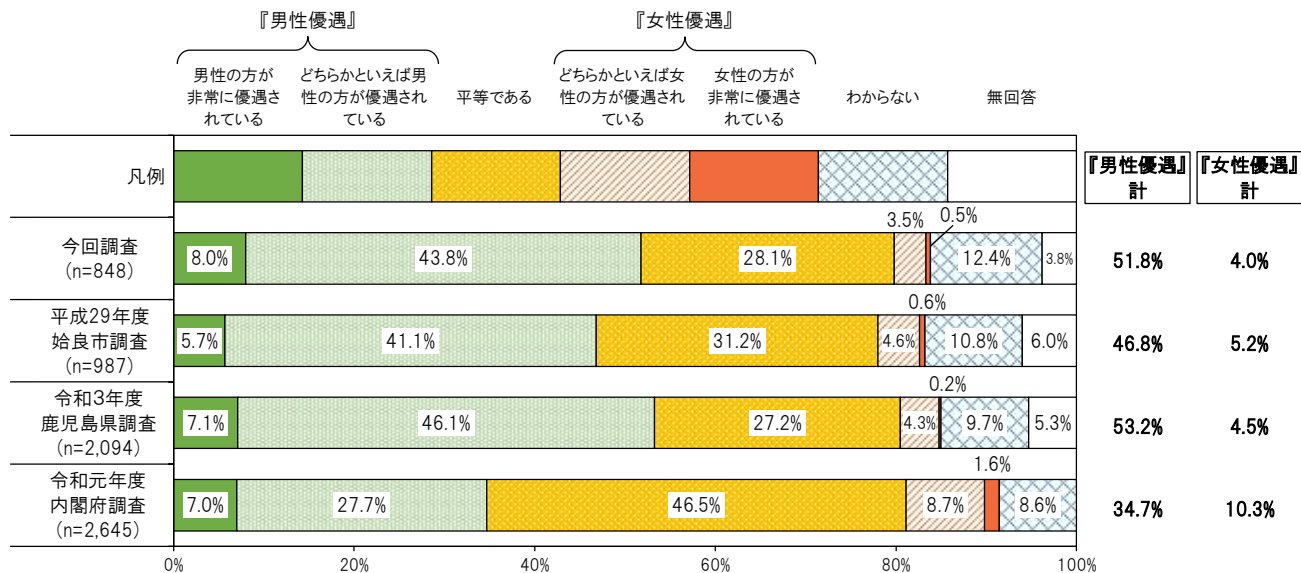
図表 2-23 各分野の男女の地位の平等感 **学校教育の中で** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



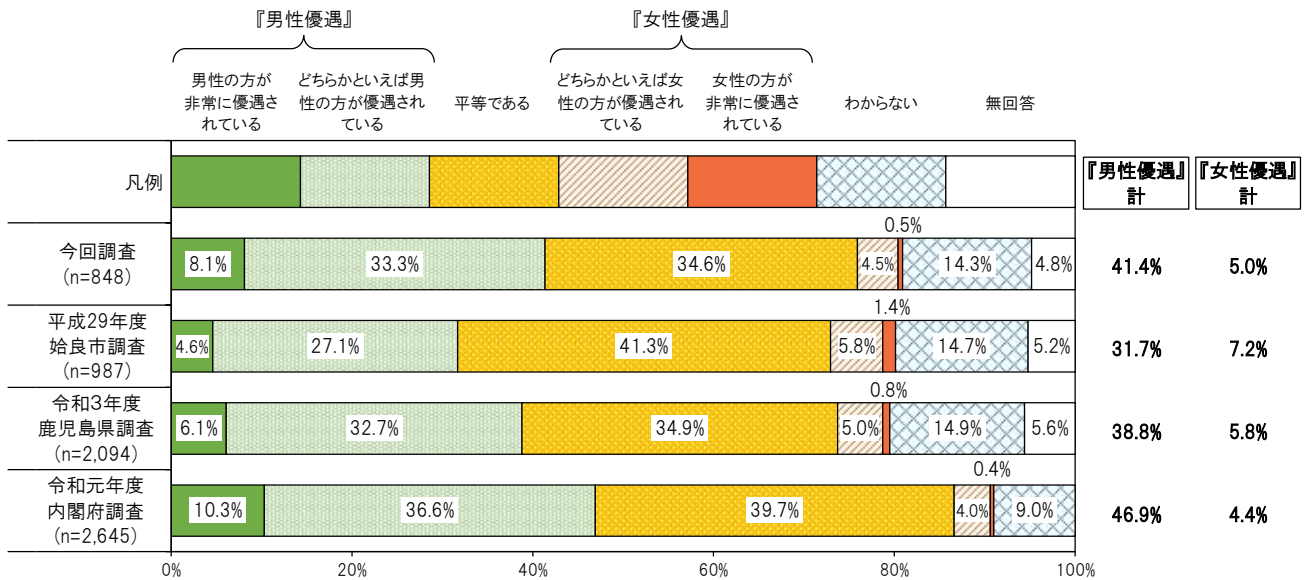
図表 2-24 各分野の男女の地位の平等感 **職場の中で** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



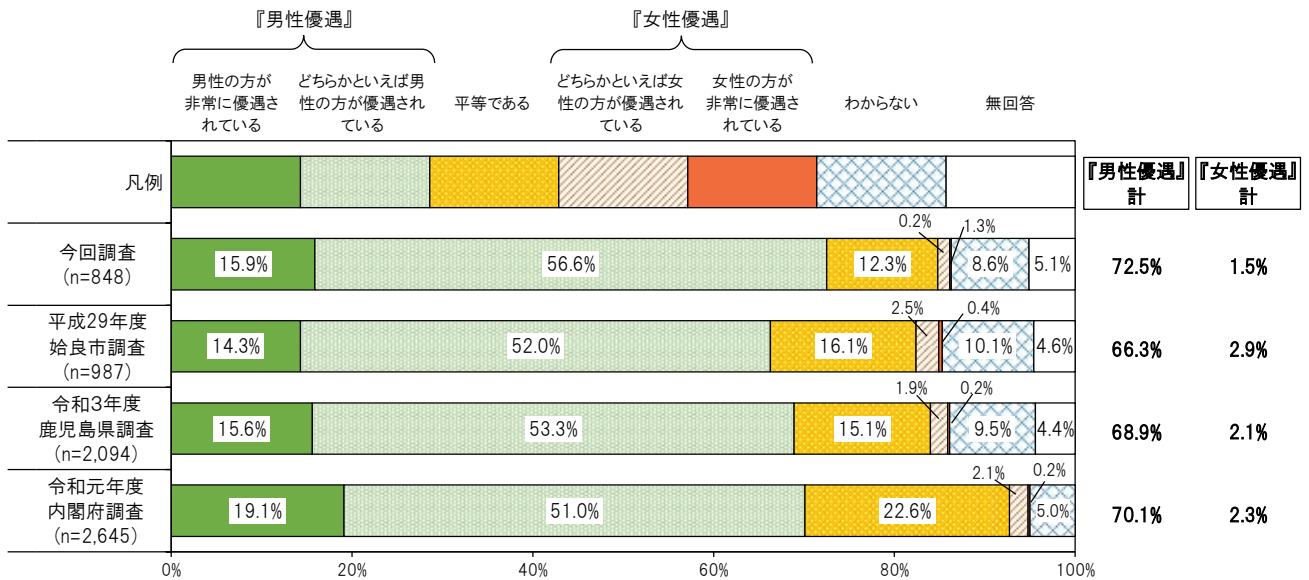
図表 2-25 各分野の男女の地位の平等感 **地域社会の中で** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 2-26 各分野の男女の地位の平等感 **法律や制度で** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 2-27 各分野の男女の地位の平等感 **社会通念、慣習・しきたりなどで** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



※選択肢「政治の場で」、「社会全体で」に関しては前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査に設問なし

(2) 日常生活で男女の地位に不平等を感じていること

問8 あなたが日常生活で男女の地位に不平等を感じていることがありましたら教えてください。
(自由記述)

日常生活で男女の地位に不平等を感じていることについての回答件数は 177 件であり、主な意見を掲載している。

その内容は「家庭の中で」(42 件)、「学校教育の中で」(1 件)、「職場の中で」(47 件)、「地域社会の中で」(6 件)、「法律や制度で」(11 件)、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(39 件)、「政治の場で」(6 件)、「社会全体で」(13 件)、「その他」(12 件) となっている。

■ 家庭の中で (42 件)

【主な意見】

- 男性が育児に携わる時間が少なすぎる (勤務時間が長いため) (女性・30 歳代)
- 家事の事、育児の事、育休復帰後の家事育児分担に対する意識においてまだまだ不平等がすぎる。(女性・30 歳代)
- 育児に関してはどうしても女性が大変な部分がある。(女性・30 歳代)
- 共働きであるのに家事や学校行事は女性がしないといけないことが多く、不平等を感じる。夫も協力的であるがあくまでも協力という概念。(女性・30 歳代)
- どうしても女性が家事をせねばならない。(女性・40 歳代)
- 育児・家事 (女性・40 歳代)
- 結婚したら家事、子育てはお母さん。さらに仕事をしなければいけない。お父さんは結婚しても今までと変わらない仕事をする。(女性・40 歳代)
- ・家事 ・育児 ・家庭内での位置関係 (女性・50 歳代)
- 家事 (女性・50 歳代)
- 家庭の中で男性の方が優遇され強い立場である事。(女性・50 歳代)
- 家事、育児全般に妻任せです (女性・50 歳代)
- 家事育児 (女性・50 歳代)
- 女性にしか子供は産めないのだから男性にも協力して欲しい。(女性・50 歳代)
- 共働きでも女性の方が家事が多い (女性・50 歳代)
- まだ家庭の中では、女性が、地位が低いように感じる (女性・50 歳代)
- 結婚、26 年の夫婦 2 人世帯です。2 人の子供は成人し、社会人。私も、フルタイムで働いており、子供達が学生の間も、記憶がないくらい、仕事、帰れば家事、朝もおきたときから、出勤するまで家事でした。主人があまりに何もしないので、将来不安です。私が入院したら？四肢が使いなくなり、家事が困難になったら？などなど。男性の方がこの差別に気付き、これまでの感性や感覚を変えなければ、社会全般浸透しないし、いつまでも不透明なまま、老後を迎えるのではないのでしょうか。(女性・50 歳代)
- 家事や育児は、女性がやる割合が高いと思う。育休も、女性がとる場合が多い。(女性・50 歳代)
- 家事・介護・育児は女性の方が負担が大きい。(女性・60 歳代)
- 家事・育児など、家事の中で特に食について料理をしてくれる男性は少ないと思う。(女性・60 歳代)
- 家事 (女性・60 歳代)
- 社会の中で男性が優位だと感じる事はある。女性は家庭にいて育児、仕事、家事いろいろと全部になっている。男性は仕事中心で協力的でない方が多い。(我が家では夫が協力的でありがたいと思っっている) (女性・60 歳代)

- 家事など女性の負担が多い（女性・60歳代）
- 男女平等とはなかなか行かないと思う。重いものや高いところ、子育て、細かい事など、できない事がお互いにある（女性・70歳代）
- 働いている時は、家庭の事はほとんど女性まかせが多いと思いますが、仕事を二人ともやめたら仕事の分担を決めてしているので助かります。（女性・70歳代）
- 家庭生活上で主婦の価値が認められない事です。俺の年金で生活しているくせにという言葉です。（女性・70歳代）
- 家事全般が女の仕事だとの認識。（女性・70歳代）
- 年齢的な事もありますが、やはり主人より私の方が家庭内ですですがする事が多くて疲れます。ひと言で言えば協力してくれない！！（女性・70歳代）
- 子育て、子供の学校関係。（女性・70歳代）
- 日本の生活習慣上今でも男性は外の仕事、女性は家庭内の仕事と良い悪いは別として、阿吽の呼吸の中で生活しているところがあり何となく生きている。（女性・70歳代）
- 家事が女性に偏っている（女性・70歳代）
- 家事全般（女性・70歳代）
- 家の中の事は全部女性にさせた（女性・80歳代）
- 自宅で妻だけが食事の支度をして自分は手伝わない(どちらも仕事をしているのに)（男性・60歳代）
- 家事、育児に男性がもっと関与すべきである（男性・70歳代）
- 日常生活の中でどうしても女性の方に仕事の負担が大きい！（男性・70歳代）
- 女は子供の世話が大変だと思う。（男性・70歳代）
- （専業）主婦に対しての扱いがあまりにおそまつである。特に子供達が心の安定を保って成長していくために極めて重要な職業と思う。（男性・70歳代）
- 女性に家事労働が多くなっている。（男性・70歳代）
- 私は平等でありたいと思いますが妻の言動、理解、感性のずれがあります（男性・80歳代）

■ 学校教育の中で（1件）

【主な意見】

- 高校一年生の時は、校則で男女に差があると感じていましたが、高校卒業する頃は校則の男女の差がなくなったように感じます。（女性・10歳代）

■ 職場の中で（47件）

【主な意見】

- 新社会人の給料について。大卒の方の給料（基本給）が短大卒の人より多いのが不平等と感じる。大学卒業される方の中にも女性は多くいるが、短大は男性があまりいないことから不平等なのではないかと思う事があります。（女性・20歳代）
- 職種によっては男女で就職のしやすさに差がある。（女性・20歳代）
- 仕事選びで男性しか求めていなかった。（女性・20歳代）
- お互いに働いていると、子供の行事ごとや子供の体調不良などで、母親が休んで、いろんなことをするが、仕事を休むことになると、男性の理解が少ない職場が多いため、不平等を感じる。父親も子供のことをやっている家庭もあると思うが、もう少し母親が働きやすい（子育て支援）的な職場が増えてほしい。（女性・30歳代）
- 子どものいる人たち(特に女性)が、育児と仕事の両立がしやすい職場が増えたらいいと思う。（女性・30歳代）

- 男女での賃金の格差（女性・30歳代）
- 同じ業務をしても給与の設定が、男性が優遇されている。（女性・30歳代）
- 職場でタバコを吸うのはほとんど男性ですが、仕事中にタバコ休憩が許されているのはおかしいと思います。これは職場で地位のある立場の職員がほぼ男性だからでそう言った男性がタバコを吸うから改善されないのだと思っています。喫煙所に行ってお菓子を食べてやろうかと思うこともあります。喫煙所が情報収集の場だと言われることもあります。そういった場所で情報のやり取りがあるのがそもそもおかしいですし、男性社会の特徴の1つだと思います。
（女性・30歳代）
- 職場の上司は男性が多い。（女性・40歳代）
- 賃金。同じ仕事（内容）しているのに男性という事で給与が高い。（女性・40歳代）
- 男女で昇給が違う事。（女性・40歳代）
- 昇進（女性・40歳代）
- 同じ仕事をしても、給料面や、昇進など、男性がとても優遇されている。（女性・40歳代）
- 給料面、男性の方が収入が高い（女性・40歳代）
- 職場においては、女性の多くが安い給料で働いている。仕事内容においては、差がないにもかかわらず。女性は、この給料で働くのが当たり前と考えている男性がいる。また、女性が意見を述べると、威圧的な態度に出る上司がいる。鹿児島だからか、始良市だからかは、わかりませんが、女性を下に見てる男性がいるのが事実です。（女性・40歳代）
- 産後休暇、育児休暇産後休暇明けの風通しの悪さ。子どもの定期検診で、いつも母親。父親は見当たらない。（女性・40歳代）
- 職場での昇進は男性のほうが早い。子育て、介護の負担は女性のほうが大きい。（女性・50歳代）
- 賃金の差（女性・50歳代）
- やはり社会生活で男性社員の方が早く出世したり不平等だと感じる事がありました。
（女性・50歳代）
- 給料面（女性・50歳代）
- 給与（女性・50歳代）
- 職場において子育ては女がするもの。休みの取りにくさなど。（女性・60歳代）
- 給料の違い。（女性・60歳代）
- 子育てで仕事を失うと同じキャリアに戻れない。（女性・60歳代）
- 賃金の差（女性・60歳代）
- 男女雇用均等といいながら、役職は男性が多く、女性は人生、ライフワークの中で就労、出産、子育て、家事、介護など持つ役割が多い。（女性・60歳代）
- 何でも平等だと言っていますが、平等じゃない所がある。例えば、力仕事とか男性じゃないと出来ない事は女性では出来ないのでは不平等とは思いません。けど女性でも出来る事をたまに、簡単な事を自分じゃないと出来ない(わからない)みたい事を言っている人がいる。早く言えば指しずばかりし、偉そうにしている人いる。管理職や管理者を増やして良いと思います。女性でも出来る人はおります。させないから少ない。昔からすると少しは、緩和されていると思いますが、いかなるものですかね?平等になる事は、おそらく無いでしょう!全部が全部では無いけど!
（女性・60歳代）
- 時給（女性・70歳代）
- 給料等で男女の差別がある様に思う。（女性・70歳代）
- 給与(基本給)（男性・30歳代）
- 職場での女性に対する待遇（役職など）（男性・30歳代）
- 育休等休みの取り方。男性が取りにくい。(介護休暇含む)（男性・40歳代）

- 男は子供の熱などで早退できないのが会社全体の暗黙の了解のようになっている。子供三人いるため妻に負担をかけている。(欠勤になり給料も減る) (男性・40歳代)
- 職場での中で女性は結婚して産休を取り、長いスパンで休むので復帰するまでの間はあてに出来ないし、力仕事も任せられないという思いがあります。(男性・40歳代)
- 職場で女性が上司になると陰口を言う人が多い。能力を認めない傾向がある(特に公務員)。(男女) 共同参画社会基本法があるから優遇されているなどと言う。(男性・50歳代)
- 企業での管理職に占める男性の割合が高い。(男性・50歳代)
- 近年女性の管理者が増えてきているが、職場で男性の管理者がまだまだ多い(男性・50歳代)
- 同じ能力での賃金格差と職場での地位等。(男性・60歳代)
- 会社は男性しかいない(男性・60歳代)
- やはり働く現場では圧倒的に男性の方が役職についている。(男性・60歳代)
- 上司、役職はほとんど男性であるし、賃金面や待遇面でも差を感じる また、就職?結婚などでも差を感じる(男性・60歳代)
- 仕事などでの登用の度合いは、依然として男性が多く給与の平均額も女性は男性より低い。(男性・60歳代)
- 女性という事で仕事を控える方が多い。周囲に甘えている。業務をしなくても良いと女性自身が思い責任感がうすい。自分で不公平を作っているようだ。(男性・70歳代)
- 企業の役職、政治家の数の対比(女性の積極性、やる気を示す)(男性・70歳代)
- 市職員採用で障害者の採用が少ないし他の市町村と比べて不平等や少ないのではないか。(男性・80歳代)

■ 地域社会の中で (6件)

【主な意見】

- 学校行事など女性(母親)の参加が多い。学校からの連絡は母親だけに来る。(女性・40歳代)
- PTA、地域行事に母親が出ることが前提にあり、役員決めなども母親と自営業などのごく一部の男性で行われる。(女性・40歳代)
- 地域活動の役員や学校の地域コーディネーターの方が、高齢の男性が多いと思います。そして不平等というより「何をしてくれるのか?」「相談ができるのか?」と不安に思います。お飾りではなく、しっかりと活動・行動をしてくれる方になって欲しいです。(女性・50歳代)
- 鹿児島弁でおなごんよっでという言葉はつかわない方がいいと思います。(女性・60歳代)
- 地域格差による女性への不平等感を感じることもある。(男性・50歳代)
- 自治会活動でも男性の意見に従う事が多い。(男性・70歳代)

■ 法律や制度で (11件)

【主な意見】

- 女性車両はみかけるが男性専用車両をみかけない(女性・20歳代)
- 結婚したら基本的に男性の姓に代わる事。女性の方が免許証、資格などの名義変更の手間が増える。(女性・30歳代)
- 男性に寡婦控除に変わるのがない 女性が子供を育てる前提になってる 共働きでも家事は、女性がするのが当然になってる(女性・40歳代)
- 法律や政治など基盤となっているものが男性優位となっているので不平等を感じる。産休を男性も取得できるようになっても家庭で男性が助けてくれる状況でなければ何も女性は助けられないと思う。ヨーロッパなどのように社会全体が女性に対して劣っているとの考え方がなくなれば何も変わらない。(女性・40歳代)

- 男女平等は結局は女性だけ負担が増えたことだけで、家庭に入らず働いて多く税金を納めさせるまやかしいと思います。本当に女性参画を語るなら子どもと母親、父親が一緒にいる時間を増やせる政策にすべき。シングル家庭であっても幼い子どもを親から引き離してまで働かなくていい社会にすべき。(女性・50歳代)
- 行政や法律など相談でも男性職員が優位な様な気がする。銀行など融資などする時、女性が不利な様な気がする。(女性・60歳代)
- 夫婦共働き後、定年で年金生活を送り、その後先に夫が亡くなったパターンと、夫だけ働いて妻は専業主婦で先に夫が亡くなったパターンでは妻の年金+遺族年金が後者の場合が多いのはおかしい。(女性・80歳代)
- 産前産後のこと、制度の条件により産休を取れず仕事をやめなければならなかった。産後も働きたくても子供を預けられない状態でした。制度や支援が弱く、子供を産む女性が不利に感じました。(男性・30歳代)
- 女性の「レディースデー」等、優遇が多いと感じる。(男性・40歳代)
- 店舗などのキャンペーンで行われているレディースデイ。男性向けのそのようなキャンペーンはほぼ聞いたことがない。(男性・40歳代)
- レディースデイ的な全時代の遺物 女性専用車両 (男性・40歳代)

■ 社会通念、慣習・しきたりなどで (39件)

【主な意見】

- 家事・子育ては女、男は仕事の考えがなかなか変わらない。(女性・30歳代)
- 家事、育児は母親がやって当たり前！ やってなかったらとんでもない親！ (女性・30歳代)
- 社会通念として、母親がフルで働くと子どもが可哀想といった考えが残っていたり、男性の仕事を立てた上で女性の仕事が制限されたり(譲歩し合って自己実現していけたらと思うが、会社によっては男性有利な風潮が残っている気がする)、かと思えば子どもがいると分かっているのに無理を強いられたり、職場やその場にもよるが、時折、子育てと自分のしたいこととの両立はこんなに難しいことなのかと考えさせられる。(女性・30歳代)
- 主人が家の事は、女性という考え (女性・40歳代)
- 義両親の言葉「男にゴミ出しはさせるな」や、身支度、その他旅行の支度などを妻にさせようという態度に、古くからのしきたりにとらわれていると感じる。共働きの時代なのにこのような古い考えの人はいるため、ストレスで不眠になってしまいました。(女性・40歳代)
- 昔の考え方を持つ人間が周りに多いので男女差が大きく思う。(女性・40歳代)
- 感覚的に、鹿児島は様々な点で男性優位が強いと思う。(女性・40歳代)
- しきたりや慣習にしばられすぎている。夫婦別姓すら認められていない等基本的人権がない。名簿作成など男性から優先。子供の頃からの刷り込み (男・青/女・赤など) (女性・40歳代)
- 夫婦共に仕事をしていますが妻(女)が家事・育児をするのがあたりまえ。子供が体調崩し、学校を休む時、妻が仕事を休んで子供の看病をするのが当たり前。妻も仕事を休めば職場に気を使うのにそれが当たり前の社会。(女性・40歳代)
- 男性が主体的に子育てをするという意識は結婚して女性が根気よく時間をかけて伝えていかないと育まれません。子供の体調もワクチンのことも教育も保育園のことも全て母親が勉強し調べて管理しています。どこか人任せです。家事も状況を説明し協力の必要性を伝え続けて2年経ってやっと不満を言わずに協力してくれるようになりました。同じように正社員で働いていて同じような給料でもです。私だけ仕事をして1時間半かけて夫の実家に1泊するため帰宅した際は、1人慌ただしくご飯を食べて自分の分のみならず、皆さんが食べた食器も残っていて全て洗いました。お疲れ様や労いの言葉一つもなく。皆さん普通にテレビを見てて自然なことと思っている様子でした。マスオさんが1人仕事で遅く帰ってきて、ご飯を慌てて食べ、サザエさんや家族の分の食べた食器も洗うなんてあり得ません。全て教育だと思います。夫にはおかしいと伝えたらちゃんと伝わりました。(女性・40歳代)

- 何かトラブルがあり女性が何人か電話をかけても対応してくれないが、男性がかけるとすぐに担当者が来ること（他県ではなかった）。義理の両親が、介護は嫁がするものと言うのが嫌だ（実子ではなく）。（女性・40歳代）
- 年齢や地域的なものがある様に感じます。（女性・50歳代）
- 掃除、ゴミ捨て、お茶出し、電話対応、その他雑用は女性がするのがあたりまえだという態度を受ける。（女性・50歳代）
- 昔に比べて男女平等になっては来ているが、やはり世の中はまだ男性上位の様に思われます。（女性・50歳代）
- 親世代の古い考えで自分の思い通りの教育（女だから短大で十分）をうけられなかった。介護は女がするもの。（女性・50歳代）
- 鹿児島は男は家事を手伝うことを親から教えられて育たない（女性・50歳代）
- 夫婦で正社員として働いていても家庭の中では家事をするのが女性の仕事という固定された感じに不平等を思う。（女性・50歳代）
- 家事は女性といった社会都合がある。（女性・50歳代）
- 二人（夫婦）が仕事があっという間に働いているのに家庭内のことは妻がするのがあたりまえの感がある。（女性・60歳代）
- 家庭生活の家事は女性がするのが当たり前であると思う男性が多い。（女性・60歳代）
- 男性が女性を見下した態度を取っている。（女性・60歳代）
- 地域、家庭ではお茶くみなどの家事的な事は女性がやっている。（女性・60歳代）
- 家のことは女の仕事のように、メシ！フロ！フトン！の生活を数十年続けております。（女性・60歳代）
- 家事は女性のする事という考え方。（女性・60歳代）
- 家事・育児は女がするものという考えがいつになったらかわるのでしょうか。仕事をしながら働くお母さんの苦労が少しでも減ったと思います。休みがとりづらい病気の子供をどうするか仕事が残業になった時等々。（女性・60歳代）
- 家事は女性の仕事と思っている事。（女性・70歳代）
- 夫婦の年齢の差もあり男女平等の教育を受けていない事もあり、すべて家事においては、女性にまかされる事が多いです（家事は女性がするもの）という考えです。（女性・70歳代）
- 家事等女性がして当たり前と思われている（女性・70歳代）
- 冠婚葬祭を家族・親戚で行う際、男が行事を決定し相談が無い事が多い。（女性・80歳代）
- 男性というだけで邪魔者扱いされること。男性が加害者だろうという予定調和が人々の意識にある事。（男性・30歳代）
- 自分の家は結婚する際に「二人とも働きたい」ことを共有したので、家事も育児も仕事もすべて分担（むしろ時間に自由がきく仕事をしている父のほうの割合が多い）してるが、それはとても珍しいといわれる。特に、PTA や自治会活動などに男性がでていくと、役員になることが前提であるように扱われたり、女性がでていけないことを話すとイヤな顔をされたりする。未だに「女性は家」「男性は外」という意識が社会の中にとっても多く、仕組みがまったく変わっていない。（男性・30歳代）
- 家事は女性がするものと言う考えが多く、また社会においても、管理職は男性が多い。育児や家事は女性がするものとの考えがあるため、仕事もパートなどの選択肢しかなく、仕事をしたい女性の妨げになる。仕事でも男性が育児のために休むことを快く思わない所が多い。スーパーなどのお客さんも女性が多く、平等ならば男性も半々でいてもおかしくない。（男性・40歳代）
- 50歳以上の男性で女性は一生仕事を続けることは無いと口にする人が多く（女性を見下す感じで）、違和感を感じることもある。（男性・50歳代）

- 都市部では進んでいると思うが、地方部ではまだ社会通念上遅れていると思う。年代差もあると思うが…（男性・50歳代）
- 鹿児島は昔ながらの慣習(男尊女卑)が根強く残っている（男性・60歳代）
- 古事記の中にも書いてあるように、はるか昔から男女にはそれぞれの役割があり、地位は変わらないが、それぞれの役割は尊重されているのだと思います。武士の世の中でも、武士道が重んじられたり、武士でなくとも、武士道をそういうものだと受け入れてきたのだと思います。それが道徳の規範になっていたりするため、西洋のように男女が全く同じということにはなかなかかなりにくいのだと思います。地位は変わらないが、役割が違うものだと思います。（男性・60歳代）
- 年功序列がまだ続いている。（男性・70歳代）
- 女性らしく、女性のくせに（男性・70歳代）

■ 政治の場で（6件）

【主な意見】

- 政治家の割合、育児休業取得の割合（女性・30歳代）
- TVをみても、政治の中でも諸会議の中でも男性が多いので女性の考え方等が活かされていないと思う事が多々ある。（女性・70歳代）
- 女性議員が少ない事に不満です。（女性・80歳代）
- 先ずは、国会議員の男女比を平等にする為に、世襲議員の定数を減らす為に親族が議員になる時は、地盤や政治資金を引き継ぐ時は国民と同様に相続税を課すことで世襲議員が少なくなった人員を女性議員を増やし国政から男女平等を示さないと女性参画は進まないと思う。
（男性・60歳代）
- 市長の考え方その物が大事・市長の選挙中の言動にもされていない。（男性・80歳代）

■ 社会全体で（13件）

【主な意見】

- 不平等を感じ不快に思うことはないが、TV や SNS を見ると政治では男性の方が働く人が多いし、女性が家事・育児をする場面をよく見るから。（女性・30歳代）
- 同じ事をして、性別次第で許される、許されない。（女性・30歳代）
- 大分認知され、理解も進んではきているが、女性も同じだけ社会に出て、男性と同じく働く職場や、家庭で、女性は妊娠、出産での目にみえる身体面の考慮や、育児休暇等の制度は平等と感じる社会や、職場が増えている一方、女性の生理や、更年期や、更年期症状、子宮の病気を抱えながら働いている女性は多く、私自身がそのひとりであり、症状による、身体面や、心の面では、目にみえない事や、同じ女性間でも、症状が軽い方から、おもい方まで様々であること、とてもシビアでデリケートな問題とと捉えられ、まだまだ、しんどい、辛い、と伝えられない環境や、伝えてみても、理解されない、変わらない等で、痛みや、辛さを抱えながら働いている事が多いと感じます。時代が変わり、子供を通じてだと、子供が病気で、熱があるなどの早退や急遽休み等理解が進んでいる為、是非女性特有の理解し合える、伝えられる、話しやすい環境になれる社会を望みます（女性・40歳代）
- 政治家や職場の役席は圧倒的に男性が多い。女性は出産、子育ての中心者として奮闘しているにあまり認めてもらえなくて、当然という空気がある。（女性・50歳代）
- 男性が交渉事や何らかのことに前に出た時と女性が（女性だけがその場において判断しないとけないことの場合）では相手方の出方や話し方が変わる事。（女性・50歳代）
- 個人的に日常生活において不平等を感じる事はあまり無いが、TV等で観る政治や会社等の地位に男性が優遇されているように感じる。（女性・60歳代）
- 何の行事でも男性の方が主導権があるように思います。それでも良いと思います。
（女性・70歳代）

- 様々な会で女性が少ない（テレビで見ると女性の割合が少ない）（女性・70歳代）
- 小中高大学と進路が進んでいく過程で家庭の経済上の理由から男子女子の行く先を考える傾向がある。男子には職業は人生を左右するのでと家庭として考える。今は女子も生涯続ける職業が考えられるようになり、今後の社会制度を変えていく方へ。（女性・80歳代）
- 会社でもPTAなどでも役職は男性が選ばれることが多い。（男性・40歳代）
- 男女共同参画なのだが、ゆがんでいるような感じ。法制度は平等だが、一歩社会に出るとそうではない。歯がゆい思いがする。（男性・40歳代）
- 既婚女性の社会進出の機会が少ない。もしくはハードルが高い。（男性・60歳代）
- 各種団体の役職においても女性の登用が少ない現状にある。社会活動の取組みに女性の意識改革が必要である。（男性・70歳代）

■ その他（12件）

【主な意見】

- わからない。（女性・20歳代）
- 平等、不平等、、その判断って難しいですね。（女性・60歳代）
- 平等だと感じて生活しています（女性・70歳代）
- 女性の意見が通らない事が多いように思います。（女性・70歳代）
- 昔に比べて不平等感じない。（女性・80歳代）
- 男だからしっかりしろと言われる。（男性・20歳代）
- 最近では女性の社会進出を、という風潮が良くあるが、大事なのは「能力のあるものが、本人の性別になどによって、その能力を活かす機会を奪われてはならない」のであって、「とにかく女性の社会人進出を目指す」という訳ではなく、「男性は無意識に女性よりも優位にいると思っているはずだから、その意識を変えなければならない」という訳でもないということが分かっていない場面が時々ある。（男性・20歳代）
- 分からない。（男性・40歳代）
- 平等のはずであるが現在は男性が逆差別されている場合がある。（男性・70歳代）
- 女性の側が男性に対して劣等感みたいなものを持っているように思う。（男性・70歳代）
- 男だから女だからではなく力量に応じているので今のままで良い。特に女だから優遇するのはおかしい。（男性・70歳代）
- 男女間の肉体的構造で不平等があることが多々あると思う（男性・70歳代）

(3) 男女平等になるために重要なこと

問9 【問7①～⑧で、1 男性の方が非常に優遇されている、2 どちらかといえば男性の方が優遇されているに一つでも○がついた方におたずねします。】
あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(各項目についてあてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 2-28)

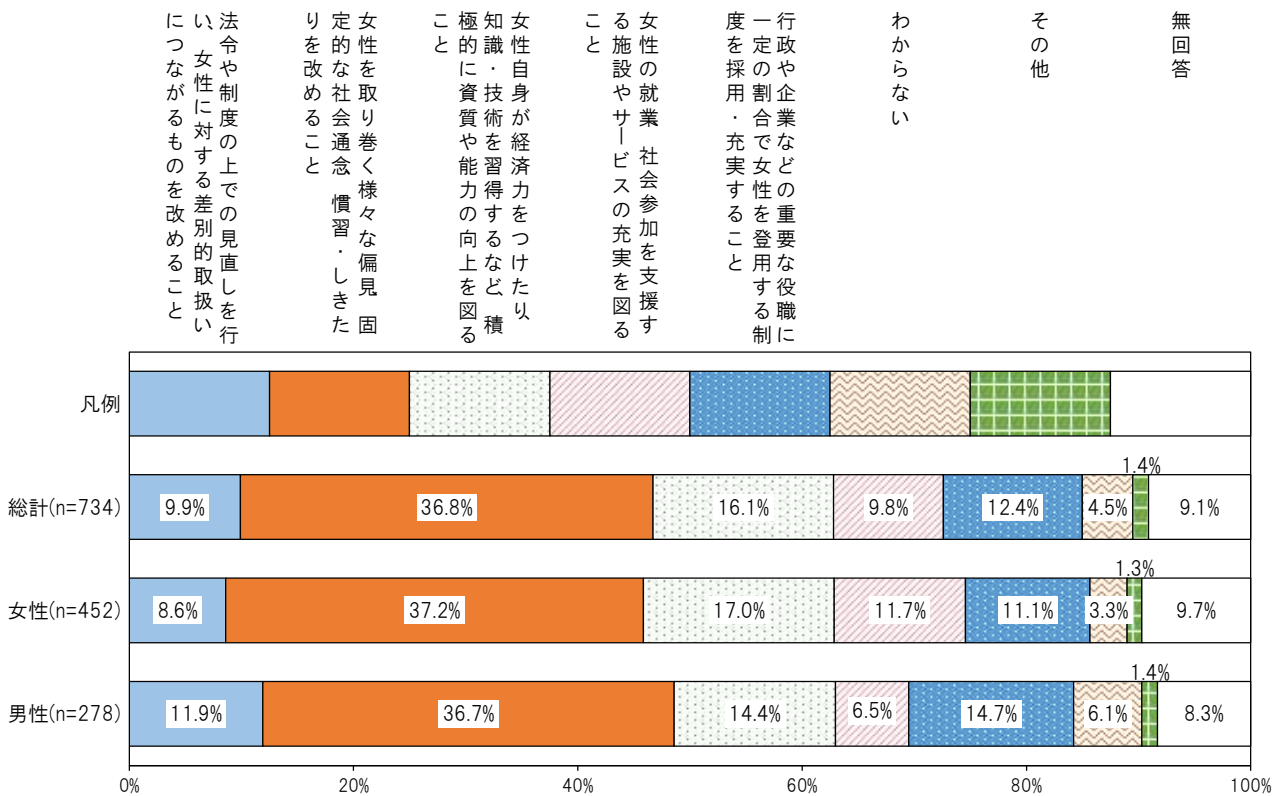
男女平等になるために重要なことについてみると、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」(36.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」(16.1%)、「行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」(12.4%)、「法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること」(9.9%)、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」(9.8%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 2-28、図表 2-29)

性別、年代別でみると、男女とも「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した割合が最も高くなっている。また、女性は「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」、が男性より高く、男性は「法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること」、「行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」が女性より高くなっている。

性・年代別にみると、80歳以上の男性は「わからない」と回答した割合が最も高くなっている。

図表 2-28 男女平等になるために重要なこと【総計、性別】



図表 2-29 男女平等になるために重要なこと【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	重要なこと							
		法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにならざるもの改めること	女性を取り巻く様々な偏見・固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	女性自身が経済力を高めたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること	女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	行政や企業などの重要な役割に一定割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	わからない	その他	無回答
総計	734 100.0%	73 9.9%	270 36.8%	118 16.1%	72 9.8%	91 12.4%	33 4.5%	10 1.4%	67 9.1%
女性	452 100.0%	39 8.6%	168 37.2%	77 17.0%	53 11.7%	50 11.1%	15 3.3%	6 1.3%	44 9.7%
10歳代	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
20歳代	22 100.0%	1 4.5%	10 45.5%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	44 100.0%	2 4.5%	15 34.1%	5 11.4%	12 27.3%	5 11.4%	1 2.3%	1 2.3%	3 6.8%
40歳代	76 100.0%	7 9.2%	31 40.8%	16 21.1%	7 9.2%	4 5.3%	4 5.3%	3 3.9%	4 5.3%
50歳代	78 100.0%	7 9.0%	37 47.4%	12 15.4%	7 9.0%	5 6.4%	2 2.6%	0 0.0%	8 10.3%
60歳代	97 100.0%	8 8.2%	40 41.2%	16 16.5%	7 7.2%	14 14.4%	2 2.1%	2 2.1%	8 8.2%
70歳代	93 100.0%	9 9.7%	23 24.7%	18 19.4%	10 10.8%	17 18.3%	3 3.2%	0 0.0%	13 14.0%
80歳以上	34 100.0%	3 8.8%	10 29.4%	5 14.7%	4 11.8%	3 8.8%	2 5.9%	0 0.0%	7 20.6%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
男性	278 100.0%	33 11.9%	102 36.7%	40 14.4%	18 6.5%	41 14.7%	17 6.1%	4 1.4%	23 8.3%
10歳代	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	14 100.0%	0 0.0%	9 64.3%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
30歳代	25 100.0%	4 16.0%	9 36.0%	3 12.0%	3 12.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 12.0%
40歳代	28 100.0%	4 14.3%	11 39.3%	4 14.3%	4 14.3%	2 7.1%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%
50歳代	39 100.0%	7 17.9%	15 38.5%	5 12.8%	0 0.0%	5 12.8%	2 5.1%	1 2.6%	4 10.3%
60歳代	74 100.0%	9 12.2%	32 43.2%	10 13.5%	7 9.5%	12 16.2%	2 2.7%	0 0.0%	2 2.7%
70歳代	76 100.0%	8 10.5%	23 30.3%	12 15.8%	4 5.3%	15 19.7%	3 3.9%	2 2.6%	9 11.8%
80歳以上	19 100.0%	0 0.0%	3 15.8%	3 15.8%	0 0.0%	4 21.1%	5 26.3%	1 5.3%	3 15.8%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別無回答ほか	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%

<その他意見（主なもの）>

- 管理職なってもライフワークバランスのある仕事ができる。家庭と仕事の両立の為、管理職は任せられないという考えがある。
- 男性も女性も自分の性に対してもお互いに対しても偏見や固定的な社会通念等を改めること。
- 高齢者にも働く場所の確保。
- 年齢が影響していると思います。今の若者は平等になっていると思います。
- 国や地方公共団体など例えば公務員が又は公共メディア（TV局）がお手本を示す。例として役場の管理職の半分を女性にする。物作りの会社が多い日本ではむしろ公務員の方が女性が活躍すると思う。
- まず全てにおいて、人口の男女比で構成するようにすること
- 組織のトップ次第だからトップ教育をすべきである。
- 5はおかしい。頑張った男性はどうなるのですか？
- TPOに合わせてしていけばいい
- やはり職種によって男性に適した仕事もあるので一概には言えない
- 今のままで構わない

(4) 性別による負担感や生きづらさの有無

問 10 あなたは、「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 2-30)

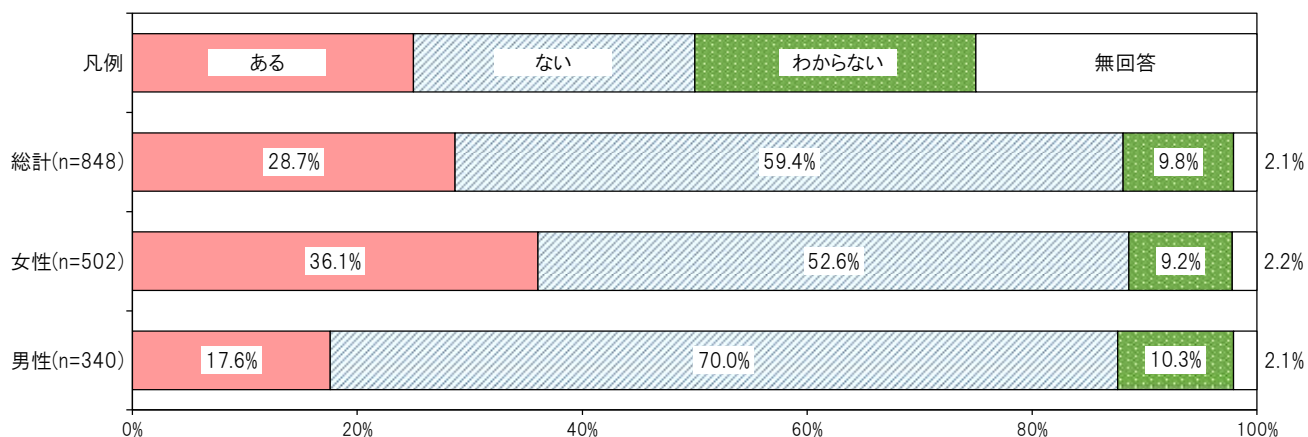
「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさについてみると、「ない」が59.4%、「ある」が28.7%、「わからない」が9.8%となっており、「ない」の割合が過半数を占めている。

[性別、性・年代別] (図表 2-30、図表 2-31)

性別で見ると、男女とも「ない」と回答した割合が最も高くなっている。「ある」と回答した割合は女性が男性より18.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、60歳代の女性は「ある」と回答した割合が最も高くなっている。

図表 2-30 性別による負担感や生きづらさの有無【総計、性別】



図表 2-31 性別による負担感や生きづらさの有無【性・年代別】

		サンプル数	ある	ない	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)						
総計		848	243	504	83	18
		100.0%	28.7%	59.4%	9.8%	2.1%
性・年代別	女性	502	181	264	46	11
		100.0%	36.1%	52.6%	9.2%	2.2%
	10歳代	9	2	6	1	0
		100.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
	20歳代	25	9	12	4	0
		100.0%	36.0%	48.0%	16.0%	0.0%
	30歳代	44	16	18	10	0
		100.0%	36.4%	40.9%	22.7%	0.0%
	40歳代	82	37	42	3	0
		100.0%	45.1%	51.2%	3.7%	0.0%
	50歳代	83	26	42	12	3
		100.0%	31.3%	50.6%	14.5%	3.6%
	60歳代	105	50	49	6	0
		100.0%	47.6%	46.7%	5.7%	0.0%
	70歳代	111	32	70	6	3
		100.0%	28.8%	63.1%	5.4%	2.7%
	80歳以上	43	9	25	4	5
		100.0%	20.9%	58.1%	9.3%	11.6%
	無回答	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	60	238	35	7	
	100.0%	17.6%	70.0%	10.3%	2.1%	
10歳代	5	1	2	2	0	
	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	
20歳代	18	5	10	3	0	
	100.0%	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%	
30歳代	28	10	16	2	0	
	100.0%	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%	
40歳代	33	12	16	4	1	
	100.0%	36.4%	48.5%	12.1%	3.0%	
50歳代	44	12	25	7	0	
	100.0%	27.3%	56.8%	15.9%	0.0%	
60歳代	87	12	64	9	2	
	100.0%	13.8%	73.6%	10.3%	2.3%	
70歳代	96	8	82	4	2	
	100.0%	8.3%	85.4%	4.2%	2.1%	
80歳以上	28	0	22	4	2	
	100.0%	0.0%	78.6%	14.3%	7.1%	
無回答	1	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	2	2	2	0	
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	

(5) 性別による負担感や生きづらさの内容

問 11

【問 10 で、「1 ある」と答えた方におたずねします。】

それは、どのようなときに感じましたか。(あてはまるものをすべて選択)

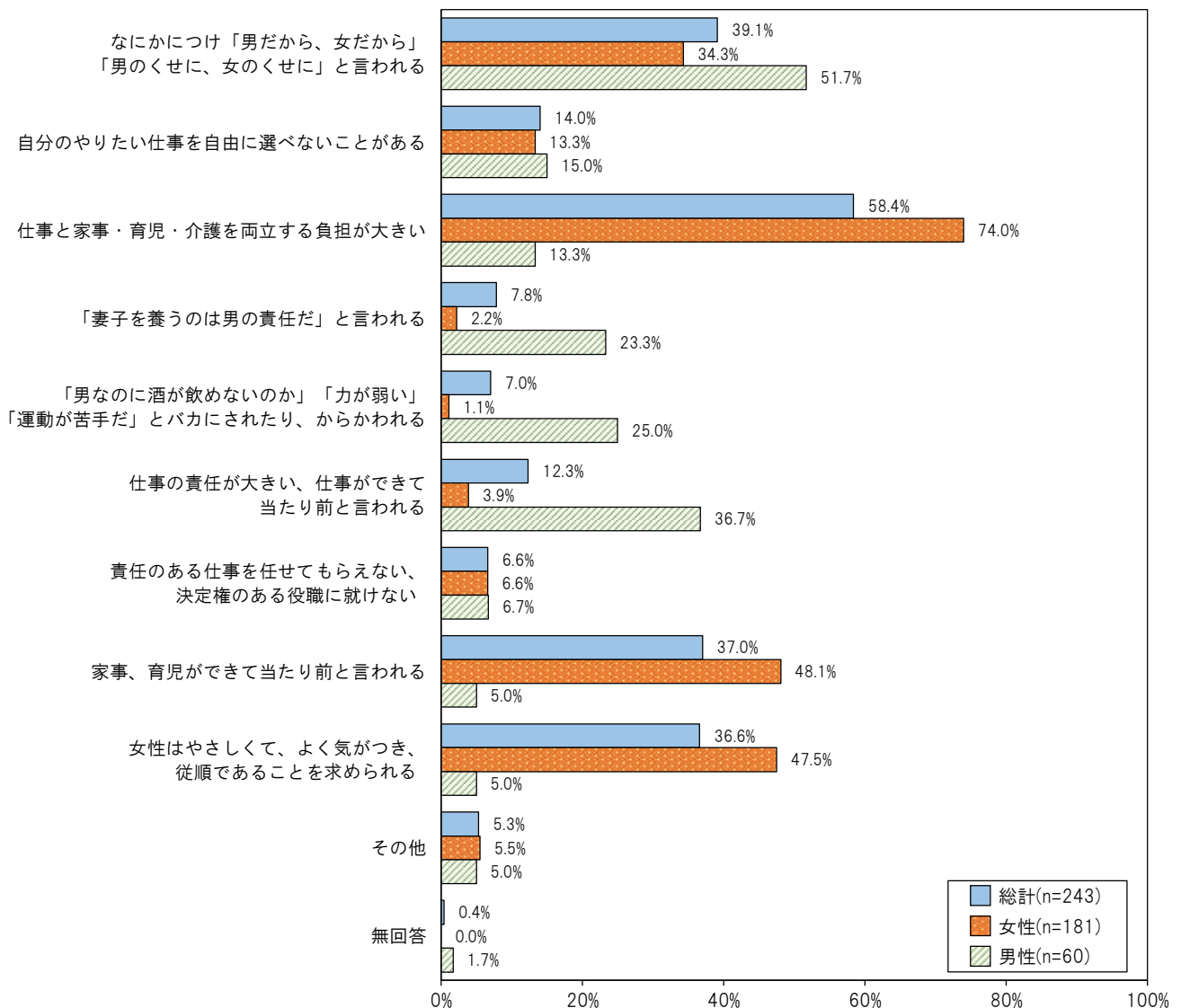
[全体] (図表 2-32)

性別による負担感や生きづらさを感じていることについては、「仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい」(58.4%)と回答した割合が最も高く、次いで「なにかにつけ「男だから、女だから」「男のくせに、女のくせに」と言われる」(39.1%)、「家事、育児ができて当たり前と言われる」(37.0%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 2-32、図表 2-33)

性別でみると、女性は「仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい」(74.0%)、男性は「なにかにつけ「男だから、女だから」「男のくせに、女のくせに」と言われる」(51.7%)と回答した割合が最も高くなっている。また、女性は「仕事と家事・育児・介護を両立する負担が大きい」と回答した割合が男性より60.7ポイント高くなっており、男性は「仕事の責任が大きい、仕事ができる当たり前と言われる」と回答した割合が女性より32.8ポイント高くなっている。

図表 2-32 性別による負担感や生きづらさの内容・複数回答【総計、性別】



図表 2-33 性別による負担感や生きづらさの内容・複数回答【性・年代別】

		サンプル数	なにかからは男だから女だから「男のくせに女のくせに」と言われる	自分のやりたい仕事を自由に選ぶことがある	仕事と家事 育児 介護を両立する負担が大きい	「妻子を養うのは男の責任だ」と言われる	「男なのに酒が飲めないのか」「力が弱い」「運動が苦手」と穴にされたりからかわれる	仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と言われる	責任のある仕事を任せてもらえない、決定権のある役割に就けない	家事 育児ができて当たり前と言われる	女性はやさしくてよく気がつき 従順であることを求められる	その他	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)													
総計		243	95	34	142	19	17	30	16	90	89	13	1
		100.0%	39.1%	14.0%	58.4%	7.8%	7.0%	12.3%	6.6%	37.0%	36.6%	5.3%	0.4%
性・年代別	女性	181	62	24	134	4	2	7	12	87	86	10	0
		100.0%	34.3%	13.3%	74.0%	2.2%	1.1%	3.9%	6.6%	48.1%	47.5%	5.5%	0.0%
	10歳代	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	20歳代	9	3	2	4	0	0	1	0	3	5	0	0
		100.0%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%
	30歳代	16	5	5	11	1	0	1	0	6	9	3	0
		100.0%	31.3%	31.3%	68.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	37.5%	56.3%	18.8%	0.0%
	40歳代	37	9	4	30	0	0	0	4	18	15	3	0
		100.0%	24.3%	10.8%	81.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	48.6%	40.5%	8.1%	0.0%
	50歳代	26	11	3	23	0	1	0	1	14	17	0	0
		100.0%	42.3%	11.5%	88.5%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	53.8%	65.4%	0.0%	0.0%
	60歳代	50	14	4	36	2	1	2	5	22	17	2	0
		100.0%	28.0%	8.0%	72.0%	4.0%	2.0%	4.0%	10.0%	44.0%	34.0%	4.0%	0.0%
	70歳代	32	14	3	24	0	0	3	1	19	18	0	0
		100.0%	43.8%	9.4%	75.0%	0.0%	0.0%	9.4%	3.1%	59.4%	56.3%	0.0%	0.0%
	80歳以上	9	5	3	6	1	0	0	1	5	5	1	0
		100.0%	55.6%	33.3%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	55.6%	11.1%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	60	31	9	8	14	15	22	4	3	3	3	1
	100.0%	51.7%	15.0%	13.3%	23.3%	25.0%	36.7%	6.7%	5.0%	5.0%	5.0%	1.7%	
10歳代	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	5	5	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	10	4	2	2	2	4	3	0	0	0	0	0	
	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	12	6	2	4	3	2	4	0	1	1	0	0	
	100.0%	50.0%	16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	
50歳代	12	5	1	1	4	4	4	2	0	0	1	0	
	100.0%	41.7%	8.3%	8.3%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	
60歳代	12	6	3	0	3	0	7	0	0	0	0	1	
	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	
70歳代	8	4	0	1	2	1	3	2	2	1	1	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

<その他意見（主なもの）>

- 仕事の分担が平等でない。男への負担大
- 女性は責任を平等に担当しない事が多い。
- 家の事は主婦がする事があたりまえと思っている事
- 転勤など、夫が中心に物事を決められること
- 自分が仕事をすることで、父親側が会社で居ずらくなることがあったり、そういう話を聞くと子どもがいて働きたいのはわがままなのかなと感じてしまうことがあり、ストレスを感じる。
- 介護
- 介護は主婦の必須の事柄だ
- 出産は女性しかできないこと。それが喜びである反面、負担（外出の制限 etc）に感じることはある。
- 生理痛がきついからです。
- 生理などきつい事がわかってもらえない場合もある。
- 男だから跡つぎになる（家系）
- 女性は容姿で判断される。

(6) 関連用語の認知度

問 12 あなたは、男女共同参画に関連の深い用語について知っていますか。
(各項目についてあてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 2-34)

男女共同参画の関連用語の認知度についてみると、「よく知っている」と回答した割合は「男女雇用機会均等法」(34.1%)が最も高く、次いで「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」(26.5%)、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」(23.9%)の順となっている。

また、「知らない」と回答した割合は、「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」(68.4%)、「アウティング(本人の了承なくその人の性的指向や性自認について暴露すること)」(66.5%)、「ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」(66.2%)で6割を超えている。

[性別、性・年代別] (図表 2-35～図表 2-38)

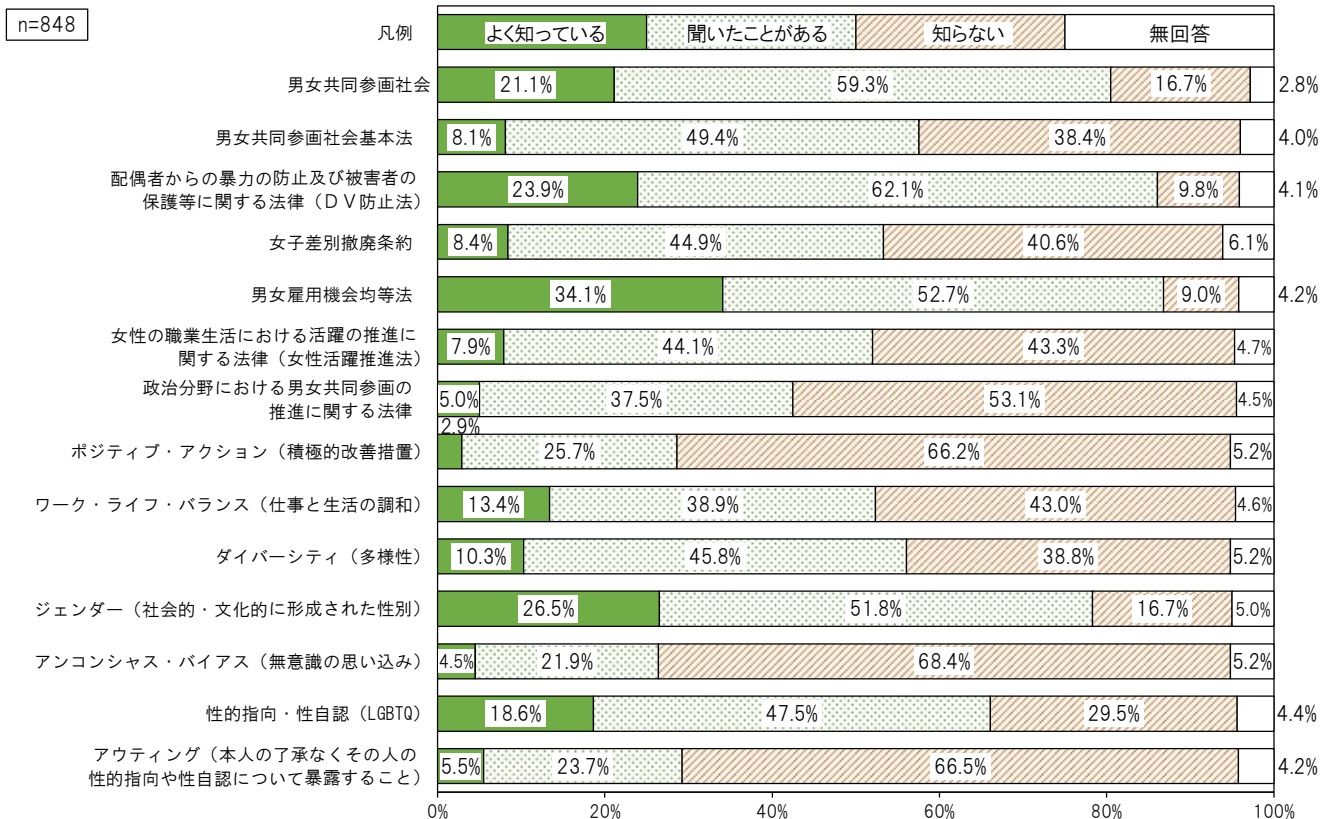
性別でみると、「よく知っている」と回答した割合は「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」、「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」、「性的指向・性自認(LGBTQ)」を除く用語については、男性が女性より高くなっている。

性・年代別でみると、「性的指向・性自認(LGBTQ)」を「よく知っている」と回答した割合は20歳代以下の女性と10歳代以下の男性で4割を超えている。一方、20歳代の男女ともに「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」、「ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」を「よく知っている」と回答した人はいなかった。

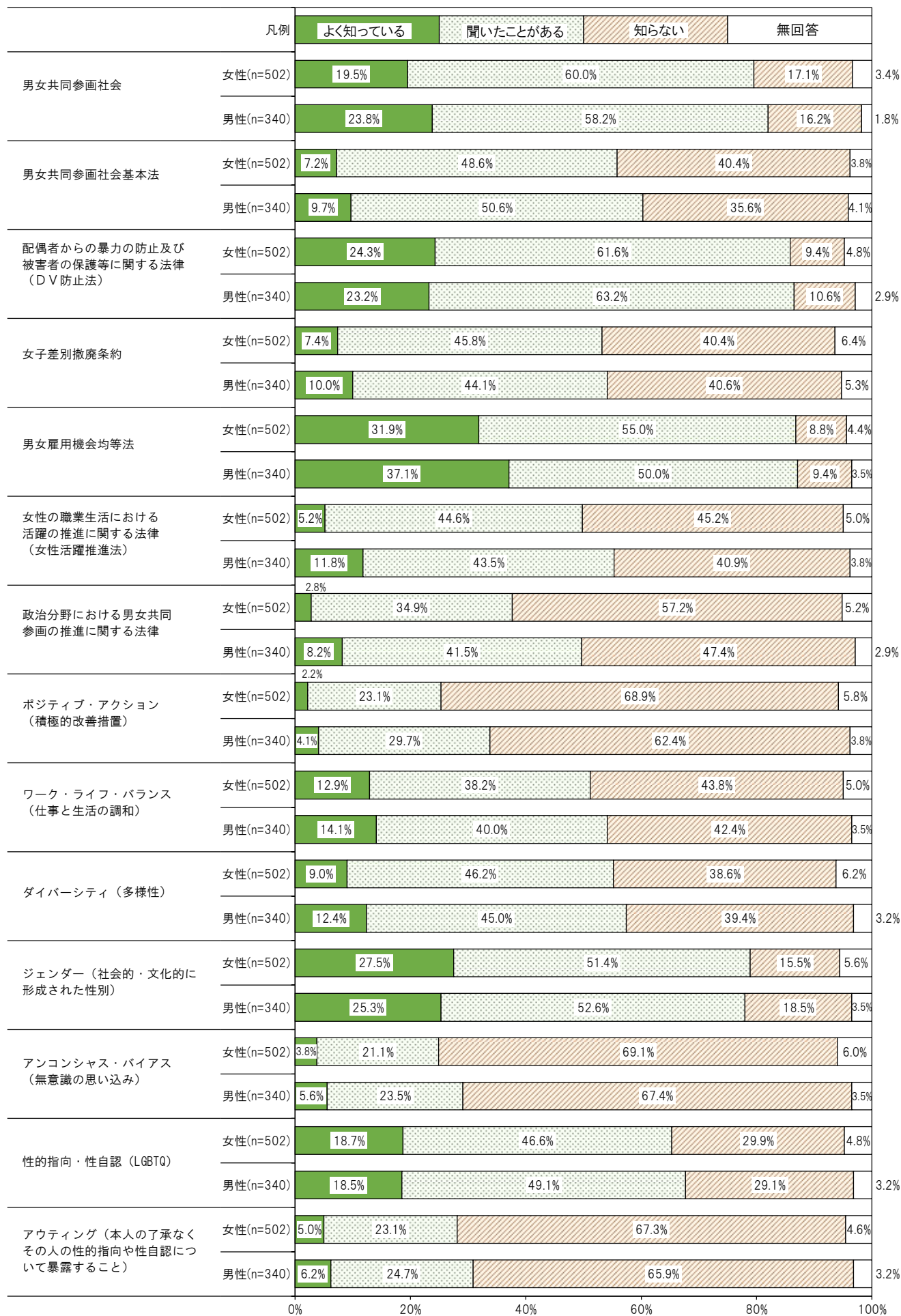
[前回調査との比較] (図表 2-39)

前回調査と比較すると、『知っている』(「よく知っている」+「聞いたことがある」)と回答した割合は、「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」が31.4ポイント、「ダイバーシティ(多様性)」が23.9ポイント増加している。

図表 2-34 関連用語の認知度【総計】



図表 2-35 関連用語の認知度【性別】



図表 2-36 関連用語の認知度【性・年代別、前回調査】1/3

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	男女共同参画社会				男女共同参画社会基本法				配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)				女子差別撤廃条約				男女雇用機会均等法			
		よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答
総計	848	179	503	142	24	69	419	326	34	203	527	83	35	71	381	344	52	289	447	76	36
100.0%	21.1%	59.3%	16.7%	2.8%	8.1%	49.4%	38.4%	4.0%	23.9%	62.1%	9.8%	4.1%	8.4%	44.9%	40.6%	6.1%	34.1%	52.7%	9.0%	4.2%	
平成29年度始良市調査	987	263	498	191	35	123	455	370	39	342	526	89	30	148	455	348	36	394	459	95	39
100.0%	26.6%	50.5%	19.4%	3.5%	12.5%	46.1%	37.5%	4.0%	34.7%	53.3%	9.0%	3.0%	15.0%	46.1%	35.3%	3.6%	39.9%	46.5%	9.6%	4.0%	
女性	502	98	301	86	17	36	244	203	19	122	309	47	24	37	230	203	32	160	276	44	22
100.0%	19.5%	60.0%	17.1%	3.4%	7.2%	48.6%	40.4%	3.8%	24.3%	61.6%	9.4%	4.8%	7.4%	45.8%	40.4%	6.4%	31.9%	55.0%	8.8%	4.4%	
10歳代	9	3	5	1	0	2	6	1	0	1	7	1	0	1	8	0	0	3	6	0	0
100.0%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	
20歳代	25	2	20	3	0	2	19	4	0	2	21	4	0	13	12	0	3	20	2	0	
100.0%	8.0%	80.0%	12.0%	0.0%	8.0%	76.0%	16.0%	0.0%	0.0%	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	52.0%	48.0%	0.0%	12.0%	80.0%	8.0%	0.0%	
30歳代	44	7	31	5	1	3	30	11	0	10	30	3	1	5	19	1	14	25	5	0	
100.0%	15.9%	70.5%	11.4%	2.3%	6.8%	68.2%	25.0%	0.0%	22.7%	68.2%	6.8%	2.3%	11.4%	43.2%	2.3%	31.8%	56.8%	11.4%	0.0%		
40歳代	82	14	52	16	0	6	44	31	1	22	56	3	1	7	37	1	26	52	3	1	
100.0%	17.1%	63.4%	19.5%	0.0%	7.3%	53.7%	37.8%	1.2%	26.8%	68.3%	3.7%	1.2%	8.5%	45.1%	1.2%	31.7%	63.4%	3.7%	1.2%		
50歳代	83	18	44	18	3	6	37	38	2	23	49	9	2	5	33	4	33	42	5	3	
100.0%	21.7%	53.0%	21.7%	3.6%	7.2%	44.6%	45.8%	2.4%	27.9%	59.0%	10.8%	2.4%	6.0%	39.8%	2.4%	39.8%	50.6%	6.0%	3.6%		
60歳代	105	26	54	19	6	5	50	45	5	25	64	11	5	5	58	34	8	34	55	11	
100.0%	24.8%	51.4%	18.1%	5.7%	4.8%	47.6%	42.9%	4.8%	23.8%	61.0%	10.5%	4.8%	4.8%	55.2%	32.4%	7.6%	32.4%	52.4%	10.5%	4.8%	
70歳代	111	20	69	17	5	8	43	55	5	29	63	9	10	10	47	13	36	54	12	9	
100.0%	18.0%	62.2%	15.3%	4.5%	7.2%	38.7%	49.5%	4.5%	26.1%	56.8%	8.1%	9.0%	9.0%	42.3%	36.9%	11.7%	32.4%	48.6%	10.8%	8.1%	
80歳以上	43	8	26	7	2	4	15	18	6	12	19	7	5	4	15	7	11	22	6	4	
100.0%	18.6%	60.5%	16.3%	4.7%	9.3%	34.9%	41.9%	14.0%	27.9%	44.2%	16.3%	11.6%	9.3%	39.5%	16.3%	25.6%	51.2%	14.0%	9.3%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	340	81	198	55	6	33	172	121	14	79	215	36	10	34	150	138	18	126	170	32	12
100.0%	23.8%	56.2%	16.2%	1.8%	9.7%	50.6%	35.6%	4.1%	23.2%	63.2%	10.6%	2.9%	10.0%	44.1%	40.6%	5.3%	37.1%	50.0%	9.4%	3.5%	
10歳代	5	3	2	0	0	3	2	0	0	3	2	0	0	2	1	0	0	3	2	0	
100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	18	3	11	4	0	3	10	5	0	2	13	3	0	1	11	6	0	4	9	5	
100.0%	16.7%	61.1%	22.2%	0.0%	16.7%	55.6%	27.8%	0.0%	11.1%	72.2%	16.7%	0.0%	5.6%	61.1%	33.3%	0.0%	22.2%	50.0%	27.8%	0.0%	
30歳代	28	7	18	3	0	6	16	5	1	8	18	2	0	8	13	7	0	12	16	0	
100.0%	25.0%	64.3%	10.7%	0.0%	21.4%	57.1%	17.9%	3.6%	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	28.6%	46.4%	25.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	
40歳代	33	6	17	10	0	4	12	17	0	9	21	3	0	3	16	12	2	15	14	4	
100.0%	18.2%	51.5%	30.3%	0.0%	12.1%	36.4%	51.5%	0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	9.1%	48.5%	36.4%	6.1%	45.5%	42.4%	12.1%	0.0%	
50歳代	44	8	29	7	0	3	22	19	0	13	27	4	0	3	21	18	2	17	22	5	
100.0%	18.2%	65.9%	15.9%	0.0%	6.8%	50.0%	43.2%	0.0%	29.5%	61.4%	9.1%	0.0%	6.8%	47.7%	40.9%	4.5%	38.6%	50.0%	11.4%	0.0%	
60歳代	87	20	52	12	3	3	50	31	3	18	58	8	3	2	41	37	3	37	43	4	
100.0%	23.0%	59.8%	13.8%	3.4%	3.4%	57.5%	35.6%	3.4%	20.7%	66.7%	9.2%	3.4%	2.3%	47.1%	47.1%	3.4%	42.5%	49.4%	4.6%	3.4%	
70歳代	96	30	51	13	2	9	47	33	7	22	60	8	6	11	37	39	9	31	51	8	
100.0%	31.3%	53.1%	13.5%	2.1%	9.4%	49.0%	34.4%	7.3%	22.9%	62.5%	8.3%	6.3%	11.5%	38.5%	40.6%	9.4%	32.3%	53.1%	8.3%	6.3%	
80歳以上	28	4	17	6	1	2	13	11	2	3	16	8	1	3	9	14	2	7	12	6	
100.0%	14.3%	60.7%	21.4%	3.6%	7.1%	46.4%	39.3%	7.1%	10.7%	57.1%	28.6%	3.6%	10.7%	32.1%	50.0%	7.1%	25.0%	42.9%	21.4%	10.7%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	4	1	1	0	3	2	1	2	3	0	1	0	1	3	2	3	1	0	
100.0%	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	

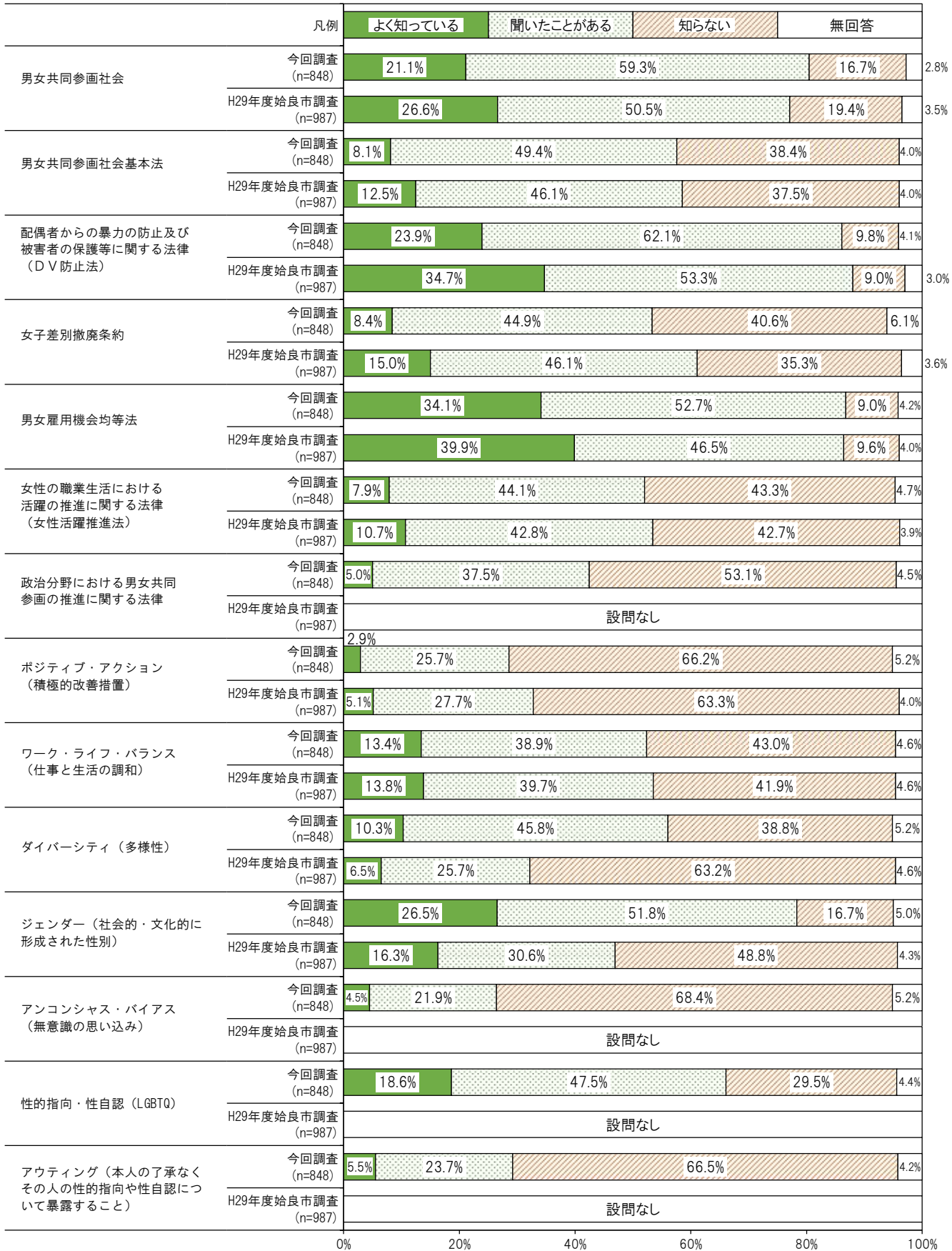
図表 2-37 関連用語の認知度【性・年代別、前回調査】2/3

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)				政治分野における男女共同参画の推進に関する法律				ポジティブ・アクション(積極的改善措置)				ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)				ダイバーシティ(多様性)			
		よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知っています	無回答
総計	848	67	374	367	40	42	318	450	38	25	218	561	44	114	330	365	39	87	388	329	44
100.0%	7.9%	44.1%	43.3%	4.7%	5.0%	37.5%	53.1%	4.5%	2.9%	25.7%	66.2%	5.2%	13.4%	38.9%	43.0%	4.6%	10.3%	45.8%	38.8%	5.2%	
平成29年度始良市調査	987	106	422	421	38	-	-	-	-	50	273	625	39	136	392	414	45	64	254	624	45
100.0%	10.7%	42.8%	42.7%	3.9%	-	-	-	-	-	5.1%	63.3%	4.0%	13.8%	39.7%	41.9%	4.6%	6.5%	25.7%	63.2%	4.6%	
女性	502	26	224	227	25	14	175	287	26	11	116	346	29	65	192	220	25	45	232	194	31
100.0%	5.2%	44.6%	45.2%	5.0%	2.8%	34.9%	57.2%	5.2%	2.2%	23.1%	68.9%	5.8%	12.9%	38.2%	43.8%	5.0%	9.0%	46.2%	38.6%	6.2%	
10歳代	9	0	7	2	0	0	2	6	1	1	4	4	0	4	5	0	0	2	6	1	
100.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	
20歳代	25	0	14	11	0	0	11	14	0	0	2	23	0	10	9	6	0	4	14	7	
100.0%	0.0%	56.0%	44.0%	0.0%	0.0%	44.0%	56.0%	0.0%	0.0%	8.0%	92.0%	0.0%	40.0%	36.0%	24.0%	0.0%	16.0%	56.0%	28.0%	0.0%	
30歳代	44	4	21	19	0	2	14	28	0	1	8	35	0	10	21	12	1	8	25	11	
100.0%	9.1%	47.7%	43.2%	0.0%	4.5%	31.8%	63.6%	0.0%	2.3%	18.2%	79.5%	0.0%	22.7%	47.7%	27.3%	2.3%	18.2%	56.8%			

図表 2-38 関連用語の認知度【性・年代別、前回調査】3/3

上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	ジェンダー (社会的・文化的に形成された性別)				アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)				性的指向・性自認 (LGBTQ)				アウトティング (本人の了承なく その人の性的指向や性自認につ いて暴露すること)			
		よく知っている	聞いたことがある	知らず	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らず	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らず	無回答	よく知っている	聞いたことがある	知らず	無回答
総計	848	225	439	142	42	38	186	580	44	158	403	250	37	47	201	564	36
	100.0%	26.5%	51.8%	16.7%	5.0%	4.5%	21.9%	68.4%	5.2%	18.6%	47.5%	29.5%	4.4%	5.5%	23.7%	66.5%	4.2%
平成29年度始良市調査	987	161	302	482	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0%	16.3%	30.6%	48.8%	4.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	502	138	258	78	28	19	106	347	30	94	234	150	24	25	116	338	23
	100.0%	27.5%	51.4%	15.5%	5.6%	3.8%	21.1%	69.1%	6.0%	18.7%	46.6%	29.9%	4.8%	5.0%	23.1%	67.3%	4.6%
10歳代	9	5	3	1	0	1	1	7	0	6	2	1	0	2	4	3	0
	100.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%
20歳代	25	8	16	1	0	2	5	18	0	11	12	2	0	5	7	13	0
	100.0%	32.0%	64.0%	4.0%	0.0%	8.0%	20.0%	72.0%	0.0%	44.0%	48.0%	8.0%	0.0%	20.0%	28.0%	52.0%	0.0%
30歳代	44	17	24	3	0	2	11	31	0	14	24	5	1	2	12	30	0
	100.0%	38.6%	54.5%	6.8%	0.0%	4.5%	25.0%	70.5%	0.0%	31.8%	54.5%	11.4%	2.3%	4.5%	27.3%	68.2%	0.0%
40歳代	82	29	50	3	0	4	21	55	2	24	45	13	0	6	19	56	1
	100.0%	35.4%	61.0%	3.7%	0.0%	4.9%	25.6%	67.1%	2.4%	29.3%	54.9%	15.9%	0.0%	7.3%	23.2%	68.3%	1.2%
50歳代	83	30	42	7	4	6	16	59	2	15	44	22	2	3	20	58	2
	100.0%	36.1%	50.6%	8.4%	4.8%	7.2%	19.3%	71.1%	2.4%	18.1%	53.0%	26.5%	2.4%	3.6%	24.1%	69.9%	2.4%
60歳代	105	26	56	18	5	3	22	73	7	16	48	35	6	4	20	76	5
	100.0%	24.8%	53.3%	17.1%	4.8%	2.9%	21.0%	69.5%	6.7%	15.2%	45.7%	33.3%	5.7%	3.8%	19.0%	72.4%	4.8%
70歳代	111	18	55	26	12	0	25	74	12	7	46	48	10	1	29	71	10
	100.0%	16.2%	49.5%	23.4%	10.8%	0.0%	22.5%	66.7%	10.8%	6.3%	41.4%	43.2%	9.0%	0.9%	26.1%	64.0%	9.0%
80歳以上	43	5	12	19	7	1	5	30	7	1	13	24	5	2	5	31	5
	100.0%	11.6%	27.9%	44.2%	16.3%	2.3%	11.6%	69.8%	16.3%	2.3%	30.2%	55.8%	11.6%	4.7%	11.6%	72.1%	11.6%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	86	179	63	12	19	80	229	12	63	167	99	11	21	84	224	11
	100.0%	25.3%	52.6%	18.5%	3.5%	5.6%	23.5%	67.4%	3.5%	18.5%	49.1%	29.1%	3.2%	6.2%	24.7%	65.9%	3.2%
10歳代	5	3	1	0	1	3	1	1	0	4	1	0	0	3	1	1	0
	100.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20歳代	18	3	13	2	0	0	4	14	0	4	10	4	0	1	3	14	0
	100.0%	16.7%	72.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	5.6%	16.7%	77.8%	0.0%
30歳代	28	15	11	2	0	6	8	14	0	13	10	4	1	6	9	13	0
	100.0%	53.6%	39.3%	7.1%	0.0%	21.4%	28.6%	50.0%	0.0%	46.4%	35.7%	14.3%	3.6%	21.4%	32.1%	46.4%	0.0%
40歳代	33	12	18	3	0	4	7	21	1	8	20	5	0	4	14	14	1
	100.0%	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	12.1%	21.2%	63.6%	3.0%	24.2%	60.6%	15.2%	0.0%	12.1%	42.4%	42.4%	3.0%
50歳代	44	15	25	4	0	1	11	32	0	11	22	11	0	2	9	33	0
	100.0%	34.1%	56.8%	9.1%	0.0%	2.3%	25.0%	72.7%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	4.5%	20.5%	75.0%	0.0%
60歳代	87	20	48	15	4	1	24	59	3	12	43	29	3	3	23	58	3
	100.0%	23.0%	55.2%	17.2%	4.6%	1.1%	27.6%	67.8%	3.4%	13.8%	49.4%	33.3%	3.4%	3.4%	26.4%	66.7%	3.4%
70歳代	96	14	53	24	5	3	21	66	6	10	52	29	5	2	20	69	5
	100.0%	14.6%	55.2%	25.0%	5.2%	3.1%	21.9%	68.8%	6.3%	10.4%	54.2%	30.2%	5.2%	2.1%	20.8%	71.9%	5.2%
80歳以上	28	4	9	13	2	1	3	22	2	1	8	17	2	0	4	22	2
	100.0%	14.3%	32.1%	46.4%	7.1%	3.6%	10.7%	78.6%	7.1%	3.6%	28.6%	60.7%	7.1%	0.0%	14.3%	78.6%	7.1%
無回答	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
性別無回答ほか	6	1	2	1	2	0	0	4	2	1	2	1	2	1	1	2	2
	100.0%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%

図表 2-39 関連用語の認知度【総計、前回調査】



3. 就業について

(1) 女性が職業をもつことについての考え

問 13 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。
(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 3-1)

就業についてみると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」(56.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(24.1%)、「その他」(10.0%)、「結婚するまでは、職業をもつ方がよい」「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」(2.9%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-1、図表 3-2)

性別でみると、男女とも「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が最も高く半数を占めている。

性・年代別でみると、20歳代女性の「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が他の年代と比較して低く5割以下であった。また、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合では女性は20歳代、男性は70歳代が最も高くなっている。

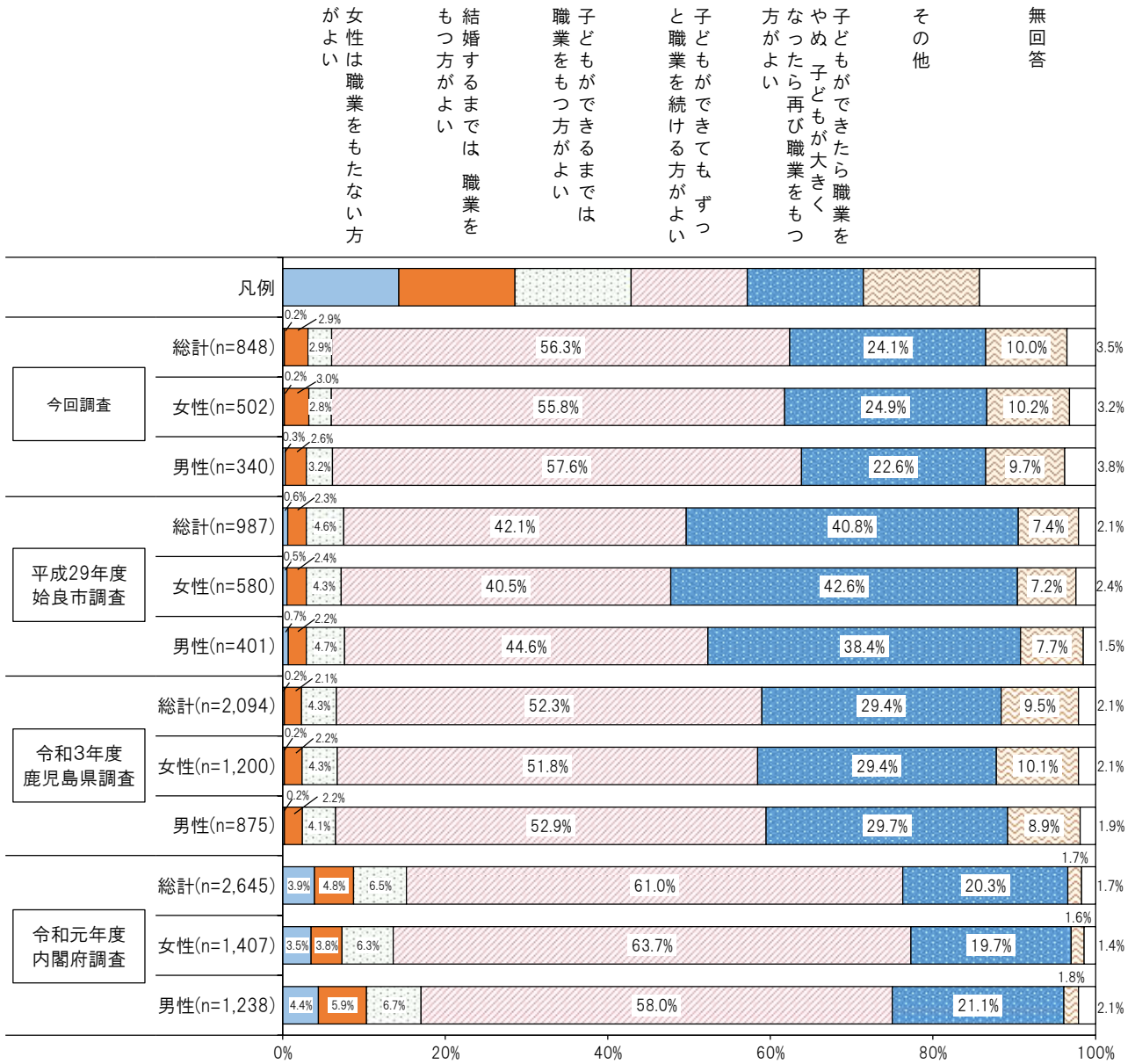
[前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査との比較] (図表 3-1)

前回調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は14.2ポイント増加、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は16.7ポイント減少している。

鹿児島県調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は4.0ポイント高くなっており、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は5.3ポイント低くなっている。

内閣府調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は4.7ポイント低くなっており、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は、3.8ポイント高くなっている。

図表 3-1 就業について【総計、性別、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 3-2 就業について【性・年代別、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】

	サンプル数	女性は職業をもたない方がよい	結婚するまでは職業をもち方がよい	子どもができては職業をもち方がよい	子どもができてはまずと職業を続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ子どもが大きくなったら再び職業をもち方がよい	その他	無回答	
									上段: 度数
総計	848	2	25	25	477	204	85	30	
	100.0%	0.2%	2.9%	2.9%	56.3%	24.1%	10.0%	3.5%	
平成29年度始良市調査	987	6	23	45	416	403	73	21	
	100.0%	0.6%	2.3%	4.6%	42.1%	40.8%	7.4%	2.1%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	4	45	90	1,095	616	199	45	
	100.0%	0.2%	2.1%	4.3%	52.3%	29.4%	9.5%	2.1%	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0%	3.9%	4.8%	6.5%	61.0%	20.3%	1.7%	1.7%	
性・年代別	女性	502	1	15	14	280	125	51	16
		100.0%	0.2%	3.0%	2.8%	55.8%	24.9%	10.2%	3.2%
	10歳代	9	0	0	0	7	2	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	0	1	0	11	9	3	1
		100.0%	0.0%	4.0%	0.0%	44.0%	36.0%	12.0%	4.0%
	30歳代	44	0	0	0	33	5	6	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	11.4%	13.6%	0.0%
	40歳代	82	0	0	2	55	14	11	0
		100.0%	0.0%	0.0%	2.4%	67.1%	17.1%	13.4%	0.0%
	50歳代	83	0	2	4	48	17	10	2
		100.0%	0.0%	2.4%	4.8%	57.8%	20.5%	12.0%	2.4%
	60歳代	105	1	3	1	53	29	13	5
		100.0%	1.0%	2.9%	1.0%	50.5%	27.6%	12.4%	4.8%
	70歳代	111	0	6	2	53	37	7	6
		100.0%	0.0%	5.4%	1.8%	47.7%	33.3%	6.3%	5.4%
	80歳以上	43	0	3	5	20	12	1	2
		100.0%	0.0%	7.0%	11.6%	46.5%	27.9%	2.3%	4.7%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	1	9	11	196	77	33	13	
	100.0%	0.3%	2.6%	3.2%	57.6%	22.6%	9.7%	3.8%	
10歳代	5	0	0	0	3	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
20歳代	18	0	0	3	9	2	4	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	11.1%	22.2%	0.0%	
30歳代	28	0	0	1	18	2	7	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	3.6%	64.3%	7.1%	25.0%	0.0%	
40歳代	33	0	0	1	21	4	5	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	3.0%	63.6%	12.1%	15.2%	6.1%	
50歳代	44	0	0	1	30	9	3	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	2.3%	68.2%	20.5%	6.8%	2.3%	
60歳代	87	0	2	2	54	18	9	2	
	100.0%	0.0%	2.3%	2.3%	62.1%	20.7%	10.3%	2.3%	
70歳代	96	0	5	2	47	35	3	4	
	100.0%	0.0%	5.2%	2.1%	49.0%	36.5%	3.1%	4.2%	
80歳以上	28	1	2	1	14	6	1	3	
	100.0%	3.6%	7.1%	3.6%	50.0%	21.4%	3.6%	10.7%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
性別無回答ほか	6	0	1	0	1	2	1	1	
	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	

<その他意見（主なもの）>

- 自由
- 本人が好きな選択ができることが大切
- 本人（個人の生活状況で）次第の考えで決める。
- 好きにできたらよい。
- 本人が思うように！
- 働きたいなら働けば良い。
- 個人それぞれの考え方があると思う。
- 人それぞれの思いでやればいい。
- 働きたい人が働けば良い。
- 就業については、個人の考えや状況によると思っています。
- その人の思った通り。
- 本人の意思。
- 個人の自由。（同様1件）
- 本人ができるという覚悟でするなら本人が決定してよい
- 個人の自由なのでどの考えでもよし
- 人それぞれの考え方があるからどちらともいえない
- 1人1人違ってよいと思う。家庭はそれぞれ違うから。
- その時の生活状況
- 各自の自由
- 本人の自由で良い。
- 個人の考え方のもとと思う
- 本人が続けたいなら続けた方が良い。
- 結婚や出産によらず本人の希望が尊重される方が良い。
- 両立できるのであれば
- 子どもがいるいないにかかわらず職業を持つ事ができる又は持たない自由があるべき
- 個人の自由、家庭の事情もあると思うので
- 各自の自由選択でいい
- 各々生活する環境が違う為、自由で良いと思う。
- 本人の自由だと思う
- 個人の意思で決める、女性だからという考えはおかしい
- その人個人の考え
- 働きたい時に働けばいい
- 持ちたい人が持てば良い。
- 個人の考えがあるのでその他にしました。
- その人個人の考えや家族の在り方で臨機応変でよいのではと思う。
- 子供ができて女性を尊重し、職業を続ける続けられない育休等を自由に選べる方が良い
- いつでも個人の希望で就業できる
- 本人次第
- そもそも個人によってライフステージが違うので、職業を持つかどうかはその人次第だと思う。ただ、どのライフステージでも働きやすい環境が大切。
- すべての女性にこうあるべきではなくて、それぞれの考え方でよいと思う。経済的な条件もあるだろうし。
- 好きにすりゃいい

- 人それぞれ
- どんな職業も期間ではなく、本人の自由だと思う。
- その女性が、選択したい方向で行動すれば良い
- 「働きたければ働く」は夫婦で考え、決めることだと思う。
- 家庭事情などあるため夫婦間で話し合うべき
- それぞれの家庭で、その夫婦の希望の形をとれる社会になってほしいと思う。
- 子供が大きくなっての再びは職場とのつながりを持ってないと難しいので、職場とつながってられる様になったら良いと思います。
- 子供のためには5が一番よいと思いますが、各家庭によって違う事も理解できます。
- 家族の状況で考える。
- 自分でバランスを考え、その考え通りに選択できる状況であってほしい。
- 家庭環境で決めれば良い。
- 人や環境により、良い場合は変わる。
- それぞれ家庭状況や価値観が違うので、いろんな形があって然りと思う。
- それぞれの家庭や状況によって選べたら良い。(男性・女性問わず)
- それぞれの家庭で判断すればよい。
- 子どもができて、職場に支障がなければ(職場に子どものことを持ち込まないのであれば)、ずっと職業を続ける方がよい
- 子供を第一と考えると、保育園に預けてまで働く事に後ろめたさがあるが、女性も働くことで自尊心を保てるのでむずかしい問題。子育てに協力的な夫かどうか判断になる。
- 親の助けがあれば子供ができて仕事も続ける方がよい。
- 親子同居(2世代、3世代)で子どもができて働けるように。
- 職場に託児所を設け職業を続ける機会を与える。
- 個人の問題なので何ともいえない。
- 本人の意思と環境次第。決めつけることはできない。
- 本人の考え方や経済状態によるものでなんともいえない。
- その時の状況次第なので、決められない。
- どちらでも良いと思う。
- 特に良いと思う状態はない
- 家庭と仕事の両立は難しいが、職業にもよるのでは。
- 質問が女性に対する差別のような気がする
- 男女関係なく生活力があればよい
- 女性は一生職業を持てた方がよい。
- 公共の託児施設に機会あって伺った際に一日中、赤ちゃんの泣き声が止まなかった。預けてまで働がなければいけない状況に疑問を抱いた。
- 家庭での条件が一番と、そうしなければというものではない。
- どちらでもいい 相手の考えを尊重する そもそもこの選択肢がないのが本当に意味がわからない

(2) 職業

問 14 あなたの職業をお選びください。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 3-3)

現在の職業についてみると、「雇用者」(44.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「無職」(39.9%)、「自営業主」(6.6%)、「家族従事者」(1.0%)の順となっている。詳細にみると、『雇用者』の「常勤の勤め」(26.3%)と回答した割合が最も高く、次いで『無職』の「主婦・主夫」(21.7%)、『雇用者』の「非常勤の勤め」(17.7%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-3、図表 3-4)

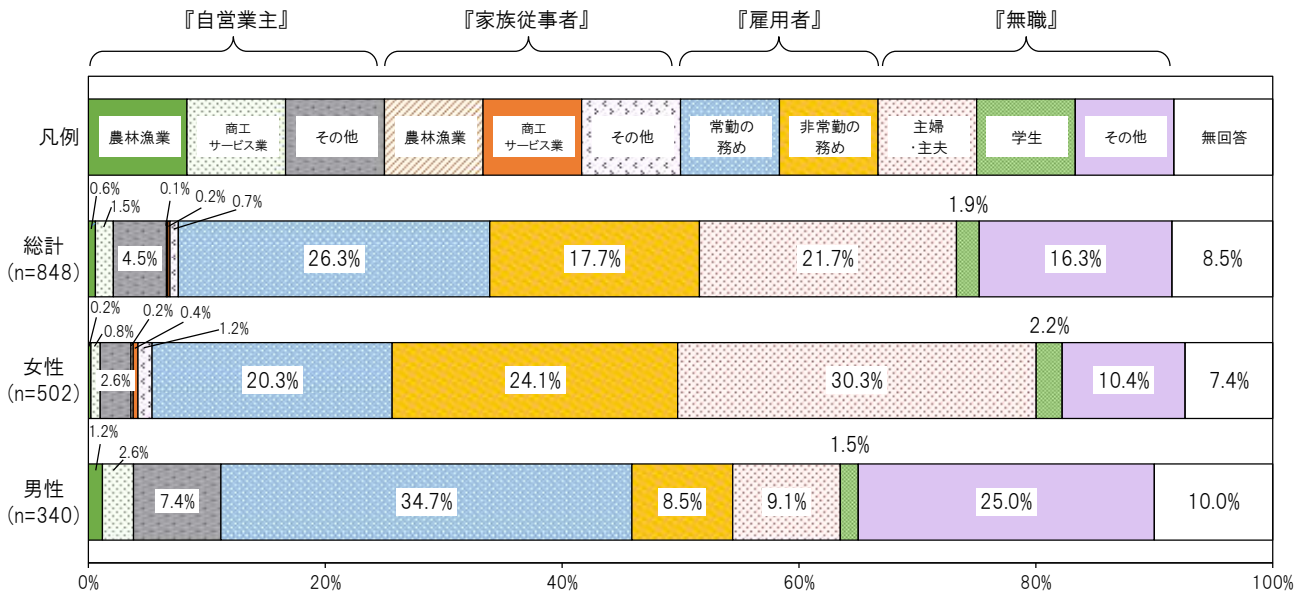
性別でみると、女性は『無職』が男性より7.3ポイント高く、特に「主婦・主夫」は21.2ポイント高くなっている。また、『雇用者』の「非常勤の勤め」も男性より15.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性より『自営業主』が7.6ポイント、『雇用者』の「常勤の勤め」が14.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、『自営業主』と回答した男性の割合は60歳以上で高くなっている。また、20～40歳代の女性と60歳以下の男性は『雇用者』の「常勤の勤め」と回答した割合が最も高く、60歳以上の女性は『無職』の「主婦・主夫」が最も高くなっている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 3-5)

前回調査、鹿児島市調査ともに比較すると、回答傾向に大きな差はみられないが、『雇用者』は前回調査と比較すると増加傾向がみられる。一方で、鹿児島県調査と比較すると、4.9ポイント低く、逆に『無職』は5.1ポイント高くなっている。

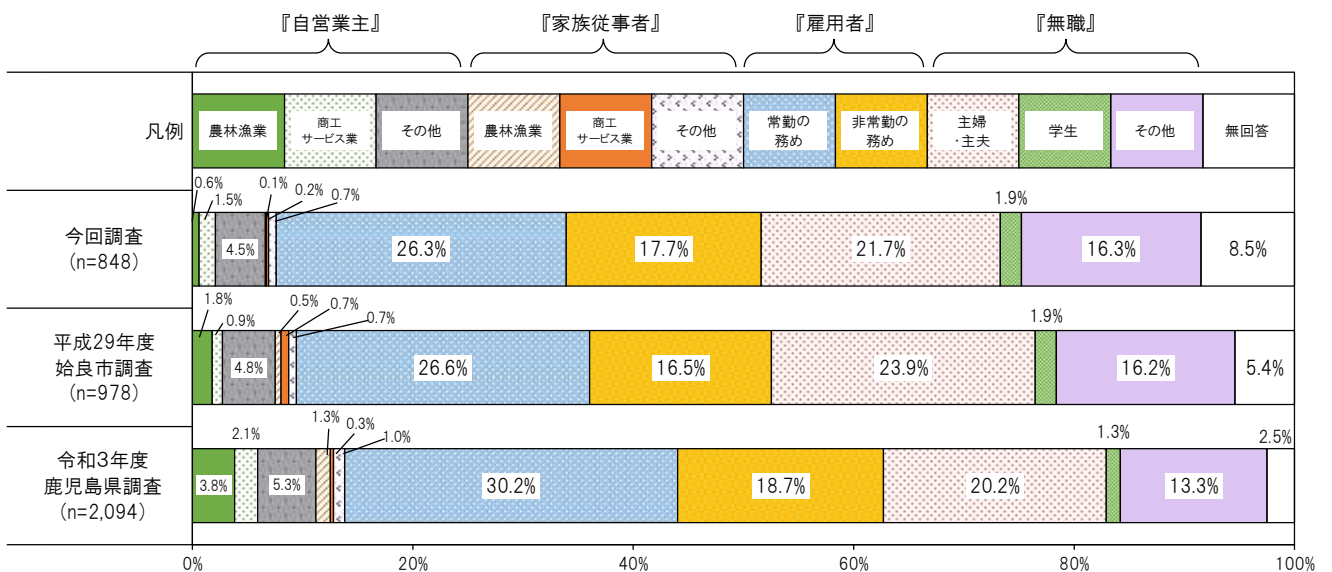
図表 3-3 職業【総計、性別】



図表 3-4 職業【性・年代別、前回調査、鹿児島県調査】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	自営業主				家族従事者				雇用者			無職				無回答	
		農林漁業	商工サービス業	その他自営業	その他	農林漁業	商工サービス業	その他	その他	常勤の勤め社員 職員等	非常勤の勤めパート アルバイト 臨時職員 嘱託等	主婦 主夫	学生	その他無職				
総計	848	56	5	13	38	9	1	2	6	373	223	150	338	184	16	138	72	
	100.0%	6.6%	0.6%	1.5%	4.5%	1.0%	0.1%	0.2%	0.7%	44.0%	26.3%	17.7%	39.9%	21.7%	1.9%	16.3%	8.5%	
平成29年度始良市調査	987	74	18	9	47	19	5	7	7	426	263	163	415	236	19	160	53	
	100.0%	7.5%	1.8%	0.9%	4.8%	1.9%	0.5%	0.7%	0.7%	43.1%	26.6%	16.5%	42.0%	23.9%	1.9%	16.2%	5.4%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	235	80	44	111	55	27	7	21	1,023	632	391	728	423	27	278	53	
	100.0%	11.2%	3.8%	2.1%	5.3%	2.6%	1.3%	0.3%	1.0%	48.9%	30.2%	18.7%	34.8%	20.2%	1.3%	13.3%	2.5%	
性・年代別	女性	502	18	1	4	13	9	1	2	6	223	102	121	215	152	11	52	37
		100.0%	3.6%	0.2%	0.8%	2.6%	1.8%	0.2%	0.4%	1.2%	44.4%	20.3%	24.1%	42.9%	30.3%	2.2%	10.4%	7.4%
	10歳代	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7	0	7	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	77.8%	0.0%	77.8%	0.0%	11.1%
	20歳代	25	0	0	0	0	0	0	0	0	16	13	3	9	2	4	3	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.0%	52.0%	12.0%	36.0%	8.0%	16.0%	12.0%	0.0%
	30歳代	44	2	0	0	2	1	0	1	0	34	23	11	3	2	0	1	4
		100.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	77.3%	52.3%	25.0%	6.8%	4.5%	0.0%	2.3%	9.1%
	40歳代	82	1	0	1	0	3	0	1	2	65	38	27	10	8	0	2	3
		100.0%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	3.6%	0.0%	1.2%	2.4%	79.2%	46.3%	32.9%	12.2%	9.8%	0.0%	2.4%	3.7%
	50歳代	83	2	0	0	2	0	0	0	0	57	17	40	18	14	0	4	6
		100.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.7%	20.5%	48.2%	21.7%	16.9%	0.0%	4.8%	7.2%
	60歳代	105	5	1	2	2	3	0	0	3	34	9	25	58	47	0	11	5
		100.0%	4.8%	1.0%	1.9%	1.9%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	32.4%	8.6%	23.8%	55.3%	44.8%	0.0%	10.5%	4.8%
	70歳代	111	7	0	1	6	2	1	0	1	15	1	14	75	59	0	16	12
		100.0%	6.3%	0.0%	0.9%	5.4%	1.8%	0.9%	0.0%	0.9%	13.5%	0.9%	12.6%	67.6%	53.2%	0.0%	14.4%	10.8%
	80歳以上	43	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	35	20	0	15	6
		100.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	81.4%	46.5%	0.0%	34.9%	14.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	340	38	4	9	25	0	0	0	0	147	118	29	121	31	5	85	34
		100.0%	11.2%	1.2%	2.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.2%	34.7%	8.5%	35.6%	9.1%	1.5%	25.0%	10.0%
	10歳代	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	0	3	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	18	0	0	0	0	0	0	0	0	13	12	1	3	0	2	1	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.3%	66.7%	5.6%	16.7%	0.0%	11.1%	5.6%	11.1%
	30歳代	28	2	0	1	1	0	0	0	0	22	22	0	1	0	0	1	3
		100.0%	7.2%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	78.6%	78.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	10.7%
40歳代	33	2	0	0	2	0	0	0	0	29	26	3	0	0	0	0	2	
	100.0%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.9%	78.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	
50歳代	44	4	0	2	2	0	0	0	0	33	33	0	1	0	0	1	6	
	100.0%	9.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	75.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	13.6%		
60歳代	87	18	3	5	10	0	0	0	0	35	19	16	26	5	0	21	8	
	100.0%	20.6%	3.4%	5.7%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.2%	21.8%	18.4%	29.8%	5.7%	0.0%	24.1%	9.2%	
70歳代	96	11	1	1	9	0	0	0	0	13	4	9	61	17	0	44	11	
	100.0%	11.4%	1.0%	1.0%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	4.2%	9.4%	63.5%	17.7%	0.0%	45.8%	11.5%	
80歳以上	28	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	25	8	0	17	2	
	100.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.3%	28.6%	0.0%	60.7%	7.1%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	0	1	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	33.4%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	

図表 3-5 職業【総計、前回調査、鹿児島県調査】



(3) 就労希望

問 15

【問 14 で無職「9」～「11」と答えた方へお尋ねします。】

あなたはどのような形で働きたいですか。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 3-6)

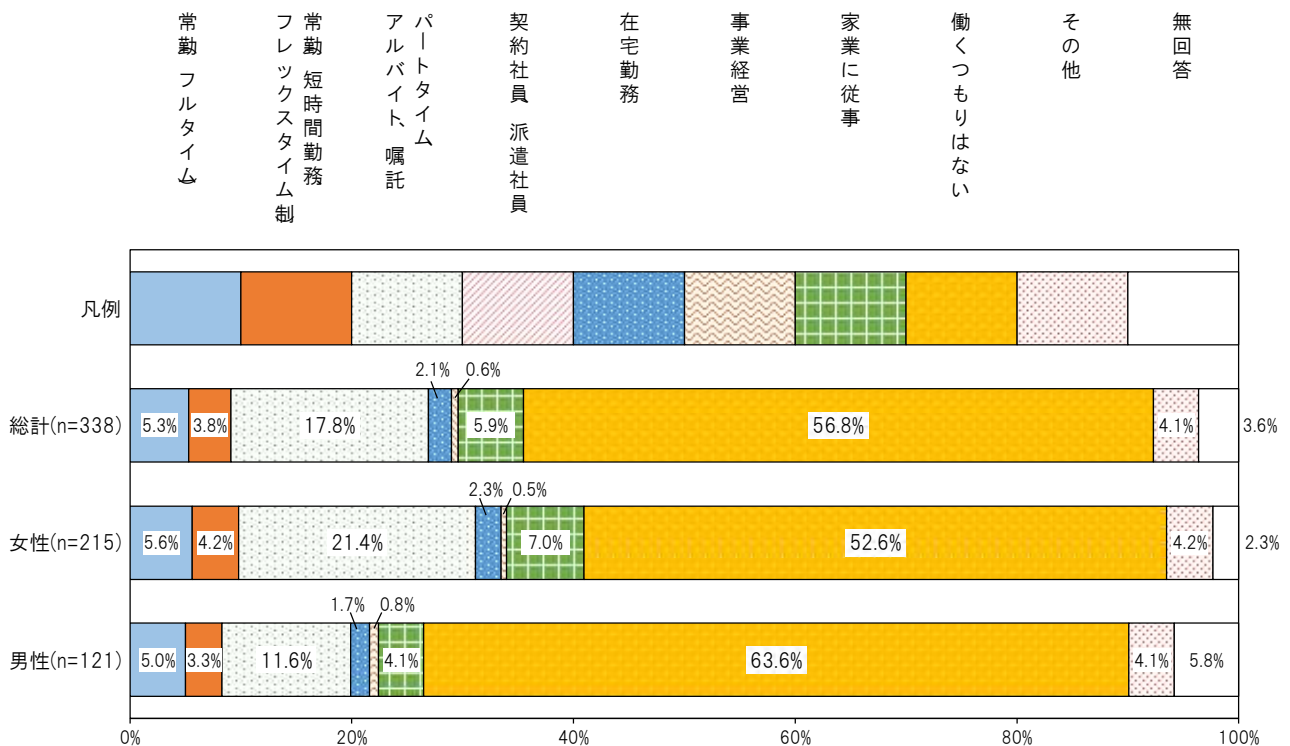
希望する就労についてみると、「働くつもりはない(働くことができない場合を含む)」(56.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト、嘱託」(17.8%)、「家業に従事」(5.9%)、「常勤(フルタイム)」(5.3%)、「その他」(4.1%)、「常勤(短時間勤務、フレックスタイム制)」(3.8%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-6、図表 3-7)

性別でみると、男性は「働くつもりはない」と回答した割合が6割強と過半数を占めており、「事業経営」以外のすべての項目で女性が男性より高くなっている。

性・年代別でみると、男女とも20歳代以下は「常勤(フルタイム)」と回答した割合が最も高く、30～50歳代の女性は「パートタイム、アルバイト、嘱託」が最も高くなっている。また、男女とも60歳代以上は「働くつもりはない」と回答している割合が最も高く、60～70歳代女性で約6割、60～70歳代男性で約7割、80歳以上男性、女性ともに約8割となっている。

図表 3-6 就労希望【総計、性別】



図表 3-7 就労希望【性・年代別】

		サンプル数	常勤フルタイム	常勤短時間勤務 フレックスタイム制	パートタイム アルバイト 嘱託	契約社員 派遣社員	在宅勤務	事業経営	家業に従事	働くもりはない (働くことができない場合を含む)	その他	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)												
総計		338	18	13	60	0	7	2	20	192	14	12
		100.0%	5.3%	3.8%	17.8%	0.0%	2.1%	0.6%	5.9%	56.8%	4.1%	3.6%
性・年代別	女性	215	12	9	46	0	5	1	15	113	9	5
		100.0%	5.6%	4.2%	21.4%	0.0%	2.3%	0.5%	7.0%	52.6%	4.2%	2.3%
	10歳代	7	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0
		100.0%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	20歳代	9	5	0	0	0	2	0	0	1	0	1
		100.0%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
	30歳代	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	10	1	2	6	0	0	0	1	0	0	0
		100.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	18	0	2	8	0	0	0	1	2	3	2
		100.0%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	16.7%	11.1%
	60歳代	58	0	1	18	0	1	1	3	31	2	1
		100.0%	0.0%	1.7%	31.0%	0.0%	1.7%	1.7%	5.2%	53.4%	3.4%	1.7%
	70歳代	75	2	2	11	0	1	0	7	49	3	0
		100.0%	2.7%	2.7%	14.7%	0.0%	1.3%	0.0%	9.3%	65.3%	4.0%	0.0%
	80歳以上	35	0	0	1	0	1	0	3	29	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	8.6%	82.9%	0.0%	2.9%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	121	6	4	14	0	2	1	5	77	5	7	
	100.0%	5.0%	3.3%	11.6%	0.0%	1.7%	0.8%	4.1%	63.6%	4.1%	5.8%	
10歳代	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
20歳代	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
30歳代	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60歳代	26	1	2	3	0	0	1	0	17	1	1	
	100.0%	3.8%	7.7%	11.5%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	65.4%	3.8%	3.8%	
70歳代	61	1	2	9	0	1	0	4	40	2	2	
	100.0%	1.6%	3.3%	14.8%	0.0%	1.6%	0.0%	6.6%	65.6%	3.3%	3.3%	
80歳以上	25	0	0	0	0	0	0	1	19	1	4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	76.0%	4.0%	16.0%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

<その他意見（主なもの）>

- シルバー人材センター等で良い。
- ボランティアとして。
- 病気をした為、働ける場所を探している。
- 週3回、3時間くらい働きたい。
- 介護が一段落したら働きたい。
- 定年後生きがいのため農業。土地を守るため。
- 20～59歳までは常勤、両親の介護は専念するため(在宅介護)自らの希望で退職、両親を自分自身で看取ることが出来たので後悔はしていない
- 今、年金ぐらし。高齢
- 公務員を定年退職現在病気通院中
- 収入がなくても主婦の家事は仕事のひとつだと思っている

(4) 職場での性別による処遇の違い

問 16

【問 14 で雇用者「7」又は「8」と答えた方へお尋ねします。】

あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 3-8)

職場での性別による処遇の違いについてみると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」(42.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「わからない」(15.3%)、「管理職への登用に差がある」(13.9%)、「賃金に格差がある」(13.7%)、「昇進、昇格に格差がある」(11.0%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-8、図表 3-9)

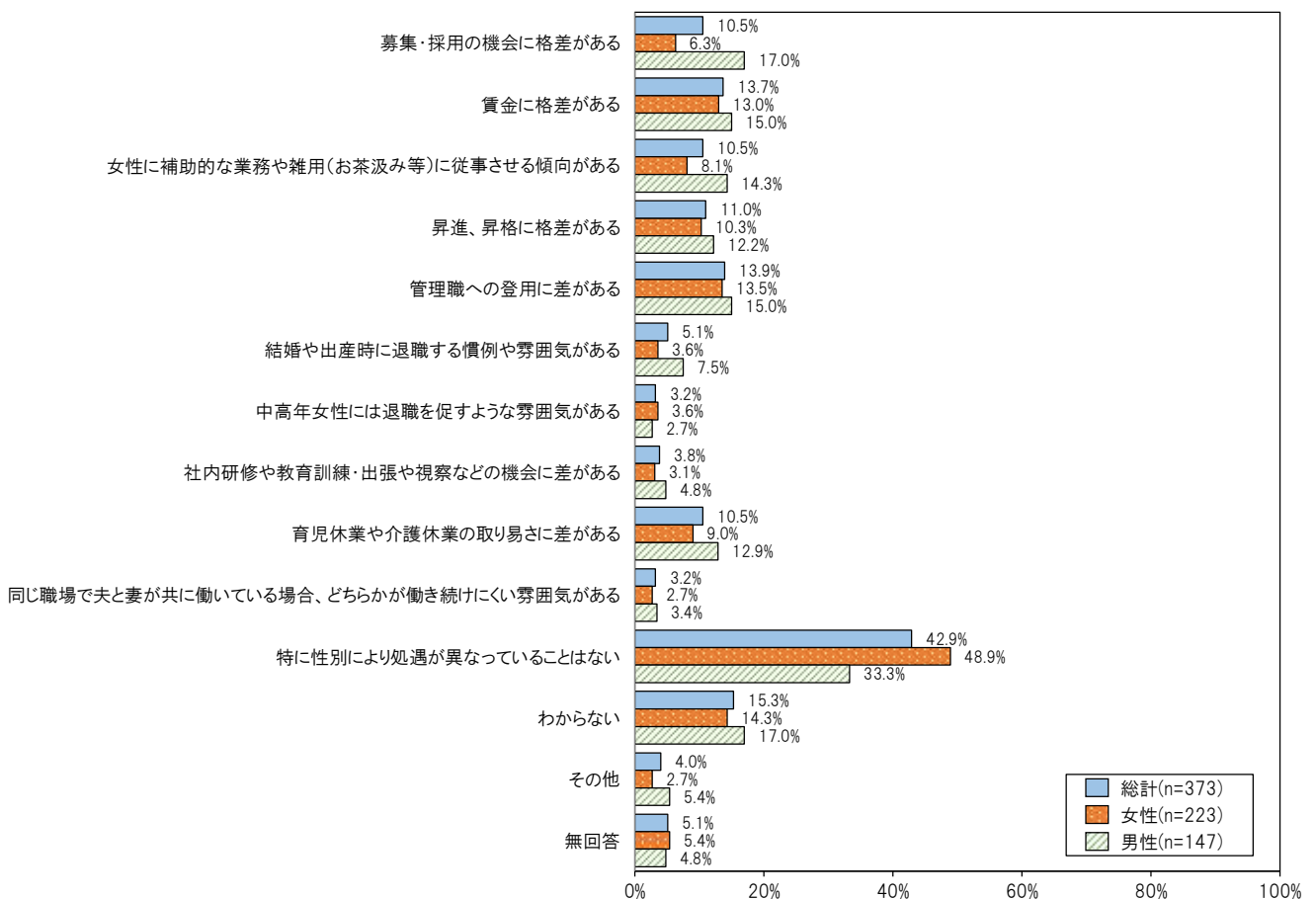
性別でみると、女性は「特に性別により処遇が異なっていることはない」と回答した割合が男性より 15.6 ポイント高くなっており、「中高年女性には退職を促すような雰囲気がある」を除くすべての項目で男性が女性を上回っている。

性・年代別でみると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」と回答した割合は、20～60 歳代女性は年代が上がるほど高く、50 歳代男性では 4 割を超えている。また、20 歳代男性は「わからない」と回答した割合が最も高く、30～40 歳代男性は「育児休業や介護休業の取り易さに差がある」と約 2 割が回答している。

[前回調査との比較] (図表 3-10)

前回調査と比較すると、「中高年女性には退職を促すような雰囲気がある」、「結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある」を除く項目が減少傾向にあり、「特に性別により処遇が異なっていることはない」が 5.7 ポイント、「賃金に格差がある」が 4.8 ポイント、「女性を補助的な業務や雑用(お茶汲み等)に従事させる傾向がある」が 4.1 ポイント低くなっている。

図表 3-8 職場での性別による処遇の違い・複数回答【総計、性別】



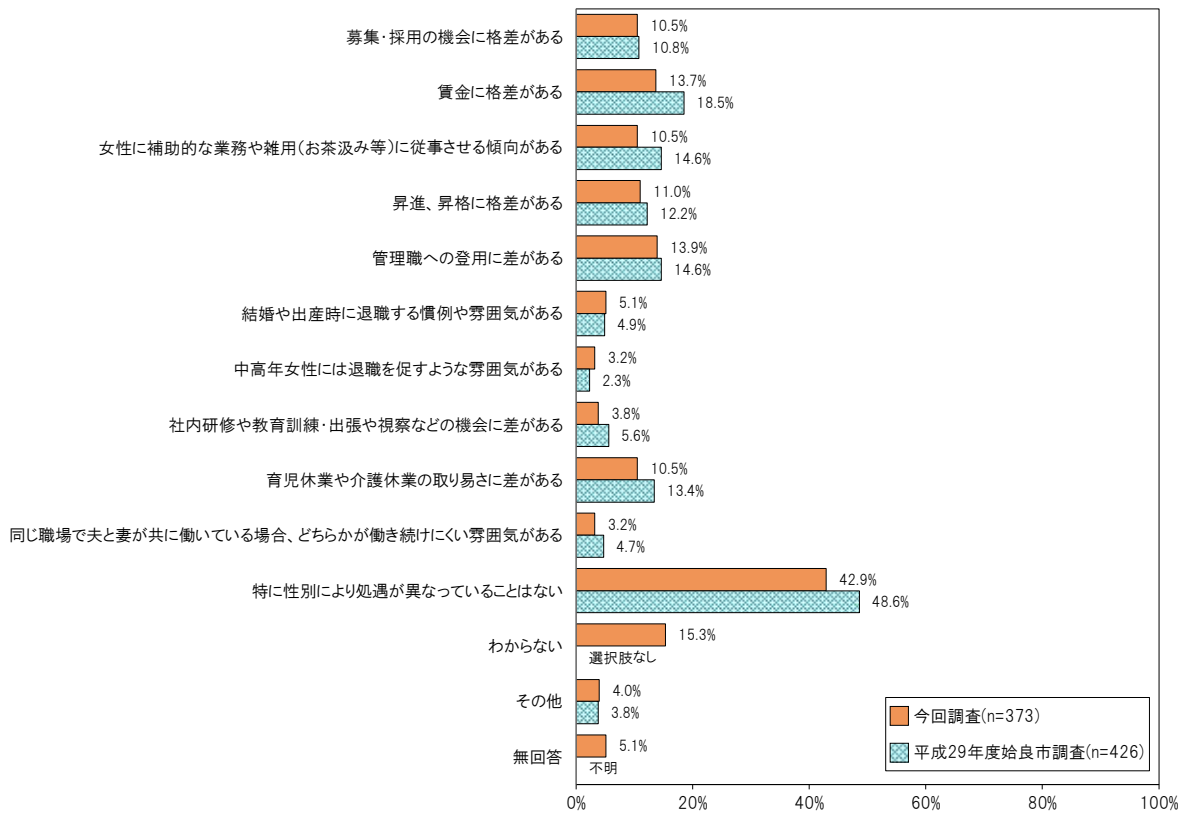
図表 3-9 職場での性別による処遇の違い・複数回答【性・年代別】

	サンプル数	募集採閉機会に格差がある	賃金に格差がある	女性に補助的な業務や差用お茶汲み等に従事させる傾向がある	昇進昇格に格差がある	管理職の登用に差がある	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	社内研修や教育訓練出張や視察などの機会に差がある	育児休業や介護休業の取り易さに差がある	同じ職場で夫と共に働いている場合とどちらかが働き続けにくい雰囲気がある	特に性別により処遇が異なっていることはない	わからない	その他	無回答	
上段:度数 下段:構成比(%)																
総計	373 100.0%	39 10.5%	51 13.7%	39 10.5%	41 11.0%	52 13.9%	19 5.1%	12 3.2%	14 3.8%	39 10.5%	12 3.2%	160 42.9%	57 15.3%	15 4.0%	19 5.1%	
平成29年度始良市調査	426 100.0%	46 10.8%	79 18.5%	47 14.6%	52 12.2%	62 14.6%	21 4.9%	10 2.3%	24 5.6%	57 13.4%	20 4.7%	207 48.6%	-	16 3.8%	-	
性・年代別	女性	223 100.0%	14 6.3%	29 13.0%	18 8.1%	23 10.3%	30 13.5%	8 3.6%	8 3.6%	7 3.1%	20 9.0%	6 2.7%	109 48.9%	32 14.3%	6 2.7%	12 5.4%
	10歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	16 100.0%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	6 37.5%	4 25.0%	1 6.3%	0 0.0%
	30歳代	34 100.0%	2 5.9%	2 5.9%	4 11.8%	4 11.8%	4 11.8%	3 8.8%	1 2.9%	1 2.9%	6 17.6%	0 0.0%	14 41.2%	6 17.6%	2 5.9%	1 2.9%
	40歳代	65 100.0%	4 6.2%	10 15.4%	5 7.7%	6 9.2%	11 16.9%	1 1.5%	1 1.5%	3 4.6%	5 7.7%	2 3.1%	31 47.7%	8 12.3%	2 3.1%	1 1.5%
	50歳代	57 100.0%	4 7.0%	10 17.5%	6 10.5%	8 14.0%	10 17.5%	1 1.8%	4 7.0%	3 5.3%	6 10.5%	3 5.3%	28 49.1%	4 7.0%	1 1.8%	4 7.0%
	60歳代	34 100.0%	2 5.9%	3 8.8%	0 0.0%	3 8.8%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	21 61.8%	6 17.6%	0 0.0%	4 11.8%
	70歳代	15 100.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 53.3%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%
	80歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	147 100.0%	25 17.0%	22 15.0%	21 14.3%	18 12.2%	22 15.0%	11 7.5%	4 2.7%	7 4.8%	19 12.9%	5 3.4%	49 33.3%	25 17.0%	8 5.4%	7 4.8%
	10歳代	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	13 100.0%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	22 100.0%	5 22.7%	5 22.7%	6 27.3%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	5 22.7%	1 4.5%	7 31.8%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	29 100.0%	5 17.2%	1 3.4%	4 13.8%	3 10.3%	3 10.3%	2 6.9%	1 3.4%	1 3.4%	6 20.7%	2 6.9%	9 31.0%	5 17.2%	2 6.9%	1 3.4%
	50歳代	33 100.0%	6 18.2%	6 18.2%	6 18.2%	7 21.2%	7 21.2%	2 6.1%	2 6.1%	3 9.1%	4 12.1%	1 3.0%	14 42.4%	2 6.1%	2 6.1%	3 9.1%
	60歳代	35 100.0%	5 14.3%	9 25.7%	3 8.6%	4 11.4%	5 14.3%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.7%	1 2.9%	11 31.4%	7 20.0%	3 8.6%	1 2.9%
	70歳代	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	2 15.4%
	80歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別無回答ほか	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	

＜その他意見（主なもの）＞

- 給与を下げられた。理由は身内だから。男性ならされないと思う。
- 女性は免除、除外されることがある。
- 肉体労働なので仕方がない格差がある。
- 転職の面接で、独身で地元勤務を希望したら「貴方みたいな自由な立場なら全国勤務でキャリアアップ目指せますよ」と独身は全国勤務をするべきと遠回しに言われた事がある。女性に優しい会社を売りに人材募集をしたが、独身=全国勤務という偏見の押し付け。
- 異動に差がある。
- 技術的な仕事は、知識・経験・資格等もあり、就業できる女性が少ないので、同じ仕事はできない。できる女性であれば、処遇は変わらないと思う。
- 男女で配属できる部署が違う
- 男性がいない。
- 男性しかいないからわからない
- 女性だけの職場なので
- 男性しかいない
- 仕事量が、極端に差がある。男への過重負担。女性が、家庭のことを理由に、仕事を逃げる。辞めなくてよい女性が辞め、いい加減な女性が辞めずに残る。公的な仕事だが、ひどい状態だ。
- 格差と言うよりも、各人が責任を持つ事により社会がうまく行くと思っています。男女問わず、余裕があれば手伝う事で、信頼感が生まれます。
- 相談すればできるだけ働きやすい状況にしてくれると思う。

図表 3-10 職場における性別による処遇の違い・複数回答【総計、前回調査】



(5) 女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの

問 17 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものは何だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 3-11)

女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものについてみると、「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」（43.9%）と回答した割合が最も高く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」（33.0%）、「女性はリーダーにふさわしくないという偏見が存在すること」（31.8%）、「長時間労働の改善が十分でないこと」（28.1%）、「セクシュアルハラスメントやマタニティ・ハラスメント等のハラスメントが存在すること」（28.1%）の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-11、図表 3-12)

性別でみると、女性は「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」と回答した割合が男性より 15.5 ポイント高くなっている。一方で、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」と回答した割合は、男性より 6.4 ポイント低くなっている。

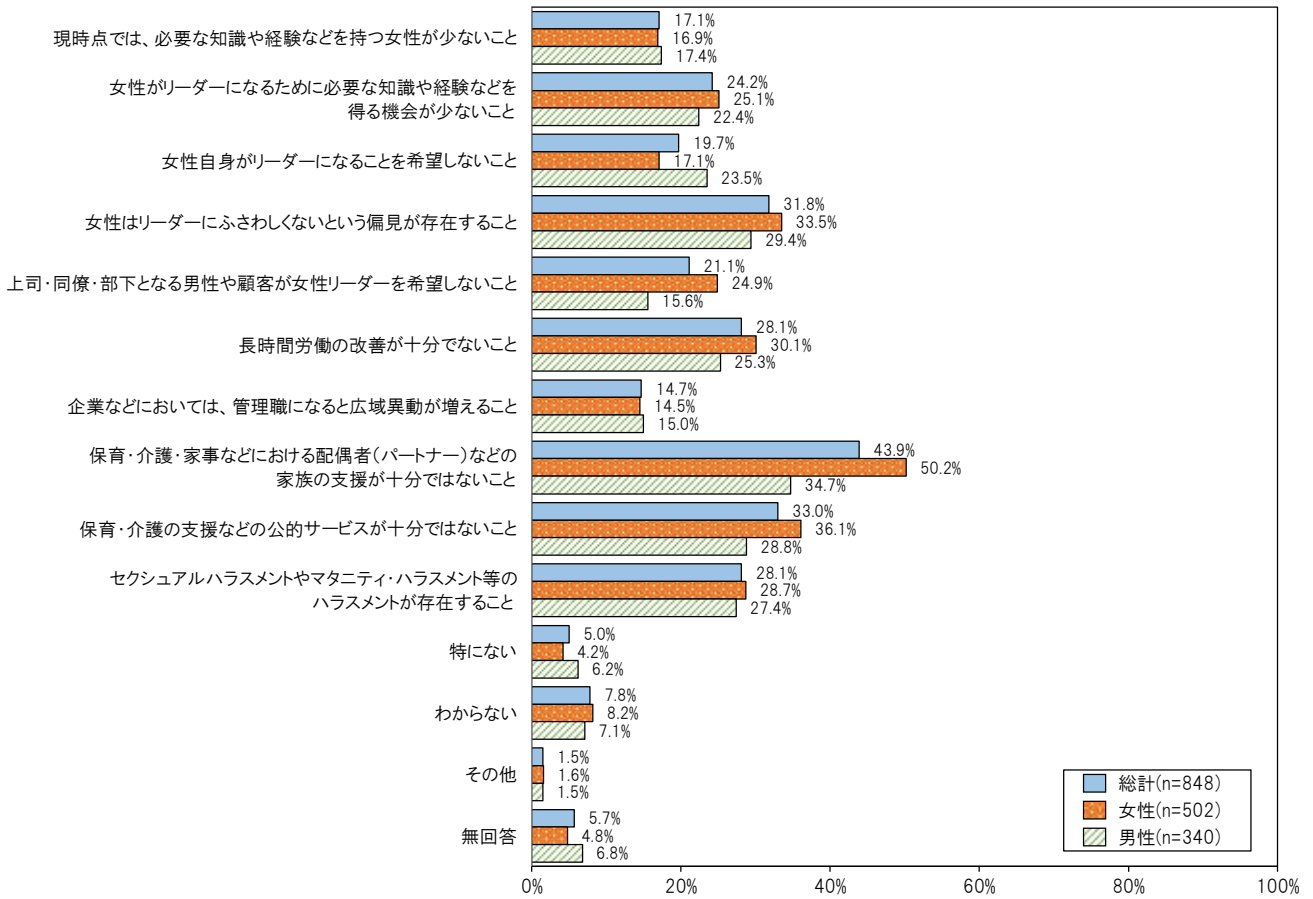
性・年代別でみると、女性は「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」では 30～80 歳代で最も高くなっており、「女性はリーダーにふさわしくないという偏見が存在すること」と回答した割合は 40～60 歳代で 4 割を超えている。男性では 20～30 歳代は「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」、40～50 歳代は「女性はリーダーにふさわしくないという偏見が存在すること」と回答した割合が最も高くなっている。また、「セクシュアルハラスメントやマタニティ・ハラスメント等のハラスメントが存在すること」と回答した割合は、男女とも 20～30 歳代で 4 割を超えている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 3-13、図表 3-14)

前回調査と比較すると、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」は 2.3 ポイント増加、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」は 10.1 ポイント減少している。

鹿児島県調査と比較すると、回答傾向に大きな差はみられない。その中で「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」と回答した割合が 1.7 ポイント高くなっている。一方、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」と回答した割合が 4.1 ポイント、「保育・介護・家事などにおける配偶者（パートナー）などの家族の支援が十分ではないこと」と回答した割合が 3.6 ポイント低くなっている。

図表 3-11 女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの・複数回答【総計、性別】



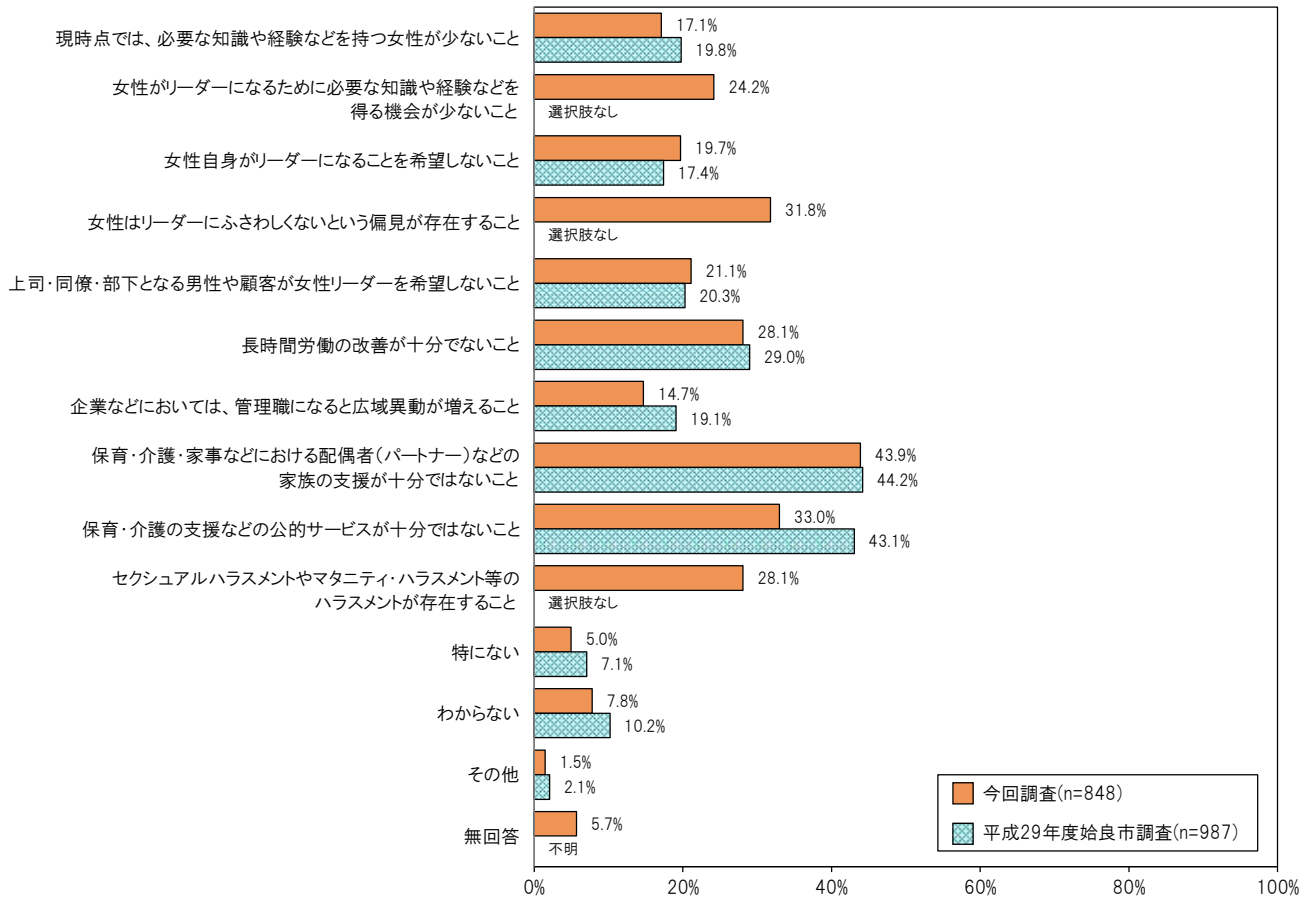
図表 3-12 女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの・複数回答【性・年代別、前回調査、鹿児島県調査】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプリング数	現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	女性がリーダーになるために必要な知識や経験などを得る機会が少ないこと	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	女性はリーダーにふさわしくないという偏見が存在すること	上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	長時間労働の改善が十分でないこと	企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	保育・介護・家事などにおける配偶者(パートナー)などの支援が十分ではないこと	保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	セクシュアルハラスメントやマタニティ・ハラスメント等のハラスメントが存在すること	特にない	わからない	その他	無回答
総計	848	145	205	167	270	179	238	125	372	280	238	42	66	13	48
平成29年度始良市調査	987	195	-	172	-	47	286	189	436	425	-	70	101	21	-
令和3年度鹿児島県調査	2,094	407	488	377	645	398	561	321	994	776	556	117	155	45	63
女性	502	85	126	86	168	125	151	73	252	181	144	21	41	8	24
10歳代	9	1	0	1	3	1	0	0	2	3	4	1	0	0	1
20歳代	25	4	8	1	8	4	10	5	9	11	11	0	3	0	1
30歳代	44	4	8	6	9	13	16	6	26	18	19	3	4	1	2
40歳代	82	9	18	16	33	24	29	15	41	36	22	3	4	5	3
50歳代	83	18	27	22	37	25	23	12	42	28	27	1	6	1	4
60歳代	105	17	27	26	45	37	37	20	64	40	30	2	5	0	5
70歳代	111	21	29	11	30	18	23	13	50	29	25	6	14	1	5
80歳以上	43	11	9	3	3	3	13	2	18	16	6	5	5	0	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性	340	59	76	80	100	53	86	51	118	98	93	21	24	5	23
10歳代	5	3	1	2	2	2	1	0	1	1	2	0	0	0	0
20歳代	18	1	1	3	3	2	2	1	9	4	8	0	3	0	2
30歳代	28	3	5	4	12	4	12	1	16	10	12	1	0	1	0
40歳代	33	3	4	8	12	4	7	4	10	5	9	4	0	0	3
50歳代	44	6	9	10	18	8	16	8	14	14	11	2	3	2	2
60歳代	87	13	20	25	27	18	18	17	25	28	24	2	7	0	3
70歳代	96	24	29	23	23	13	26	18	37	30	20	8	4	2	10
80歳以上	28	5	7	4	3	2	3	1	6	5	7	4	7	0	3
無回答	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
性別無回答ほか	6	1	3	1	2	1	1	1	2	1	1	0	1	0	1

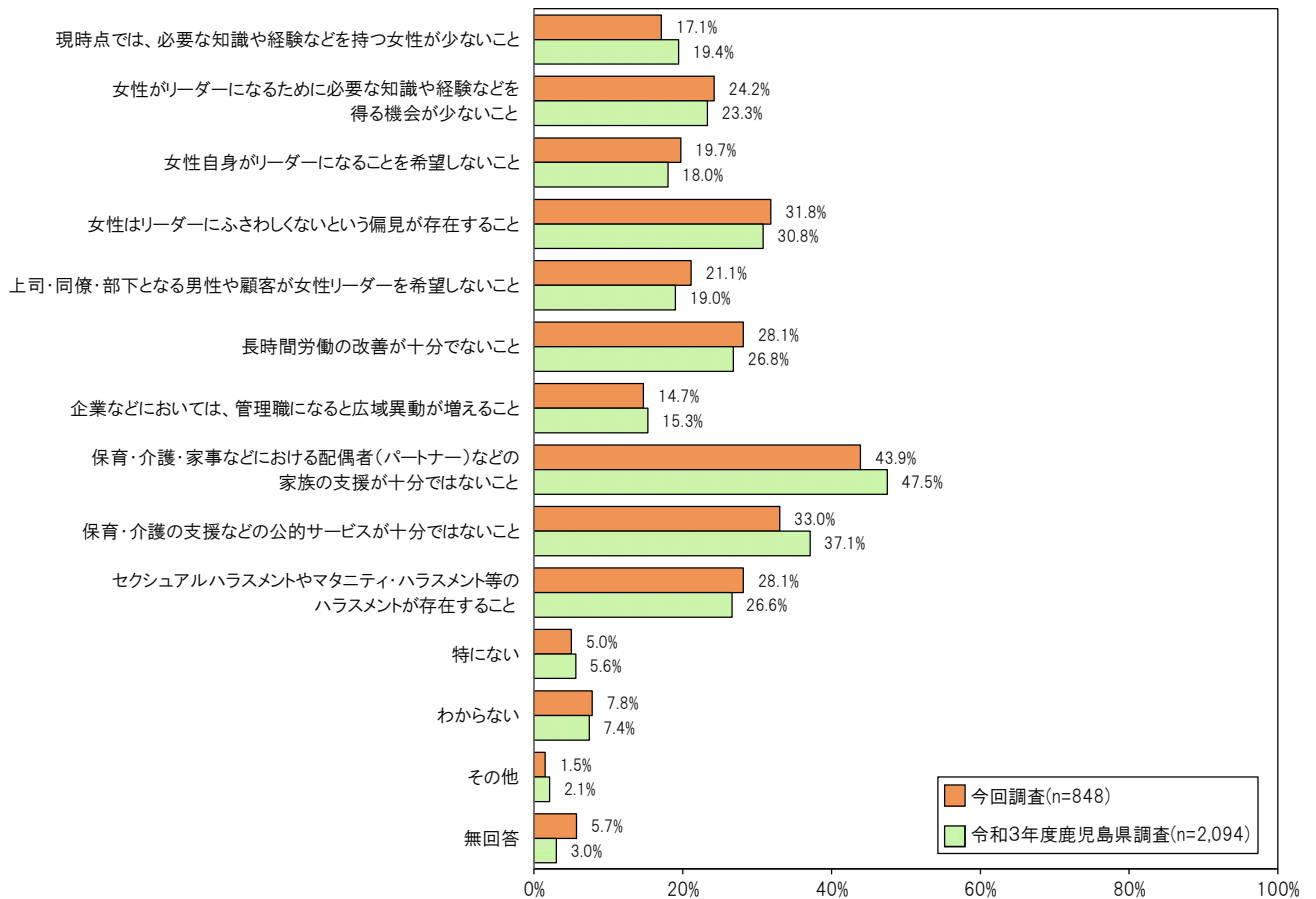
<その他意見（主なもの）>

- 育成の対応ができていない。女性の意志が強くても、腰かけ要員などの風潮が残っている。企業などが、しっかりとした研修システムなどの生涯を通じての育成・成長モデルなどをもっていない。これは、国も同じ。絵に描いた餅のような政策だけである。公的な仕事でも、ワークライフバランスと言いながら、常勤はきちんとした給料をもらいながら、仕事の多くや大変なものを、期限付きや非常勤に押しつけ、彼らは8時・9時まで残り、年収も低い状態で働いている。これでは、ダメだ。
- 保育・介護支援不足と、セクシャルハラスメントなど、女性に関する事柄が多いように思われます。政府は、やっと、子供支援を考え始めました。男性よりも、女性が、良く理解していますので、採用が必要と思われる。
- 妊娠、出産期間のやりくり、企業として職員が妊娠出産期を迎えた時に対応できる見通しが立っているか
- リーダーを迎える男性リーダー、地域リーダー家族の理解
- 母親自身をもっと子供のそばにいる時間がほしいと感じること。
- 子育ての為に会社や仕事を辞めた人がいるので女性リーダーが少ないのだと思う。これからは子育てが一段落した人が多くなるので（会社に復帰できた女性が多くなってきたので）増えてくると思う。
- 女性は家事があるので家族を大切にしたいという思いが強いと責任あるリーダーを増やすのはむずかしいのではないかと思う
- 家事や子育てが忙しく、家庭をほおっておいて、仕事だけではできない
- 飲み会や食事の際に誘われない事も原因と思う。男性同士で食事など… どこかで性別で分けられていると感じる。1対1で男女が昼食…上司と部下、同僚でもめったに見ない。男と女として見る外野がいるからだと思う。ビジネスパートナーとして成り立ちにくいと感じます。
- 女性の敵は女性と言われるように、女性による足の引っ張りがあること
- 若い人達の意見を余り聞いたことがない
- 地域の諸々の特性が邪魔している。特に鹿児島全体の風土や個人の考え方が人の生き方の活性化を妨げていると思う。
- 昭和時代と現代の家庭がちがうので、仕方がない所もある。性別にかかわらず能力のある人が上に立てば問題は無い。あと無理に男女平等と言わなくてもいい適材適所。

図表 3-13 女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの・複数回答【総計、前回調査】



図表 3-14 女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの・複数回答【総計、鹿児島県調査】



(6) 管理職以上に昇進することへのイメージ

問 18 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。
(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 3-15)

管理職以上に昇進にすることへのイメージについてみると、「責任が重くなる」(71.6%)と回答した割合が最も高く、次いで「能力が認められた結果である」(50.5%)、「やるべき仕事が増える」(38.2%)、「賃金が上がる」(37.9%)、「仕事と家庭の両立が困難になる」(34.6%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-15、図表 3-16)

性別でみると、男女ともすべての年代で「責任が重くなる」と回答した割合が最も高くなっている。「仕事と家庭の両立が困難になる」と回答した割合は女性が男性より18.0ポイント高く、「家族から評価される」、「自分自身で決められる事柄が多くなる」、「責任が重くなる」と回答した割合は男性が女性より高くなっている。

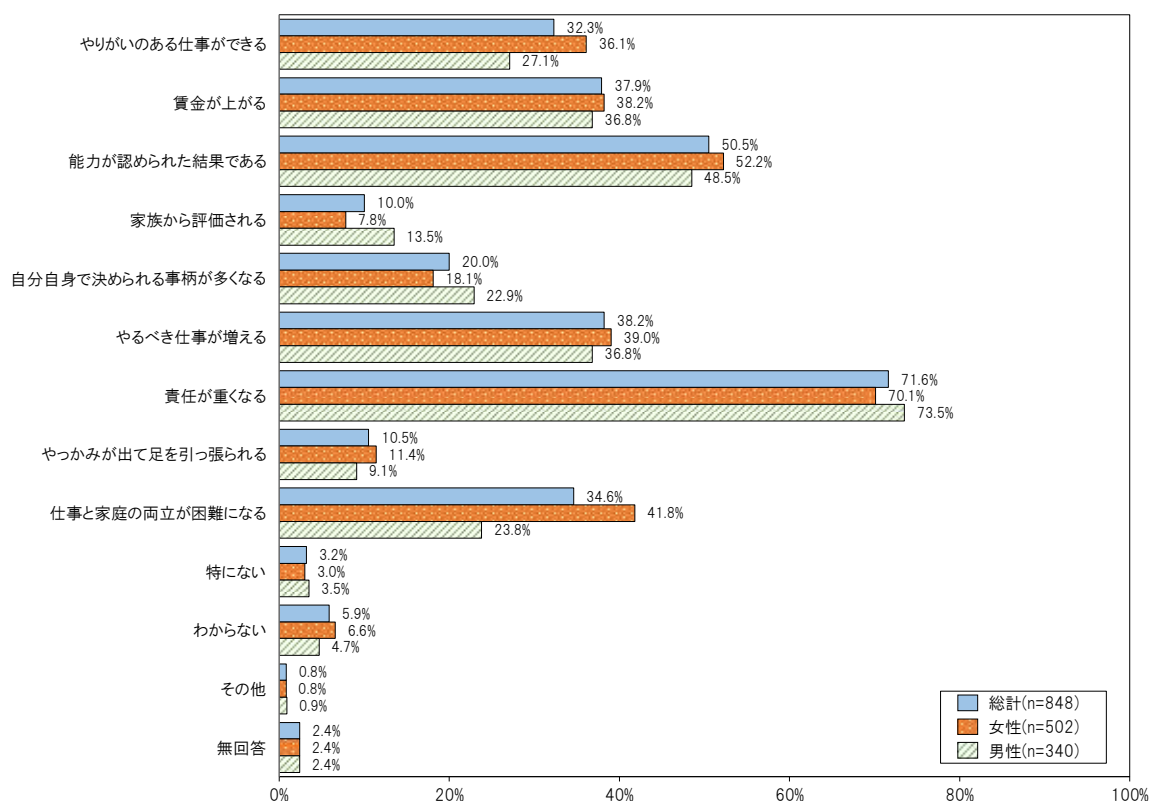
性・年代別でみると、女性は、20～30歳代と50歳代の8割以上が「責任が重くなる」、60歳代の約6割が「能力が認められた結果である」と回答している。男性は30歳代が「賃金が上がる」、40歳代が「やるべき仕事が増える」と回答した割合が6割強となっている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 3-17、図表 3-18)

前回調査と比較すると、「自分自身で決められる事柄が多くなる」と回答した割合が5.1ポイント、「責任が重くなる」が5.0ポイント、「賃金が上がる」が4.7ポイント、「能力が認められた結果である」が4.4ポイント増加している。一方、「仕事と家庭の両立が困難になる」と回答した割合は3.8ポイント減少している。

鹿児島県調査と比較すると、回答傾向に大きな差はみられない。その中で「やるべき仕事が増える」と回答した割合が2.9ポイント高くなっている。一方、「賃金が上がる」が2.1ポイント低くなっている。

図表 3-15 管理職以上に昇進することへのイメージ・複数回答【総計、性別】



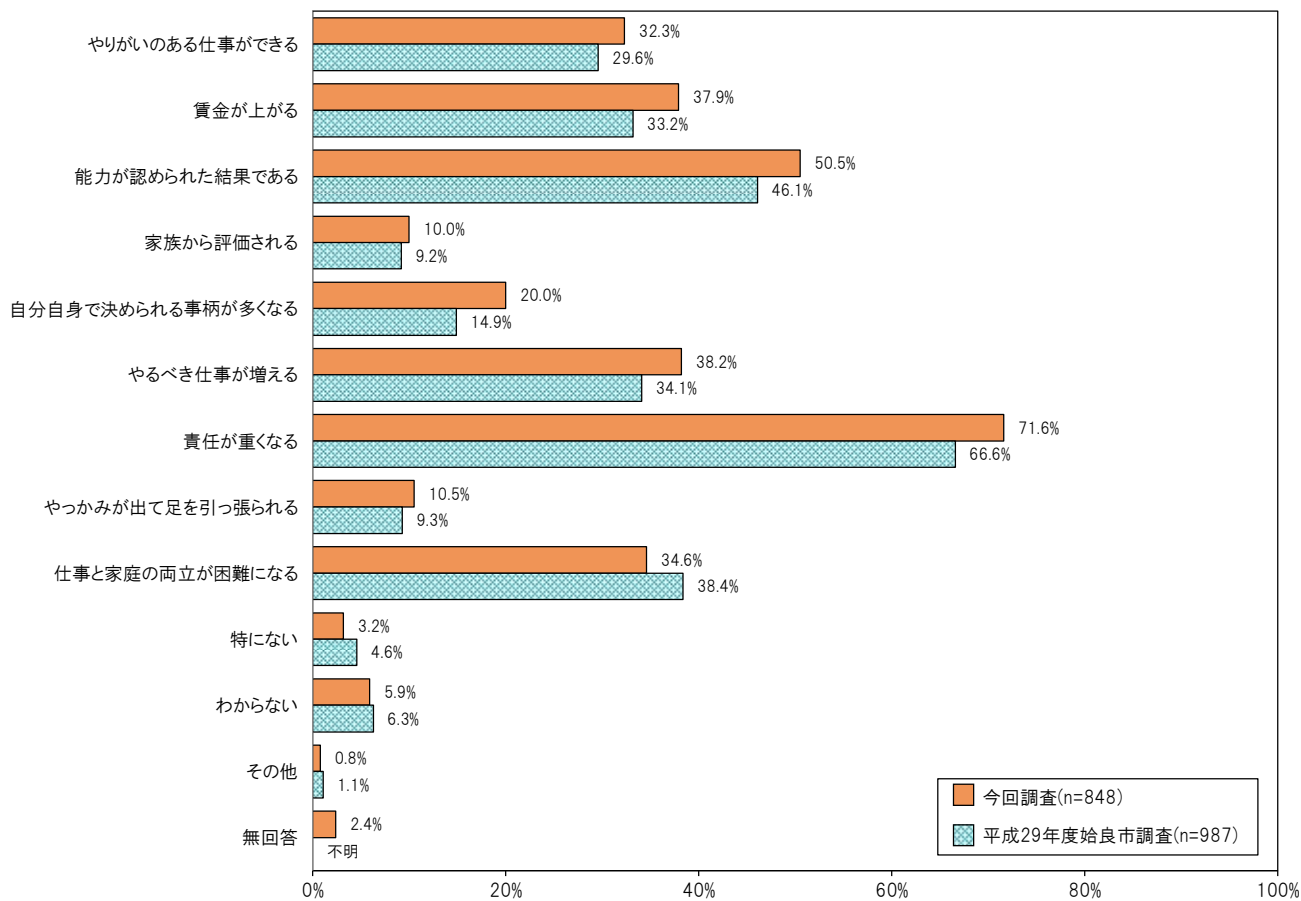
図表 3-16 管理職以上に昇進することへのイメージ・複数回答【性・年代別、前回調査、鹿児島県調査】

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	やりがいのある仕事ができる	賃金上がる	能力が認められた結果である	家族から評価される	自分自身で決められる事柄が多くなる	やるべき仕事が増える	責任が重くなる	ちかみが出て足を引張られる	仕事と家庭の両立が困難になる	特にな	わから	その他	無回答
総計		848	274	321	428	85	170	324	607	89	293	27	50	7	20
		100.0%	32.3%	37.9%	50.5%	10.0%	20.0%	38.2%	71.6%	10.5%	34.6%	3.2%	5.9%	0.8%	2.4%
平成29年度始良市調査		987	292	328	47	91	147	337	657	92	379	45	62	11	-
		100.0%	29.6%	33.2%	4.6%	9.2%	14.9%	34.1%	66.6%	9.3%	38.4%	4.6%	6.3%	1.1%	-
令和3年度鹿児島県調査		2,094	668	838	1,081	192	407	740	1,454	209	705	79	103	17	64
		-	31.9%	40.0%	51.6%	9.2%	19.4%	35.3%	69.4%	10.0%	33.7%	3.8%	4.9%	0.8%	3.1%
性・年代別	女性	502	181	192	262	39	91	196	352	57	210	15	33	4	12
		100.0%	36.1%	38.2%	52.2%	7.8%	18.1%	39.0%	70.1%	11.4%	41.8%	3.0%	6.6%	0.8%	2.4%
	10歳代	9	4	5	5	0	1	5	7	1	3	0	1	0	0
		100.0%	44.4%	55.6%	55.6%	0.0%	11.1%	55.6%	77.8%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	7	12	10	0	1	13	21	2	11	0	3	1	1
		100.0%	28.0%	48.0%	40.0%	0.0%	4.0%	52.0%	84.0%	8.0%	44.0%	0.0%	12.0%	4.0%	4.0%
	30歳代	44	14	24	26	3	12	28	36	6	22	2	0	0	1
		100.0%	31.8%	54.5%	59.1%	6.8%	27.3%	63.6%	81.8%	13.6%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%	2.3%
	40歳代	82	34	44	46	7	23	43	62	10	32	1	2	1	0
		100.0%	41.5%	53.7%	56.1%	8.5%	28.0%	52.4%	75.6%	12.2%	39.0%	1.2%	2.4%	1.2%	0.0%
	50歳代	83	30	43	46	6	13	39	69	12	40	2	1	0	1
		100.0%	36.1%	51.8%	55.4%	7.2%	15.7%	47.0%	83.1%	14.5%	48.2%	2.4%	1.2%	0.0%	1.2%
	60歳代	105	45	41	64	11	22	34	73	10	40	1	5	2	2
		100.0%	42.9%	39.0%	61.0%	10.5%	21.0%	32.4%	69.5%	9.5%	38.1%	1.0%	4.8%	1.9%	1.9%
	70歳代	111	31	18	48	6	11	25	63	12	49	6	13	0	5
		100.0%	27.9%	16.2%	43.2%	5.4%	9.9%	22.5%	56.8%	10.8%	44.1%	5.4%	11.7%	0.0%	4.5%
	80歳以上	43	16	5	17	6	8	9	21	4	13	3	8	0	2
		100.0%	37.2%	11.6%	39.5%	14.0%	18.6%	20.9%	48.8%	9.3%	30.2%	7.0%	18.6%	0.0%	4.7%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	340	92	125	165	46	78	125	250	31	81	12	16	3	8
		100.0%	27.1%	36.8%	48.5%	13.5%	22.9%	36.8%	73.5%	9.1%	23.8%	3.5%	4.7%	0.9%	2.4%
	10歳代	5	1	2	3	1	1	1	4	2	0	0	0	0	0
		100.0%	20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	18	3	8	3	1	2	8	14	2	7	0	1	0	0
		100.0%	16.7%	44.4%	16.7%	5.6%	11.1%	44.4%	77.8%	11.1%	38.9%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
30歳代	28	7	18	13	2	5	13	22	5	10	0	0	0	0	
	100.0%	25.0%	64.3%	46.4%	7.1%	17.9%	46.4%	78.6%	17.9%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	33	7	10	15	4	9	21	28	3	8	1	0	0	0	
	100.0%	21.2%	30.3%	45.5%	12.1%	27.3%	63.6%	84.8%	9.1%	24.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	44	12	16	21	9	12	16	37	3	9	2	1	2	0	
	100.0%	27.3%	36.4%	47.7%	20.5%	27.3%	36.4%	84.1%	6.8%	20.5%	4.5%	2.3%	4.5%	0.0%	
60歳代	87	28	36	47	16	20	27	63	5	14	3	4	0	1	
	100.0%	32.2%	41.4%	54.0%	18.4%	23.0%	31.0%	72.4%	5.7%	16.1%	3.4%	4.6%	0.0%	1.1%	
70歳代	96	28	32	52	11	27	32	67	8	28	4	4	1	6	
	100.0%	29.2%	33.3%	54.2%	11.5%	28.1%	33.3%	69.8%	8.3%	29.2%	4.2%	4.2%	1.0%	6.3%	
80歳以上	28	6	3	10	1	2	6	14	2	5	2	6	0	1	
	100.0%	21.4%	10.7%	35.7%	3.6%	7.1%	21.4%	50.0%	7.1%	17.9%	7.1%	21.4%	0.0%	3.6%	
無回答	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	1	4	1	0	1	3	5	1	2	0	1	0	0	
	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	83.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	

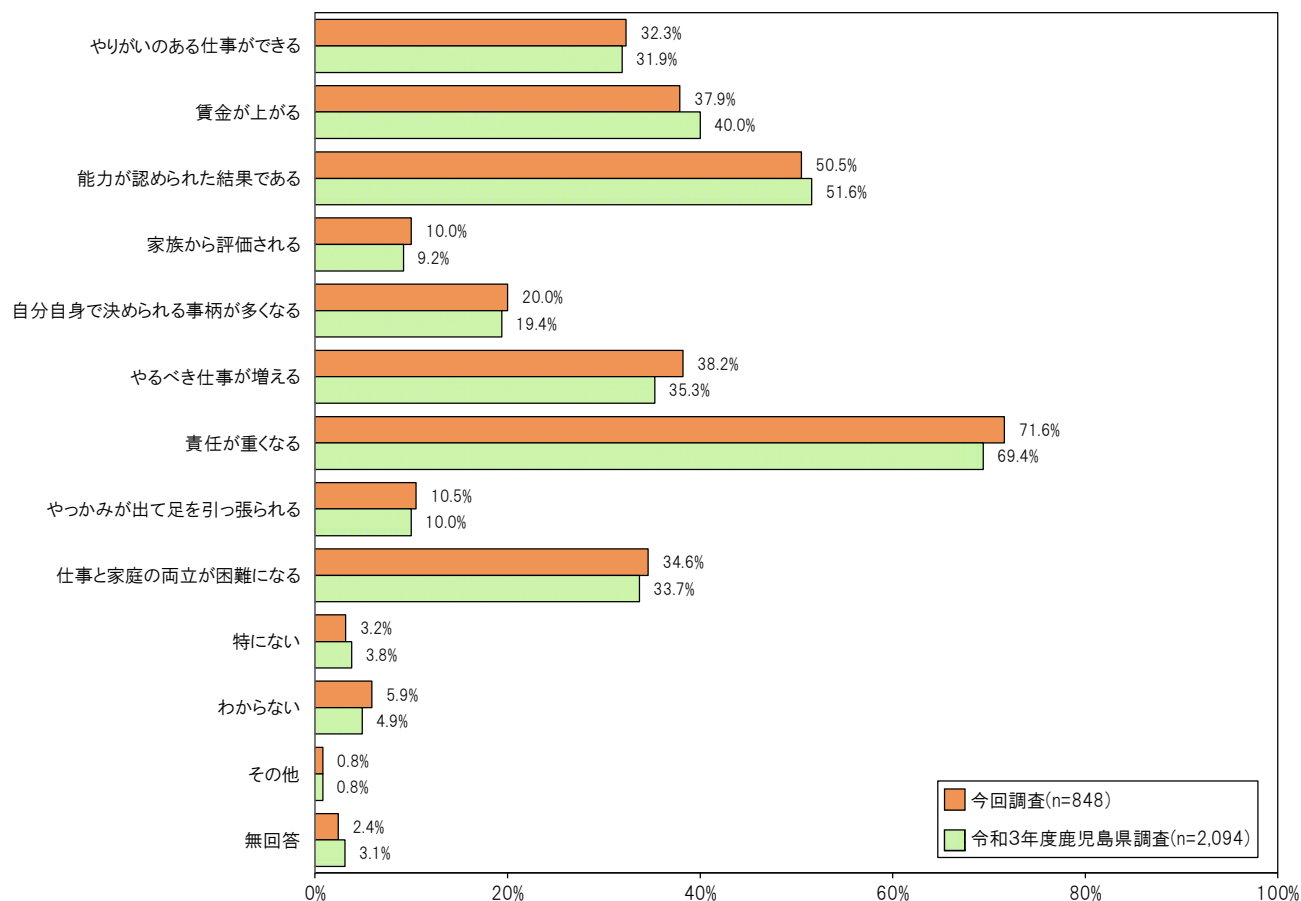
＜その他意見（主なもの）＞

- 環境による。卓越した力を発揮してもそのときの状況により、処遇は変わる。組織にもよるが私はひどい目にあっただと考えている。
- 民間会社では昇進には試験と経験値が必要だが、管理職を目指すか専門職（マイスターのような）を目指すかは本人の意思や上司の推薦などで自由度があります。
- 全ての仕事をする人で社会は成り立っていると思っているので管理職に興味もなく、又、その能力も自分にはないと知っている
- 歳をとった
- なりたくない
- 職場の部下の育成にやりがいがある。人として。

図表 3-17 管理職以上に昇進することへのイメージ・複数回答【総計、前回調査】



図表 3-18 管理職以上に昇進することへのイメージ・複数回答【総計、鹿児島県調査】



(7) 女性が働き続けるために必要なこと

問 19 あなたは、女性が出産後も離職せずと同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 3-19)

女性が働き続けるために必要なことについてみると、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」(75.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」(56.0%)、「育児休業後に職場復帰しやすくするための支援制度の充実」(51.7%)、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」(48.7%)、「女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革」(47.6%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-19、図表 3-20)

性別でみると、「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」と回答した割合は女性が男性より9.7ポイント高くなっている。男性は「育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止」、「男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革」などと回答した割合が女性より高くなっている。

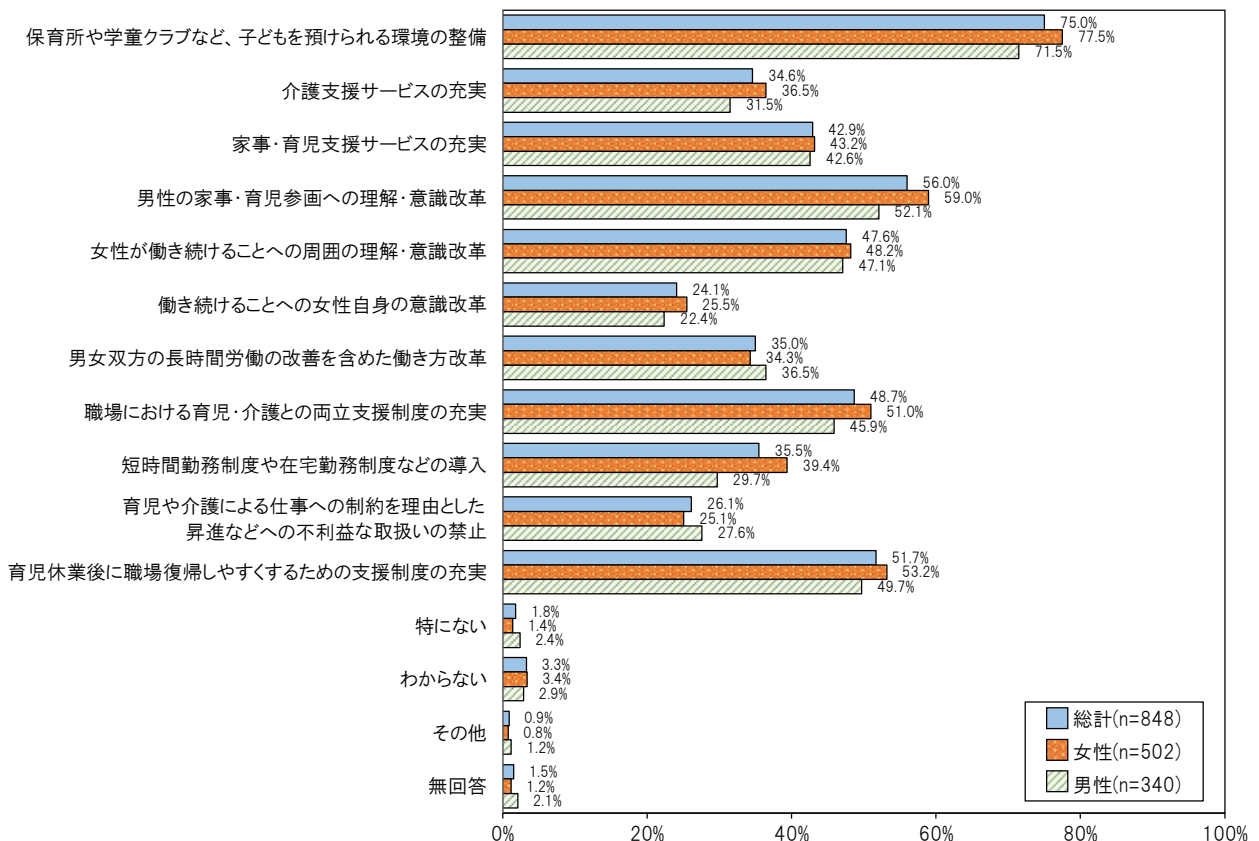
性・年代別でみると、男女とも10歳代を除くすべての年代で「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」と回答した割合が最も高くなっている。また、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」、「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」と回答した割合は、30歳代の女性が高く7割を超えている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 3-21、図表 3-22)

前回調査と比較すると、全体的に増加傾向がみられる。その中でも「男性の家事・育児参画への理解・意識改革」と回答した割合が最も高く、8.2ポイント増加している。

鹿児島県調査と比較すると、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」を除くすべての項目で増加傾向がみられる。

図表 3-19 女性が働き続けるために必要なこと・複数回答【総計、性別】



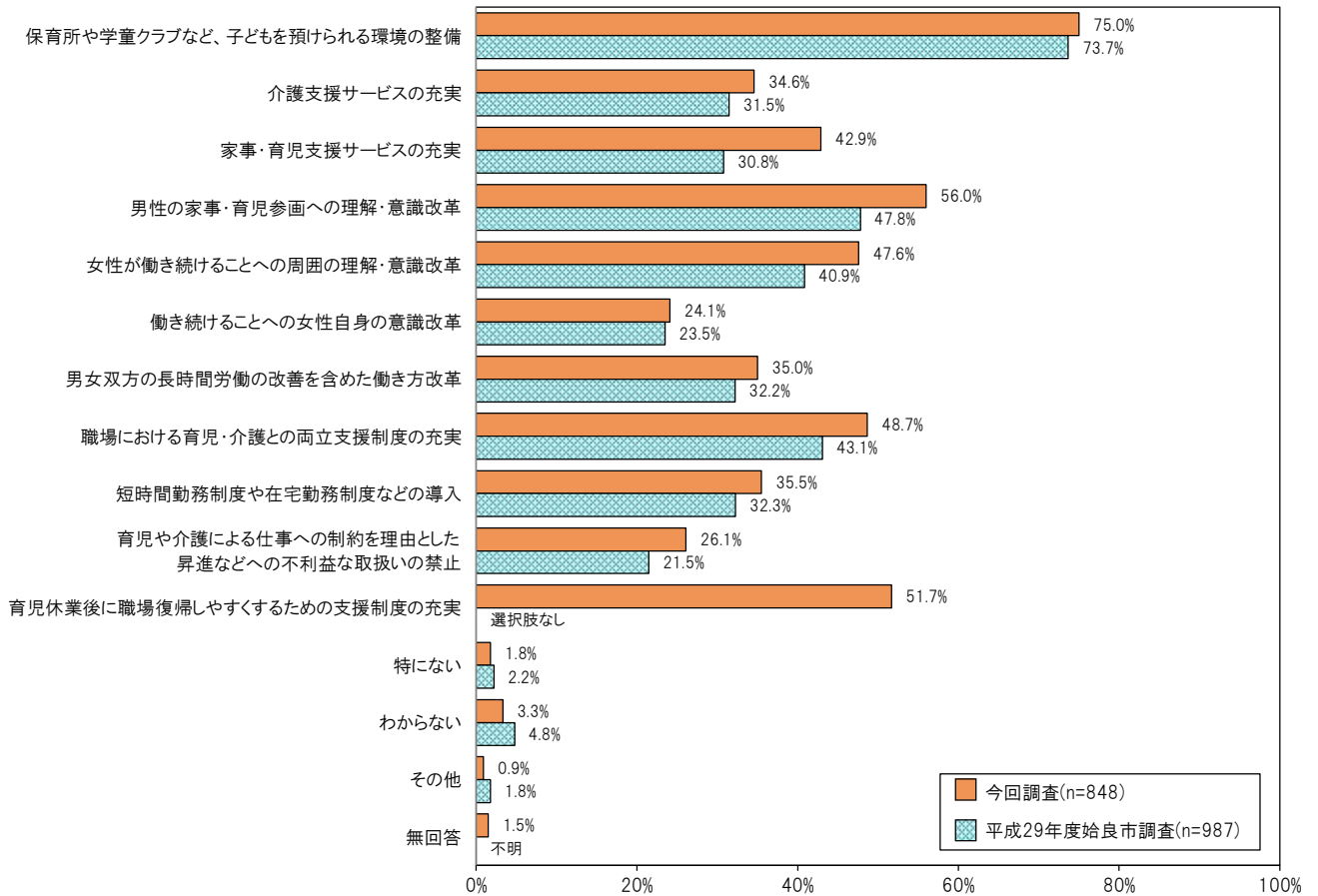
図表 3-20 女性が働き続けるために必要なこと・複数回答【性・年代別・前回調査・鹿児島県調査】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	整備 子どもを預けられる環境の 保育所や学童クラブなど	介護支援サービスの充実	家事 育児支援サービスの充実	男性の家事 育児参画の理 解意識改革	女性の理解 意識改革	働き続けることの 女性の自 身の意識改革	男女双方の長時間労働の改 善を含めた働き方改革	職場における育児 介護と の両立支援制度の充実	短時間勤務制度や在宅勤 務制度などの導入	（ ）の 不利益な取扱いの禁止	育児や介護による仕事の 制限を理由とした昇進など の充実	育児休業後に職場復帰しや すくするための支援制度の 充実	特 た な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
	総計	848	636	293	364	475	404	204	297	413	301	221	438	15	28	8	13
	100.0%	75.0%	34.6%	42.9%	56.0%	47.6%	24.1%	35.0%	48.7%	35.5%	26.1%	51.7%	1.8%	3.3%	0.9%	1.5%	
平成29年度始良市調査	987	727	311	47	472	404	232	318	425	319	212	-	22	47	18	-	
	100.0%	73.7%	31.5%	30.8%	47.8%	40.9%	23.5%	32.2%	43.1%	32.3%	21.5%	-	2.2%	4.8%	1.8%	-	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	1,591	691	754	1,143	901	455	705	939	662	490	992	30	75	37	62	
	100.0%	76.0%	33.0%	36.0%	54.6%	43.0%	21.7%	33.7%	44.8%	31.6%	23.4%	47.4%	1.4%	3.6%	1.8%	3.0%	
性・年代別	女性	502	389	183	217	296	242	128	172	256	198	126	267	7	17	4	6
		100.0%	77.5%	36.5%	43.2%	59.0%	48.2%	25.5%	34.3%	51.0%	39.4%	25.1%	53.2%	1.4%	3.4%	0.8%	1.2%
	10歳代	9	6	3	3	5	4	1	5	7	1	2	8	0	0	0	0
		100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	55.6%	44.4%	11.1%	55.6%	77.8%	11.1%	22.2%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	20	7	11	16	11	6	10	10	7	6	12	0	2	0	1
		100.0%	80.0%	28.0%	44.0%	64.0%	44.0%	24.0%	40.0%	40.0%	28.0%	24.0%	48.0%	0.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	30歳代	44	38	14	29	31	27	15	23	32	26	15	27	2	0	0	0
		100.0%	86.4%	31.8%	65.9%	70.5%	61.4%	34.1%	52.3%	72.7%	59.1%	34.1%	61.4%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	82	68	32	42	51	46	18	30	42	39	25	37	0	1	2	0
		100.0%	82.9%	39.0%	51.2%	62.2%	56.1%	22.0%	36.6%	51.2%	47.6%	30.5%	45.1%	0.0%	1.2%	2.4%	0.0%
	50歳代	83	63	37	32	54	44	23	27	40	37	25	42	0	1	1	1
		100.0%	75.9%	44.6%	38.6%	65.1%	53.0%	27.7%	32.5%	48.2%	44.6%	30.1%	50.6%	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%
	60歳代	105	90	47	50	63	46	30	38	55	44	29	60	1	4	1	0
		100.0%	85.7%	44.8%	47.6%	60.0%	43.8%	28.6%	36.2%	52.4%	41.9%	27.6%	57.1%	1.0%	3.8%	1.0%	0.0%
	70歳代	111	75	29	36	55	48	24	30	48	30	14	57	3	7	0	3
		100.0%	67.6%	26.1%	32.4%	49.5%	43.2%	21.6%	27.0%	43.2%	27.0%	12.6%	51.4%	2.7%	6.3%	0.0%	2.7%
	80歳以上	43	29	14	14	21	16	11	9	22	14	10	24	1	2	0	1
		100.0%	67.4%	32.6%	32.6%	48.8%	37.2%	25.6%	20.9%	51.2%	32.6%	23.3%	55.8%	2.3%	4.7%	0.0%	2.3%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	340	243	107	145	177	160	76	124	156	101	94	169	8	10	4	7
		100.0%	71.5%	31.5%	42.6%	52.1%	47.1%	22.4%	36.5%	45.9%	29.7%	27.6%	49.7%	2.4%	2.9%	1.2%	2.1%
	10歳代	5	3	2	4	2	2	2	2	2	1	1	2	0	0	0	0
		100.0%	60.0%	40.0%	80.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	18	13	5	9	9	8	0	6	9	9	3	11	0	0	0	1
		100.0%	72.2%	27.8%	50.0%	50.0%	44.4%	0.0%	33.3%	50.0%	50.0%	16.7%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
	30歳代	28	24	13	17	19	16	6	15	17	9	13	15	0	0	2	0
	100.0%	85.7%	46.4%	60.7%	67.9%	57.1%	21.4%	53.6%	60.7%	32.1%	46.4%	53.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	
40歳代	33	23	7	14	16	16	7	12	12	11	9	12	2	0	0	0	
	100.0%	69.7%	21.2%	42.4%	48.5%	48.5%	21.2%	36.4%	36.4%	33.3%	27.3%	36.4%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	44	32	18	25	22	21	10	18	22	14	12	19	0	1	2	1	
	100.0%	72.7%	40.9%	56.8%	50.0%	47.7%	22.7%	40.9%	50.0%	31.8%	27.3%	43.2%	0.0%	2.3%	4.5%	2.3%	
60歳代	87	69	32	36	49	48	22	26	35	27	23	47	0	1	0	1	
	100.0%	79.3%	36.8%	41.4%	56.3%	55.2%	25.3%	29.9%	40.2%	31.0%	26.4%	54.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	
70歳代	96	65	26	35	52	39	21	39	49	25	30	50	4	2	0	3	
	100.0%	67.7%	27.1%	36.5%	54.2%	40.6%	21.9%	40.6%	51.0%	26.0%	31.3%	52.1%	4.2%	2.1%	0.0%	3.1%	
80歳以上	28	13	3	4	7	9	8	5	9	5	3	12	2	6	0	1	
	100.0%	46.4%	10.7%	14.3%	25.0%	32.1%	28.6%	17.9%	32.1%	19.9%	10.7%	42.9%	7.1%	21.4%	0.0%	3.6%	
無回答	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	4	3	2	2	2	0	1	1	2	1	2	0	1	0	0	
	100.0%	66.7%	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	

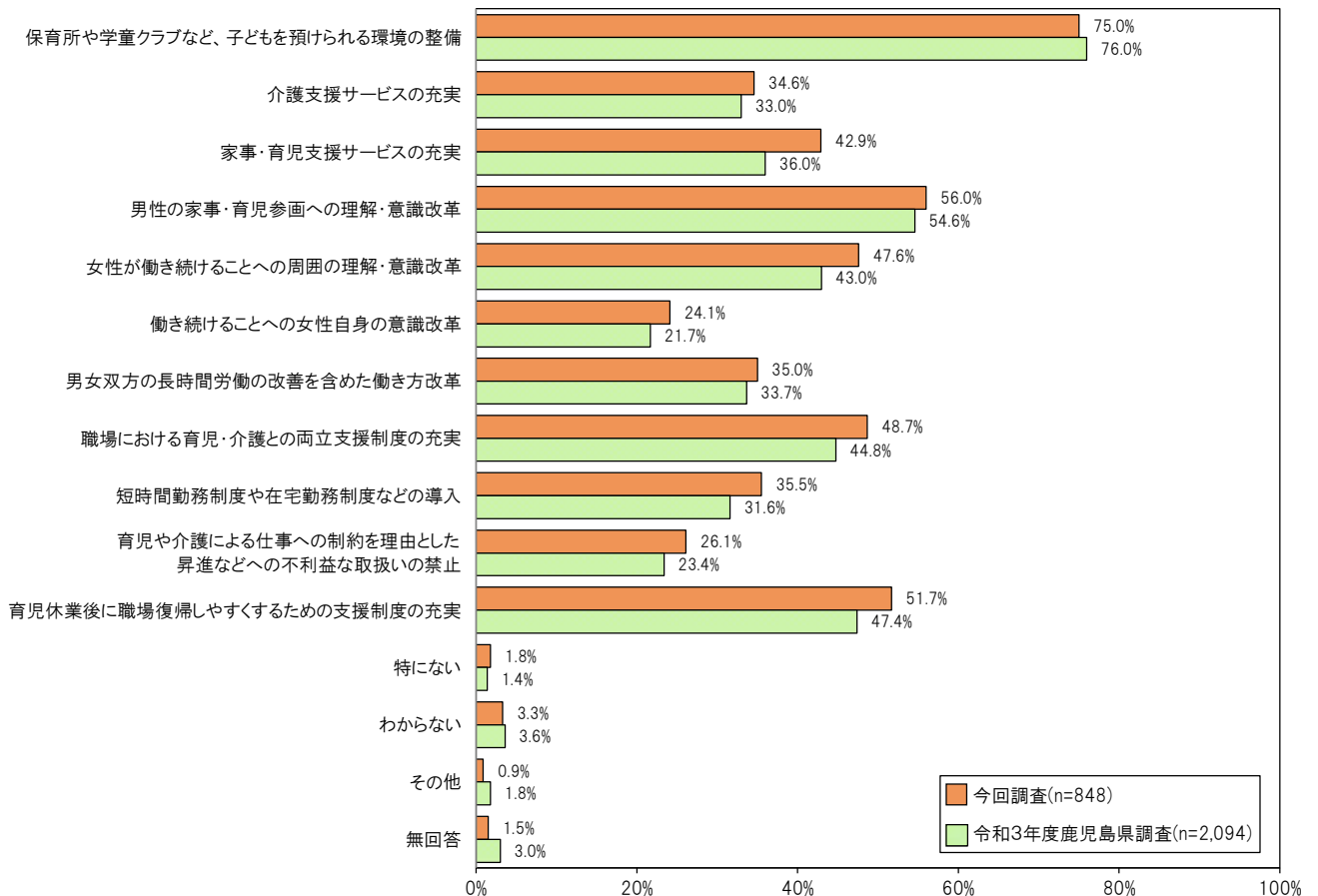
<その他意見（主なもの）>

- 介護休業後の職場復帰しやすくする支援制度。
- 高度経済成長の特に形成された新卒一括採用などの雇用慣行をやめること。
- 会社はいつ不況になり会社の危機でリストラされるかわからない。だから男性は育児休暇制度があっても利用しない。女性のいる職場は各部門でバックアップできる体制をとっています。場合によっては臨時社員を雇って対応しているのが現状ですが、民間会社ではリストラを意識します。政治家が育児休暇を取得したが一週間程度なら女性の支援とは言えないですね。
- 子育てはとても大事特に小さい間は、家族(母)などが見てくれる環境の人は安心して仕事できると思う。
- 子供が熱が出たときなどに楽に預けられる所。保育園は37.5度以上だと預かってくれない。
- 子どもが風邪をひいても見てもらえたり、家事や食事も満足する提供ができれば。臨機応変な働き方が出来たら。
- 仕事場で、家庭を理由に仕事を逃げる女性がいる一方、責任をもって仕事をする女性もいる。まじめな方は、公務員でもやめてしまう。真剣に考える人は、このような傾向が強い。したがって上の1~11の支援策は、働く本人が誠実に仕事をするという高いモラルをクリアした上でという前提が必要だ。
- 頑張る事への自覚の持ち方だと思います。

図表 3-21 女性が働き続けるために必要なこと・複数回答【総計、前回調査】



図表 3-22 女性が働き続けるために必要なこと・複数回答【総計、鹿児島県調査】



(8) 男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするために必要なこと

問 20 今後、男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするためには、どのようなことが必要と思いますか。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 3-23)

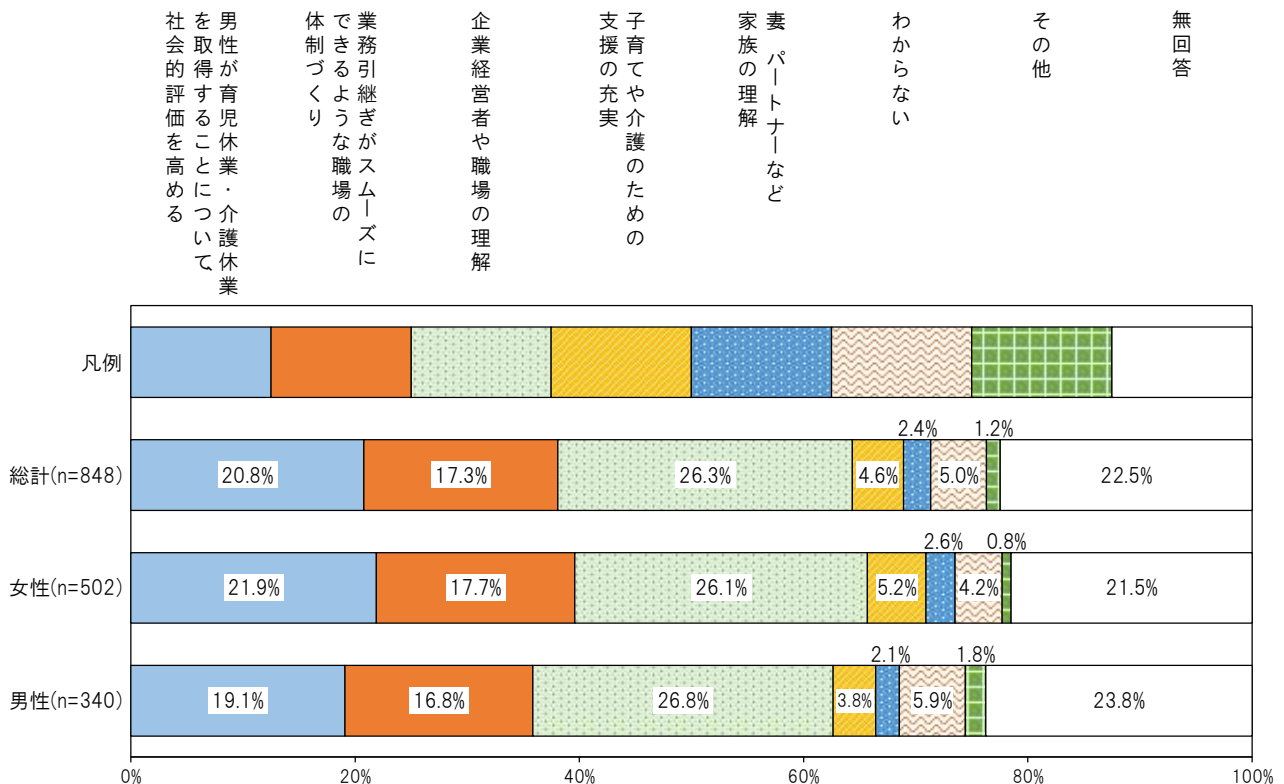
男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするために必要なことについてみると、「企業経営者や職場の理解」(26.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「男性が育児休業・介護休業を取得することについて、社会的評価を高める」(20.8%)、「業務引継ぎがスムーズにできるような職場の体制づくり」(17.3%)、「子育てや介護のための支援の充実」(4.6%)、「妻、パートナーなど家族の理解」(2.4%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 3-23、図表 3-24)

性別でみると、「男性が育児休業・介護休業を取得することについて、社会的評価を高める」と回答した割合は女性が男性より2.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、女性は「男性が育児休業・介護休業を取得することについて、社会的評価を高める」と回答した割合は50歳未満が最も高く、その中でも20歳代は5割を超えている。男性は「業務引継ぎがスムーズにできるような職場の体制づくり」と回答した割合が20歳代、40歳代、80歳以上で最も高くなっている。

図表 3-23 男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするために必要なこと【総計、性別】



図表 3-24 男性が育児休暇や介護休暇をとりやすくするために必要なこと・複数回答【性・年代別】

		サンプル数	男性が育児休業 介護休業を取得 することについて 社会的評価を 高める	業務引継ぎがスムーズにできるよ うな職場の体制づくり	企業経営者や 職場の理解	子育てや介護のための 支援の充実	妻 パートナーなど家族の 理解	わからない	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)										
総計		848	176	147	223	39	20	42	10	191
		100.0%	20.8%	17.3%	26.3%	4.6%	2.4%	5.0%	1.2%	22.5%
性・年代別	女性	502	110	89	131	26	13	21	4	108
		100.0%	21.9%	17.7%	26.1%	5.2%	2.6%	4.2%	0.8%	21.5%
	10歳代	9	4	1	3	1	0	0	0	0
		100.0%	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	13	4	2	0	1	1	0	4
		100.0%	52.0%	16.0%	8.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	16.0%
	30歳代	44	14	7	9	1	2	2	0	9
		100.0%	31.8%	15.9%	20.5%	2.3%	4.5%	4.5%	0.0%	20.5%
	40歳代	82	24	15	19	2	4	4	2	12
		100.0%	29.3%	18.3%	23.2%	2.4%	4.9%	4.9%	2.4%	14.6%
	50歳代	83	16	16	17	7	0	2	1	24
		100.0%	19.3%	19.3%	20.5%	8.4%	0.0%	2.4%	1.2%	28.9%
	60歳代	105	23	19	33	3	3	2	1	21
		100.0%	21.9%	18.1%	31.4%	2.9%	2.9%	1.9%	1.0%	20.0%
	70歳代	111	11	20	32	10	1	7	0	30
		100.0%	9.9%	18.0%	28.8%	9.0%	0.9%	6.3%	0.0%	27.0%
	80歳以上	43	5	7	16	2	2	3	0	8
		100.0%	11.6%	16.3%	37.2%	4.7%	4.7%	7.0%	0.0%	18.6%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	65	57	91	13	7	20	6	81	
	100.0%	19.1%	16.8%	26.8%	3.8%	2.1%	5.9%	1.8%	23.8%	
10歳代	5	1	1	2	1	0	0	0	0	
	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	18	4	7	3	0	0	0	1	3	
	100.0%	22.2%	38.9%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	
30歳代	28	7	5	6	1	0	1	0	8	
	100.0%	25.0%	17.9%	21.4%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	28.6%	
40歳代	33	6	9	5	1	2	2	1	7	
	100.0%	18.2%	27.3%	15.2%	3.0%	6.1%	6.1%	3.0%	21.2%	
50歳代	44	10	7	13	2	0	1	2	9	
	100.0%	22.7%	15.9%	29.5%	4.5%	0.0%	2.3%	4.5%	20.5%	
60歳代	87	22	12	24	3	1	5	0	20	
	100.0%	25.3%	13.8%	27.6%	3.4%	1.1%	5.7%	0.0%	23.0%	
70歳代	96	14	9	31	5	1	4	2	30	
	100.0%	14.6%	9.4%	32.3%	5.2%	1.0%	4.2%	2.1%	31.3%	
80歳以上	28	1	7	6	0	3	7	0	4	
	100.0%	3.6%	25.0%	21.4%	0.0%	10.7%	25.0%	0.0%	14.3%	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	1	1	1	0	0	1	0	2	
	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	

<その他意見（主なもの）>

- 体制が整備されていない。しわ寄せがありバックアップの人材は供給されず、非常勤や臨時にしわ寄せがある。仕事の精選を国・県でしっかりやるべきこと。
- 法律で決めないと不可能。今この20年ぐらいで会社の体系が変わった。具体的に昔は経営側と雇用側、今は株主と経営側と雇用側。
- 国・地方自治体が正当な育児・介護休暇を取る。取った企業や団体への補助金をしっかり出す！（子は国民の宝である）
- 制度面での義務化
- 義務として取得しなければならない制度
- 子育ての重要性、親の関わりについて育児にかかわる男性への啓発
- 昇進に影響がないこと
- 平常の業務を頑張っている姿を見せることで周りの方の体制は整うと思います。
- 責任ある仕事をしている男性は特に難しいと思う。

4. 家庭生活について

(1) 家庭における夫婦の役割分担

問 21 【問3で、「2 結婚している」、「3 事実上婚姻関係にある」と回答された方にお尋ねします。】
あなたの家庭では、現在、次のような事柄を主に誰が行っていますか。
(各項目であてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 4-1)

家庭における夫婦の役割分担についてみると、「妻」と回答した割合は「家事」(64.6%)、「育児」(40.3%)、「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(32.9%) (「該当しない」を除く) でそれぞれ最も高くなっている。一方、「夫」と回答した割合は「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(19.9%) を除くといずれも 2.0%以下となっている。また、「夫と妻が分担」と回答した割合は、「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」(32.1%) で最も高く、次いで「家事」(28.8%)、「育児」(21.9%) となっている。

[性別、性・年代別] (図表 4-2～図表 4-4)

性別でみると、女性はすべての役割分担で「妻」と回答した割合が男性より高く、男性は「夫」「夫と妻が分担」と回答した割合が女性より高くなっており、男女間での意識の差がみられる。性・年代別でみると、30～40 歳代男性は「介護」を除くすべての役割分担で「夫と妻が分担」と回答した割合が最も高くなっている。「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」は、40～70 歳代の女性は「妻」と回答した割合が最も高く、30～60 歳代の男性は「夫と妻が分担」と回答した割合が最も高くなっている。

[性・夫婦の就労状況別、性・職業別] (図表 4-3～図表 4-4)

性・夫婦の就労状況別でみると、男女とも「家事」についてすべての就労状況で「妻」と回答した割合が最も高くなっている。特に「どちらも職業がある」「配偶者(パートナー)のみ職業がある」、「どちらも職業がない」と回答した女性では7割を超えている。「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」について「配偶者(パートナー)のみ職業がある」、「どちらも職業がない」と回答した男性では「夫」と回答した割合が最も高くなっている。

性・職業別でみると、「家事」、「育児」について、女性のすべての職業で「妻」と回答した割合が最も高くなっているが、男性の「雇用者」では「夫と妻が分担」と回答した割合が他の職業より高くなっている。また、「介護・看護」については、(「該当しない」を除き)女性の「無職」と回答した割合が最も高く、男性のすべての職業で「夫と妻が分担」と回答した割合が最も高くなっている。

[性・子の年代別] (図表 4-3～図表 4-4)

性・子の年代別でみると、「育児」については、男女とも「乳幼児」の子がいると回答した人の5割以上で「夫と妻が分担」と回答している。また、「家事」については、男性の「乳幼児」の子がいると回答した人は「夫と妻が分担」と回答した割合が5割を超えているが、女性については子の年代に関係なく、「妻が分担」と回答した割合が6割を超えている。

[「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別] (図表 4-5～図表 4-8)

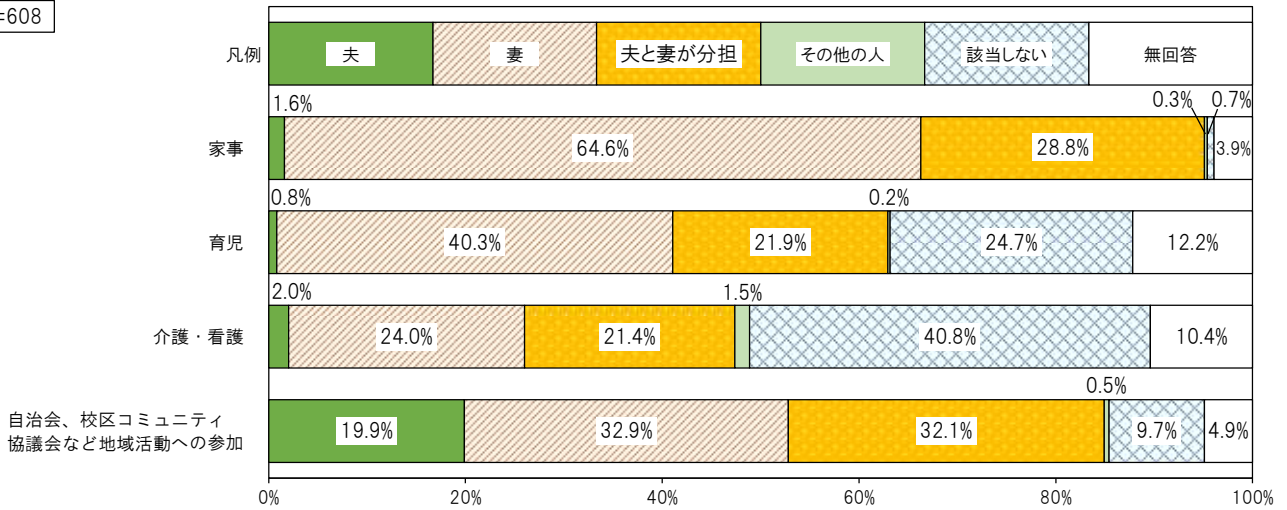
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別でみると、「反対」の人は「介護・看護」を除くすべての役割分担において「夫と妻が分担」と回答した割合が他の考え方より高くなっている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 4-9～図表 4-12)

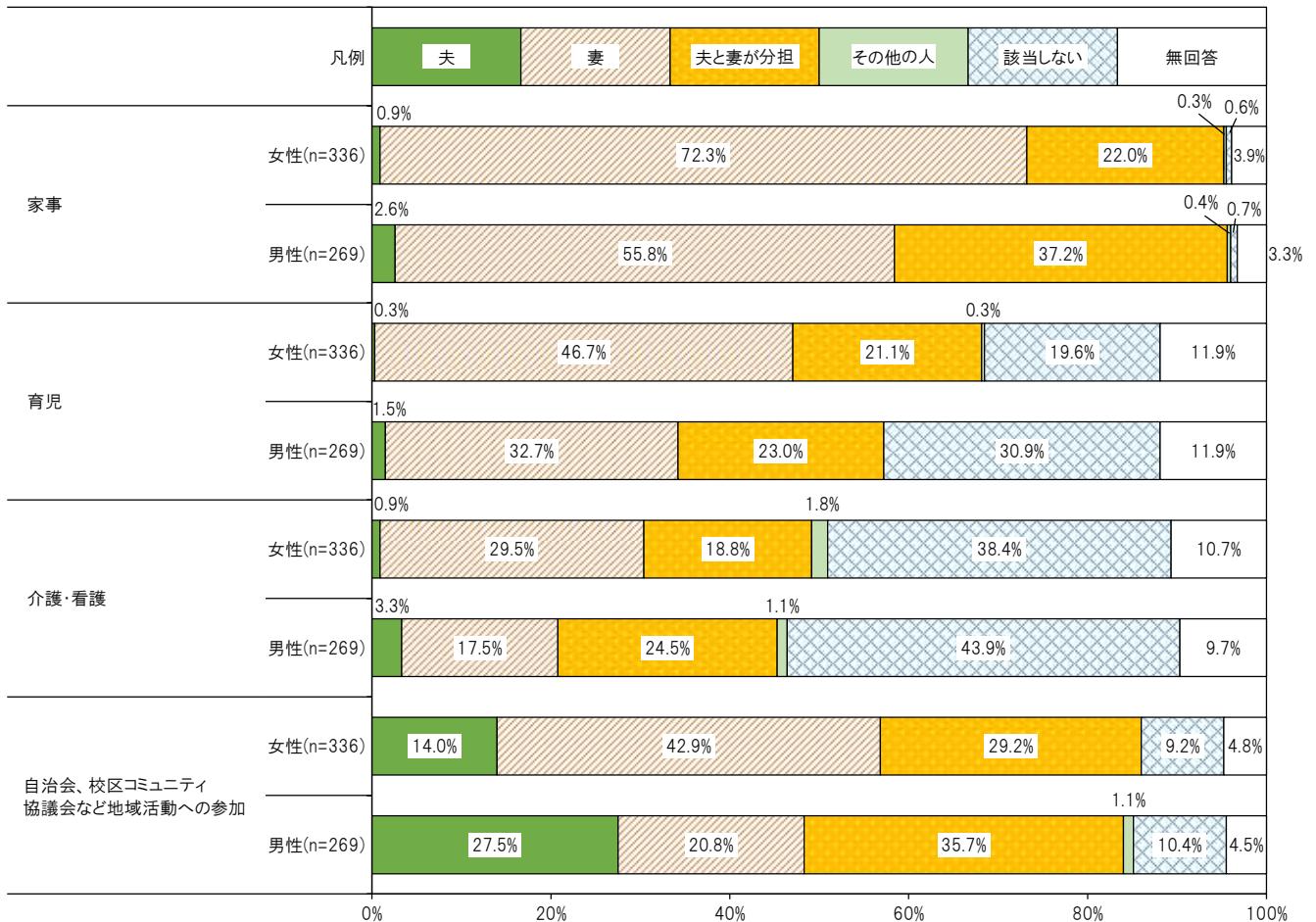
前回調査、鹿児島県調査と比較すると、「自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加」の役割分担で「夫」と回答した割合が減少しており、一方「妻」と回答した割合は 4.0 ポイント以上増加している。その他の役割分担については、回答傾向に大きな差はみられない。

図表 4-1 家庭における夫婦の役割分担【総計】

n=608



図表 4-2 家庭における夫婦の役割分担【性別】



※今回調査は、「自分」と「配偶者」を性別ごとに「夫」と「妻」として集計している。
 (男性の「自分」及び女性の「配偶者」を「夫」、男性の「配偶者」及び女性の「自分」を「妻」として集計。
 ただし、性別が「無回答」の場合の回答は「無回答」に含まれる。)

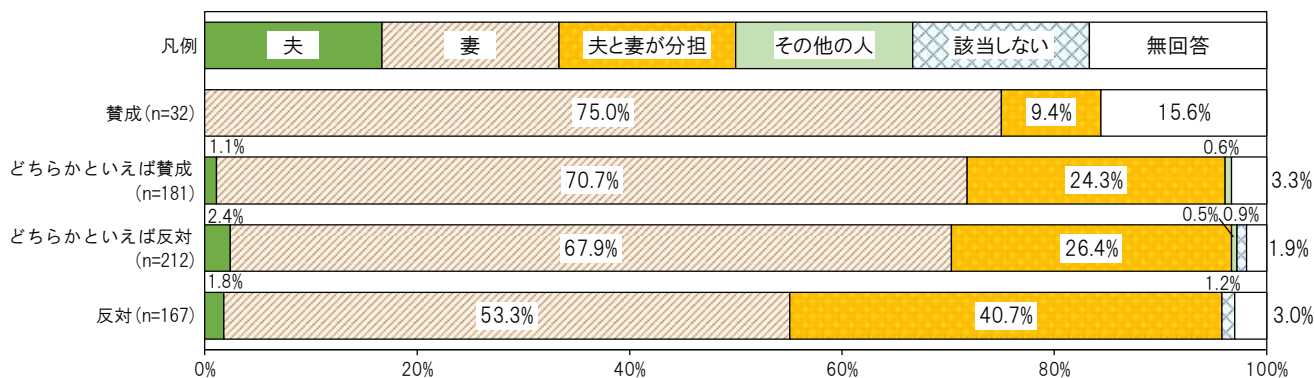
図表 4-3 家庭における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別、性・子の年代別、前回調査、鹿児島県調査】 1/2

	サンプル数	家事						育児							
		夫	妻	夫と妻が分担	その他人	該当しない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	その他人	該当しない	無回答		
上段：度数 下段：構成比(%)															
総計	608 100.0%	10 1.6%	393 64.6%	175 28.8%	2 0.3%	4 0.7%	24 3.9%	5 0.8%	245 40.3%	133 21.9%	1 0.2%	150 24.7%	74 12.2%		
平成29年度始良市調査	717 100.0%	8 1.1%	489 68.2%	182 25.4%	6 0.8%	9 1.3%	23 3.2%	0 0.0%	289 40.3%	149 20.8%	4 0.6%	202 28.2%	73 10.2%		
令和3年度鹿児島県調査	1,493 100.0%	31 2.1%	944 63.2%	431 28.9%	8 0.5%	12 0.8%	67 4.5%	7 0.5%	573 38.4%	361 24.2%	2 0.1%	408 27.3%	142 9.5%		
性・年代別	女性	336 100.0%	3 0.9%	243 72.3%	74 22.0%	1 0.3%	2 0.6%	13 3.9%	157 46.7%	71 21.1%	1 0.3%	66 19.6%	40 11.9%		
	10歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	20歳代	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	
	30歳代	33 100.0%	1 3.0%	19 54.5%	13 39.4%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 45.5%	14 42.4%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	
	40歳代	60 100.0%	0 0.0%	44 73.3%	16 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	29 48.3%	26 43.3%	0 0.0%	5 8.3%	0 0.0%	
	50歳代	57 100.0%	0 0.0%	45 78.9%	12 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	35 61.4%	10 17.5%	0 0.0%	11 19.3%	1 1.8%	
	60歳代	79 100.0%	1 1.3%	58 73.4%	16 20.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.1%	0 0.0%	41 51.9%	9 11.4%	1 1.3%	17 21.5%	11 13.9%	
	70歳代	83 100.0%	0 0.0%	64 77.1%	12 14.5%	0 0.0%	1 1.2%	6 7.2%	0 0.0%	32 38.6%	9 10.8%	0 0.0%	20 24.1%	22 26.5%	
	80歳以上	20 100.0%	1 5.0%	12 60.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	4 20.0%	2 10.0%	0 0.0%	7 35.0%	6 30.0%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	269 100.0%	7 2.6%	150 55.8%	100 37.2%	1 0.4%	2 0.7%	9 3.3%	4 1.5%	88 32.7%	62 23.0%	0 0.0%	83 30.9%	32 11.9%	
	10歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	20歳代	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	
	30歳代	21 100.0%	1 4.8%	9 42.9%	11 52.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 33.3%	11 52.4%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	
	40歳代	28 100.0%	0 0.0%	13 46.4%	14 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	12 42.9%	13 46.4%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	
	50歳代	34 100.0%	0 0.0%	19 55.9%	14 41.2%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	11 32.4%	13 38.2%	0 0.0%	10 29.4%	0 0.0%	
	60歳代	74 100.0%	3 4.1%	49 66.2%	22 29.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	33 44.6%	9 12.2%	0 0.0%	24 32.4%	7 9.5%	
	70歳代	82 100.0%	1 1.2%	42 51.2%	32 39.0%	1 1.2%	1 1.2%	5 6.1%	2 2.4%	19 23.2%	11 13.4%	0 0.0%	33 40.2%	17 20.7%	
	80歳以上	23 100.0%	1 4.3%	15 65.2%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	5 21.7%	2 8.7%	0 0.0%	10 43.5%	6 26.1%	
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	性別無回答ほか	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	
	性・夫婦の就労状況別	女性	どちらも職業がある	153 100.0%	2 1.3%	114 74.5%	35 22.9%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	84 54.9%	42 27.5%	0 0.0%	22 14.4%	5 3.3%
			自分のみ職業がある	16 100.0%	0 0.0%	9 56.3%	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	4 25.0%	0 0.0%	3 18.8%	3 18.8%
配偶者(パートナー)のみ職業がある			53 100.0%	0 0.0%	41 77.4%	11 20.8%	0 0.0%	0 1.9%	0 0.0%	27 50.9%	14 26.4%	0 0.0%	8 15.1%	4 7.5%	
どちらとも職業がない			105 100.0%	0 0.0%	74 70.5%	20 19.0%	1 1.0%	1 1.0%	9 8.6%	0 0.0%	39 37.1%	10 9.5%	1 1.0%	31 29.5%	24 22.9%
どちらも職業がある			113 100.0%	2 1.8%	57 50.4%	53 46.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	39 34.5%	39 34.5%	0 0.0%	30 26.5%	4 3.5%
自分のみ職業がある			51 100.0%	1 2.0%	36 70.6%	12 23.5%	0 0.0%	0 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	22 43.1%	12 23.5%	0 0.0%	13 25.5%	4 7.8%
男性		配偶者(パートナー)のみ職業がある	12 100.0%	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	5 41.7%	2 16.7%
		どちらとも職業がない	88 100.0%	3 3.4%	49 55.7%	29 33.0%	0 0.0%	1 1.1%	6 6.8%	3 3.4%	22 25.0%	9 10.2%	0 0.0%	34 38.6%	20 22.7%
		自営業主	13 100.0%	0 0.0%	7 53.8%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	7 53.8%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	4 30.8%
		家族従事者	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	
		雇用者	144 100.0%	2 1.4%	103 71.5%	38 26.4%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	75 52.1%	42 29.2%	0 0.0%	21 14.6%	6 4.2%
		無職	151 100.0%	1 0.7%	110 72.8%	30 19.9%	1 0.7%	1 0.7%	8 5.3%	1 0.7%	65 43.0%	24 15.9%	1 0.7%	37 24.5%	23 15.2%
男性	自営業主	35 100.0%	0 0.0%	22 62.9%	11 31.4%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	11 31.4%	6 17.1%	0 0.0%	15 42.9%	3 8.6%		
	家族従事者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	雇用者	115 100.0%	2 1.7%	62 53.9%	50 43.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	47 40.9%	37 32.2%	0 0.0%	26 22.6%	5 4.3%	
	無職	93 100.0%	3 3.2%	51 54.8%	33 35.5%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.4%	2 2.2%	25 26.9%	11 11.8%	0 0.0%	36 38.7%	19 20.4%	
	乳幼児	42 100.0%	1 2.4%	27 64.3%	14 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 50.0%	21 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	小中学生	71 100.0%	0 0.0%	56 78.9%	15 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 63.4%	25 35.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	
女性	その他(大学生、結婚した子ども等)	294 100.0%	2 0.7%	220 74.8%	57 19.4%	1 0.3%	2 0.7%	12 4.1%	1 0.3%	147 50.0%	51 17.3%	1 0.3%	52 17.7%	42 14.3%	
	いない	30 100.0%	0 0.0%	21 70.0%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 20.0%	1 3.3%	0 0.0%	19 63.3%	4 13.3%		
	乳幼児	30 100.0%	1 3.3%	13 43.3%	16 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 43.3%	16 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	
	小中学生	45 100.0%	3 6.7%	25 55.6%	16 35.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	1 2.2%	19 42.2%	22 48.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.7%	
	その他(大学生、結婚した子ども等)	234 100.0%	6 2.6%	132 56.4%	88 37.6%	1 0.4%	1 0.4%	6 2.6%	4 1.7%	81 34.6%	47 20.1%	0 0.0%	75 32.1%	27 11.5%	
	いない	32 100.0%	0 0.0%	19 59.4%	10 31.3%	0 0.0%	1 3.1%	2 6.3%	0 0.0%	6 18.8%	2 6.3%	0 0.0%	18 56.3%	6 18.8%	

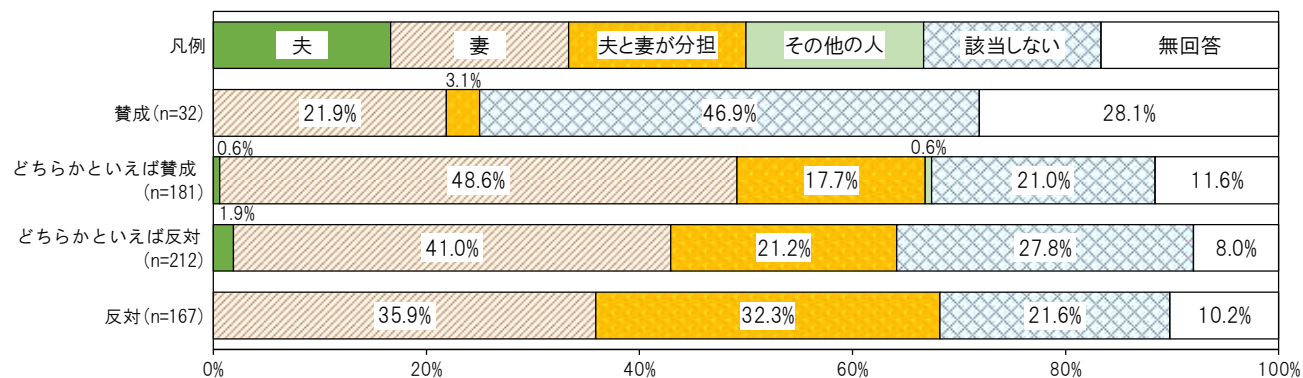
図表 4-4 家庭における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別、性・子の年代別、前回調査、鹿児島県調査】 2/2

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	介護・看護					自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加							
		夫	妻	夫と妻が分担	お一人	該当し ない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	お一人	該当し ない	無回答	
総計	608	12	146	130	9	248	63	121	200	195	3	59	30	
	100.0%	2.0%	24.0%	21.4%	1.5%	40.8%	10.4%	19.9%	32.9%	32.1%	0.5%	9.7%	4.9%	
平成29年度始良市調査	717	9	175	125	17	327	64	159	206	250	12	56	34	
	100.0%	1.3%	24.4%	17.4%	2.4%	45.6%	8.9%	22.2%	28.7%	34.9%	1.7%	7.8%	4.7%	
令和3年度鹿児島県調査	1,493	39	371	299	19	639	126	345	415	473	17	162	81	
	100.0%	2.6%	24.8%	20.0%	1.3%	42.8%	8.4%	23.1%	27.8%	31.7%	1.1%	10.9%	5.4%	
性 年代別	女性	336	3	99	63	6	129	36	47	144	98	0	31	16
		100.0%	0.9%	29.5%	18.8%	1.8%	38.4%	10.7%	14.0%	42.9%	29.2%	0.0%	9.2%	4.8%
	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	33	0	5	4	0	23	1	2	8	15	0	8	0
		100.0%	0.0%	15.2%	12.1%	0.0%	69.7%	3.0%	6.1%	24.2%	45.5%	0.0%	24.2%	0.0%
	40歳代	60	0	15	10	1	34	0	4	29	19	0	8	0
		100.0%	0.0%	25.0%	16.7%	1.7%	56.7%	0.0%	6.7%	48.3%	31.7%	0.0%	13.3%	0.0%
	50歳代	57	1	19	13	1	21	2	2	38	15	0	2	0
		100.0%	1.8%	33.3%	22.8%	1.8%	36.8%	3.5%	3.5%	66.7%	26.3%	0.0%	3.5%	0.0%
	60歳代	79	0	26	20	2	21	10	11	36	23	0	4	5
		100.0%	0.0%	32.9%	25.3%	2.5%	26.6%	12.7%	13.9%	45.6%	29.1%	0.0%	5.1%	6.3%
	70歳代	83	2	31	12	0	21	17	18	29	24	0	5	7
		100.0%	2.4%	37.3%	14.5%	0.0%	25.3%	20.5%	21.7%	34.9%	28.9%	0.0%	6.0%	8.4%
	80歳以上	20	0	3	4	2	5	6	10	4	2	0	0	4
		100.0%	0.0%	15.0%	20.0%	10.0%	25.0%	30.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	269	9	47	66	3	118	26	74	56	96	3	28	12	
	100.0%	3.3%	17.5%	24.5%	1.1%	43.9%	9.7%	27.5%	20.8%	35.7%	1.1%	10.4%	4.5%	
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	6	1	1	0	0	4	0	3	1	1	0	1	0	
	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	
30歳代	21	0	2	5	0	14	0	3	3	8	1	6	0	
	100.0%	0.0%	9.5%	23.8%	0.0%	66.7%	0.0%	14.3%	14.3%	38.1%	4.8%	28.6%	0.0%	
40歳代	28	2	3	5	2	15	1	4	10	13	0	0	1	
	100.0%	7.1%	10.7%	17.9%	7.1%	53.6%	3.6%	14.3%	35.7%	46.4%	0.0%	0.0%	3.6%	
50歳代	34	0	3	13	0	17	1	7	7	15	0	5	0	
	100.0%	0.0%	8.8%	38.2%	0.0%	50.0%	2.9%	20.6%	20.6%	44.1%	0.0%	14.7%	0.0%	
60歳代	74	4	24	18	0	23	5	17	21	25	1	8	2	
	100.0%	5.4%	32.4%	24.3%	0.0%	31.1%	6.8%	23.0%	28.4%	33.8%	1.4%	10.8%	2.7%	
70歳代	82	2	11	18	1	37	13	33	10	28	0	5	6	
	100.0%	2.4%	13.4%	22.0%	1.2%	45.1%	15.9%	40.2%	12.2%	34.1%	0.0%	6.1%	7.3%	
80歳以上	23	0	3	7	0	7	6	6	4	6	1	3	3	
	100.0%	0.0%	13.0%	30.4%	0.0%	30.4%	26.1%	26.1%	17.4%	26.1%	4.3%	13.0%	13.0%	
無回答	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	3	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
性・夫婦の就労状況別	女性	153	0	41	29	1	77	5	15	74	44	0	19	1
		100.0%	0.0%	26.8%	19.0%	0.7%	50.3%	3.3%	9.8%	48.4%	28.8%	0.0%	12.4%	0.7%
	どちらとも職業がある	16	2	4	7	0	1	2	2	8	6	0	0	0
		100.0%	12.5%	25.0%	43.8%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	配偶者(パートナー)のみ職業がある	53	0	15	8	3	22	5	2	25	19	0	6	1
		100.0%	0.0%	28.3%	15.1%	5.7%	41.5%	9.4%	3.8%	47.2%	35.8%	0.0%	11.3%	1.9%
	どちらとも職業がない	105	1	37	18	2	26	21	27	34	27	0	6	11
		100.0%	1.0%	35.2%	17.1%	1.9%	24.8%	20.0%	25.7%	32.4%	25.7%	0.0%	5.7%	10.5%
	どちらとも職業がある	113	4	17	28	2	59	3	22	28	46	1	16	0
		100.0%	3.5%	15.0%	24.8%	1.8%	52.2%	2.7%	19.5%	24.8%	40.7%	0.9%	14.2%	0.0%
	自分のみ職業がある	51	2	10	14	0	22	3	16	12	17	1	3	2
		100.0%	3.9%	19.6%	27.5%	0.0%	43.1%	5.9%	31.4%	23.5%	33.3%	2.0%	5.9%	3.9%
配偶者(パートナー)のみ職業がない	12	0	2	3	0	5	2	6	0	4	0	1	1	
	100.0%	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	41.7%	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	
どちらとも職業がない	88	3	17	20	1	31	16	26	16	29	1	8	8	
	100.0%	3.4%	19.3%	22.7%	1.1%	35.2%	18.2%	29.5%	18.2%	33.0%	1.1%	9.1%	9.1%	
男性	13	0	2	3	0	5	3	4	3	2	0	2	2	
	100.0%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%	38.5%	23.1%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%	
家族従事者	7	0	3	0	0	4	0	1	3	3	0	0	0	
	100.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
雇用者	144	2	40	31	1	66	4	11	71	46	0	16	0	
	100.0%	1.4%	27.8%	21.5%	0.7%	45.8%	2.8%	7.6%	49.3%	31.9%	0.0%	11.1%	0.0%	
無職	151	1	51	27	5	46	21	29	56	45	0	11	10	
	100.0%	0.7%	33.8%	17.9%	3.3%	30.5%	13.9%	19.2%	37.1%	29.8%	0.0%	7.3%	6.6%	
自営業主	35	1	6	9	0	17	2	9	10	13	0	3	0	
	100.0%	2.9%	17.1%	25.7%	0.0%	48.6%	5.7%	25.7%	28.6%	37.1%	0.0%	8.6%	0.0%	
家族従事者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
雇用者	115	3	20	30	2	56	4	24	25	48	1	14	3	
	100.0%	2.6%	17.4%	26.1%	1.7%	48.7%	3.5%	20.9%	21.7%	41.7%	0.9%	12.2%	2.6%	
無職	93	2	16	23	1	35	16	32	14	31	1	8	7	
	100.0%	2.2%	17.2%	24.7%	1.1%	37.6%	17.2%	34.4%	15.1%	33.3%	1.1%	8.6%	7.5%	
性・子の年代別	女性	42	0	7	4	0	30	1	3	13	15	0	11	0
		100.0%	0.0%	16.7%	9.5%	0.0%	71.4%	2.4%	7.1%	31.0%	35.7%	0.0%	26.2%	0.0%
	乳幼児	71	0	24	7	2	37	1	2	38	25	0	6	0
		100.0%	0.0%	33.8%	9.9%	2.8%	52.1%	1.4%	2.8%	53.5%	35.2%	0.0%	8.5%	0.0%
	小中学生	294	3	96	60	4	94	37	51	133	81	0	14	15
		100.0%	1.0%	32.7%	20.4%	1.4%	32.0%	12.6%	17.3%	45.2%	27.6%	0.0%	4.8%	5.1%
	その他(大学生、結婚した子ども等)	30	0	8	5	1	14	2	1	14	9	0	5	1
		100.0%	0.0%	26.7%	16.7%	3.3%	46.7%	6.7%	3.3%	46.7%	30.0%	0.0%	16.7%	3.3%
	乳幼児	30	0	6	5	1	17	1	5	7	12	0	5	1
		100.0%	0.0%	20.0%	16.7%	3.3%	56.7%	3.3%	16.7%	23.3%	40.0%	0.0%	16.7%	3.3%
小中学生	45	3	8	13	0	19	2	6	18	17	0	2	2	
	100.0%	6.7%	17.8%	28.9%	0.0%	42.2%	4.4%	13.3%	40.0%	37.8%	0.0%	4.4%	4.4%	
その他(大学生、結婚した子ども等)	234	6	46	62	2	93	25	70	47	92	2	15	8	
	100.0%	2.6%	19.7%	26.										

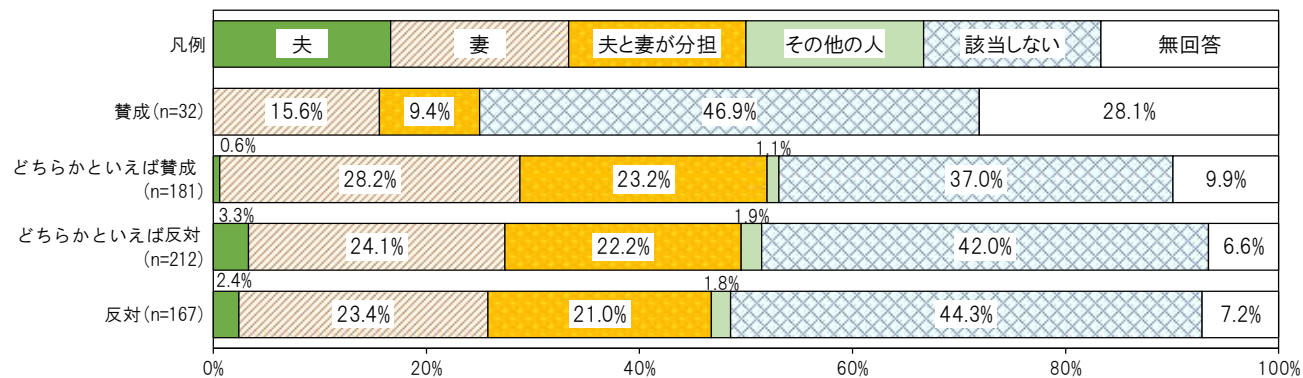
図表 4-5 家庭における夫婦の役割分担 **家事** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



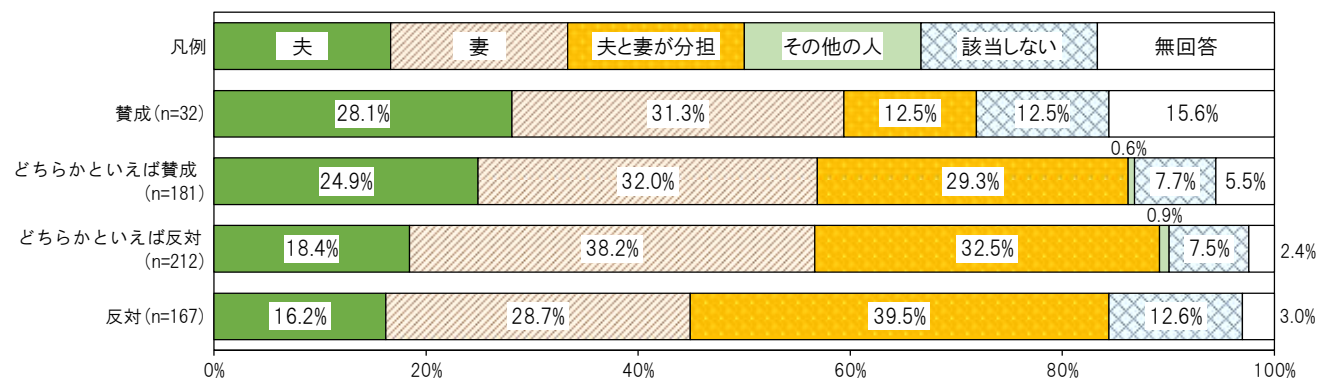
図表 4-6 家庭における夫婦の役割分担 **育児** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



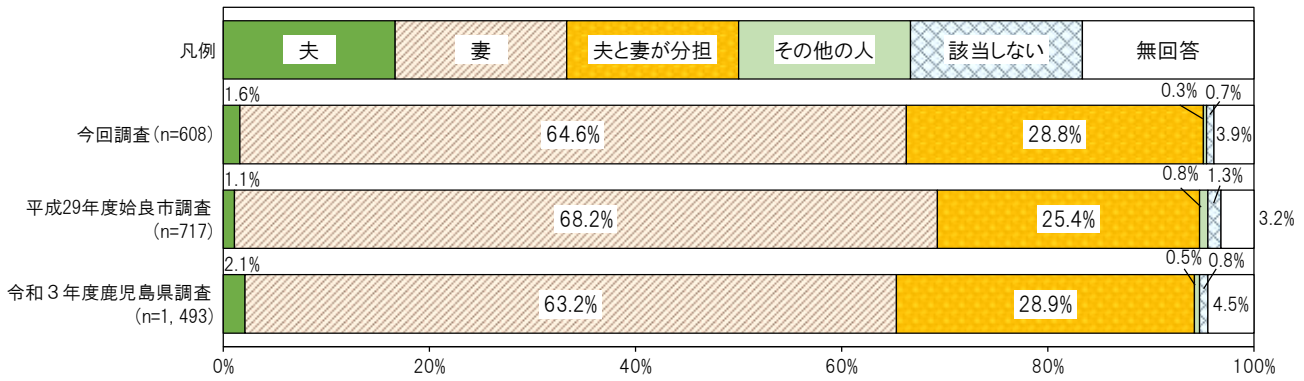
図表 4-7 家庭における夫婦の役割分担 **介護・看護** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



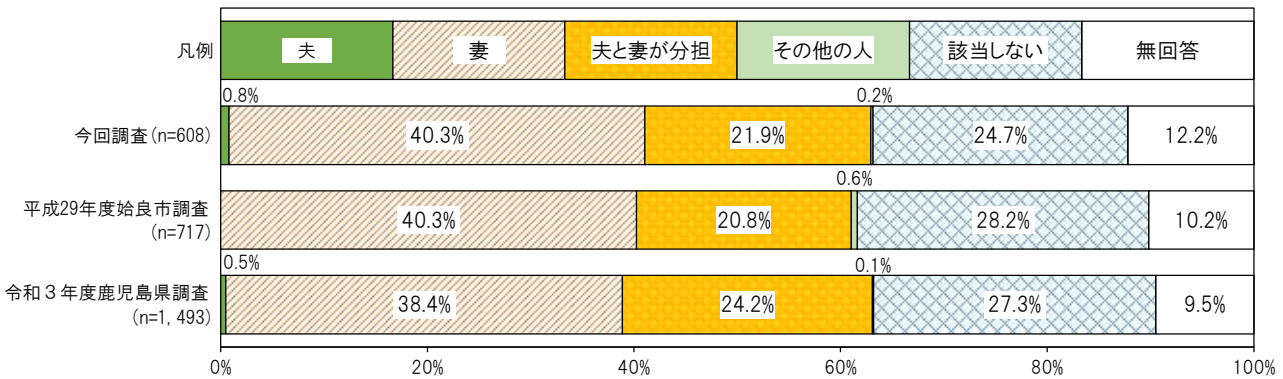
図表 4-8 家庭における夫婦の役割分担 **自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加** 【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別】



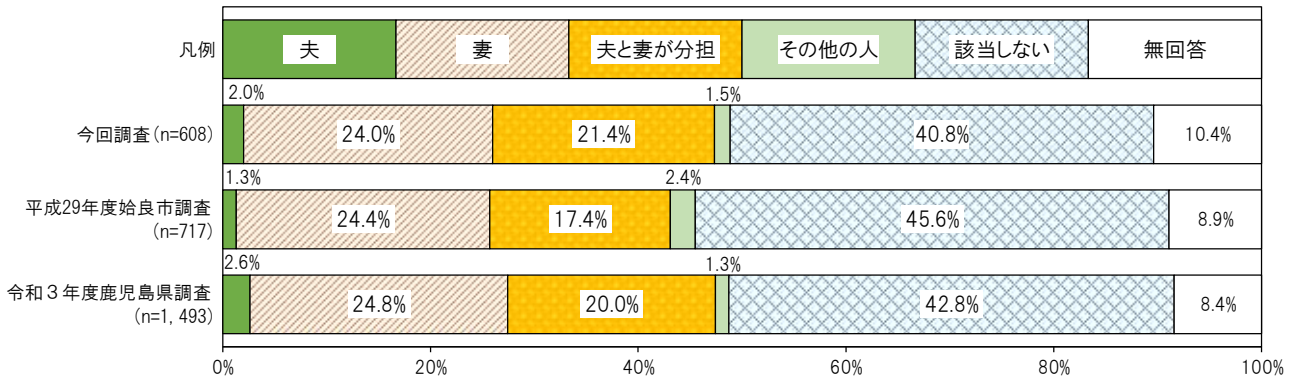
図表 4-9 家庭における夫婦の役割分担について **家事** 【総計、前回調査、鹿児島県調査】



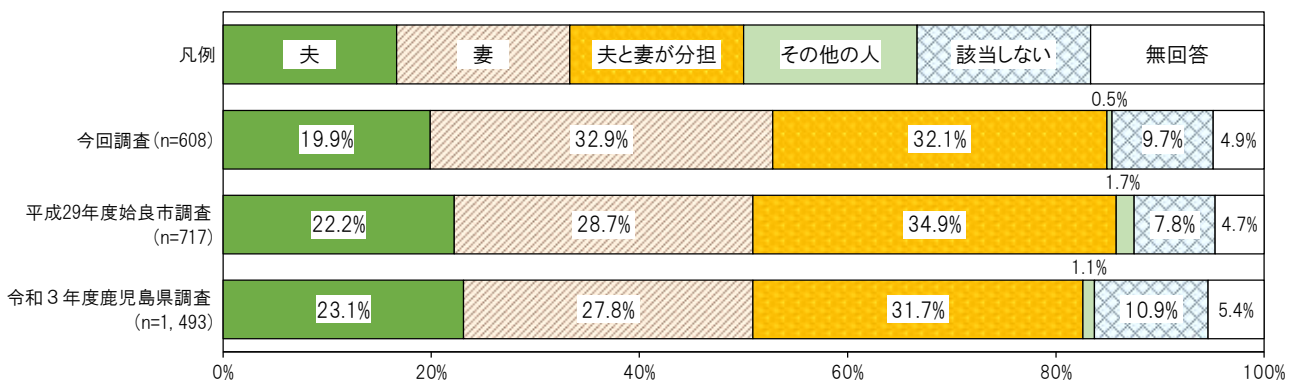
図表 4-10 家庭における夫婦の役割分担について **育児** 【総計、前回調査、鹿児島県調査】



図表 4-11 家庭における夫婦の役割分担について **介護・看護** 【総計、前回調査、鹿児島県調査】



図表 4-12 家庭における夫婦の役割分担について **自治会、校区コミュニティ協議会など地域活動への参加** 【総計、前回調査、鹿児島県調査】



(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化

問 22 【問3で、「2 結婚している」、「3 事実上婚姻関係にある」と回答された方にお尋ねします。】
 新型コロナウイルス感染症拡大前（2019(R元)年 12 月以前）と比べて、家事・育児・介護に関する夫婦間の役割分担はどのように変化しましたか。（あてはまるものを1つだけ選択）

[全体] (図表 4-13)

家庭における夫婦の役割分担の変化についてみると、「2人の役割分担に変化はない」(72.0%)が最も高くなっている。一方、『妻の役割増加』(「妻の役割がやや増加」+「妻の役割が増加」)(11.7%)が『夫の役割増加』(「夫の役割が増加」+「夫の役割がやや増加」)(6.4%)より5.3ポイント高くなっている。

[性別、性・年代別] (図表 4-13、図表 4-14)

性別でみると、男女とも「2人の役割分担に変化はない」と回答した割合が最も高く、7割を超えている。また、性・年代別でも、男女ともに「2人の役割分担に変化はない」と回答した割合が半数を超えており、中でも50歳代男性の割合が高く91.2%となっている。

[性・夫婦の就労状況別、性・職業別] (図表 4-14)

性・夫婦の就労状況別でみると、「どちらも職業がある」と回答した人の中で、女性では『妻の役割増加』と回答した割合が『夫の役割増加』と比べ12.4ポイント高くなっている。一方、男性では『夫の役割増加』と回答している割合が1.7ポイント高くなっている。

性・職業別でみると、女性の「雇用者(常勤)」と男性の「自営業主」では「2人の役割分担に変化はない」と回答した割合が8割を超えている。

[性・子の有無別] (図表 4-14)

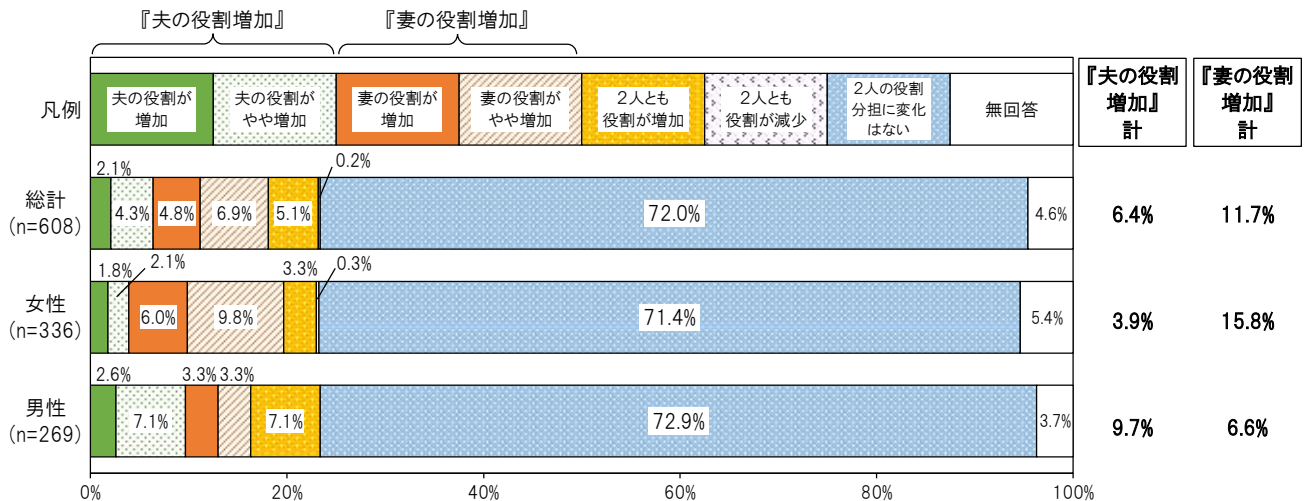
性・子の有無別でみると、女性では中学生以下の子どもがいる人の3割強が『妻の役割増加』と回答しており、男性では中学生以下の子どもがいる人の約2割が『夫の役割増加』と回答している。

[鹿児島県調査、内閣府調査との比較] (図表 4-15、図表 4-16)

鹿児島県調査と比較すると、『妻の役割増加』と回答した割合は8.0ポイント低く、「2人の役割分担に変化はない」と回答した割合が13.8ポイント高くなっている。

内閣府調査と比較すると、『夫の役割増加』と回答した割合は12.1ポイント低く、「妻の2人の役割分担に変化はない」と回答した割合は12.8ポイント高くなっている。

図表 4-13 新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化【総計、性別】



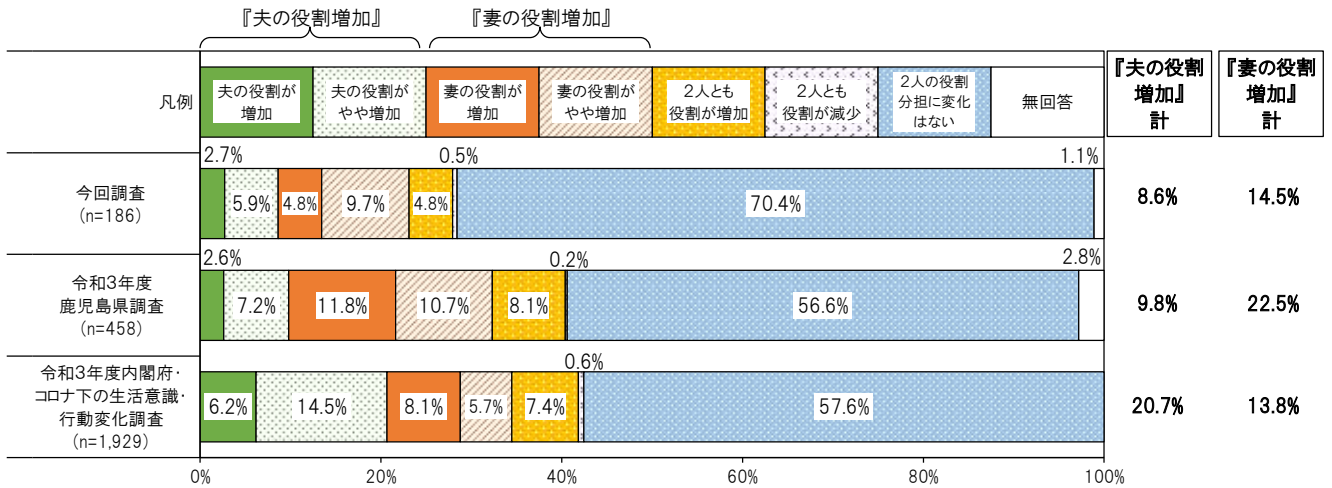
※今回調査は、「自分」と「配偶者」を性別ごとに「夫」と「妻」として集計している。
 (男性の「自分」及び女性の「配偶者」を「夫」、男性の「配偶者」及び女性の「自分」を「妻」として集計。
 ただし、性別が「無回答」の場合の回答は「無回答」に含まれる。)

図表 4-14 新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化
 【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・子の有無別、性・職業別】

上段：度数 下段：構成比(%)		サ ン プ ル 数	夫 の 役 割 が 増 加	夫 の 役 割 が や や 減 少	妻 の 役 割 が 増 加	妻 の 役 割 が や や 減 少	2 人 と も 役 割 が 増 加	2 人 と も 役 割 が 減 少	い づ れ の 役 割 分 担 に 変 化 は な い	無 回 答
総計		608 100.0%	13 2.1%	26 4.3%	29 4.8%	42 6.9%	31 5.1%	1 0.2%	438 72.0%	28 4.6%
性・年代別	女性	336 100.0%	6 1.8%	7 2.1%	20 6.0%	33 9.8%	11 3.3%	1 0.3%	240 71.4%	18 5.4%
	10歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
	30歳代	33 100.0%	0 0.0%	2 6.1%	2 6.1%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	25 75.8%	0 0.0%
	40歳代	60 100.0%	1 1.7%	2 3.3%	5 8.3%	6 10.0%	2 3.3%	0 0.0%	44 73.3%	0 0.0%
	50歳代	57 100.0%	1 1.8%	2 3.5%	1 1.8%	10 17.5%	0 0.0%	1 1.8%	42 73.7%	0 0.0%
	60歳代	79 100.0%	1 1.3%	1 1.3%	5 6.3%	4 5.1%	3 3.8%	0 0.0%	59 74.7%	6 7.6%
	70歳代	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.2%	8 9.6%	3 3.6%	0 0.0%	56 67.5%	10 12.0%
	80歳以上	20 100.0%	3 15.0%	0 0.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	11 55.0%	2 10.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	269 100.0%	7 2.6%	19 7.1%	9 3.3%	9 3.3%	19 7.1%	0 0.0%	196 72.9%	10 3.7%
	10歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
	30歳代	21 100.0%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	0 0.0%	15 71.4%	0 0.0%
	40歳代	28 100.0%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	21 75.0%	1 3.6%
	50歳代	34 100.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	31 91.2%	0 0.0%
	60歳代	74 100.0%	1 1.4%	8 10.8%	2 2.7%	2 2.7%	7 9.5%	0 0.0%	53 71.6%	1 1.4%
	70歳代	82 100.0%	2 2.4%	5 6.1%	4 4.9%	1 1.2%	6 7.3%	0 0.0%	58 70.7%	6 7.3%
	80歳以上	23 100.0%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	14 60.9%	2 8.7%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
性別無回答ほか	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	
性・夫婦の就労状況別	女性	153 100.0%	2 1.3%	5 3.3%	8 5.2%	18 11.8%	6 3.9%	1 0.7%	113 73.9%	0 0.0%
	どちらも 職業がある	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	11 68.8%	2 12.5%
	自分のみ 職業がある	53 100.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.7%	5 9.4%	1 1.9%	0 0.0%	40 75.5%	3 5.7%
	配偶者(ハトナ-)のみ 職業がある	105 100.0%	3 2.9%	0 0.0%	8 7.6%	10 9.5%	3 2.9%	0 0.0%	70 66.7%	11 10.5%
	どちらも 職業がない	113 100.0%	4 3.5%	4 3.5%	0 0.0%	6 5.3%	7 6.2%	0 0.0%	91 80.5%	1 0.9%
	自分のみ 職業がある	51 100.0%	0 0.0%	4 7.8%	2 3.9%	1 2.0%	5 9.8%	0 0.0%	38 74.5%	1 2.0%
	配偶者(ハトナ-)のみ 職業がある	12 100.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 83.3%	1 8.3%
	どちらも 職業がない	88 100.0%	2 2.3%	10 11.4%	6 6.8%	2 2.3%	6 6.8%	0 0.0%	56 63.6%	6 6.8%
	男性	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	9 69.2%	2 15.4%
	自営業主	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%
	家族従事者	53 100.0%	1 1.9%	2 3.8%	3 5.7%	2 3.8%	2 3.8%	0 0.0%	43 81.1%	0 0.0%
	非常勤	91 100.0%	2 2.2%	3 3.3%	5 5.5%	15 16.5%	3 3.3%	1 1.1%	62 68.1%	0 0.0%
無職	151 100.0%	2 1.3%	1 0.7%	9 6.0%	14 9.3%	4 2.6%	0 0.0%	109 72.2%	12 7.9%	
自営業主	35 100.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.7%	4 11.4%	0 0.0%	28 80.0%	0 0.0%	
家族従事者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
常勤	92 100.0%	2 2.2%	6 6.5%	1 1.1%	4 4.3%	7 7.6%	0 0.0%	71 77.2%	1 1.1%	
非常勤	23 100.0%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	18 78.3%	1 4.3%	
無職	93 100.0%	3 3.2%	11 11.8%	7 7.5%	2 2.2%	5 5.4%	0 0.0%	61 65.6%	4 4.3%	
性・子の年代別	女性	42 100.0%	0 0.0%	3 7.1%	4 9.5%	2 4.8%	2 4.8%	0 0.0%	31 73.8%	0 0.0%
	乳幼児	71 100.0%	1 1.4%	4 5.6%	7 9.9%	7 9.9%	1 1.4%	2 2.7%	51 71.8%	0 0.0%
	小中学生	294 100.0%	7 2.4%	4 1.4%	15 5.1%	28 9.5%	7 2.4%	2 0.7%	215 73.1%	16 5.4%
	その他(大学生、 結婚した子ども等)	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	2 6.7%	0 0.0%	19 63.3%	2 6.7%
	乳幼児	30 100.0%	1 3.3%	2 6.7%	0 0.0%	3 10.0%	5 16.7%	0 0.0%	19 63.3%	0 0.0%
	小中学生	45 100.0%	2 4.4%	3 6.7%	2 4.4%	5 11.1%	2 4.4%	0 0.0%	30 66.7%	1 2.2%
	その他(大学生、 結婚した子ども等)	234 100.0%	6 2.6%	17 7.3%	8 3.4%	4 1.7%	15 6.4%	0 0.0%	176 75.2%	8 3.4%
	いない	32 100.0%	0 0.0%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%	24 75.0%	2 6.3%

図表 4-15 新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化

【総計、鹿児島県調査、内閣府調査】



※内閣府調査は「結婚している」かつ「18歳未満の子がいる」の人を対象としている。内閣府調査と比較するため、ここでは、今回調査を「結婚している」かつ「大学生以下の子がいる」かつ「配偶者と同居している世帯」の人を対象として集計している。

※今回調査の「大学生以下の子がいる」は、「乳児（1歳未満）」「幼児（1歳以上）」「小学生」「中学生」「高校生、大学生（高専、短大専門学校を含む）」のいずれかの子がいる場合に1件としている。

※今回調査の「配偶者と同居している世帯」は、世帯構成の「単身世帯」・「その他」（配偶者と同居していないと思われる回答）・「無回答」を除いた世帯である。

※内閣府調査は「家事・育児」に関する夫婦間の役割分担について調査している。

図表 4-16 新型コロナウイルス感染症の拡大前後での家庭における夫婦の役割分担の変化

【総計、鹿児島県調査、内閣府調査】

上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	夫の役割が増加	夫の役割がやや増加	妻の役割が増加	妻の役割がやや増加	2人とも役割が増加	2人とも役割が減少	は2人ないの役割分担に変化	無回答
総計	186	5	11	9	18	9	1	131	2
	100.0%	2.7%	5.9%	4.8%	9.7%	4.8%	0.5%	70.4%	1.1%
令和3年度鹿児島県調査	458	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0%	2.6%	7.2%	11.8%	10.7%	8.1%	0.2%	56.6%	2.8%
令和3年度内閣府・コロナ下の生活意識・行動変化調査	1,929	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0%	0.6%	6.2%	14.5%	8.1%	5.7%	7.4%	57.6%	0.0%

(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

問 23 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのよう
にお考えですか。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 4-17、図表 4-19)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について聞いたところ、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせて『反対』、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成』とすると、『反対』(63.0%)する人の割合が『賛成』(32.8%)する人の割合を大きく上回っており、「どちらかといえば反対」(34.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」(28.2%)、「反対」(28.1%)、「賛成」(4.6%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 4-17、図表 4-19、図表 4-21)

性別でみると、女性は「どちらかといえば反対」(37.6%)、男性は「どちらかといえば賛成」(31.5%)と回答した割合が最も高くなっている。また、男女とも『反対』が『賛成』を上回り、女性では36.2ポイント、男性では20.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、20歳以上の女性と20～60歳代男性で『反対』が半数を超えており、特に30歳代女性では8割強となっている。

[性・職業別] (図表 4-21)

性・職業別でみると、女性はすべての職業で「どちらかといえば反対」と回答した割合が最も高くなっている。一方で、男性は自営業主と無職で「どちらかといえば賛成」、雇用者で「反対」が最も高くなっている。

[配偶者の有無別] (図表 4-21)

配偶者の有無別でみると、配偶者ありの男性は「どちらかといえば反対」と回答している割合が最も高くなっている。一方で、配偶者なしの男性は「どちらかといえば賛成」と回答している割合が最も高くなっている。

[性・子の年代別] (図表 4-21)

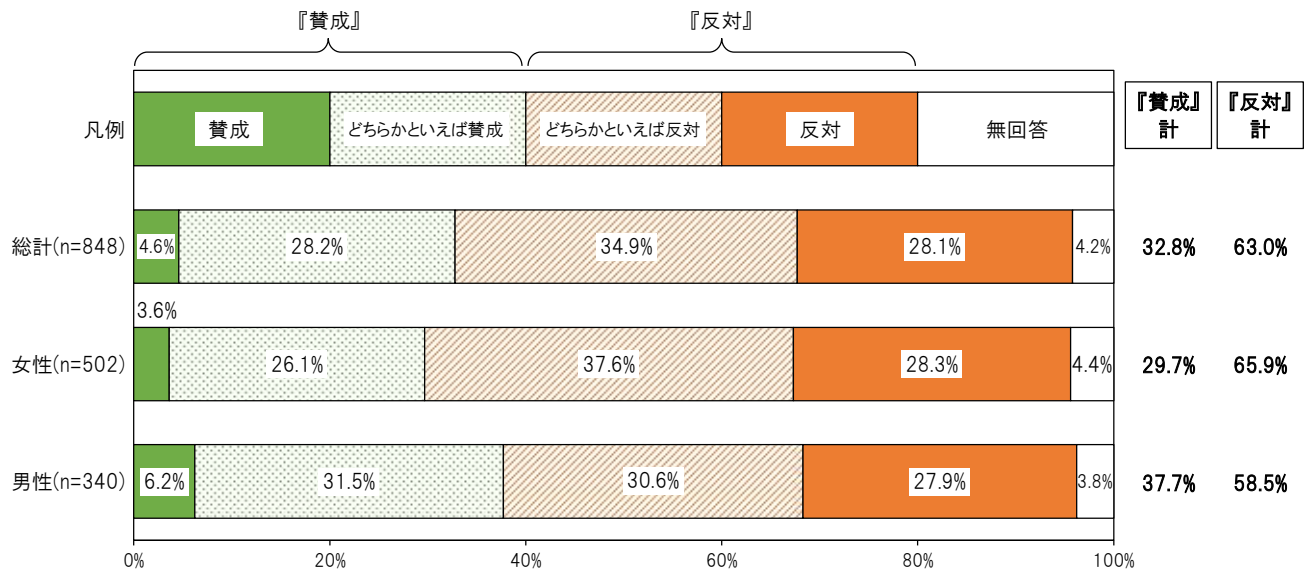
性・子の年代別みると、男女とも乳幼児がいる人の約4割が「反対」と回答しており、最も高くなっている。

[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 4-18、図表 4-20)

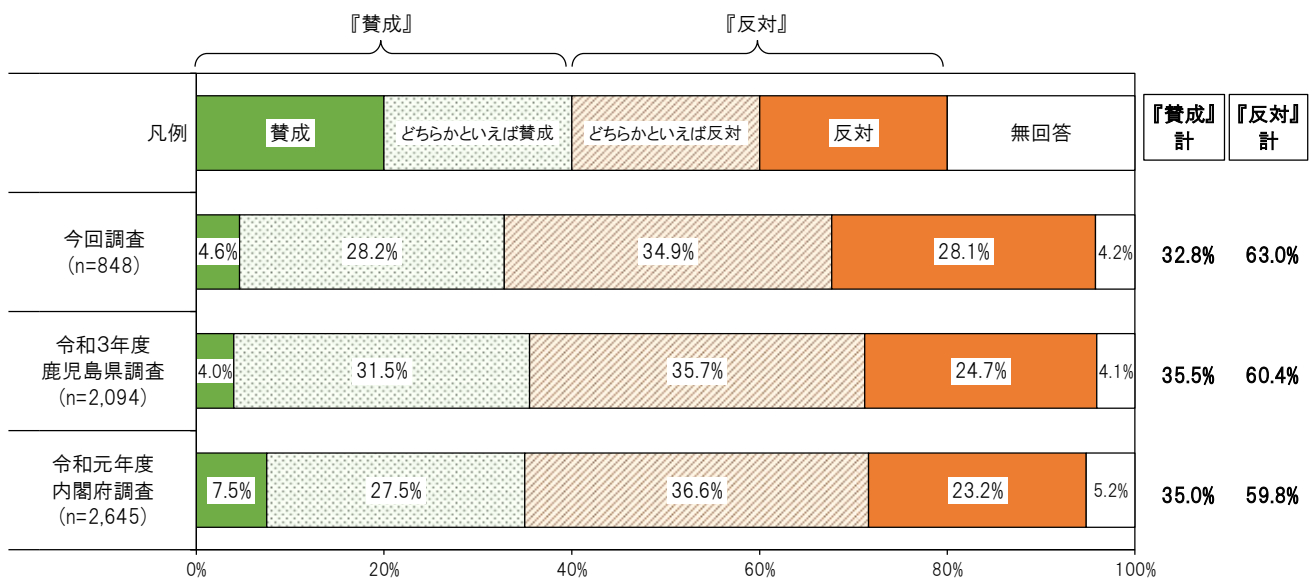
前回調査と比較すると、『反対』する人の割合は増加傾向がみられ、前回調査より12.9ポイント増加している。

鹿児島県調査、内閣府調査と比較すると、ともに『賛成』する人の割合は低く、『反対』する人の割合は高くなっている。

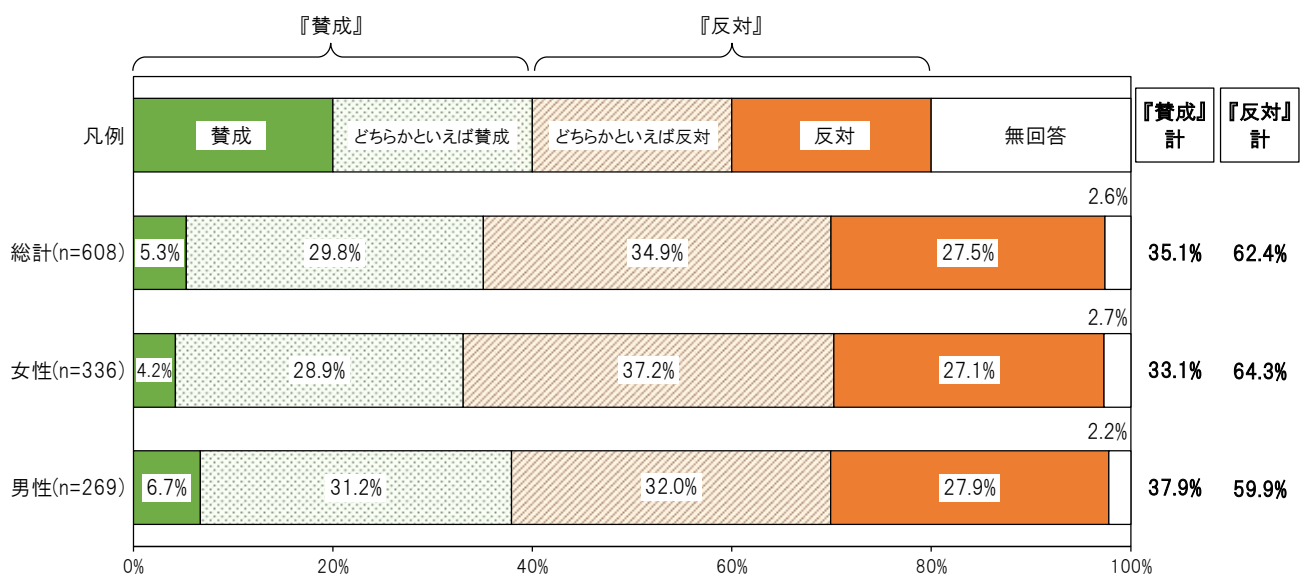
図表 4-17 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 **全体** 【総計、性別】



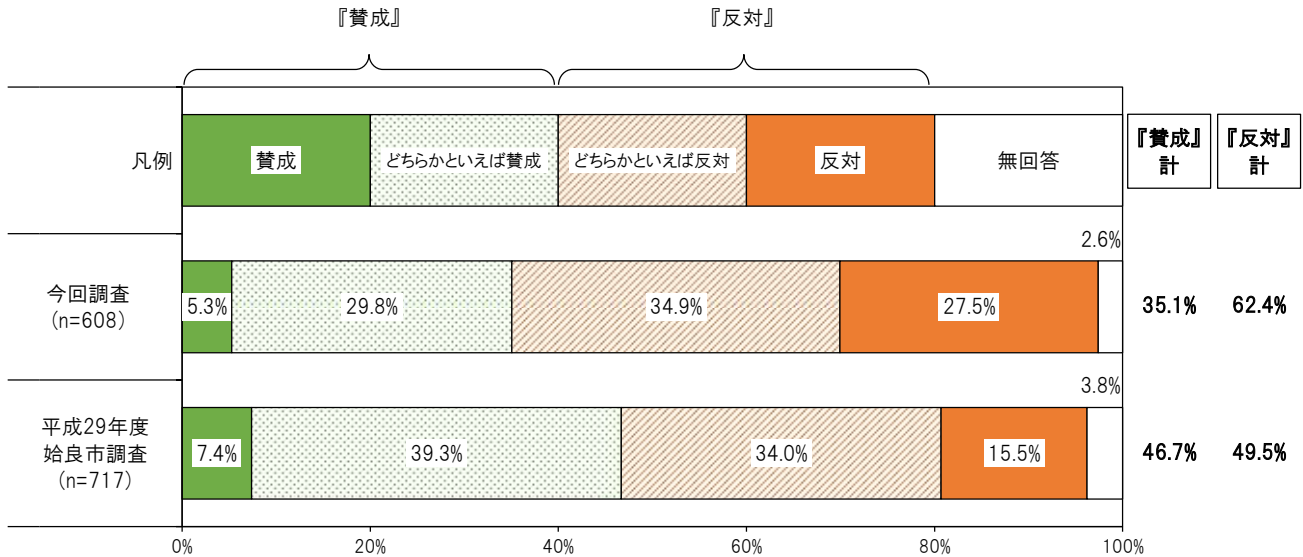
図表 4-18 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 **全体** 【総計、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 4-19 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 **既婚者** 【総計、性別】



図表 4-20 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 既婚者 【総計、前回調査】



図表 4-21 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方【性・年代別、性・職業別、配偶者の有無別、性・子の年代別】

性・年代別	上段: 度数 下段: 構成比(%)	サンプル数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	性・職業別	上段: 度数 下段: 構成比(%)	サンプル数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
平成29年度始良市調査	717	53	282	244	111	27		9	0	1	5	3	0		
令和3年度鹿児島県調査	2,094	83	660	747	518	86		223	2	43	89	80	9		
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-		215	13	73	75	45	9		
女性	502	18	131	189	142	22		38	1	14	13	9	1		
10歳代	9	0	1	3	5	0		0	0	0	0	0	0		
20歳代	25	0	5	11	8	1		147	7	41	41	54	4		
30歳代	44	1	5	22	15	1		121	9	46	37	24	5		
40歳代	82	1	17	25	35	4		336	14	97	125	91	9		
50歳代	83	2	23	34	22	2		164	4	34	64	50	12		
60歳代	105	5	28	43	24	5		269	18	84	86	75	6		
70歳代	111	6	37	36	25	7		69	3	22	17	20	7		
80歳以上	43	3	15	15	8	2		45	1	7	17	19	1		
無回答	0	0	0	0	0	0		83	2	25	30	25	1		
男性	340	21	107	104	95	13		378	17	106	133	109	13		
10歳代	5	1	2	1	1	0		117	3	22	52	32	8		
20歳代	18	0	4	7	6	1		30	0	8	10	12	0		
30歳代	28	0	5	7	15	1		49	0	14	19	15	1		
40歳代	33	0	6	9	16	2		259	21	90	81	60	7		
50歳代	44	2	12	18	12	0		79	4	22	20	26	7		
60歳代	87	1	34	23	24	5		1	0	1	0	0	0		
70歳代	96	14	34	27	19	2		6	0	1	3	1	1		
80歳以上	28	3	10	11	2	2		0	0	0	0	0	0		
無回答	1	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0		
性別無回答ほか	6	0	1	3	1	1									

5. 仕事と家庭・地域への取組について

(1) 地域活動への参加状況

問 24 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。
(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 5-1)

地域における活動への参加状況についてみると、「自治会、校区コミュニティ協議会などの地区を単位とした団体活動」(42.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(13.7%)、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」(12.5%)、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」(7.0%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 5-1、図表 5-3)

性別でみると、女性は「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」などと回答した割合が男性より高く、男性は「民生委員・児童委員、スポーツ推進員などの公的な委員活動」などで女性より高くなっている。

性・年代別でみると、「自治会、校区コミュニティ協議会などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合は男女とも30歳代以下で低くなっている。また、「特に何もしていない」と回答した割合が男女とも30歳代以下では最も高く、50歳代女性では5割弱となっている。

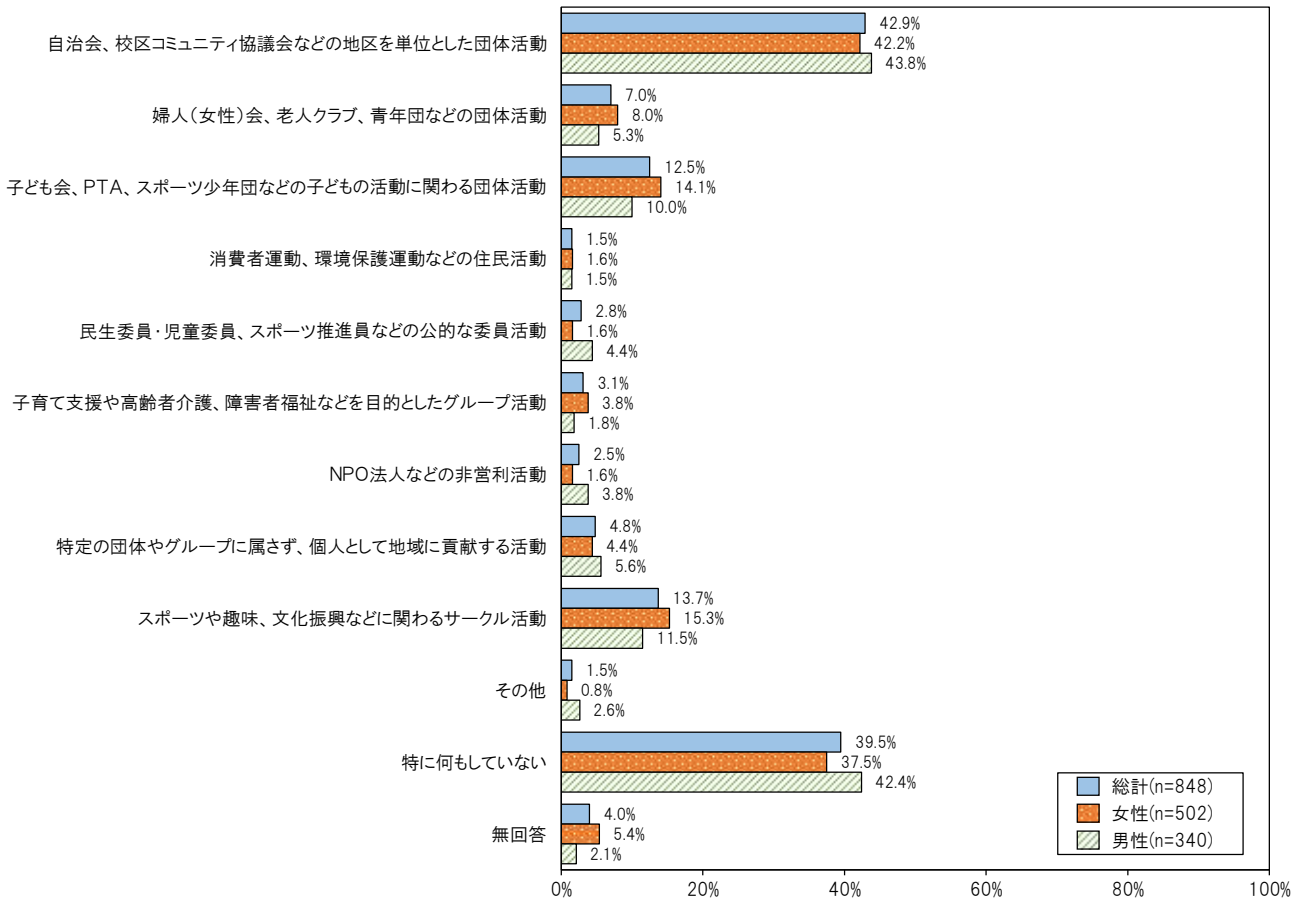
[性・職業別] (図表 5-3)

性・職業別でみると、「自治会、校区コミュニティ協議会などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合は、雇用者の女性と無職の男性を除くすべての職業で最も高くなっている。

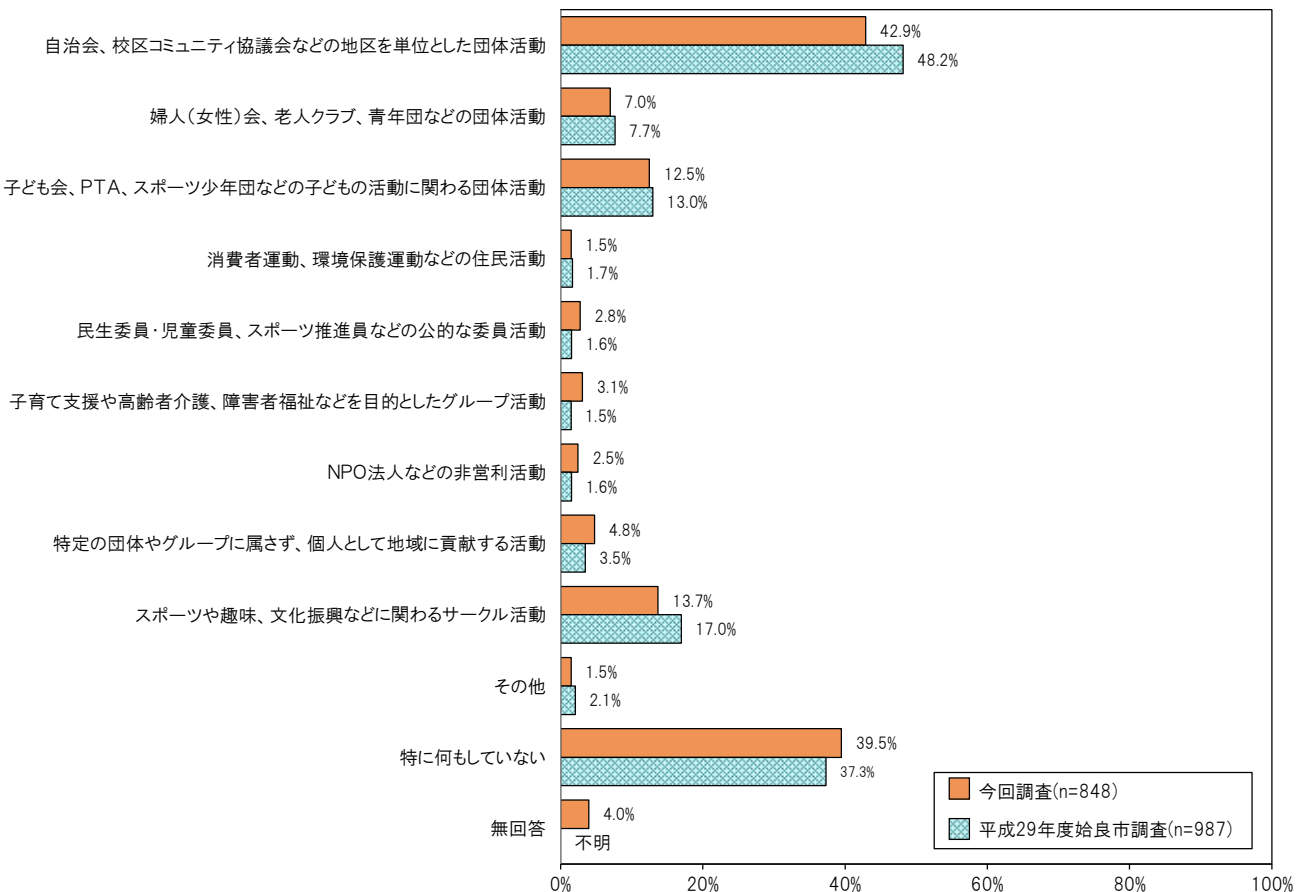
[前回調査との比較] (図表 5-3)

前回調査と比較すると、「自治会、校区コミュニティ協議会などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合が5.3ポイント、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」が3.3ポイント低くなっている。一方、「特に何もしていない」と回答した割合が2.2ポイント高くなっている。その他の項目については、回答傾向に大きな差はみられない。

図表 5-1 地域における活動への参加状況・複数回答【総計、性別】



図表 5-2 地域における活動への参加状況・複数回答【総計、前回調査】



図表 5-3 地域における活動への参加状況・複数回答【性・年代別、性・職業別】

サンプル数	自治会 校区「ミニ 協議会」の 地区を単位 とした団 体活動	青年団 などの団 体活動	婦人女性 会 老人 クラブ	子ども会 PTA スポ ーツ少 年団など の子ども の活動に 関する団 体活動	消費者運 動 環境 保護運動 などの住 民活動	民生委員 児童委員 スポーツ 推進員な どの公的 な委員活 動	子育て支 援や高齢 者介護 障 害者福祉 などを目 的とした グループ 活動	NPO法人 などの非 営利活動	特定の団 体やグル ープに属 する個人 として地 域に貢献 する活動	スポーツ や趣味 文 化振興な どに関わ るサークル 活動	その他	特に何も していない	無回答	
														上段：度数
総計	848	364	59	106	13	24	26	21	41	116	13	335	34	
	100.0%	42.9%	7.0%	12.5%	1.5%	2.8%	3.1%	2.5%	4.8%	13.7%	1.5%	39.5%	4.0%	
平成29年度始良市調査	987	476	76	47	17	16	15	16	35	168	21	368	-	
	100.0%	48.2%	7.7%	13.0%	1.7%	1.6%	1.5%	1.6%	3.5%	17.0%	2.1%	37.3%	-	
性・年代別	女性	502	212	40	71	8	8	19	8	22	77	4	188	27
		100.0%	42.2%	8.0%	14.1%	1.6%	1.6%	3.8%	1.6%	4.4%	15.3%	0.8%	37.5%	5.4%
	10歳代	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0
		100.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%
	20歳代	25	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20	2
		100.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	80.0%	8.0%
	30歳代	44	15	0	19	0	0	1	0	1	5	0	19	1
		100.0%	34.1%	0.0%	43.2%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	11.4%	0.0%	43.2%	2.3%
	40歳代	82	43	1	38	0	0	4	2	2	5	0	24	2
		100.0%	52.4%	1.2%	46.3%	0.0%	0.0%	4.9%	2.4%	2.4%	6.1%	0.0%	29.3%	2.4%
	50歳代	83	34	2	11	0	0	2	1	3	6	0	39	2
		100.0%	41.0%	2.4%	13.3%	0.0%	0.0%	2.4%	1.2%	3.6%	7.2%	0.0%	47.0%	2.4%
	60歳代	105	56	9	2	4	2	5	2	6	17	2	31	4
		100.0%	53.3%	8.6%	1.9%	3.8%	1.9%	4.8%	1.9%	5.7%	16.2%	1.9%	29.5%	3.8%
	70歳代	111	45	20	0	3	5	6	3	7	33	2	31	13
		100.0%	40.5%	18.0%	0.0%	2.7%	4.5%	5.4%	2.7%	6.3%	29.7%	1.8%	27.9%	11.7%
	80歳以上	43	16	8	0	1	1	1	0	3	10	0	17	3
		100.0%	37.2%	18.6%	0.0%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	7.0%	23.3%	0.0%	39.5%	7.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	149	18	34	5	15	6	13	19	39	9	144	7	
	100.0%	43.8%	5.3%	10.0%	1.5%	4.4%	1.8%	3.8%	5.6%	11.5%	2.6%	42.4%	2.1%	
10歳代	5	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	
	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
20歳代	18	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	11	0	
	100.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	61.1%	0.0%	
30歳代	28	12	1	4	1	0	1	2	1	1	0	16	0	
	100.0%	42.9%	3.6%	14.3%	3.6%	0.0%	3.6%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	57.1%	0.0%	
40歳代	33	15	2	10	0	1	1	1	0	2	1	13	1	
	100.0%	45.5%	6.1%	30.3%	0.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	6.1%	3.0%	39.4%	3.0%	
50歳代	44	20	0	10	1	0	0	0	1	3	1	17	0	
	100.0%	45.5%	0.0%	22.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	6.8%	2.3%	38.6%	0.0%	
60歳代	87	38	2	3	1	6	1	6	6	5	1	37	2	
	100.0%	43.7%	2.3%	3.4%	1.1%	6.9%	1.1%	6.9%	6.9%	5.7%	1.1%	42.5%	2.3%	
70歳代	96	49	7	6	1	5	2	2	10	15	5	33	4	
	100.0%	51.0%	7.3%	6.3%	1.0%	5.2%	2.1%	2.1%	10.4%	15.6%	5.2%	34.4%	4.2%	
80歳以上	28	9	4	0	1	3	1	2	0	8	1	14	0	
	100.0%	32.1%	14.3%	0.0%	3.6%	10.7%	3.6%	7.1%	0.0%	28.6%	3.6%	50.0%	0.0%	
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	
	100.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
性・職業別	女性	18	7	0	1	0	0	1	0	4	1	6	2	
	自営業主	100.0%	38.9%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	22.2%	5.6%	33.3%	11.1%
	家族従事者	9	5	1	2	0	0	0	1	1	3	0	2	1
		100.0%	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	22.2%	11.1%
	雇用者	223	86	5	52	4	2	6	3	4	15	1	94	10
		100.0%	38.6%	2.2%	23.3%	1.8%	0.9%	2.7%	1.3%	1.8%	6.7%	0.4%	42.2%	4.5%
	無職	215	100	30	11	4	5	10	4	15	49	2	78	6
		100.0%	46.5%	14.0%	5.1%	1.9%	2.3%	4.7%	1.9%	7.0%	22.8%	0.9%	36.3%	2.8%
男性	38	22	1	8	1	2	1	3	2	1	0	15	0	
	100.0%	57.9%	2.6%	21.1%	2.6%	5.3%	2.6%	7.9%	5.3%	2.6%	0.0%	39.5%	0.0%	
家族従事者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
雇用者	147	67	6	22	2	4	3	6	8	13	4	59	2	
	100.0%	45.6%	4.1%	15.0%	1.4%	2.7%	2.0%	4.1%	5.4%	8.8%	2.7%	40.1%	1.4%	
無職	121	49	10	1	1	9	2	4	8	25	5	53	1	
	100.0%	40.5%	8.3%	0.8%	0.8%	7.4%	1.7%	3.3%	6.6%	20.7%	4.1%	43.8%	0.8%	

<その他意見（主なもの）>

- 地区の清そう
- 居住マンションの順番制の役員
- 自治会、草払い、支援1年4回。
- 地区活性化推進委員会の顧問をしている。
- 公園の草刈

- OB組織の役員。
- 会社での地域奉仕活動(ゴミ拾いや雑草取りなど)
- 老人ホームの書道教室 (ただしコロナで中止中です)
- 歴史研究会等

<特に何もしていない理由(主なもの)>

- 時間的な余裕がない
- その時間がなくあまり興味がない
- 仕事が忙しい為(同様3件)
- 多忙のため。
- 体力的な事と介護者がいる事。
- 子供が幼いため。
- フルで仕事をしている間は無理かなあと思っているのです。
- 時間的にゆとりがない。
- 農作業が忙しい
- 本業多忙により時間が足りない
- 親の介護で多忙
- 子供が独立し機会が減少。仕事で時間が取れない。
- 夜勤をしているから
- 仕事中心で時間的な余裕がない(親介護中)
- 親の介護
- ほとんど家にいないので
- 自営業で自宅に帰るのが夜9時で地域の事をする時間がない。自分の休みもあまりないので。
- 仕事でいっぱい。高齢である。
- そんな時間はとれない
- 仕事と育児により余裕がないため。
- 平日が休み、帰宅時間が遅い為
- 参加する時間が取れない
- 余裕がない
- 行く時間はない
- 参加する暇がない
- 時間がない
- 仕事のため
- 仕事が多忙の為
- まだ、自治会に入っていない。なかなか申し込みをする時間がない。
- 地域の清掃作業等は参加しているが、平日は会社勤務のため、特に参加していない。
- 平日は厳しい
- 午後から夜までの不定休日の仕事があるため
- 体力、気力なし、変動な仕事、自治会などの社会活動などの参加することも出来なく、また、無理もできない。
- 職業柄土日の休みがないのでなかなか参加できない
- 仕事の時間が長く、休みもすくないので時間がない
- 日々の生活を営むことで精一杯だから。
- 病氣療養中

- 病後
- 病気
- 体が悪い。
- 健康上の理由。
- 身体が思うように動かない。
- 夫婦共に体が不健康。
- 入院中。
- 身体が弱い。
- 人前に出るのが苦痛に感じる。
- 身体的に無理
- 健康状態がよくない
- 病気になったため
- 体力がない
- 頭の病気で通院中(私 88 才)
- 病気のため
- 体調不良 (同様 3 件)
- 健康に不安
- 身体的な理由
- 身体の不調、病院へ通院している
- 身体的理由
- 体が丈夫でないため出来ない
- 家族三人とも病気のため
- 体が思うように動けないので今は何もしていません
- 病弱の為
- 病気
- 必要がない。
- 興味がない (同様 1 件)
- あまり知らない人と集まってする事が好きでない
- 興味がないひまがない
- めんどくさい
- 意欲なし
- 静かに暮らしたい
- 学生の為
- 他人と関わりたくない
- おっくう
- 人とかかわりたくない
- 入ろうと思ったことがない
- 地域の人々と協力して何かをするメリットが分からない。もし、何かしらのメリットがあると感じる場合は参加をするが、そのメリットが分かるような宣伝や触れ込みなどが明確にあれば参加するかもしれない。
- 余計な気遣いがいづれストレスとなる
- 面倒
- めんどいから
- 移住したばかり。

- 地域活動がない。
- どこで活動しており、どのように所属すればいいかわからない。
- 自治会に入っていない。
- 県外で働いている。
- 参加の仕方が分からない
- 知り合いがない
- 結婚していないから
- コロナ禍なので
- 何があるかわからない。
- 高齢になりコロナで人との関わりが怖くなった。
- スポーツや趣味などのサークル活動に参加したいが職業柄(コロナ感染予防の為)控えている。
- どのような物があるかわからない。
- 知人がいない。
- あまり何があるのか知らない
- 2年前に引っ越しをして来て、主人が亡くなり、生活基盤を作っている最中なので…
- 家事育児仕事で多忙のため
- 高齢のため。(同様3件)
- 年齢、体力的に無理。
- もう年をとったからじゃ！
- 年が年だから80才
- 年をとり人に迷惑かけている。
- 老人である。
- 高齢者(持病がある)
- 老人ホーム入居の為
- 年齢的に体力的に参加出来ない。
- 年だから。
- 高齢で病院通い
- ボランティアをしたいがきっかけが見つからない
- 参加する機会がない
- 地域と接触がない。
- 地域と接点が無いため。
- 機会がないから。(同様1件)
- 誘いも何もない
- 求められていないから
- クレーマーの存在。いやがらせする人がいてやる気はでない。今後もかわからない。
- 嫁にまかせてる。
- 自治会脱退の為。
- 外国人
- 昔はやっていたが今はやっていない
- 独身で上記の活動を考えた事がないが、既婚者の愚痴など聞く事はある。

(2) 地域における活動のやりがいや苦勞していること

問 25 【問 24 で「1」～「10」と答えた方にお尋ねします。】

あなたが地域における活動に参加するなかで感じている、活動のやりがいや苦勞していることなどがありましたら教えてください。(自由記述)

地域における活動のやりがいや苦勞していることについての回答件数は 216 件で、その内訳は「活動のやりがい」(64 件)、「苦勞していること」(140 件)、「その他」(12 件)であり、主な意見等を掲載している。

「活動のやりがい」についての内容は、「人とのつながり・ふれあい、仲間づくり」(38 件)、「活動自体の楽しみ」(8 件)、「地域貢献・社会貢献」(6 件)、「子どもとのふれあいや子どもが喜ぶこと」(6 件)、「参加者が喜ぶ姿」(4 件)、「その他(活動のやりがい)」(2 件)といったことが挙げられている。

また、「苦勞していること」についての内容は、「参加者の減少・固定化」(39 件)、「仕事との両立が困難」(16 件)、「地域活動に対する意識・理解」(14 件)、「高齢化の影響」(12 件)、「慣習の押しつけ」(10 件)、「役員のなり手の不足」(10 件)、「地域のコミュニケーションの希薄化」(6 件)、「活動自体や人間関係が困難・面倒」(6 件)、「コロナ関連」(5 件)、「時間の確保が困難」(4 件)、「価値観の違い・世代間の考え方の違い」(4 件)、「その他(苦勞していること)」(14 件)といったことが挙げられている。

[活動のやりがい (64 件)]

■ 人とのつながり・ふれあい、仲間づくり (38 件)

【主な意見】

- 地域の方とのつながり、顔見知りになれる。(女性・40 歳代)
- 沢山の人と交流ができる。意見、知識を知る事ができる。(女性・40 歳代)
- なかなか地域の方との交流がもてない中で、資源ごみ当番などを通して顔見知りになったり、交流できる場となり良かった。(女性・40 歳代)
- 地域の人と顔見知りになって良い。(女性・40 歳代)
- 地域の方と触れ合う機会が増え、助かることがたくさんあります。(女性・40 歳代)
- 人や地域とのつながり、地域の子も達を見守れることにやりがいを見い出している一方、仕事との両立、時間のやりくりはかなり大変で家庭にも影響を及ぼす。(女性・40 歳代)
- 地域の方との交流の機会が増え、会話ができるようになる。近所の方を知る事で生活に安心が生まれる。(女性・50 歳代)
- ソフトグラウンドゴルフをして人と交わっていること。(女性・60 歳代)
- 自分の自治会はまとまりがある。(女性・60 歳代)
- 清掃活動を通じて皆様と会話をして楽しいです。(女性・60 歳代)
- 高齢の方と接することで私自身の知識も深まり、逆に助けてもらっています(女性・60 歳代)
- 地域の活動でいろいろな年代の方と知り合いになり、地域活動を楽しく進めることが出来ている。(女性・60 歳代)
- 地域の方々との交流は大切だと思うのでできることはやりたいと思い参加している。両親の在宅介護の為、始良市に異動 6 年目になるが、ご近所の方々にさせて頂いていることを実感している。(特に両親の死後) めんどいなこともあると思うが、それを乗り越えることでつながりも生まれると思う。自治会に入会しない方(家族)が多いのにはびっくり。不平等感を無くすためにも自治会まかせではなく、もっと行政も具体的に行動して欲しい。(女性・60 歳代)
- 色々な人の意見、考えが聞けて参考になる。活動に参加する人が少ない。(女性・60 歳代)
- 多種多様な意見を聞ける。(女性・70 歳代)

- 楽しく親しく語り合える。(女性・70歳代)
- 多くの人との交流。(女性・70歳代)
- 地域の中に混じり自分の出来る事で参加させてもらったり、友人作りや地域やわが故郷を知る事につながり勉強になり、出来るだけ元気に過ごしたいと思っております。(女性・70歳代)
- 新しい発見や人との対話出来るのが良い。(女性・70歳代)
- 自分の好きな活動だけ参加して、又、一緒に活動している人たちも同じような考えで参加している為、違和感は特に感じない。長い間生きているので、自然と人を見る目も出来、お互いに協力出来る。(女性・70歳代)
- みんなで楽しく時間を過ごせる(女性・70歳代)
- 自治会員との接点を持つ地域にもなじんでいる(女性・70歳代)
- 高齢者2人だけの生活なので、重い負担にならない程度の地域の人たちとの関係を持つ為。(女性・70歳代)
- 活動に参加して地域の方々と顔見知りになり世間が広く明るい地域に思えてまた、近所の方々と仲良く出来ている。(女性・70歳代)
- 老人クラブで清掃活動をやっていますが、元気な姿に会えるのが嬉しいです。(女性・80歳代)
- 人とのふれ合い。(女性・80歳代)
- 自治会の市報を配ったり、清掃作業等などは高齢の私でもまだ参加でき、近所、地域の方々と会えて話もできるのでいい。(女性・80歳代)
- みんなと逢って会話が楽しく活動している(女性・80歳代)
- 地域の人と顔見知りになり安心して暮らせる。(男性・30歳代)
- 人間関係が構築される。(男性・60歳代)
- 人づくりが最大のよろこび。(男性・70歳代)
- 顔を合わせ近況や語らい、体の調子など語らい良い。(男性・70歳代)
- 情報交換を活発に行えることで連帯感が強まり明るい地域づくりにやりがいを感じる。(男性・70歳代)
- PTA活動、コミュニティー活動両立で校区の方と学校の方と楽しく過ごしている。(性別無回答・50歳代)

■ 活動自体の楽しみ(8件)

【主な意見】

- 活動に参加されている方々と活動の分担する等協力して活動をすると達成感あります。しかし、協力してもらえない方がいると不公平感もあります。(女性・50歳代)
- 自分が出来る事は参加している。苦勞はせず楽しんで参加している。(女性・70歳代)
- 草取り後きれいになった嬉しさを感じられる。(女性・70歳代)
- 健康麻雀クラブに参画しているが老後生活の中で非常に生き甲斐を感じている。(男性・70歳代)
- 10数名で活動している(月2回の体操)が、この日は皆生き生きとして参加を喜んでいる。お茶飲み(菓子用意)を月一回は行っている。皆楽しそうである。(男性・70歳代)

■ 地域貢献・社会貢献(6件)

【主な意見】

- 自治会の活動として、多くの人が公園の草取りをし、子供たちが少しでも遊びやすい環境をつくらうとするとところにやりがいを感じます。(女性・10歳代)
- 人の役に立っているとの思いが原動力(女性・60歳代)

- 年に数回実施される清掃作業等に参加し、自治会の方々と共に汗を流したりする事、大変良い事でやりがいを感じます。(女性・70歳代)
- 自治会では、いろいろ参加しているが、ゴミの分別など他人事と思って係の人におまかせしている人達がいる。やりがいは、ありがとうなど感謝される。(女性・70歳代)
- 人材不足、認識不足の人が多く、周囲にほめられる、感謝されている(男性・70歳代)
- 地域に役にたっている。自分が楽しい。(女性・70歳代)

■ 子どもとのふれあいや子どもが喜ぶこと(6件)

【主な意見】

- 子どもの成長や他者と触れ合う姿が見れる。あんなに小さかったのに(子供が)大きくなったね!と声を掛けられる。休日の自由時間が無くなる。(女性・30歳代)
- 子供達の頑張る姿を見る事が出来る(やりがい)(女性・40歳代)
- 子どもも参加でき、経験させることができ嬉しいが、役員となると行事参加が少し義務のようになる感じで負担が少しかかる。(女性・40歳代)
- 子供のスポーツ団体や部活のサポートなどは楽しかった。自営業で毎週日曜に無償で子供に教える人がいます(趣味でもある)こういう人達を利用して、つまり学校の部活(有償で)雇ってみたらどうかと思う。(男性・50歳代)

■ 参加者が喜ぶ姿(4件)

【主な意見】

- 若い人が少ないので参加するととても喜んでくれる。(女性・20歳代)
- コロナが流行し家に引きこもる高齢者が増加した現状を知り、少しでも役に立てないか考え活動を始めた。一緒に身体を動かすことで毎回皆さんが体力がついてきていることを実感できとてもやりがいがある。(女性・50歳代)
- 参加して下さった方々が、笑顔で帰られる時。ねぎらいの言葉をかけて下さる時。(女性・70歳代)
- ボランティア活動(音楽等)をして喜ばれるので、やりがいがあるし励みになる。コロナ禍で活動が狭まるのは悲しい。(女性・80歳代)

■ その他(活動のやりがい)(2件)

【主な意見】

- 自主的に協力して下さる方が多くうまく活動出来ている。(男性・60歳代)

[苦勞していること(140件)]

■ 参加者の減少・固定化(39件)

【主な意見】

- 自治会も駅周辺の田畑が更地となり戸建て住宅やマンションが建って若い世代が多くはなつたが、入会される方は殆んどなく、高齢の方が参加を促すも現状は厳しい状況です。(女性・40歳代)
- 毎回参加する人が同じ。(女性・40歳代)
- 仕事等を理由に行事に参加して下さる方が少なく、探すのに苦勞します。(女性・50歳代)
- 自治会に加入しない人がいる。また、一斉活動など未加入者の参加がなく、声掛けも難しい。(女性・50歳代)
- 参加される方が同じ。(女性・60歳代)
- 参加者が少ない。(女性・60歳代)

- 自治会に入っていない方が多くてゴミ出しなど自治会で管理しないといけなく大変だと思います (女性・60 歳代)
- 高齢化が進み年々色々な活動に出て来られる人も少なくなりました。河川作業なども刈り払い機でしますが大変な様です (女性・60 歳代)
- 自治会の加入者が少なくなり清掃作業などに参加する人が少なく範囲が広すぎる。 (女性・60 歳代)
- 若い方々の地域の清掃作業の参加(神社等)の少ない現実 (女性・60 歳代)
- 参加者が少ない (女性・70 歳代)
- 若い人達の参加がもう少し欲しい (女性・70 歳代)
- 人材不足。(男性・40 歳代)
- 参加者の減少と、参加率の悪さ 特定の人のみで成り立っている現状 (男性・40 歳代)
- メンバーの固定化。(男性・40 歳代)
- 自治会加入者が減少している (男性・50 歳代)
- 参加者が少ない。若い世代。(男性・50 歳代)
- 年代が固まっている印象 (男性・50 歳代)
- 高齢化社会で若者が少なくなっているので活動に参加する人が減っている (男性・70 歳代)
- 人員確保 (男性・70 歳代)
- 若い人達は自治会に入らない人達が増えている！！ (男性・70 歳代)
- 若い人の参加が少ない (男性・70 歳代)
- 老齢化で若者の減少。(男性・70 歳代)
- 役職を受けると仕事(奉仕)が多くて、後継者が育ちにくい傾向があるようです。そのため特定の人達に負担がかかりすぎる事があるようです。(男性・70 歳代)

■ 仕事との両立が困難 (16 件)

【主な意見】

- P T A働いている親に時間の拘束を強いている。会長以外女性しかいない。参加するからこそ子供と触れ合える機会が多い。(女性・30 歳代)
- 仕事の休みと活動日が合わないことがある。その為に休み希望を取らないといけなくなる。(女性・30 歳代)
- P T Aは強制加入の形ですが必要なのでしょうか？共働きが多い中での P T A活動は負担となります。(女性・40 歳代)
- 仕事の両立(職場の理解、休みのとりやすさ) (女性・40 歳代)
- 自治会のそうじの負担大(仕事の調整) (女性・40 歳代)
- 仕事に行かなければならないのに、自治会及び P T A において早朝の活動があること。(女性・40 歳代)
- 仕事をしていても、色々と役をさせられる。(女性・40 歳代)
- 健康で見識を深め文化的に生きていくためにはあらゆる情報に触れ行動していく必要があると思っています。仕事はとても大切なのですが、プライベートで培う経験も大切に思います。どちらも大切なのです。ですが、仕事は月 3 日間しか希望の休みを取れず(子供の行事で終了。自分時間は通勤の車の中のみ。)長期連休もなかなか難しいです。仕事一色の人生は豊かに思えないのですが、まだまだ現実問題として仕事に傾倒せざるを得ない状況と雰囲気があります。仕事、子供、自分全て充実させるとなるとやはりスーパーウーマンにならないといけなそうです。(女性・40 歳代)

- 共働きなので自治会などの集まりなどが難しいことが多い。(女性・40歳代)
- 土日もある仕事がある為、活動に参加できないことが多く、土日は休みが当たり前の考えが多く、理解してもらえないことがある。(女性・50歳代)
- 二人共仕事の日に活動の日と重なり出れなくなる日があると少し悪いと思うが出れない。(女性・60歳代)
- 自治会活動には無駄が多すぎる。時間・日程的にも市内で働く定時の職場でない限り参加できない。結果、妻の負担となる。始良市以外で土日の休みではない人も多いのだから奉仕作業など日程を定めず数日間の中でそれぞれが行うなど工夫して欲しいと現役世代は思う。(男性・50歳代)
- 自分の仕事が忙しい。(男性・60歳代)
- 仕事を休まないといけない。(男性・60歳代)
- 自治会の活動で仕事休まないといけない事。(男性・70歳代)

■ 地域活動に対する意識・理解 (14件)

【主な意見】

- 人を集めたり活動内容を理解してもらったり、協力を得たり活動を運営したりするのが大変。(女性・30歳代)
- 参加してもまじめに取り組まないでいる人がいる。(参加しなければ1,000円払わないといけないので、ただ参加しているだけ) 参加する事でコミュニケーションが取れる(近所の)(女性・40歳代)
- 若い人材が少ない。転入者が増えると地区伝統の理解が希薄になり活動が無くなっていく。(女性・40歳代)
- 協力性にやや欠ける。(女性・60歳代)
- 中高年の方々はいろいろな会や活動に参加しようとされるが、若者が全く参加しようとしなない様子があり、ボランティア精神(地域貢献)にかけると感じている。(女性・60歳代)
- 昔から続いている伝統的な行事がだんだんなくなっていくこと。周囲の協力が得られない。無関心な人が多い。その行事のいい点(良さ)を伝えられる人がいない。(女性・60歳代)
- 若い人より、高齢の人の方が協力的でないこと。(女性・70歳代)
- 10年以上続けているけどなかなか広まらない。(女性・80歳代)
- 会員数の減少(高齢化によるもの) 地域活動より自分の趣味や楽しみを優先させる傾向が多く見られます。(女性・80歳代)
- 自治会への理解が進まないことで、苦労している。消防団活動へ参加する人が年々減っていること。(男性・40歳代)
- まだまだ活動自体をひと事と捉えている人が多いこと。(男性・60歳代)
- スポーツは子供のころから続けている競技なので一生続けていこうと思う。地域活動ではNPOの方たちの補助的な立場で地域猫活動のお手伝いをしているが、なかなか理解してもらえない活動で、罵詈雑言はこの4年活動に参加するたびに浴びせられる。とてもつらい。(男性・60歳代)
- 人の考えが変化して、表面的には活動に協力するが自分に関係ないと感じると協力や参加をもらえないことが多い。(男性・60歳代)

■ 高齢化の影響 (12件)

【主な意見】

- 高齢者の割合が多いので人手不足になりがち。(女性・40歳代)
- 自治会員が高齢化しており自治会活動での役員決め(女性・50歳代)
- 高齢化に伴い活動参加減になる。(女性・70歳代)

- 若い方が少なくなったと思う。小さな事でいうと、部落の草刈でもして重たくて持って行けない。(女性・70 歳代)
- 高齢化がすすんでおり、もっと若い(50~60 代)人が参加して欲しい。(女性・70 歳代)
- 年齢が上がるにつれて自分の体力、気力、能力がついて行かずに苦勞している。元気を出して楽しみして参加して行きたい。(女性・80 歳代)
- 少子高齢化が進み若い参加者に負担が集中している (男性・30 歳代)
- 周りがお年寄りが多いので役員がよくまわってくるので大変。(男性・40 歳代)
- 地域住民の高齢化による奉仕活動等への負担増。(男性・50 歳代)
- 高齢化による自治会活動全般の縮小。(男性・60 歳代)
- 高齢化。自治会員の減少。(男性・60 歳代)

■ 慣習の押しつけ (10 件)

【主な意見】

- 義務で参加しているだけで、メリットを感じることはない。(女性・40 歳代)
- 私がこちらへ引っ越してきた時は、当たり前前に自治会に入会しましたが、最近では拒む人も増えて、なぜ自治会に入らなければならないのか、私自身も考えてしまいます。回覧板、時期がくれば班長や、資源ゴミの立ち合いもあります。だったら、自治会から外れたらそういったものから逃れられるのと思います。自治会費も高いです。入会者、非入会者の差がないなら私も抜けたいです。(女性・50 歳代)
- 自治活動において強制をやめてほしい。(女性・60 歳代)
- 町内に入ることで強制的な所があり、外れる事ができない所で苦勞しています。(女性・60 歳代)
- 女性(または男性)が来て当たり前のような雰囲気がつよいことがある。(男性・30 歳代)
- 要請があるから行くだけやりがいはない。(男性・40 歳代)
- 中学校の部活への保護者の関与の強さ (男性・40 歳代)
- しがらみが面倒くさい (男性・50 歳代)
- 高齢者になると個人生活を今まで以上に大切にしたいと思っているが、活動の無理強いや、役職の押し付け等で、思ったとおりの活動ができない。(男性・70 歳代)

■ 役員のなり手の不足 (10 件)

【主な意見】

- 子ども会でも少子化や行事に協力してくれる家庭が少ない、地域役員を引き受けてくれない (女性・40 歳代)
- 役員の負担が大きい (女性・40 歳代)
- 自治会の会長(役員)えらび、仕事をしているので出来ない (女性・50 歳代)
- 役を決めるのになり手がいない。(女性・60 歳代)
- リーダー的な人が少ない。コロナの関係で今迄のやり方が根本的に変わらないといけない様な事だらけ。それを指導する様な人がいない。何もかもコロナのせいにして中止でいいのだろうか？ (女性・70 歳代)
- 自治会活動が班によって大変。自治会に入る人が少なく、4 年に 1 回ぐらい役員をしなくてはならず退会しようと思っている。(男性・60 歳代)
- 自治会員の減少に伴い役員を頻繁に回って来て負担に感じる。思うに特に自治会活動などは市役所の下請け業務みたいな？ (男性・60 歳代)

- かつて自治会活動を過ごして感じた事。役員に男女問わずなりたがらない（特に会長）傾向があった。女性も積極的に手をあげるべきと考えている。また女性消防団員も増えてくれたらと考えている。（男性・80歳代）

■ 地域のコミュニケーションの希薄化（6件）

【主な意見】

- 同じ地域の事を教えてもらえる 若い家庭は入らない人が多いので誰なのかわからない時がある（女性・50歳代）
- 農村地帯の農業で生活されている中に住む私達はいろいろ活動を試みるけどそんなヒマはないという人がほとんど生活に関わるからねと。近所付き合いも行事もほとんどありません。（女性・70歳代）
- 近所のつきあいやつながりがない（女性・70歳代）
- 引越したばかりでまだ地域の方となじめていない、顔を合わせる機会が少ない。（男性・30歳代）
- 新たに転入して来た世帯との関りが少なく、コミュニケーションがとれていない。（男性・40歳代）
- あまり話す機会がない。顔と名前が合わない（良く分からない）。（男性・50歳代）

■ 活動自体や人間関係が困難・面倒（6件）

【主な意見】

- めんどくさい。（女性・50歳代）
- 外を歩いていると皆が声かけしてくれる。人間関係に苦勞する。（女性・70歳代）
- 人間関係以外は特にありません（女性・70歳代）
- 地域の中でのいざこざがある。（男性・30歳代）
- 子どもの指導に苦勞している。言動を注意しながら行わないと親からの圧力がすごい。（男性・50歳代）
- 人間関係は難しいなあと思う。（男性・70歳代）

■ コロナ関連（5件）

【主な意見】

- 地域行事もコロナになってからなくなり、早く前の様に自治会の行事が復活してくれたらいいと思っています。（女性・50歳代）
- コロナ禍で思う様な活動ができない。（男性・60歳代）
- コロナが拡大したため思ったような活動ができなかった。又サークル活動での参加人員が増えなかった。（男性・60歳代）
- コロナで会合が中止になったりして、話し合いが持てないこと。又イベントが現在思うように出来ないこと。（男性・80歳代）

■ 時間の確保が困難（4件）

【主な意見】

- 学校などの役員制度をやめてほしい。児童1人に2回は役員などと、母親も働いている人が多い中、学校役員などで手間が多い。やりたい人だけやればいい。（女性・30歳代）
- 晩婚で子育て中に介護もあり、地域に貢献したいが活動する時間帯が重なる場合、申し訳ない。（女性・50歳代）
- 休日がなくなることが多かったが楽しみでもあった。（女性・50歳代）

■ 価値観の違い・世代間の考え方の違い（4件）

【主な意見】

- 仕事でいつでも参加できないが、高齢者には理解してもらえないこと。（女性・30歳代）
- 高齢者の方で他者の意見を受け入れず、自分の意見を押し通そうとしてくるので、話し合いがまとまらないことが多々ある。（女性・50歳代）
- お互い様の気持ちがなくなりました。自分さえ良ければ良いという考え方でしょう。参加者が年々少なくなってきました。（女性・70歳代）
- 一定の人、特に御老人が幅をきかせ、多数決さえひっくり返す。（男性・70歳代）

■ その他（苦労していること）（14件）

【主な意見】

- 単身世帯に自治会活動はきついです。（女性・30歳代）
- 地域との温度差。（女性・40歳代）
- 子どもが小さい時に活動する事の大変さを感じます。（女性・40歳代）
- 決して楽しいことではない。（女性・50歳代）
- 自治会等の年間で決められた作業や役割等が他の市に比べて極端に多い気がして束縛感を感じる。（女性・50歳代）
- 自治会に入らなくともチリを捨てられる、その内に自治会という体系がなくなるのではないかと思う（女性・50歳代）
- みんながもっと参加しやすいように声掛けしてほしい（女性・60歳代）
- 参加期間が短すぎる。（女性・70歳代）
- ①自治会活動について。配布物集金を行っているが（班長なので）無償活動である。自治会長はもらっているのに班長がもらえないのはおかしい。②資源ごみの回収時間が短く日曜日のみ、日曜日仕事の方は持って行けない。また時間が短く集中するため、会場だけでなく近接道路も渋滞し事故の原因近所迷惑となっていることから時間を長くして頂きたい。（男性・50歳代）
- 行事が多い（男性・60歳代）
- 専門分野での活動は全部が頼られがちになってしまう。（男性・60歳代）
- あまり評価されない事（男性・70歳代）
- 病気で何もできない（男性・70歳代）
- 自治会に不信があり、積極的に参加したくない。（男性・80歳代）

[その他（12件）]

【主な意見】

- 近所の公園の清掃（女性・30歳代）
- 集落のそれぞれのやり方や、その場の雰囲気、結束力の強さを感じるなかでも、見慣れない、若者や参加者、障害者に優しい雰囲気と、受入れ、共存、協働する心構え。（女性・40歳代）
- 今はみな忙しく、楽な形の自治会活動である。（女性・40歳代）
- PTA活動の廃止。（女性・50歳代）
- 共助の面で必要（女性・60歳代）
- 何の報いも求めず行動することが当然であり感謝やお礼の言葉などは全く不要であると思う（女性・60歳代）
- 公民館利用をもっと利用者目線で考えて欲しいです。（女性・70歳代）

- ボランティア保険の徹底（男性・60 歳代）
- 自分の周囲の生活環境の維持活動は地域の安全と平和を守る基礎であると思う。（男性・70 歳代）
- 資源ごみの分別（男性・70 歳代）
- 道路愛護作業、河川清掃等の共同作業不参加者から 1,000 円徴収。共同募金を自治会会員として徴収。（男性・70 歳代）
- 参加している所で、市民が指導の仕方について、市民の苦情を役所は一方向的に聞いている。役所の考え方がわからない。（男性・80 歳代）

(3) 生活の中での優先度

問 26	生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたはどのようにお考えですか。 （あてはまるものを1つだけ選択）
問 27	それでは、あなたの希望はどれにあてはまりますか。（あてはまるものを1つだけ選択）

[全体]（図表 5-4～図表 5-5）

生活の中での優先度についてみると、『現状』では、「家庭生活」を優先している（31.1%）と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（20.9%）、「仕事」を優先している（15.4%）の順となっている。一方、『希望』では、「家庭生活」を優先したい（27.8%）と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい（23.9%）、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい（14.9%）の順となっている。

『現状』と『希望』を比較すると、ともに「家庭生活」を優先している（したい）と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）の順となっており、『現状』と『希望』の回答傾向に大きな差はみられない。

[性別、性・年代別]（図表 5-4～図表 5-7）

性別でみると、『現状』では、男女ともに「家庭生活」を優先している」と回答した割合が最も高くなっている。また、女性は「家庭生活」を優先している」と回答した割合が男性より7.5ポイント高く、男性は「仕事」を優先している」と回答した割合が女性よりも7.5ポイント高いことから、女性は家庭生活を優先し、男性は家庭生活以外に仕事も優先している傾向がみられる。一方、『希望』では、『現状』より女性は「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」が8.4ポイント、男性は「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が6.2ポイント高く、男女ともに「仕事」を優先」が低くなっている。

性・年代別でみると、『現状』では、男女とも60歳代以上で「家庭生活」を優先している」と回答した割合が最も高くなっている。また、20～50歳代女性は「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が最も高く、30歳代男性は「仕事」を優先している」並びに「家庭生活」を優先している」と回答した割合が3割を超え、40歳代男性は「仕事」を優先している」並びに「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が3割を超えている。一方、『希望』では、20歳、40歳代、60歳代の女性と20～40歳代、70歳代の男性は「家庭生活」を優先したい」と回答した割合が最も高く、30歳代と50歳代の女性、50～60歳代の男性では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した割合が最も高くなっている。

[性・夫婦の就労状況別、性・職業別]（図表 5-6～図表 5-7）

性・夫婦の就労状況別でみると、男女ともに「配偶者（パートナー）のみ職業がある」と「どちらも職業がない」と回答した人は「家庭生活」を優先している」と回答した割合が『現状』と『希望』ともに最も高くなっている。

性・職業別でみると、『現状』、『希望』ともに女性は「無職」と回答した人を除くすべての職業で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した割合が最も高くなっている。男性は「自営業主」と回答した人は『現状』では「仕事」を優先している」と回答した割合が最も高くなっているのに対し、『希望』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答している割合が最も高くなっており、『現状』と『希望』のギャップがうかがえる。

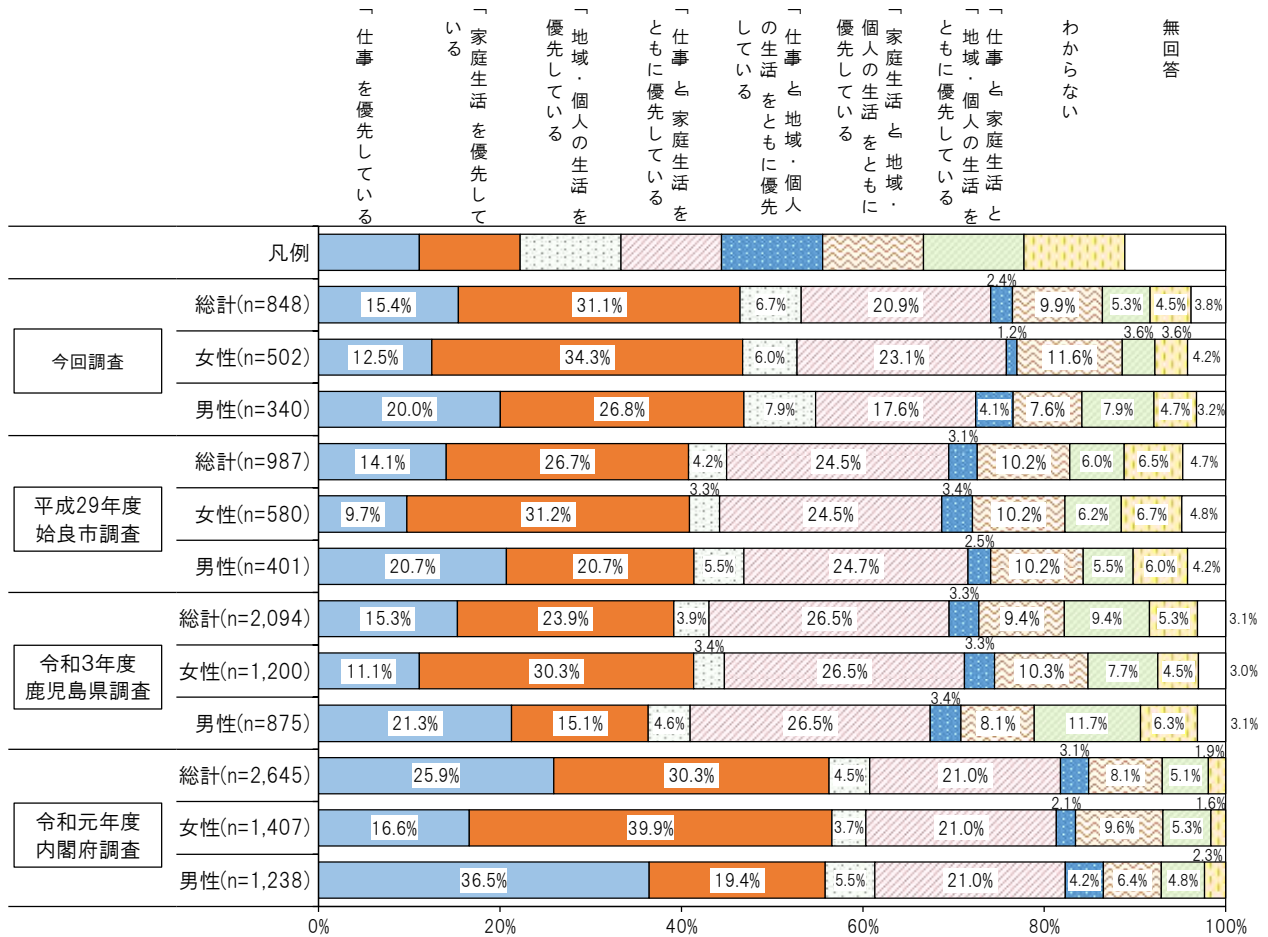
[前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査との比較]（図表 5-4～図表 5-5）

前回調査と比較すると、『現状』では、「家庭生活」を優先している」、「地域・個人の生活」を優先している」と回答した割合は増加している。『希望』では回答傾向に大きな差はみられない。

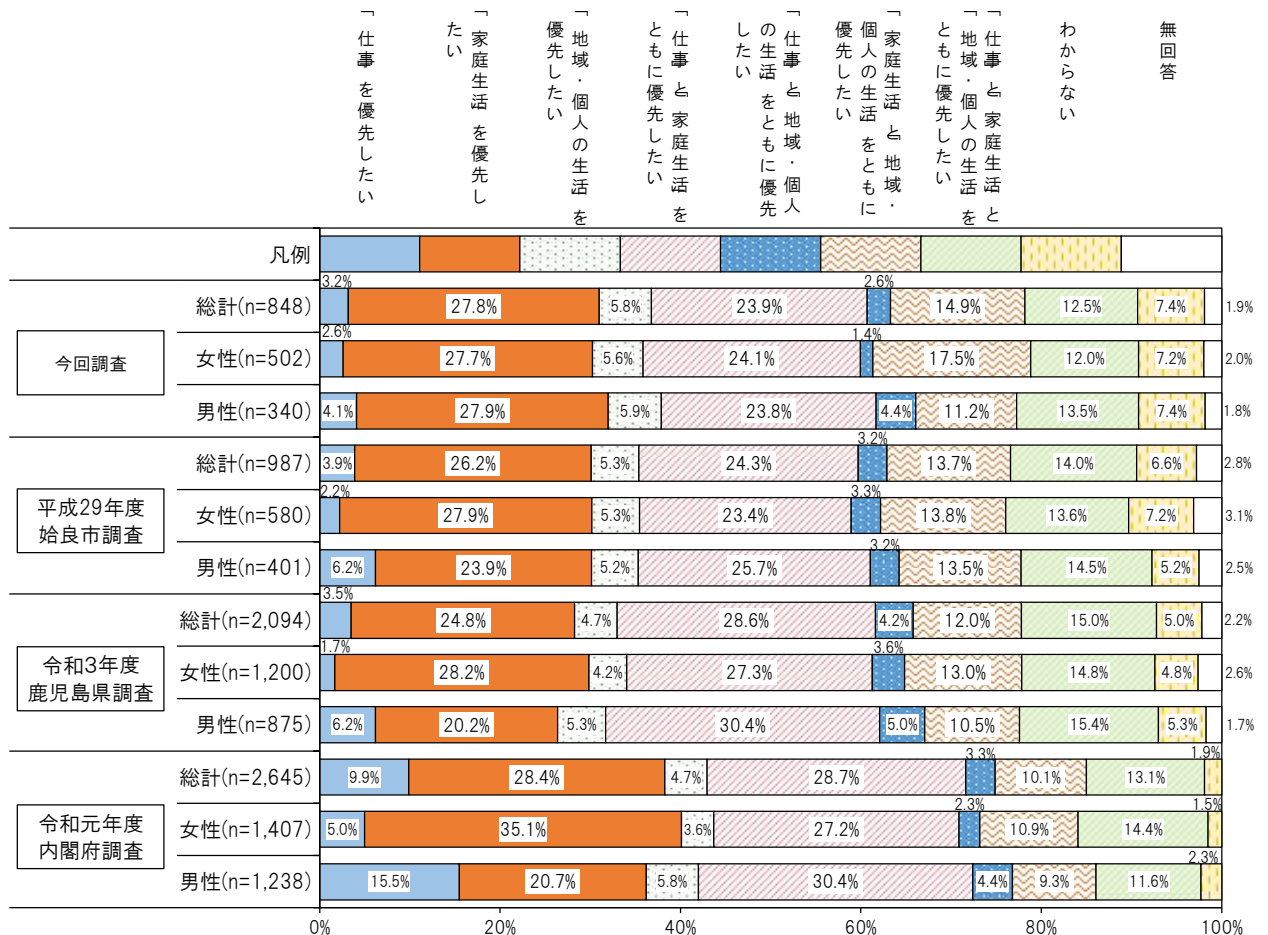
鹿児島県調査と比較すると、『現状』では、「家庭生活」を優先している」と回答した割合が7.2ポイント高く、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した割合が5.6ポイント低くなっている。

内閣府調査と比較すると、「仕事」を優先」と回答した割合が『現状』では、10.5ポイント、『希望』では、6.7ポイント低くなっている。

図表 5-4 生活の中での優先度 **現状** 【性別、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 5-5 生活の中での優先度 **希望** 【性別、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 5-6 生活の中での優先度 **現状**【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別、性・子の年代別】

		サンプル数	仕事を優先している	家庭生活を優先している	地域個人の生活を優先している	仕事と家庭生活をともに優先している	仕事と地域個人の生活をともに優先している	家庭生活と地域個人の生活をともに優先している	仕事と家庭生活と地域個人の生活をともに優先している	わからない	無回答	
上段: 度数 下段: 構成比(%)												
総計		848	131 100.0%	264 31.1%	57 6.7%	177 20.9%	20 2.4%	84 9.9%	45 5.3%	38 4.5%	32 3.8%	
平成29年度始良市調査		987	139 100.0%	264 26.7%	41 4.2%	242 24.5%	31 3.1%	101 10.2%	59 6.0%	64 6.5%	46 4.7%	
令和3年度鹿児島県調査		2,094	321 100.0%	501 15.3%	82 3.9%	554 26.5%	69 3.3%	196 9.4%	196 9.4%	110 5.3%	65 3.1%	
令和元年度内閣府調査		2,645	- 100.0%	- 25.9%	- 30.3%	- 4.5%	- 21.0%	- 3.1%	- 8.1%	- 5.1%	- 1.9%	- 0.0%
性・年代別	女性	502	63 100.0%	172 34.3%	30 6.0%	116 23.1%	6 1.2%	58 11.6%	18 3.6%	18 3.6%	21 4.2%	
	10歳代	9	1 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	
	20歳代	25	3 100.0%	5 12.0%	2 8.0%	7 28.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%	
	30歳代	44	6 100.0%	15 13.6%	1 2.3%	17 38.6%	0 0.0%	2 4.5%	2 4.5%	0 0.0%	1 2.3%	
	40歳代	82	14 100.0%	14 17.1%	0 0.0%	29 35.4%	2 2.4%	3 3.7%	5 6.1%	1 1.2%	0 0.0%	
	50歳代	83	16 100.0%	16 19.3%	1 1.2%	31 37.3%	1 1.2%	0 0.0%	3 3.6%	2 2.4%	1 1.2%	
	60歳代	105	10 100.0%	10 9.5%	4 32.4%	8 7.6%	23 21.9%	0 0.0%	17 16.2%	5 4.8%	3 2.9%	5 4.8%
	70歳代	111	10 100.0%	10 9.0%	4 37.8%	9 8.1%	7 6.3%	1 0.9%	26 23.4%	3 2.7%	5 4.5%	8 7.2%
	80歳以上	43	3 100.0%	3 7.0%	19 44.2%	7 16.3%	2 4.7%	0 0.0%	5 11.6%	0 0.0%	1 2.3%	6 14.0%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	340	68 100.0%	91 26.8%	27 7.9%	60 17.6%	14 4.1%	26 7.6%	27 7.9%	16 4.7%	11 3.2%	
	10歳代	5	0 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	20歳代	18	5 100.0%	5 27.8%	2 11.1%	3 16.7%	6 33.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%
	30歳代	28	10 100.0%	10 35.7%	1 3.6%	4 14.3%	4 14.3%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	33	11 100.0%	11 33.3%	5 15.2%	0 0.0%	11 33.3%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	3 9.1%	0 0.0%
	50歳代	44	12 100.0%	12 27.3%	10 22.7%	0 0.0%	14 31.8%	2 4.5%	2 4.5%	3 6.8%	0 0.0%	1 2.3%
	60歳代	87	18 100.0%	18 20.7%	22 25.3%	6 6.9%	19 21.8%	5 5.7%	5 5.7%	4 4.6%	3 3.4%	5 5.7%
	70歳代	96	11 100.0%	11 11.5%	31 32.3%	11 11.5%	5 5.2%	4 4.2%	12 12.5%	12 12.5%	5 5.2%	5 5.2%
	80歳以上	28	1 100.0%	1 3.6%	10 35.7%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.3%	5 17.9%	3 10.7%	0 0.0%
	無回答	1	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別無回答ほか	6	0 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	
性・夫婦の就労状況別	女性	153	21 100.0%	46 30.1%	1 0.7%	70 45.8%	0 0.0%	2 1.3%	7 4.6%	1 0.7%	5 3.3%	
	職業がある	16	4 100.0%	4 25.0%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	
	配偶者(パート)のみ	53	1 100.0%	30 56.6%	0 0.0%	3 5.7%	0 0.0%	11 20.8%	4 7.5%	2 3.8%	2 3.8%	
	職業がない	105	3 100.0%	57 54.3%	10 9.5%	3 2.9%	0 0.0%	25 23.8%	0 0.0%	6 5.7%	1 1.0%	
	男性	113	38 100.0%	38 33.6%	15 13.3%	2 1.8%	35 31.0%	5 4.4%	4 3.5%	8 7.1%	3 2.7%	
	職業がある	51	12 100.0%	12 23.5%	11 21.6%	1 2.0%	15 29.4%	3 5.9%	2 3.9%	7 13.7%	0 0.0%	
	配偶者(パート)のみ	12	0 100.0%	0 0.0%	8 66.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	
	職業がない	88	5 100.0%	5 5.7%	38 43.2%	10 11.4%	0 0.0%	1 1.1%	18 20.5%	7 8.0%	5 5.7%	
	自営業主	18	4 100.0%	4 22.2%	1 5.6%	1 5.6%	6 33.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	
	家族従事者	9	1 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	
性・職業別	女性	223	47 100.0%	47 21.1%	55 24.7%	3 1.3%	88 39.5%	5 2.2%	6 2.7%	13 5.8%	2 0.9%	
	無職	215	7 100.0%	7 3.3%	101 47.0%	24 11.2%	10 4.7%	0 0.0%	46 21.4%	5 2.3%	13 6.0%	
	自営業主	38	14 100.0%	14 36.8%	4 10.5%	3 7.9%	9 23.7%	4 10.5%	0 0.0%	3 7.9%	1 2.6%	
	家族従事者	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	男性	147	41 100.0%	41 27.9%	29 19.7%	2 1.4%	42 28.6%	9 6.1%	6 4.1%	11 7.5%	4 2.7%	
	無職	121	7 100.0%	7 5.8%	51 42.1%	19 15.7%	1 0.8%	1 0.8%	16 13.2%	12 9.9%	10 8.3%	
	性・子の年代別	女性	45	4 100.0%	4 8.9%	21 46.7%	0 0.0%	15 33.3%	1 2.2%	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%
		乳幼児	83	7 100.0%	7 8.4%	36 43.4%	0 0.0%	28 33.7%	0 0.0%	6 7.2%	5 6.0%	1 1.2%
		小中学生	378	46 100.0%	46 12.2%	144 38.1%	16 4.2%	82 21.7%	1 0.3%	51 13.5%	16 4.2%	9 2.4%
		その他(大学生、結婚した子ども等)	117	23 100.0%	23 19.7%	21 17.9%	15 12.8%	22 18.8%	4 3.4%	13 11.1%	3 2.6%	9 7.7%
男性		30	8 100.0%	8 26.7%	10 33.3%	0 0.0%	9 30.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	
乳幼児		49	14 100.0%	14 28.6%	11 22.4%	1 2.0%	16 32.7%	1 2.0%	1 2.0%	2 4.1%	3 6.1%	
小中学生		259	52 100.0%	52 20.1%	71 27.4%	22 8.5%	38 14.7%	9 3.5%	20 7.7%	25 9.7%	11 4.2%	
その他(大学生、結婚した子ども等)		79	15 100.0%	15 19.0%	20 25.3%	7 8.9%	14 17.7%	5 6.3%	7 8.9%	2 2.5%	6 7.6%	

図表 5-7 生活の中での優先度 **希望**【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別、性・子の年代別】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	仕事を優先した	家庭生活を優先した	地域個人の生活を優先した	仕事と家庭生活をともに優先した	仕事と地域個人の生活をともに優先した	家庭生活と地域個人の生活をともに優先した	仕事と家庭生活と地域個人の生活をともに優先した	わからない	無回答	
総計	848	27	236	49	203	22	126	106	63	16	
	100.0%	3.2%	27.8%	5.8%	23.9%	2.6%	14.9%	12.5%	7.4%	1.9%	
平成29年度始良市調査	987	38	259	52	240	32	135	138	65	28	
	100.0%	3.9%	26.2%	5.3%	24.3%	3.2%	13.7%	14.0%	6.6%	2.8%	
令和3年度鹿児島県調査	2,094	74	520	98	598	88	251	314	104	47	
	100.0%	3.5%	24.8%	4.7%	28.6%	4.2%	12.0%	15.0%	5.0%	2.2%	
令和元年度内閣府調査	2,645	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0%	9.9%	28.4%	4.7%	28.7%	3.3%	10.1%	13.1%	1.9%	0.0%	
性・年代別	女性	502	13	139	28	121	7	88	60	36	10
		100.0%	2.6%	27.7%	5.6%	24.1%	1.4%	17.5%	12.0%	7.2%	2.0%
	10歳代	9	1	1	0	1	1	4	0	1	0
		100.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%
	20歳代	25	1	7	4	3	2	2	4	2	0
		100.0%	4.0%	28.0%	16.0%	12.0%	8.0%	8.0%	16.0%	8.0%	0.0%
	30歳代	44	2	13	2	19	0	2	5	0	1
		100.0%	4.5%	29.5%	4.5%	43.2%	0.0%	4.5%	11.4%	0.0%	2.3%
	40歳代	82	1	31	2	26	2	5	11	4	0
		100.0%	1.2%	37.8%	2.4%	31.7%	2.4%	6.1%	13.4%	4.9%	0.0%
	50歳代	83	4	22	1	31	0	6	10	7	2
		100.0%	4.8%	26.5%	1.2%	37.3%	0.0%	7.2%	12.0%	8.4%	2.4%
	60歳代	105	1	25	7	23	0	24	15	9	1
		100.0%	1.0%	23.8%	6.7%	21.9%	0.0%	22.9%	14.3%	8.6%	1.0%
	70歳代	111	2	28	6	16	2	32	11	9	5
		100.0%	1.8%	25.2%	5.4%	14.4%	1.8%	28.8%	9.9%	8.1%	4.5%
	80歳以上	43	1	12	6	2	0	13	4	4	1
		100.0%	2.3%	27.9%	14.0%	4.7%	0.0%	30.2%	9.3%	9.3%	2.3%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	14	95	20	81	15	38	46	25	6	
	100.0%	4.1%	27.9%	5.9%	23.8%	4.4%	11.2%	13.5%	7.4%	1.8%	
10歳代	5	0	1	1	1	1	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	18	0	6	2	3	2	0	2	3	0	
	100.0%	0.0%	33.3%	11.1%	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	16.7%	0.0%	
30歳代	28	1	11	2	11	0	1	2	0	0	
	100.0%	3.6%	39.3%	7.1%	39.3%	0.0%	3.6%	7.1%	0.0%	0.0%	
40歳代	33	1	14	0	12	0	4	1	1	0	
	100.0%	3.0%	42.4%	0.0%	36.4%	0.0%	12.1%	3.0%	3.0%	0.0%	
50歳代	44	3	12	2	21	0	1	5	0	0	
	100.0%	6.8%	27.3%	4.5%	47.7%	0.0%	2.3%	11.4%	0.0%	0.0%	
60歳代	87	5	21	9	24	5	5	9	7	2	
	100.0%	5.7%	24.1%	10.3%	27.6%	5.7%	5.7%	10.3%	8.0%	2.3%	
70歳代	96	4	25	4	7	7	18	20	7	4	
	100.0%	4.2%	26.0%	4.2%	7.3%	7.3%	18.8%	20.8%	7.3%	4.2%	
80歳以上	28	0	5	0	2	0	7	7	7	0	
	100.0%	0.0%	17.9%	0.0%	7.1%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	0	2	1	1	0	0	0	2	0	
	100.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
性・夫婦の就労状況別	女性	153	5	53	1	54	2	7	23	5	3
		100.0%	3.3%	34.6%	0.7%	35.3%	1.3%	4.6%	15.0%	3.3%	2.0%
	自分のみ職業がある	16	1	6	0	6	0	1	2	0	0
		100.0%	6.3%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%
	配偶者(パートナー)のみ職業がある	53	0	19	1	10	0	10	8	5	0
		100.0%	0.0%	35.8%	1.9%	18.9%	0.0%	18.9%	15.1%	9.4%	0.0%
	どちらもない	105	0	33	9	4	1	39	9	8	2
		100.0%	0.0%	31.4%	8.6%	3.8%	1.0%	37.1%	8.6%	7.6%	1.9%
	男性	113	3	35	2	43	4	4	15	6	1
		100.0%	2.7%	31.0%	1.8%	38.1%	3.5%	3.5%	13.3%	5.3%	0.9%
自分のみ職業がある	51	4	11	1	18	3	6	7	0	1	
	100.0%	7.8%	21.6%	2.0%	35.3%	5.9%	11.8%	13.7%	0.0%	2.0%	
配偶者(パートナー)のみ職業がある	12	0	5	0	1	0	0	4	2	0	
	100.0%	0.0%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	
どちらもない	88	3	29	4	6	0	21	12	10	3	
	100.0%	3.4%	33.0%	4.5%	6.8%	0.0%	23.9%	13.6%	11.4%	3.4%	
性・職業別	女性	18	2	2	1	7	0	4	1	1	
		100.0%	11.1%	11.1%	5.6%	38.9%	0.0%	0.0%	22.2%	5.6%	5.6%
	自営業主	9	0	2	0	3	0	2	2	0	0
		100.0%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%
	家族従事者	223	8	65	8	80	6	13	31	7	5
		100.0%	3.6%	29.1%	3.6%	35.9%	2.7%	5.8%	13.9%	3.1%	2.2%
	無職	215	1	60	18	24	1	66	19	24	2
		100.0%	0.5%	27.9%	8.4%	11.2%	0.5%	30.7%	8.8%	11.2%	0.9%
	男性	38	4	6	1	12	3	2	7	3	0
	100.0%	10.5%	15.8%	2.6%	31.6%	7.9%	5.3%	18.4%	7.9%	0.0%	
自営業主	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
家族従事者	147	5	47	6	49	7	10	18	3	2	
	100.0%	3.4%	32.0%	4.1%	33.3%	4.8%	6.8%	12.2%	2.0%	1.4%	
無職	121	4	35	11	9	3	23	18	16	2	
	100.0%	3.3%	28.9%	9.1%	7.4%	2.5%	19.0%	14.9%	13.2%	1.7%	
性・子の年代別	女性	45	1	19	0	15	1	7	0	1	
		100.0%	2.2%	42.2%	0.0%	33.3%	2.2%	2.2%	15.6%	0.0%	2.2%
	乳幼児	83	2	34	4	21	3	8	11	0	0
		100.0%	2.4%	41.0%	4.8%	25.3%	3.6%	9.6%	13.3%	0.0%	0.0%
	小中学生	378	6	107	12	87	3	80	45	31	7
		100.0%	1.6%	28.3%	3.2%	23.0%	0.8%	21.2%	11.9%	8.2%	1.9%
	その他(大学生、結婚した子ども等)	117	6	20	16	27	3	19	12	11	3
		100.0%	5.1%	17.1%	13.7%	23.1%	2.6%	16.2%	10.3%	9.4%	2.6%
	男性	30	1	15	0	10	1	2	1	0	0
	100.0%	3.3%	50.0%	0.0%	33.3%	3.3%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	
乳幼児	49	3	16	0	22	2	2	1	3	0	
	100.0%	6.1%	32.7%	0.0%	44.9%	4.1%	4.1%	2.0%	6.1%	0.0%	
小中学生	259	12	67	10	55	13	34	42	20	6	
	100.0%	4.6%	25.9%	3.9%	21.2%	5.0%	13.1%	16.2%	7.7%	2.3%	
その他(大学生、結婚した子ども等)	79	2	19	10	19	5	7	8	7	2	
	100.0%	2.5%	24.1%	12.7%	24.1%	6.3%	8.9%	10.1%	8.9%	2.5%	

(4) 男女が家事などに積極的に参加するために必要なこと

問 28 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものを3つ以内で選択)

[全体] (図表 5-8)

男女が家事などに積極的に参加するために必要なことについてみると、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」(50.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」(37.3%)、「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(29.7%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(23.7%)、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」(18.6%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 5-8、図表 5-9)

性別でみると、女性は「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」と回答した割合が男性より15.5ポイント高く、その他に「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」などでも高くなっている。一方、男性は「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」と回答した割合が女性より高くなっている。

性・年代別でみると、10歳代、50～60歳代を除く女性と30歳以上の男性は「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」と回答した割合が最も高くなっている。

[性・夫婦の就労状況別、性・職業別] (図表 5-8、図表 5-9)

性・夫婦の就労状況別でみると、すべての就労状況で男女ともに「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」回答した割合が最も高くなっている。その中でも「自分のみ職業がある」と回答した人は男女ともに7割弱となっている。

性・職業別でみると、女性の「家族従事者」と回答した人は「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」が回答した割合が最も高く、7割弱となっている。

[性・子の年代別] (図表 5-8、図表 5-9)

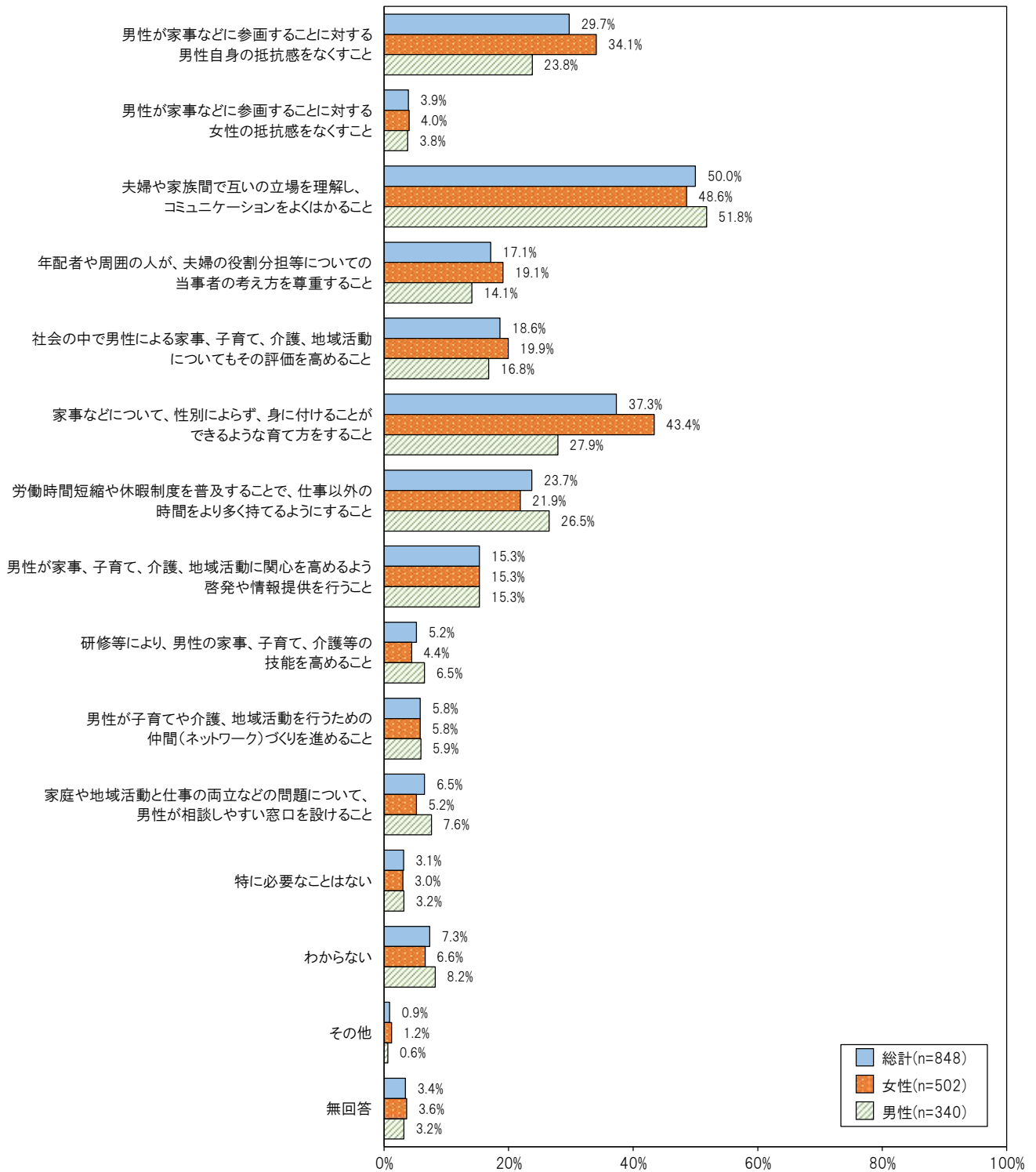
性・子の年代別でみると、「その他(大学生、結婚した子ども等)」と回答した人は「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」回答した割合が最も高くなっている。

[前回調査、鹿児島県調査との比較] (図表 5-10)

前回調査と比較すると、「年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」と回答した割合が2.4ポイント高くなっている。一方、その他の項目においては前回調査より減少傾向にあり、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」と回答した割合は5.0ポイント低くなっている。

鹿児島県調査と比較すると、「年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」と「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」と「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと」が前回調査よりわずかに増加している以外は減少しているが、回答傾向に大きな差はみられない。

図表 5-8 男女が家事などに積極的に参加するために必要なこと・複数回答【総計、性別】



図表 5-9 男女が家事などに積極的に参加するために必要なこと・複数回答

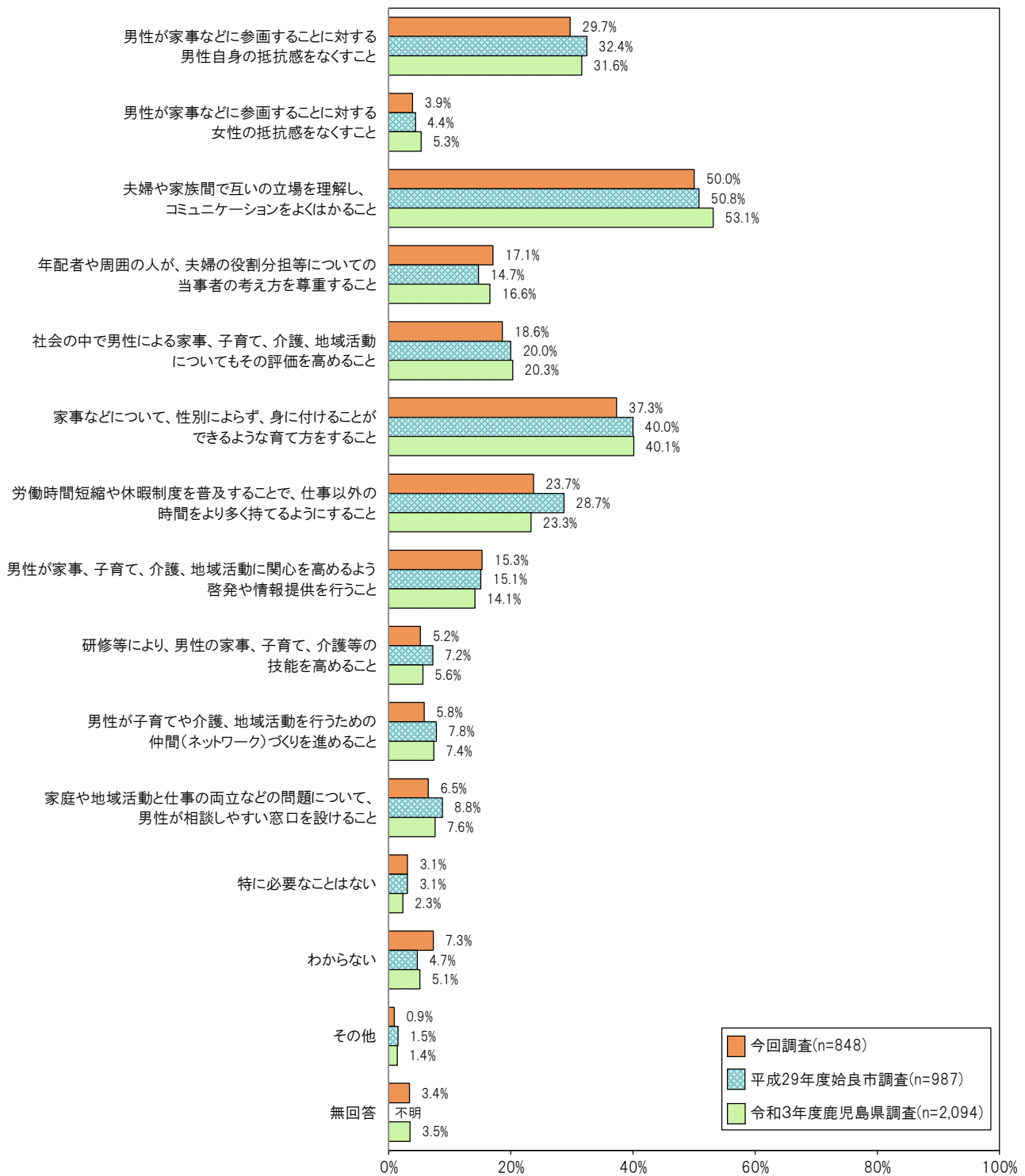
【性・年代別、性・夫婦の就労状況別・性・職業別、性・子の年代別】

上段:度数 下段:構成比(%)	サンプル数	必要なこと																		
		男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	
総計	848	25.2	3.3	424	14.5	15.8	31.6	20.1	13.0	4.4	4.9	5.5	2.6	6.2	8	2.9				
平成29年度始良市調査	987	32.0	4.4	47	14.5	19.7	39.5	28.3	14.9	7.1	7.7	8.7	3.1	4.6	1.5	-				
令和3年度鹿児島県調査	2,094	66.1	11.1	1,112	34.8	42.5	83.9	48.7	29.5	11.8	15.5	15.9	4.9	10.7	2.9	7.3				
性・年代別	女性	502	17.1	2.0	244	9.6	10.0	21.8	11.0	7.7	2.9	2.6	1.5	3.3	6	1.8				
	10歳代	9	6	0	5	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1.1			
	20歳代	25	11	0	12	6	4	9	10	2	1	2	0	1	0	0	0			
	30歳代	44	13	1	25	10	16	14	14	4	0	2	1	1	0	4	0			
	40歳代	82	28	0	42	18	13	34	24	5	6	4	2	2	5	4	3			
	50歳代	83	29	6	37	13	18	49	16	13	2	3	5	1	4	1	3			
	60歳代	105	31	3	51	22	28	53	20	22	7	8	7	4	4	1	2			
	70歳代	111	37	8	50	19	15	43	16	23	4	6	8	7	10	0	5			
	80歳以上	43	16	2	22	6	4	14	9	8	1	6	0	0	8	0	0			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	男性	340	8.1	1.3	176	4.8	5.7	9.5	9.0	5.2	2.2	2.6	1.1	2.8	2	1.1				
	10歳代	5	3	0	2	1	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0			
	20歳代	18	3	1	8	1	3	9	8	3	2	0	0	0	1	0	0			
	30歳代	28	6	1	15	5	6	10	11	3	2	4	0	1	0	1				
	40歳代	33	9	1	16	6	4	6	11	2	3	2	5	2	1	0	0			
	50歳代	44	10	1	23	4	9	13	16	4	1	2	6	0	5	1	1			
	60歳代	87	19	3	50	13	17	22	24	17	4	5	1	2	6	0	4			
	70歳代	96	23	5	49	14	16	27	15	22	7	6	9	5	5	0	5			
	80歳以上	28	7	1	12	4	1	5	5	0	2	3	1	2	9	0	0			
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	性別無回答ほか	6	0	0	4	1	1	3	1	1	0	0	3	0	1	0	0			
	性・夫婦の就労状況別	女性	153	5.1	0.5	78	3.3	3.2	6.6	3.9	2.1	7	5	9	3	6				
		どちらも職業がある	100.0	33.3%	3.3%	51.0%	21.6%	20.9%	43.1%	25.5%	13.7%	4.6%	3.3%	3.9%	3.3%	5.9%	2.0%	3.9%		
		自分のみ職業がある	100.0	43.8%	12.5%	68.8%	31.3%	31.3%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%			
		配偶者(ハートナー)のみ職業がある	100.0	22.6%	1.9%	47.2%	18.9%	20.8%	45.3%	20.8%	9.4%	5.7%	7.5%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%			
		どちらも職業がない	100.0	35.2%	3.8%	48.6%	20.0%	14.3%	46.7%	17.1%	21.9%	3.8%	10.5%	4.8%	3.8%	6.7%	1.0%			
自分のみ職業がない		100.0	28.3%	3.5%	51.3%	11.5%	18.6%	26.5%	35.4%	14.2%	4.4%	6.2%	8.8%	1.8%	5.3%	1.8%				
配偶者(ハートナー)のみ職業がある		100.0	19.6%	2.0%	66.7%	21.6%	9.8%	27.5%	25.5%	15.7%	3.9%	3.9%	3.9%	5.9%	3.9%	2.0%				
どちらも職業がない		100.0	8.3%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%				
無回答		88	2.1	0.5	44	1.2	1.3	2.4	1.5	1.3	0.9	3	2	1.1	0	5				
男性		113	3.2	0.4	58	1.3	2.1	3.0	4.0	1.6	5	7	10	2	6	1	2			
自分のみ職業がある		100.0	10.1%	1.1%	34%	11%	5%	14%	13%	8%	2%	2%	2%	3%	2%	0%	1%			
配偶者(ハートナー)のみ職業がある		100.0	8.3%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%				
無回答	88	2.1	0.5	44	1.2	1.3	2.4	1.5	1.3	0.9	3	2	1.1	0	5					
無職	100.0	23.9%	5.7%	50.0%	13.6%	14.8%	27.3%	17.0%	14.8%	10.2%	5.7%	3.4%	2.3%	12.5%	0.0%	5.7%				
性・職業別	女性	18	6	1	7	4	4	6	4	1	1	0	1	2	0	1				
	自営業主	100.0	33.3%	5.6%	38.9%	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%			
	家族従事者	100.0	44.4%	0.0%	33.3%	11.1%	11.1%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%				
	雇用者	100.0	37.2%	4.5%	50.7%	18.8%	20.2%	43.9%	26.5%	12.1%	3.1%	2.2%	4.0%	3.1%	5.4%	1.3%	4.5%			
	男性	38	1.3	0.1	1.9	0.5	0.4	0.8	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1				
	自営業主	100.0	34.2%	2.6%	50.0%	13.2%	10.5%	21.1%	21.1%	13.2%	5.3%	2.6%	2.6%	5.3%	7.9%	0.0%	2.6%			
	家族従事者	100.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	雇用者	100.0	20.4%	2.7%	54.4%	15.0%	18.4%	27.9%	35.4%	14.3%	6.1%	6.8%	11.6%	3.4%	4.8%	1.4%	1.4%			
	無職	100.0	25.6%	4.1%	52.1%	13.2%	19.0%	31.4%	19.8%	18.2%	8.3%	6.6%	4.1%	3.3%	12.4%	0.0%	2.5%			
	性・子の年代別	女性	45	1.5	0.1	2.9	0.7	1.6	1.7	1.4	0.5	1	0	0	0	1	0	2		
		乳幼児	100.0	33.3%	2.2%	64.4%	15.6%	35.6%	37.8%	31.1%	11.1%	2.2%	6.7%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	4.4%	
		小中学生	100.0	38.6%	2.4%	53.0%	18.1%	13.3%	50.6%	25.3%	14.5%	2.4%	3.6%	1.2%	4.8%	3.6%	3.6%	4.8%		
その他(大学生、結婚した子ども等)		100.0	34.7%	5.6%	48.4%	16.9%	18.8%	48.7%	17.7%	19.0%	6.1%	6.1%	4.8%	4.2%	6.3%	0.8%	2.6%			
いない		100.0	34.2%	3.4%	41.0%	23.1%	18.8%	35.0%	25.6%	8.5%	3.4%	6.0%	0.9%	8.5%	0.0%	5.1%				
男性		30	5	0	1.8	0.7	0.9	0.8	1.3	0.5	0.3	1	0	0	1	0	0			
乳幼児		100.0	16.7%	0.0%	60.0%	23.3%	30.0%	26.7%	43.3%	16.7%	10.0%	3.3%	10.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%			
小中学生		100.0	28.6%	8.2%	55.1%	16.3%	24.5%	18.4%	34.7%	2.0%	4.1%	14.3%	4.1%	4.1%	4.1%	0.0%	2.0%			
その他(大学生、結婚した子ども等)	100.0	25.1%	4.6%	52.5%	14.3%	17.4%	27.8%	25.9%	16.2%	6.2%	5.8%	6.6%	3.1%	8.1%	0.4%	2.3%				
いない	100.0	24.1%	1.3%	53.2%	11.4%	15.2%	35.4%	26.6%	16.5%	6.3%	6.3%	8.9%	1.3%	11.4%	1.3%	5.1%				

<その他意見（主なもの）>

- 夫婦の仕事も両方の職場が理解し、それぞれの家庭でどちらが生計を立てているかとか判断し、社会全体が男だから生計を立てているとか決めず、個々の状況で精査して欲しい。そしたら女性も働くことに楽しくなり、家庭も男性と話してうまく両立できるのでは・・・？
- 職場の理解
- 子供の頃から家庭・地域の環境で自然と身に付くものと思っている。
- 家族、夫婦によって決めれば良い。家事・子育ては女性も男性もそれぞれ得意、不得意があるので 2 人で決めてやって行けばよい。家事を嫌々されても困る。夫に産後鬱になられても困る。
- 古い考えを持っている人への教育
- 子供が病気の時などいつでも助けてくれる人が必要。
- 1～11の内容はどれもだれもが思っている事で優劣を付けるのはどうかと思う。大前提として法律で決める事。次に（同時に）公共（公務員）などが育児休暇をとって見せる事（見本となる者）。(1～2 週間ではなく女性並みの数か月) なぜかと言うととくに私ども雇用において不安定な会社では仕事（日常生活を守る為に）自ら育児休暇を取りたくないのです。
- 日頃から体を動かし健康でいること

図表 5-10 男女が家事などに積極的に参加するために必要なこと・複数回答【総計、前回調査、鹿児島県調査】



(5) 政策決定・自治組織に女性が少ない理由

問 29 始良市を含め、一般的に政策決定の場や自治組織などの方針決定の場への女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。(あてはまるものを3つ以上で選択)

[全体] (図表 5-11)

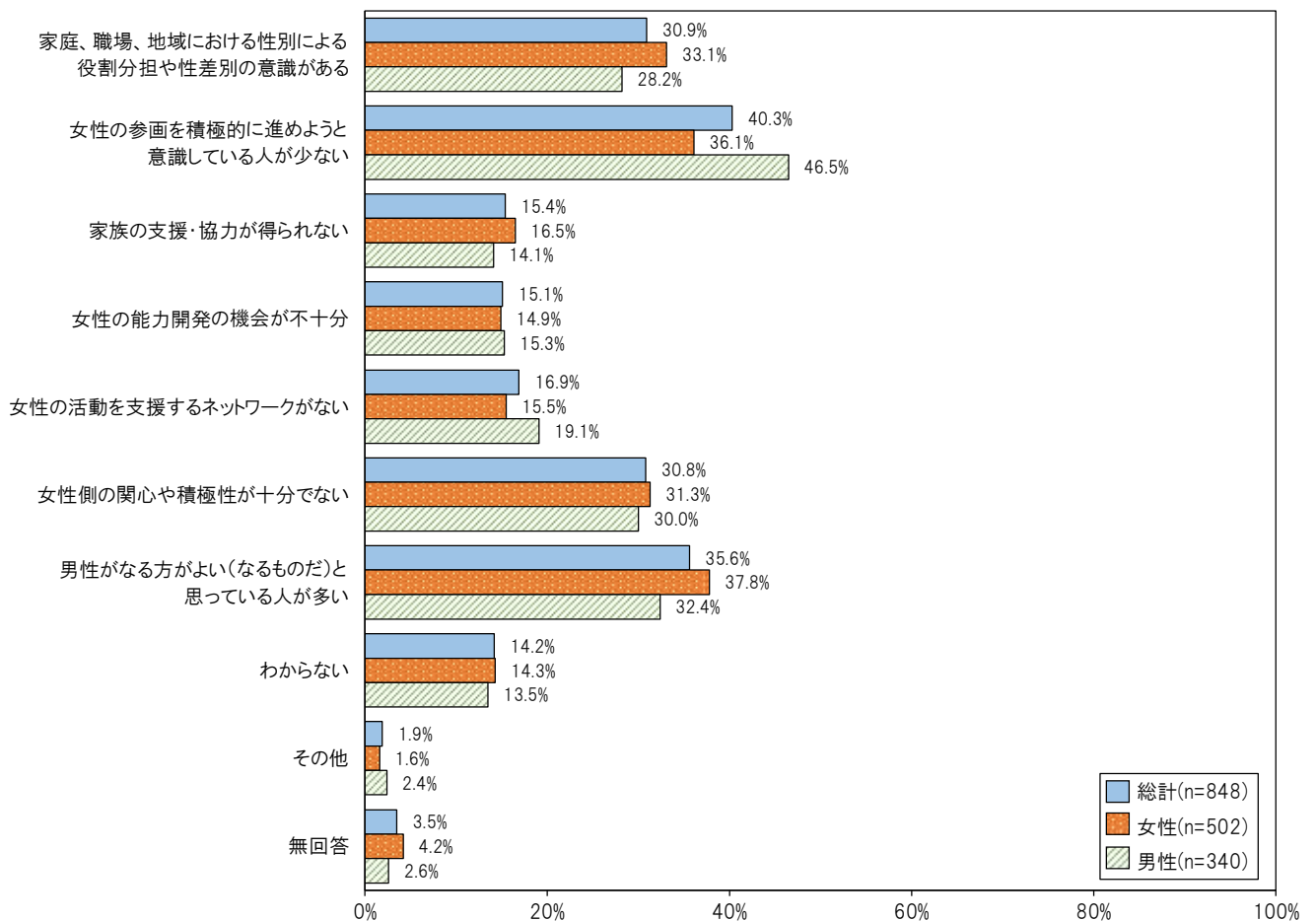
政策決定・自治組織に女性が少ない理由についてみると、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」(40.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い」(35.6%)、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある」(30.9%)、「女性側の関心や積極性が十分でない」(30.8%)、「女性の活動を支援するネットワークがない」(16.9%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 5-11、図表 5-12)

性別でみると、女性は「男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い」(37.8%)、男性は「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」(46.5%)と回答した割合が最も高くなっている。

性・年代別でみると、女性は10～30歳代で「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある」、40～50歳代で「男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い」、60歳以上で「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」と回答した割合が最も高くなっている。一方、男性は40～70歳代で「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある」と回答した割合が最も高くなっている。

図表 5-11 政策決定・自治組織に女性が少ない理由・複数回答【総計、性別】



図表 5-12 政策決定・自治組織に女性が少ない理由・複数回答【総計、性・年代別】

		サンプル数	家庭 職場 地域における性別による役割分担や性差別的意識がある	女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ない	女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ない	家族の支援 協力が得られない	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援するネットワークがない	女性側の関心や積極性が十分でない	男性がなる方がよいものが多いと思われている人が多い	わからない	その他	無回答
上段:度数 下段:構成比(%)													
総計		848	262	342	131	128	143	261	302	120	16	30	
		100.0%	30.9%	40.3%	15.4%	15.1%	16.9%	30.8%	35.6%	14.2%	1.9%	3.5%	
性・年代別	女性	502	166	181	83	75	78	157	190	72	8	21	
		100.0%	33.1%	36.1%	16.5%	14.9%	15.5%	31.3%	37.8%	14.3%	1.6%	4.2%	
	10歳代	9	5	4	0	0	2	3	2	2	0	0	
		100.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	
	20歳代	25	12	7	1	4	8	8	11	3	0	0	
		100.0%	48.0%	28.0%	4.0%	16.0%	32.0%	32.0%	44.0%	12.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	44	19	12	10	5	8	14	14	6	1	2	
		100.0%	43.2%	27.3%	22.7%	11.4%	18.2%	31.8%	31.8%	13.6%	2.3%	4.5%	
	40歳代	82	32	28	18	10	9	19	35	9	5	2	
		100.0%	39.0%	34.1%	22.0%	12.2%	11.0%	23.2%	42.7%	11.0%	6.1%	2.4%	
	50歳代	83	29	25	18	6	11	21	39	15	0	1	
		100.0%	34.9%	30.1%	21.7%	7.2%	13.3%	25.3%	47.0%	18.1%	0.0%	1.2%	
	60歳代	105	33	46	20	16	15	43	43	14	1	3	
		100.0%	31.4%	43.8%	19.0%	15.2%	14.3%	41.0%	41.0%	13.3%	1.0%	2.9%	
	70歳代	111	24	38	10	18	18	34	38	16	1	10	
		100.0%	21.6%	34.2%	9.0%	16.2%	16.2%	30.6%	34.2%	14.4%	0.9%	9.0%	
	80歳以上	43	12	21	6	16	7	15	8	7	0	3	
		100.0%	27.9%	48.8%	14.0%	37.2%	16.3%	34.9%	18.6%	16.3%	0.0%	7.0%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	340	96	158	48	52	65	102	110	46	8	9		
	100.0%	28.2%	46.5%	14.1%	15.3%	19.1%	30.0%	32.4%	13.5%	2.4%	2.6%		
10歳代	5	2	2	0	1	1	1	2	1	0	0		
	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%		
20歳代	18	5	3	2	1	1	2	4	7	2	0		
	100.0%	27.8%	16.7%	11.1%	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	38.9%	11.1%	0.0%		
30歳代	28	13	12	4	3	6	3	10	3	2	0		
	100.0%	46.4%	42.9%	14.3%	10.7%	21.4%	10.7%	35.7%	10.7%	7.1%	0.0%		
40歳代	33	9	16	5	6	5	13	12	4	0	1		
	100.0%	27.3%	48.5%	15.2%	18.2%	15.2%	39.4%	36.4%	12.1%	0.0%	3.0%		
50歳代	44	12	21	5	5	10	7	19	7	2	1		
	100.0%	27.3%	47.7%	11.4%	11.4%	22.7%	15.9%	43.2%	15.9%	4.5%	2.3%		
60歳代	87	30	45	12	17	18	32	22	7	2	2		
	100.0%	34.5%	51.7%	13.8%	19.5%	20.7%	36.8%	25.3%	8.0%	2.3%	2.3%		
70歳代	96	18	51	18	15	17	36	34	8	0	4		
	100.0%	18.8%	53.1%	18.8%	15.6%	17.7%	37.5%	35.4%	8.3%	0.0%	4.2%		
80歳以上	28	6	8	1	4	7	8	6	9	0	1		
	100.0%	21.4%	28.6%	3.6%	14.3%	25.0%	28.6%	21.4%	32.1%	0.0%	3.6%		
無回答	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0		
	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
性別無回答ほか	3	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0		
	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		

<その他意見（主なもの）>

- 家事に追われてその時間がとれない。
- 共働きで子育てと仕事で忙しく余裕がない
- 移住して間がない為。
- 家事や仕事で参加する時間がない
- 忙しく余裕がないから
- 忙しい
- がんこおやじがうるさい
- 中高年の意思をはっきり言ってくれるので男性の方々もよく向き合ってくれている。
- 出る杭を打とうとする悪しき慣習があるから
- 親や子の世話が女の人の仕事になっている。
- 特に 50 歳以上の人は女性を見下している。しかも気付いていない。逆に 40 代は男女平等化されている（私の下の年代は男女支配いない。割り勘の様です。
- 役割分担をしているだけで、特に差別しているとは思わない。できる人がいればやればいいと思います。やりたい人が声を上げればいいと思います。
- 女性で選挙に出馬する人の総数が少ないため。
- 選挙に行かないという女性が多い。政治などに興味がないのでは。
- 女性の参加が少ないのが問題ではなく、全員が参加できるようにすべきこと。仕事がおわり 7 時～9 時くらいで市民参加話しあいができるようにすること。問題認識がまちがっている。しっかり広報すれば、男性の参加は増える。

6. 男女の人権について

(1) 配偶者等からの DV 被害経験の有無

問 30 【問3で、「2 結婚している」、「3 事実上婚姻関係にある」、「4 離別・死別」と回答された方にお尋ねします。】
あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。こ
こでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。
(各項目であてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 6-1、図表 6-2、図表 6-3)

これまでに結婚(事実婚含む)したことがある726人を対象に、配偶者等からのDV被害経験の有無について聞いたところ、「いずれかの暴力」を受けた経験は、「何度もあった」(10.5%)と「一、二度あった」(15.3%)を合わせて、3割弱の人が『あった』と回答している。

暴力の種類別でみると、『あった』(「一、二度あった」+「何度もあった」)と回答した割合は、「心理的攻撃」(16.5%)が最も高く、次いで「身体的暴行」(15.1%)、「経済的圧迫」(6.8%)、「性的強要」(6.2%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 6-1、図表 6-2、図表 6-4)

性別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』と回答した割合は、女性(32.0%)が男性(16.7%)を大きく上回っている。また、「身体的暴行」(女性:19.3%、男性:8.8%)、「精神的攻撃」(女性:19.9%、男性:11.9%)、「経済的圧迫」(女性:9.1%、男性:3.4%)、「性的強要」(女性:9.1%、男性:2.0%)といずれの暴力でも約1~2割の女性が『あった』と回答しており、「身体的暴行」では女性が男性より10.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』と回答した割合は、40歳代の女性が41.1%と最も高く、4割を超えている。一方、男性では、50歳代が最も高く、25.7%となっている。

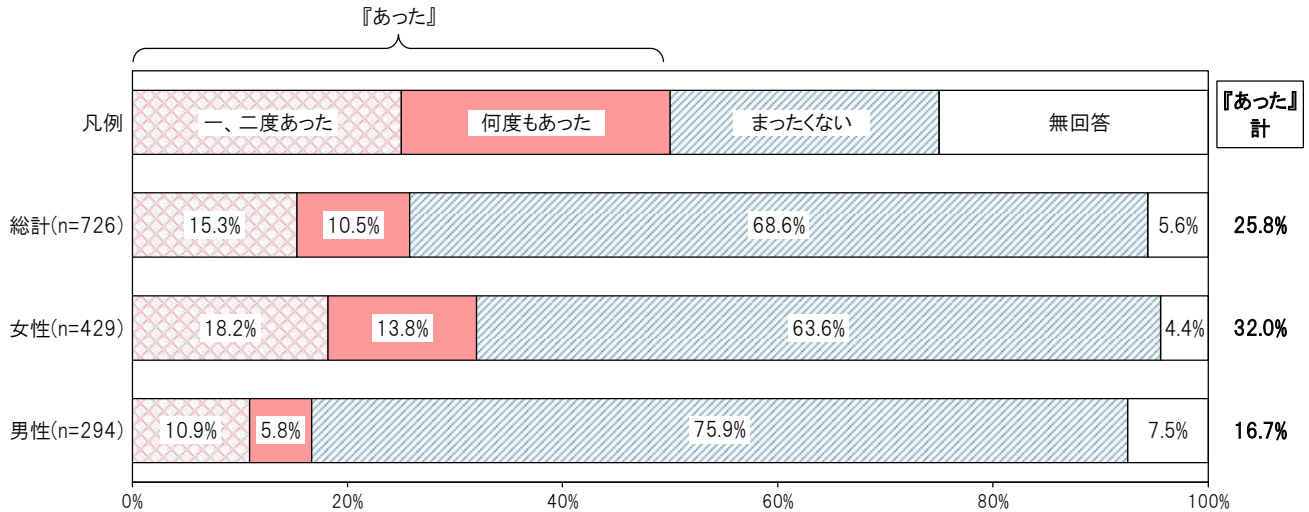
[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 6-5~図表 6-9)

前回調査と比較すると、「心理的攻撃」と回答した割合が2.5ポイント増加している。一方で、「性的強要」は減少傾向がみられ、前回調査より2.9ポイント減少している。

鹿児島県調査と比較すると、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』と回答した割合は6ポイント高くなっている。

内閣府調査と比較すると、いずれの暴力についても「何度もあった」と回答した割合がわずかに高くなっているが、回答傾向に大きな差はみられない。

図表 6-1 配偶者等からのDV被害経験の有無 **いずれかの暴力** 【総計、性別】

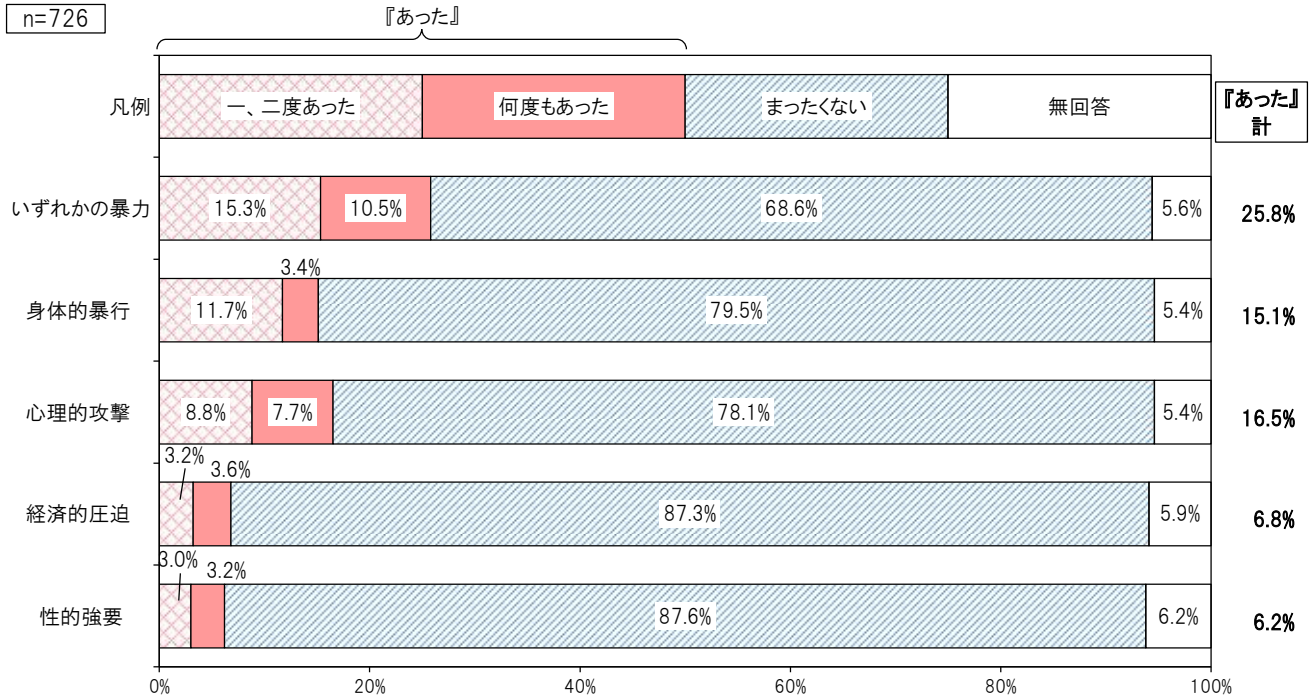


※ 「いずれかの暴力」は、「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」に対して次の内容で集計している。
 「何度もあった」：いずれかの項目で1つでも「何度もあった」と回答した人、「一、二度あった」：いずれかの項目で1つでも「一、二度あった」と回答した人（いずれかの項目で1つでも「何度もあった」と回答した人を除く）、「まったくない」：すべての項目で「まったくない」と回答した人。

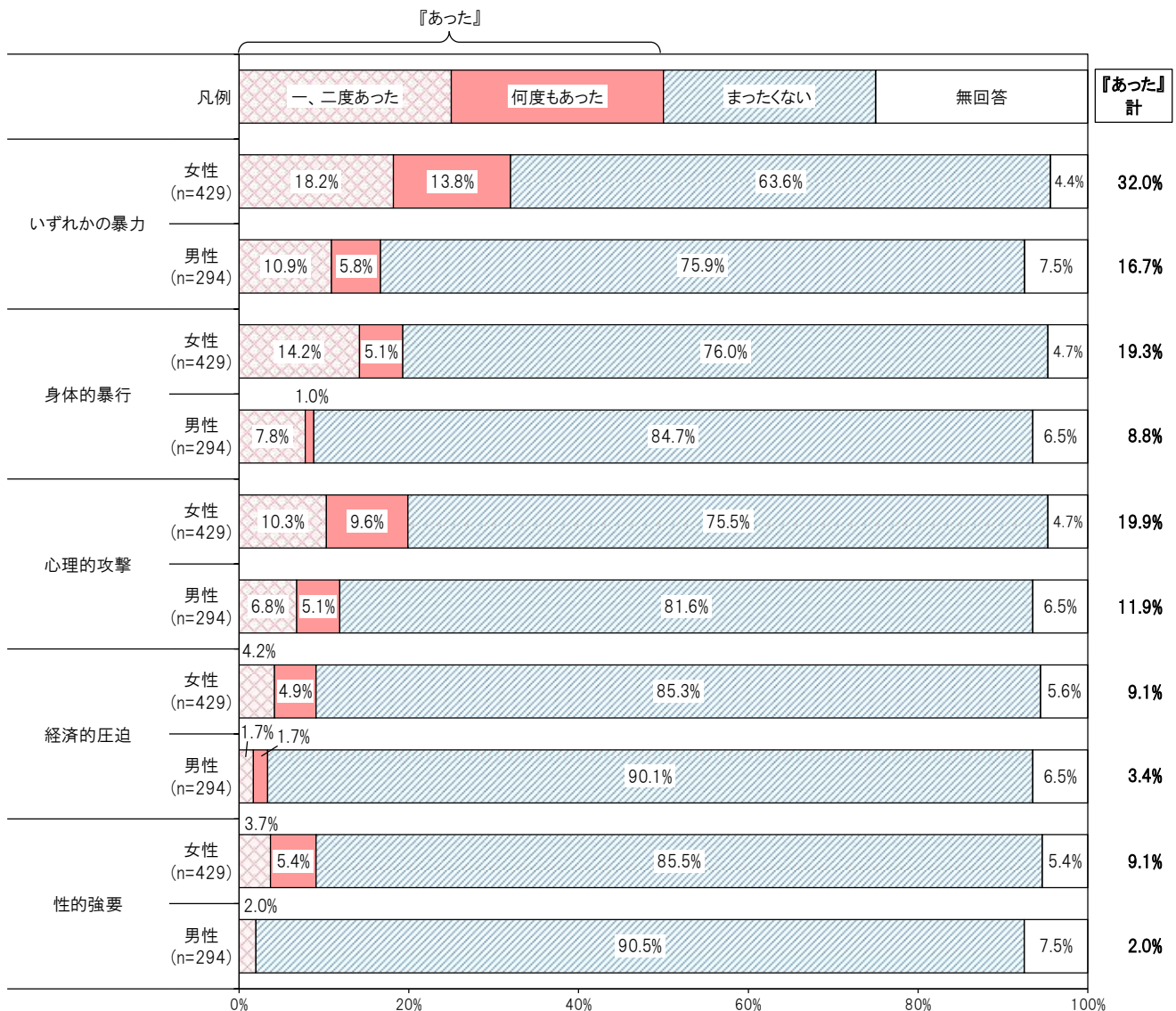
図表 6-2 配偶者等からのDV被害経験の有無【性・年代別、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】

サンプル数	いずれかの暴力 「身体的暴行」、「心理的攻撃」 「経済的圧迫」、「性的強要」 のいずれかの暴力を受けた				身体的暴行 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、 突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行				心理的攻撃 人格を否定するような暴言、交友関係 や行き先、電話・メールなどを細かく監視 したり、長期間無視するなどの精神的な嫌 がらせ、あるいは、自分もしくは家族に危害 が加えられるのではないかと恐怖を感じる ような脅迫				経済的圧迫 生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に に使われる、外で働くことを妨害されるなど				性的強要 嫌がっているのに性的な行為を強要され る、見たくないポルノ映像等を見せられ、 避妊に協力しないなど				
	一、 二度あ った	何 度も あ った	あ た く な い	無 回 答	一、 二度あ った	何 度も あ った	あ た く な い	無 回 答	一、 二度あ った	何 度も あ った	あ た く な い	無 回 答	一、 二度あ った	何 度も あ った	あ た く な い	無 回 答	一、 二度あ った	何 度も あ った	あ た く な い	無 回 答	
	上段：度数	下段：構成比(%)																			
総計	726	111	76	498	41	85	25	577	39	64	56	567	39	23	26	634	43	22	23	636	45
平成29年度始良市調査	852	-	-	-	-	98	25	678	51	66	54	665	67	-	-	-	-	56	21	712	63
令和3年度鹿児島県調査	1,781	200	153	1,219	209	170	63	1,365	183	122	98	1,352	209	-	-	-	-	73	65	1,419	224
令和2年度内閣府・DV調査	2,591	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	429	78	59	273	19	61	22	326	20	44	41	324	20	18	21	366	24	16	23	367	23
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	4	1	0	3	0	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	4	0
30歳代	36	5	4	27	0	3	1	32	0	4	4	28	0	1	1	34	0	1	1	34	0
40歳代	68	16	12	39	1	11	2	53	2	10	7	50	1	2	7	58	1	4	4	59	1
50歳代	73	15	11	47	0	10	4	59	0	10	9	54	0	6	4	63	0	4	4	65	0
60歳代	99	17	13	64	5	16	4	73	6	9	7	79	5	5	1	87	6	4	7	82	6
70歳代	107	20	14	64	9	17	7	75	8	11	9	76	11	4	6	85	12	2	5	89	12
80歳以上	42	4	5	29	4	3	4	31	4	3	3	33	3	0	2	35	5	1	2	35	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性	294	32	17	223	22	23	3	249	19	20	15	240	19	5	5	265	19	6	0	266	22
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6	0
30歳代	21	3	1	17	0	1	0	20	0	3	1	17	0	1	0	20	0	1	0	20	0
40歳代	32	2	5	24	1	4	1	26	0	3	4	24	1	1	1	29	1	0	0	31	1
50歳代	35	6	3	25	1	3	1	30	1	3	2	29	1	0	2	32	1	0	0	34	1
60歳代	80	5	0	70	5	3	0	73	4	3	0	72	5	2	0	73	5	1	0	74	5
70歳代	91	11	8	63	9	7	1	75	8	6	8	69	8	1	2	80	8	4	0	77	10
80歳以上	28	5	0	18	5	5	0	19	4	2	0	22	4	0	0	24	4	0	0	23	5
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
性別無回答ほか	3	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	3	0

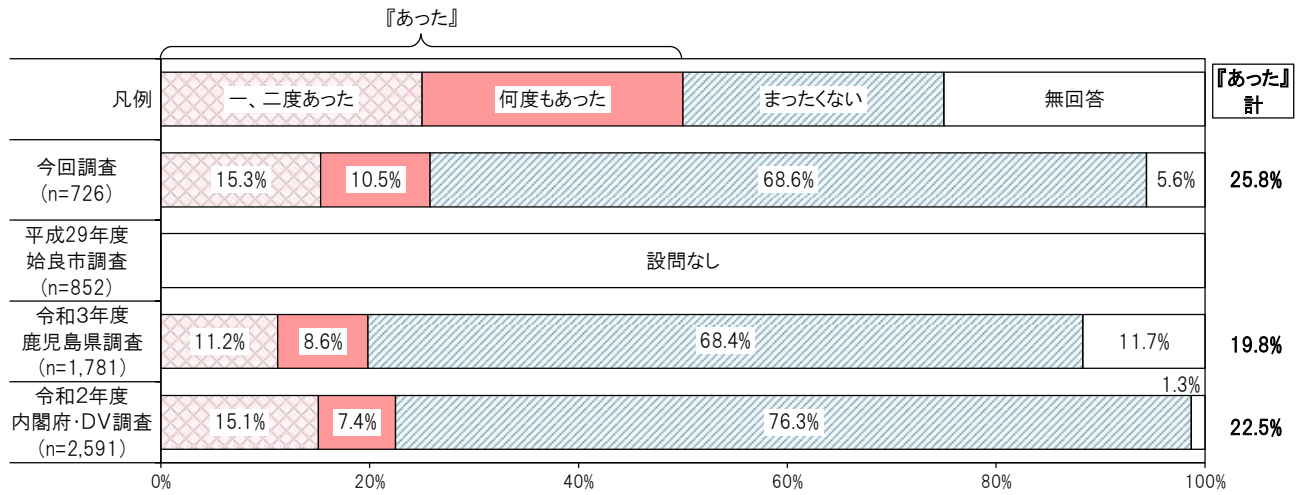
図表 6-3 配偶者等からのDV被害経験の有無【総計、暴行の種類別】



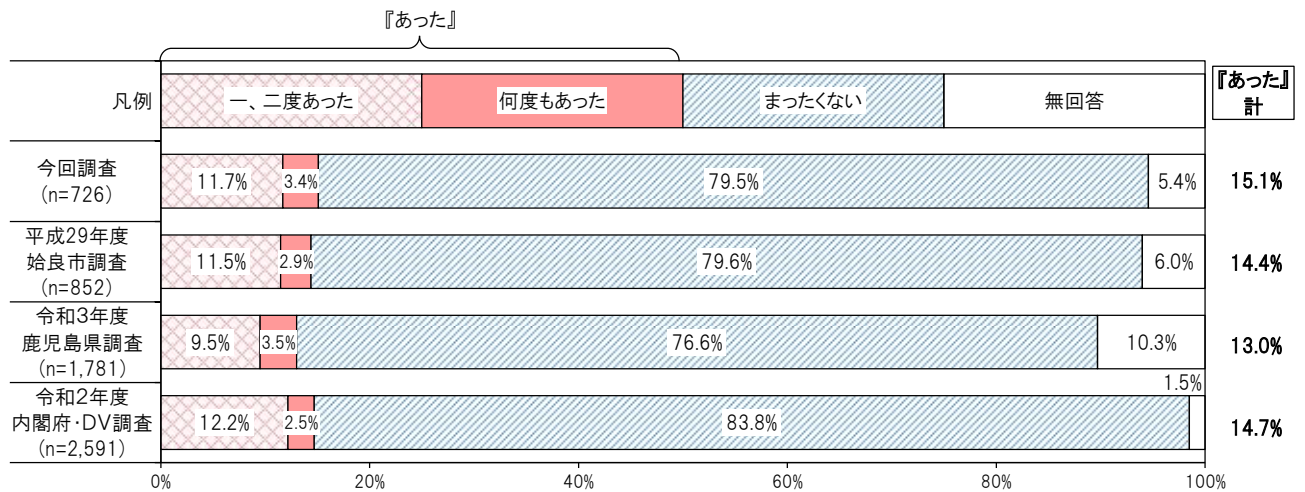
図表 6-4 配偶者等からのDV被害経験の有無【性別、暴行の種類別】



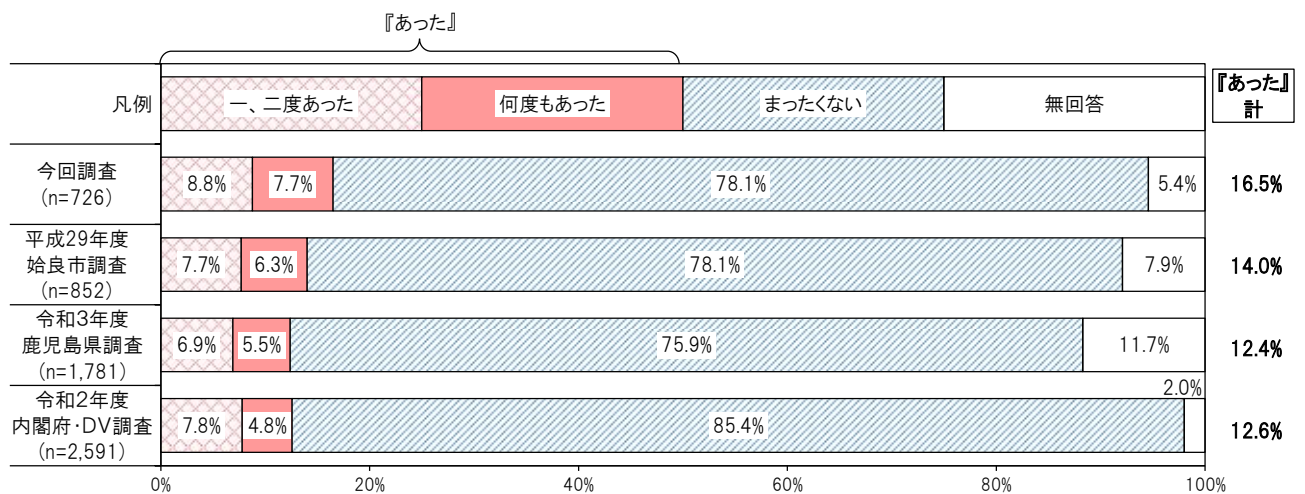
図表 6-5 配偶者等からのDV被害経験の有無 **いずれかの暴力**【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



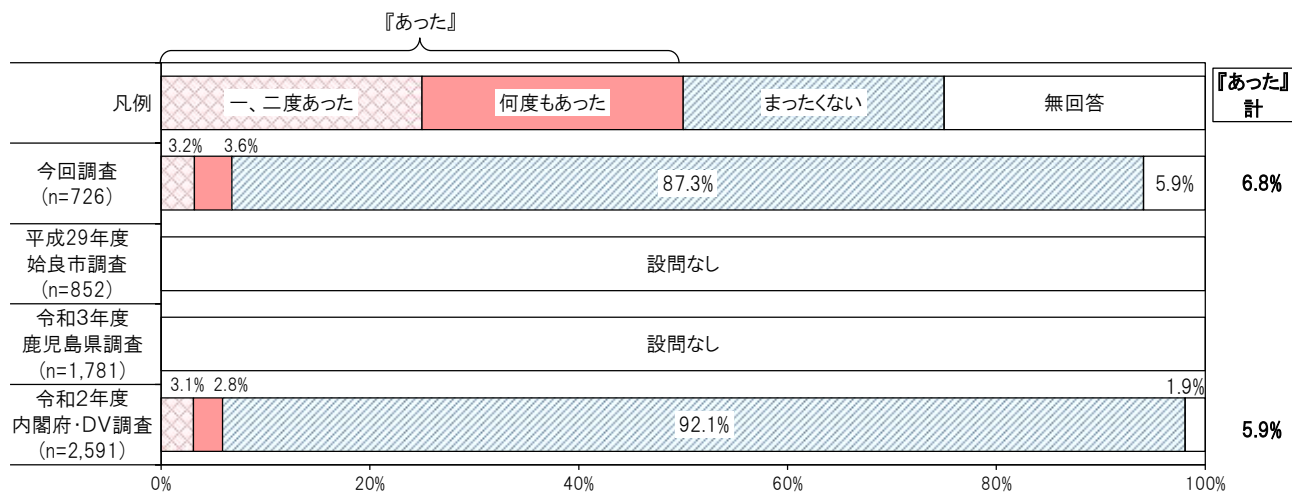
図表 6-6 配偶者等からのDV被害経験の有無 **身体的暴行**【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



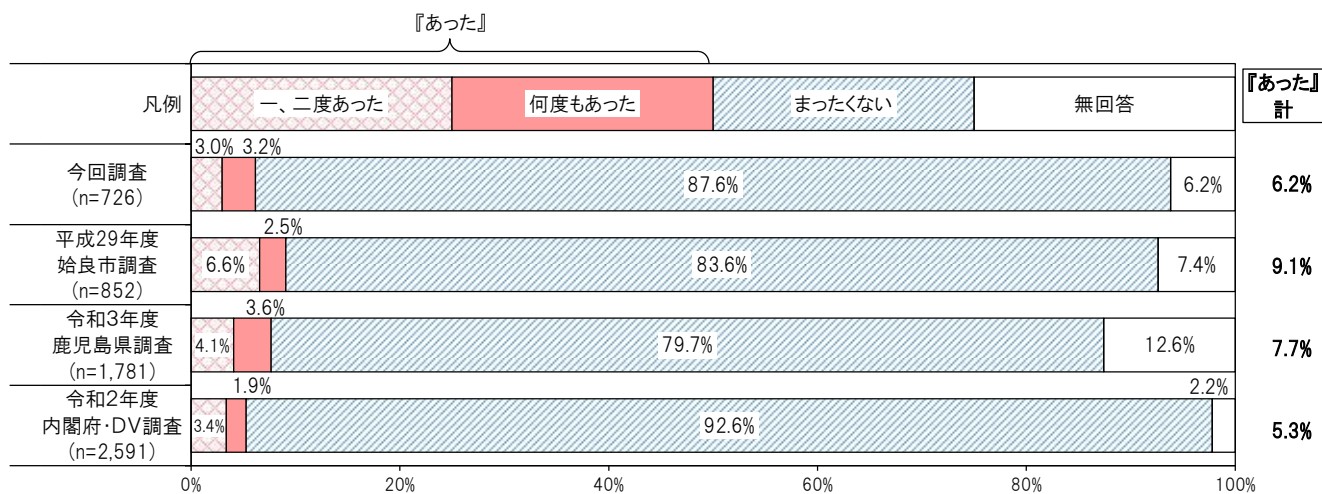
図表 6-7 配偶者等からのDV被害経験の有無 **心理的攻撃**【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 6-8 配偶者等からの DV 被害経験の有無 **経済的圧迫** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



図表 6-9 配偶者等からの DV 被害経験の有無 **性的強要** 【総計、前回調査、鹿児島県調査、内閣府調査】



(2) 交際相手からの DV 被害経験の有無

問 31 あなたは、恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。
(各項目であてはまるものをう選択)

[全体] (図表 6-10、図表 6-11)

交際相手からの DV 被害経験の有無についてみると、「いずれかの暴力」を受けた経験は、「あった」(16.0%)、「なかった」(76.1%) となっている。

暴力の種類別でみると、『あった』(「10 歳代であった」+「20 歳代であった」+「30 歳代以上であった」)と回答した人の割合は、「心理的攻撃」(11.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「身体的暴行」(8.1%)、「性的強要」(5.2%)、「経済的圧迫」(5.1%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 6-10、図表 6-12、図表 6-13)

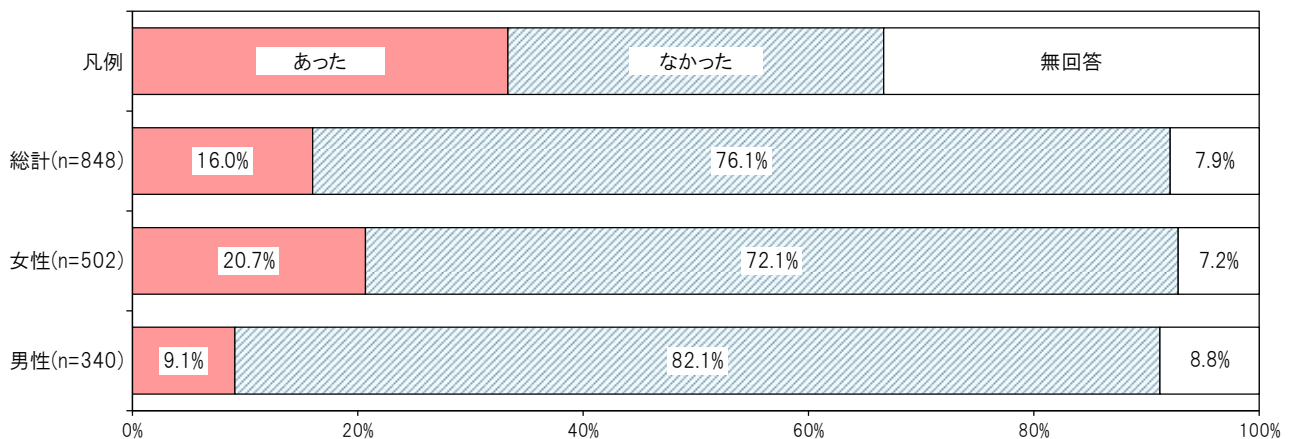
性別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が「あった」と回答した割合は、女性(20.7%)が男性(9.1%)より 11.6 ポイント高くなっている。また、暴力の種類別では「身体的暴行」(女性:11.6%、男性:3.3%)、「心理的攻撃」(女性:14.4%、男性:5.9%)、「経済的圧迫」(女性:7.2%、男性:2.1%)、「性的強要」(女性:8.4%、男性:0.6%)といずれの暴力でも 7%以上の女性が『あった』と回答しており、男性より高くなっている。

性・年代別でみると、「いずれかの暴力」を受けた経験が「あった」と回答した割合は、30~50 歳代の女性が約 2~4 割、10~20 歳代と 40 歳代の男性が 2 割弱となっている。また、いずれの暴力でも 30~50 歳代の女性は『あった』と回答した割合が高くなっている。

[内閣府調査との比較] (図表 6-14)

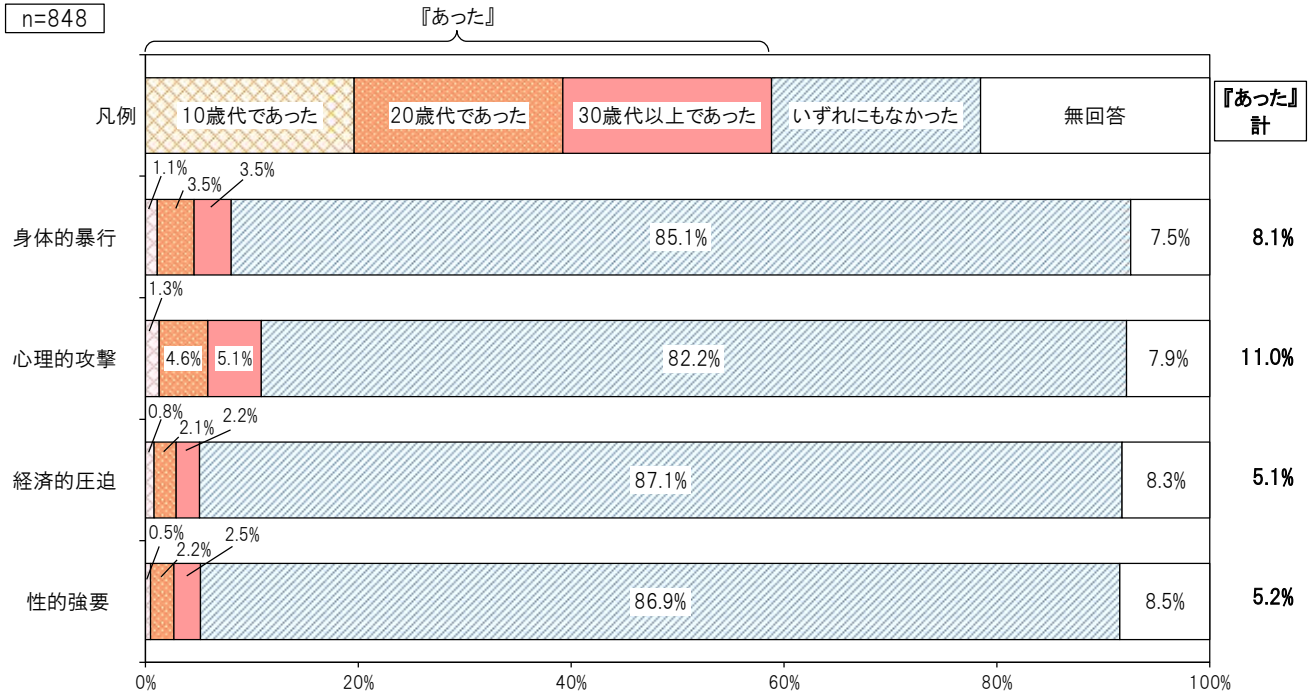
内閣府調査と比較すると、いずれの暴力でも『あった』と回答した割合がわずかに高くなっているが、回答傾向に大きな差はみられない。

図表 6-10 交際相手からの DV 被害経験の有無 **いずれかの暴力** 【総計、性別】

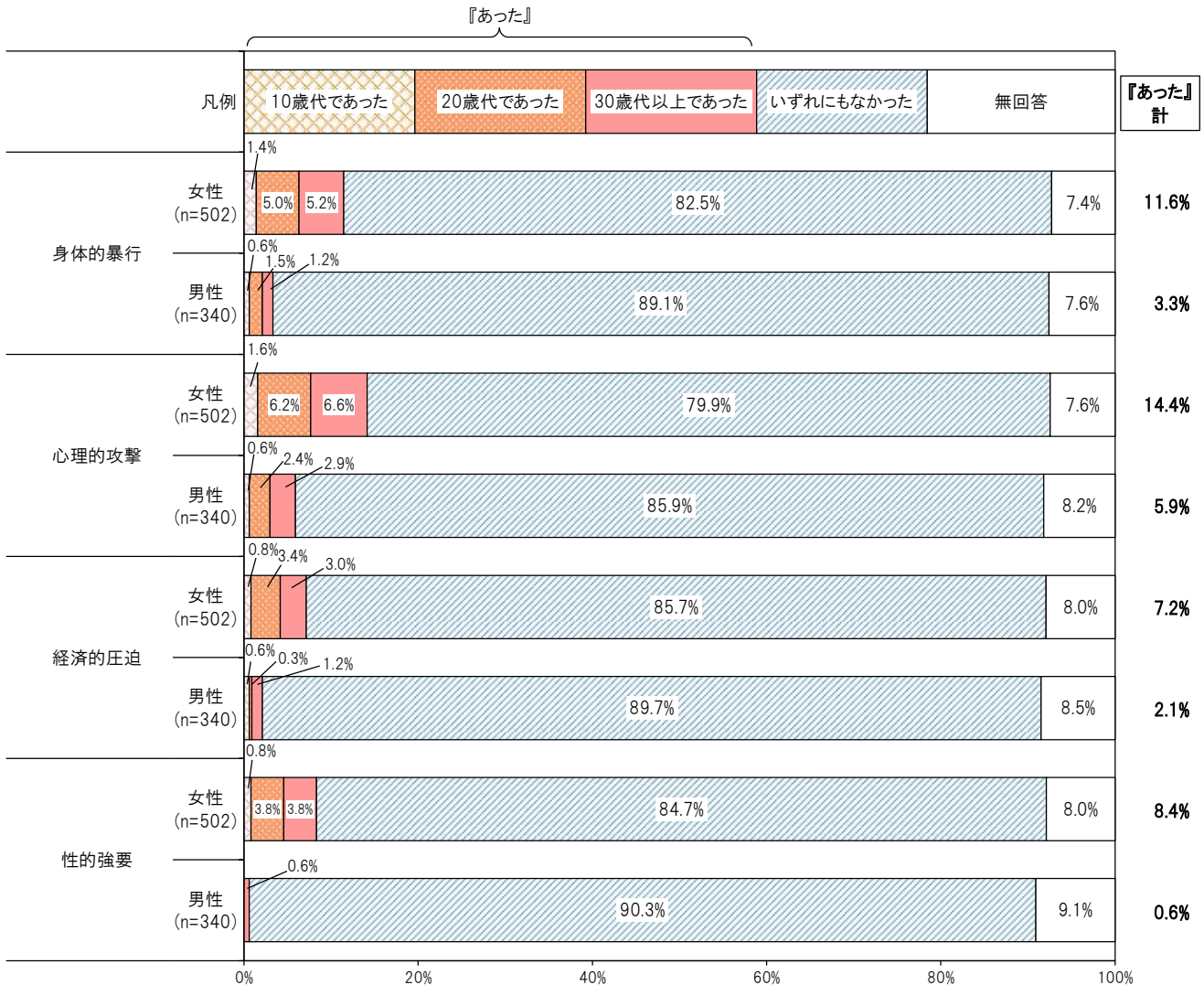


※ 「いずれかの暴力」は、「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」に対して次の内容で集計している。
「あった」: いずれかの項目で 1 つでも「10 歳代であった」「20 歳代であった」「30 歳以上であった」と回答した人、
「なかった」: すべての項目で「いずれにもなかった」と回答した人。

図表 6-11 交際相手からの DV 被害経験の有無【総計、暴行の種類別】



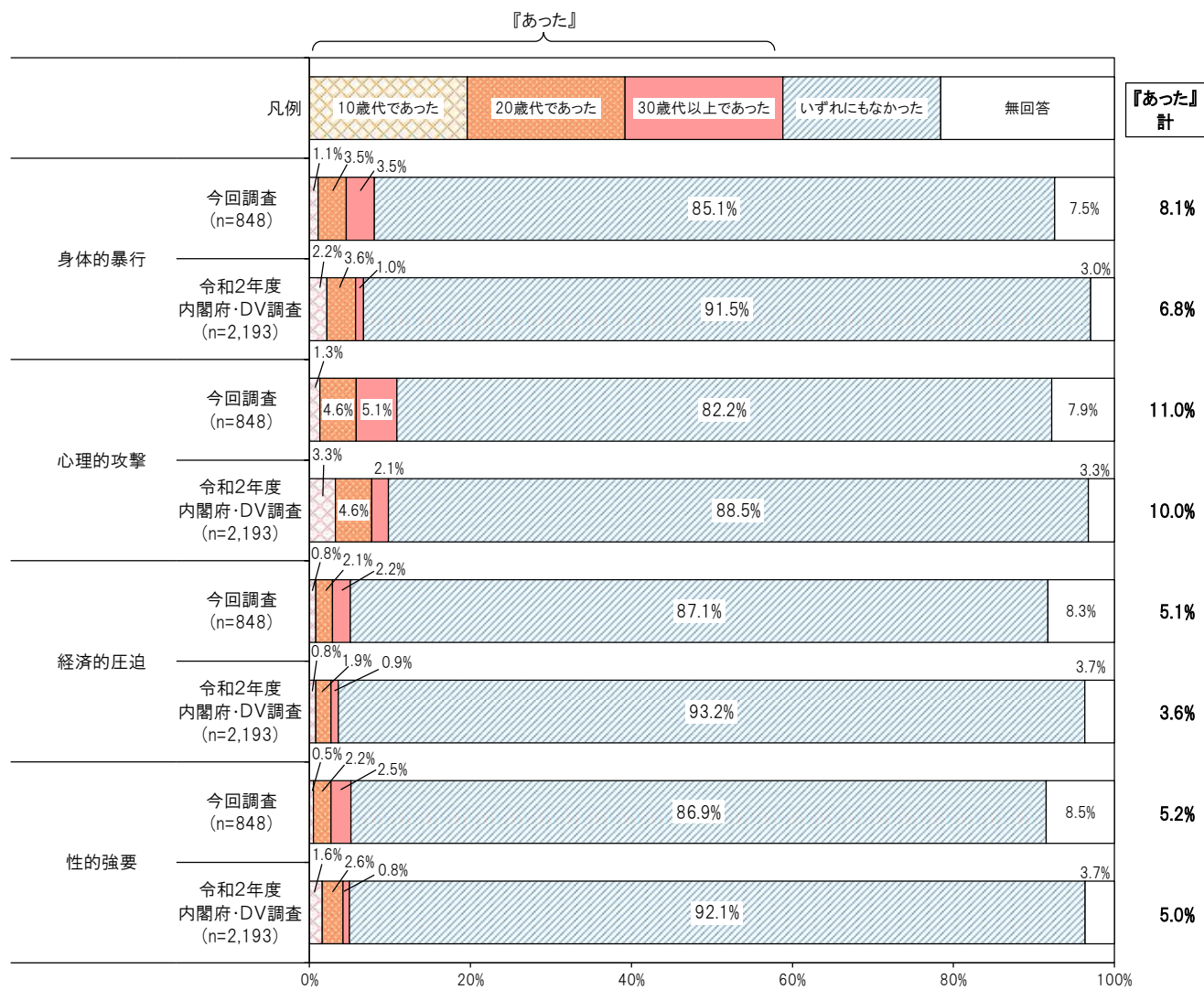
図表 6-12 交際相手からの DV 被害経験の有無【性別、暴行の種類別】



図表 6-13 交際相手からのDV被害経験の有無【性・年代別】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	いずれかの暴力 「身体的暴行」、「心理的攻撃」 「経済的圧迫」、「性的強要」 のいずれかの暴力を受けた			身体的暴行 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行					心理的攻撃 人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期無連絡するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、自分しほは家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫					経済的圧迫 給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わせるなど					性的強要 嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど				
		あなた	あなた	無回答	10歳代であった	20歳代であった	30歳代以上であった	いずれにもなかった	無回答	10歳代であった	20歳代であった	30歳代以上であった	いずれにもなかった	無回答	10歳代であった	20歳代であった	30歳代以上であった	いずれにもなかった	無回答	10歳代であった	20歳代であった	30歳代以上であった	いずれにもなかった	無回答
		100.0%	16.0%	76.1%	7.9%	1.1%	3.5%	3.5%	86.1%	7.5%	1.3%	4.6%	5.1%	82.9%	7.9%	0.8%	2.1%	2.2%	87.1%	8.3%	0.5%	2.2%	2.5%	86.9%
総計	848	136	645	67	9	30	30	722	64	11	39	43	697	67	7	18	19	739	70	4	19	21	737	72
令和2年度内閣府・DV調査	2193	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	502	104	362	36	7	25	26	414	37	8	31	33	401	38	4	17	15	430	40	4	19	19	425	40
10歳代	9	0	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	0
20歳代	25	4	20	1	0	3	0	21	1	0	0	0	24	1	1	0	0	23	1	0	2	0	22	1
30歳代	44	16	28	0	3	4	0	38	0	2	3	33	40	0	1	5	0	37	1	1	3	2	38	1
40歳代	82	27	51	4	2	7	9	63	4	3	8	11	59	4	1	4	6	69	4	1	4	5	69	4
50歳代	83	19	59	5	2	4	5	69	5	1	7	8	65	5	1	4	4	71	5	1	3	6	70	5
60歳代	105	17	83	5	0	2	5	94	5	1	5	4	91	5	0	3	1	96	5	1	3	4	93	5
70歳代	111	15	84	12	0	5	3	90	13	1	3	4	89	14	0	1	2	93	15	0	4	0	92	15
80歳以上	43	6	28	9	0	0	4	30	9	0	2	3	31	9	0	0	2	32	9	0	0	2	32	9
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性	340	31	279	30	2	5	4	303	26	2	8	10	292	28	2	1	4	305	29	0	0	2	307	31
10歳代	5	1	4	0	1	0	0	4	0	1	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0
20歳代	18	3	15	0	0	0	0	18	0	1	2	0	15	0	1	0	0	17	0	0	0	0	18	0
30歳代	28	1	26	1	0	0	0	27	1	0	1	0	26	1	0	0	0	27	1	0	0	0	27	1
40歳代	33	6	27	0	0	1	1	31	0	0	3	2	28	0	0	1	0	32	0	0	0	0	33	0
50歳代	44	6	35	3	0	2	0	40	2	0	1	1	40	2	1	0	2	40	2	0	0	0	41	3
60歳代	87	4	75	8	0	0	1	79	7	0	1	2	76	8	0	0	1	77	9	0	0	0	78	9
70歳代	96	6	78	12	1	0	1	83	11	0	0	3	82	11	0	0	1	84	11	0	0	1	83	12
80歳以上	28	4	18	6	0	2	1	20	5	0	0	2	20	6	0	0	0	22	6	0	0	1	21	6
無回答	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
性別無回答ほか	3	1	2	0	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	1	0	0	4	1	0	0	0	5	1

図表 6-14 交際相手からのDV被害経験の有無【総計、内閣府調査】



(3) DVにあった際の相談の有無

問 32

【問 30、31 で1つでも行為を受けたことがあった方にお尋ねします。】
 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。
 (あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 6-15)

DVにあった際の相談の有無についてみると、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(38.4%)と回答した割合が最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」(24.5%)、「友人、知人に相談した」(23.2%)、「警察に連絡・相談した」(3.0%)、「民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)に相談した」(1.7%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 6-15、図表 6-16)

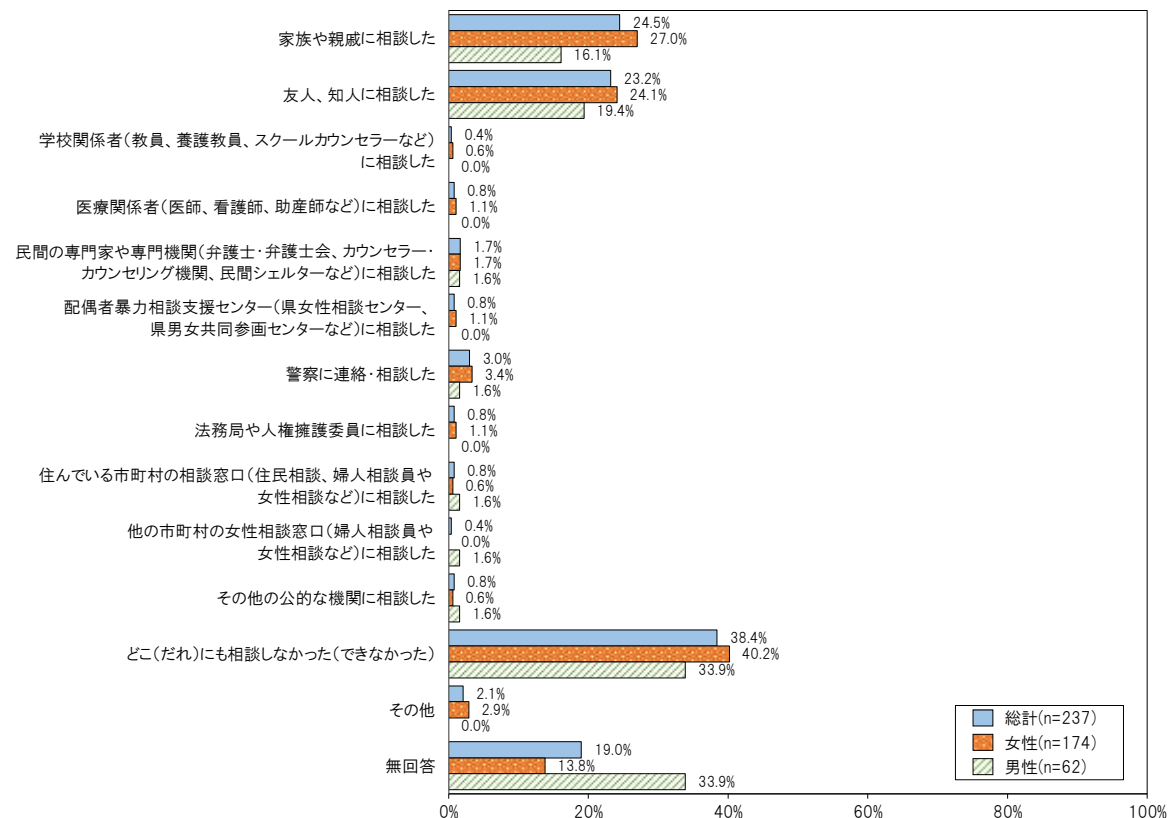
性別でみると、女性は「家族や親戚に相談した」と回答した割合が男性より10.9ポイント高くなっている。一方、男性は「住んでいる市町村の相談窓口(住民相談、婦人相談員や女性相談など)に相談した」、「その他の公的な機関に相談した」などと回答した割合が女性よりわずかに上回っている。

性・年代別でみると、80歳代の女性は「家族や親戚に相談した」と回答した割合が最も高く、20～30歳代の男性は「友人、知人に相談した」と回答した割合が最も高く、それ以外の年代では「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」が最も高くなっている。

[前回調査との比較] (図表 6-17)

前回調査と比較すると、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合は14.1ポイント減少している。一方で、「家族や親戚に相談した」が5.0ポイント、「友人や知人に相談した」が6.9ポイント増加している。

図表 6-15 DVにあった際の相談の有無【総計、性別】



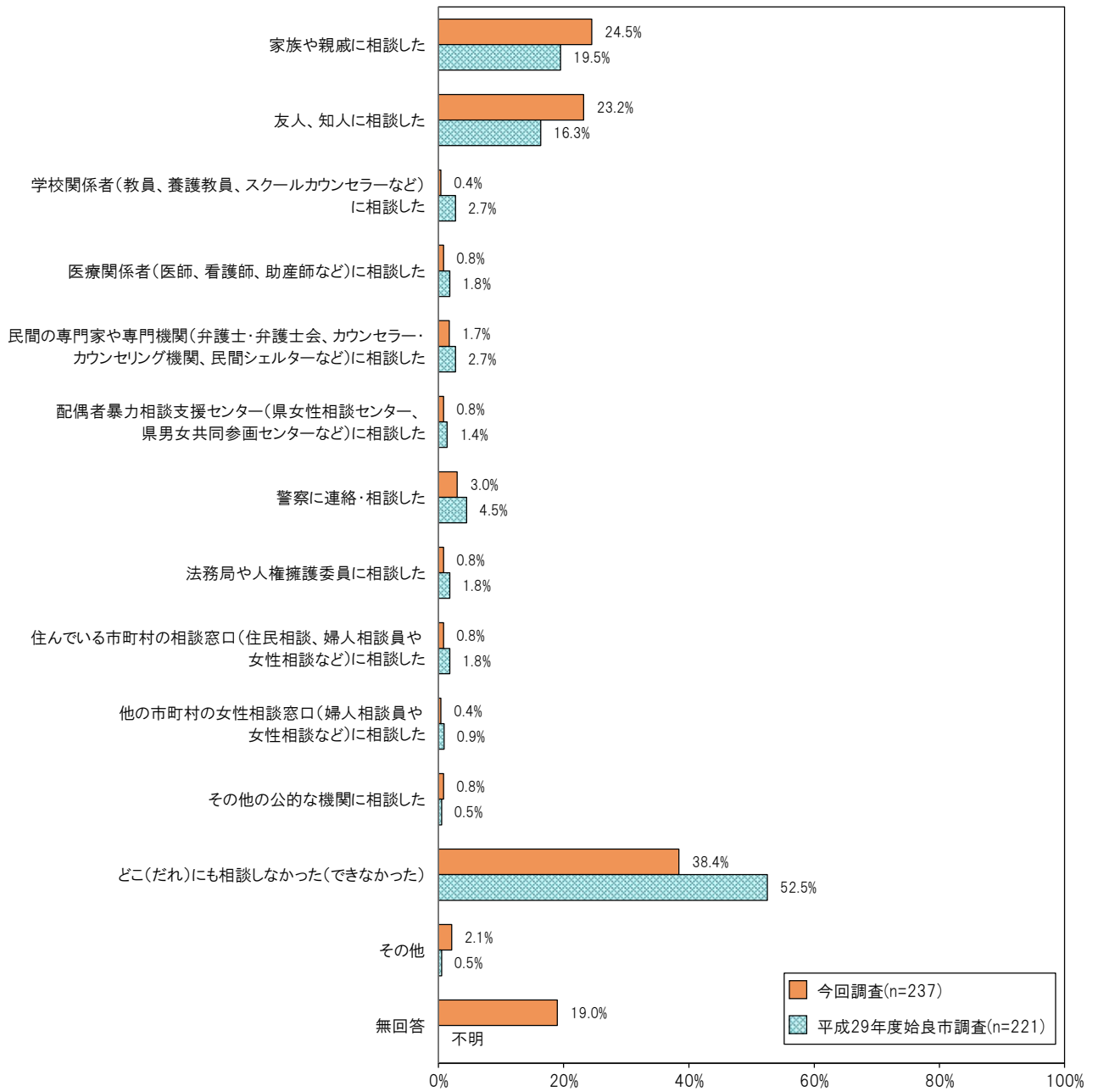
図表 6-16 DVにあった際の相談の有無・複数回答【性・年代別】

上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	家族や親戚に相談した	友人・知人に相談した	学校関係者・教員・養護教員・スクールカウンセラーなどに相談した	医療関係者・医師・看護師・助産師などに相談した	民間の専門家や専門機関・弁護士・弁護士会・カウンセラー・カウンセリング機関・民間シンクタンクなどに相談した	配偶者暴力相談支援センター・県女性相談センター・県男女共同参画センターなどに相談した	警察に連絡相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	住んでいる市町村の相談窓口・住民相談婦人相談員や女性相談などに相談した	性相談などに相談した	他の市町村の女性相談窓口・婦人相談員や女性相談などに相談した	その他の公的な機関に相談した	どなたにも相談しなかつたできなかった	その他	無回答
総計		237	58	55	1	2	4	2	7	2	2	1	2	91	5	45	
		100.0%	24.5%	23.2%	0.4%	0.8%	1.7%	0.8%	3.0%	0.8%	0.8%	0.4%	0.8%	38.4%	2.1%	19.0%	
平成29年度始良市調査		221	43	36	47	4	6	3	10	4	4	2	1	116	1	-	
		100.0%	19.5%	16.3%	2.7%	1.8%	2.7%	1.4%	4.5%	1.8%	1.8%	0.9%	0.5%	52.5%	0.5%	-	
性・年代別	女性	174	47	42	1	2	3	2	6	2	1	0	1	70	5	24	
		100.0%	27.0%	24.1%	0.6%	1.1%	1.7%	1.1%	3.4%	1.1%	0.6%	0.0%	0.6%	40.2%	2.9%	13.8%	
	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20歳代	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
		100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	18	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	2	
		100.0%	22.2%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	38.9%	0.0%	11.1%	
	40歳代	41	9	10	0	0	1	0	2	0	0	0	0	19	1	5	
		100.0%	22.0%	24.4%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.3%	2.4%	12.2%	
	50歳代	31	11	11	0	0	0	1	2	0	1	0	0	12	0	2	
		100.0%	35.5%	35.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	6.5%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	38.7%	0.0%	6.5%	
	60歳代	33	8	9	1	0	1	1	1	0	0	0	0	11	0	7	
		100.0%	24.2%	27.3%	3.0%	0.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	21.2%	
	70歳代	37	9	5	0	1	1	0	1	1	0	0	0	14	4	7	
		100.0%	24.3%	13.5%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	37.8%	10.8%	18.9%	
	80歳以上	10	5	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	10.0%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	男性	62	10	12	0	0	1	0	1	0	1	1	1	21	0	21	
	100.0%	16.1%	19.4%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	1.6%	1.6%	33.9%	0.0%	33.9%		
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
20歳代	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%		
30歳代	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%		
40歳代	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0		
	100.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
50歳代	11	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1		
	100.0%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	0.0%	9.1%		
60歳代	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
	100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%		
70歳代	21	3	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	5	0	11		
	100.0%	14.3%	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	23.8%	0.0%	52.4%		
80歳以上	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3		
	100.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	42.9%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
性別無回答ほか	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

<その他意見（主なもの）>

- 酔いがさめた後、本人に告げた。
- それほどひどくなかつたしその場で解決した。
- 上司に話し、会社を異動した。

図表 6-17 DVにあった際の相談の有無・複数回答【総計、前回調査】



(4) DVにあった際に相談しなかった理由

問 33 【問 32 で「12 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお尋ねします。】
あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。
（あてはまるものをすべて選択）

[全体] (図表 6-18)

DV にあった際に相談しなかった理由についてみると、「相談してもむだだと思ったから」(33.0%) が最も高く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」(29.7%)、「相談するほどのことではないと思ったから」(28.6%)、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」(20.9%) の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 6-18、図表 6-20)

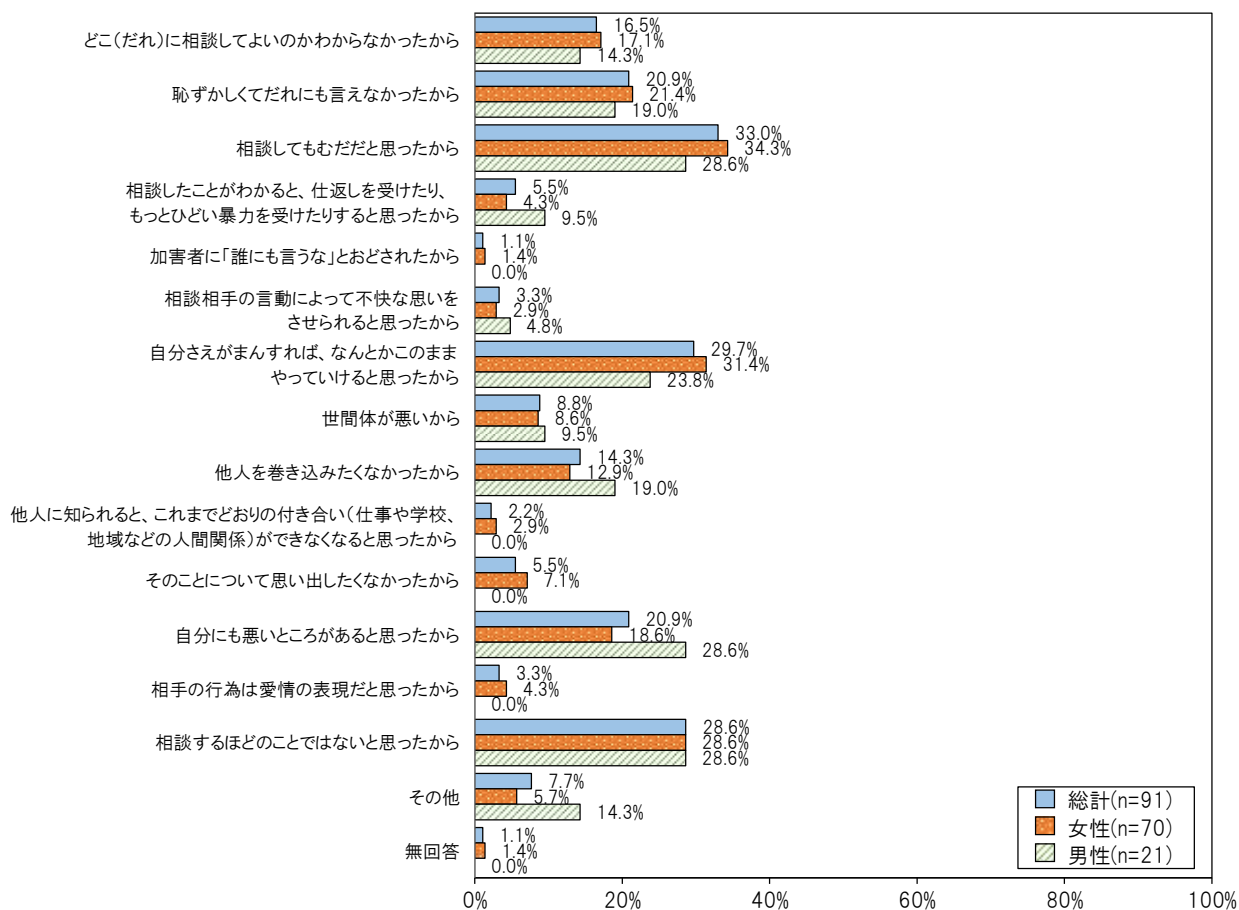
性別で見ると、女性は「相談してもむだだと思ったから」(34.3%) と回答した割合が最も高く、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」(31.4%)、「そのことについて思い出したくなかったから」(7.1%) は男性より 7.0 ポイント以上高くなっている。一方、男性は「相談してもむだだと思ったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」(28.6%) が最も高く、その中でも「自分にも悪いところがあると思ったから」と回答した割合は女性より 10.0 ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、50～60 歳代の女性と 50 歳代、70 歳代の男性は「相談してもむだだと思ったから」と回答した割合が最も高く、40 歳代の女性では「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が最も高くなっている。

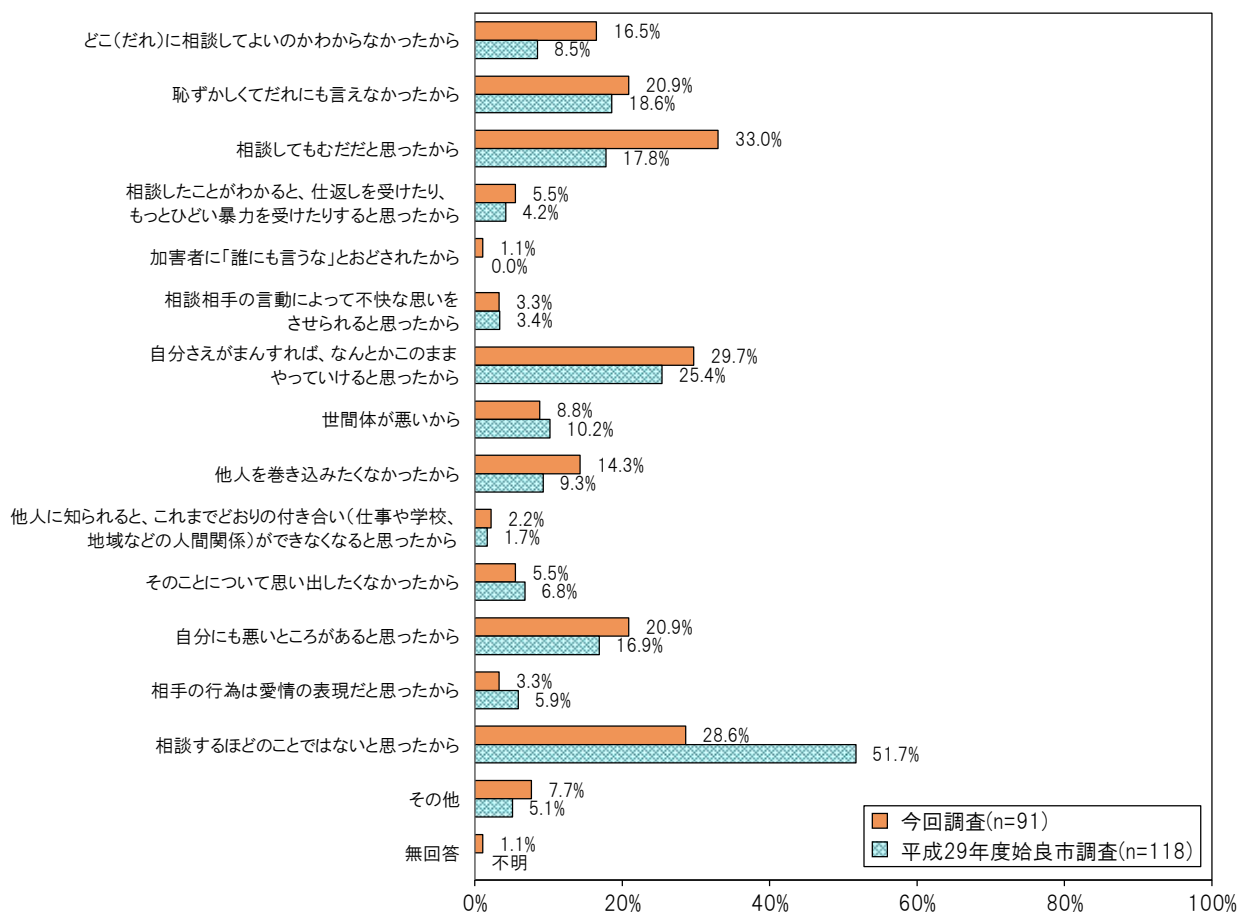
[前回調査との比較] (図表 6-19)

前回調査と比較すると、「相談するほどのことではないと思ったから」と回答した割合は前回調査より 23.1 ポイントと大幅に減少している。一方で、「相談してもむだだと思ったから」と回答した割合は 15.2 ポイント、「どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから」と回答した割合は 8 ポイント増加している。その他に「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「他人を巻き込みたくなかったから」、「自分にも悪いところがあると思ったから」と回答した割合は前回調査より 4.0 ポイント以上増加し、「世間体が悪いから」、「そのことについて思い出したくなかったから」、「相手の行為は愛情の表現だと思ったから」は 1～3 割弱減少している。

図表 6-18 DVにあった際に相談しなかった理由・複数回答【総計、性別】



図表 6-19 DVにあった際に相談しなかった理由・複数回答【総計、前回調査】



図表 6-20 DVにあった際に相談しなかった理由・複数回答【性・年代別】

	サンプル数	理由																
		たから	どいだれに相談してよいかかわからなから	恥ずかしくだれにも言えなから	相談してもむだだと思たから	相談したことがわからと、仕返しを受けたり、もとより暴力を受けたりすると思たから	加害者「誰にも言つな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思たから	自分さえがまんすれば、なんとかのままでいけると思たから	世間体が悪から	他人を巻き込みたくないから	他人に知られると、これまでとおりの付き合い、仕事や学校、地域などの人間関係がでなくなると思たから	そのことについて思出たくなから	自分にも悪いところがあると思たから	相手の行為は悪の表現だと思たから	相談するほどのことではないと思たから	その他	無回答
上段: 度数 下段: 構成比(%)																		
総計	91	15	19	30	5	1	3	27	8	13	2	5	19	3	26	7	1	
	100.0%	16.5%	20.9%	33.0%	5.5%	1.1%	3.3%	29.7%	8.8%	14.3%	2.2%	5.5%	20.9%	3.3%	28.6%	7.7%	1.1%	
平成29年度始良市調査	118	10	22	47	5	0	4	30	12	11	2	8	20	7	61	6	-	
	10.0%	8.5%	18.6%	17.8%	4.2%	0.0%	3.4%	25.4%	10.2%	9.3%	1.7%	6.8%	16.9%	5.9%	51.7%	5.1%	-	
性・年代別	女性	70	12	15	24	3	1	2	22	6	9	2	5	13	3	20	4	1
		100.0%	17.1%	21.4%	34.3%	4.3%	1.4%	2.9%	31.4%	8.6%	12.9%	2.9%	7.1%	18.6%	4.3%	28.6%	5.7%	1.4%
	10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
	30歳代	7	2	2	2	0	0	0	3	1	1	0	1	1	1	2	1	0
		100.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%
	40歳代	19	4	8	4	1	0	0	7	0	2	1	3	4	0	2	2	0
		100.0%	21.1%	42.1%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	36.8%	0.0%	10.5%	5.3%	15.8%	21.1%	0.0%	10.5%	10.5%	0.0%
	50歳代	12	1	1	6	1	0	0	3	2	2	1	0	3	0	2	0	0
		100.0%	8.3%	8.3%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	11	2	1	4	0	1	1	2	0	2	0	1	1	1	3	0	0
		100.0%	18.2%	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%
	70歳代	14	1	1	7	0	0	1	4	0	2	0	0	3	1	9	1	0
		100.0%	7.1%	7.1%	50.0%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	64.3%	7.1%	0.0%
	80歳以上	4	1	2	1	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	1	0	0
		100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	21	3	4	6	2	0	1	5	2	4	0	0	6	0	6	3	0	
	100.0%	14.3%	19.0%	28.6%	9.5%	0.0%	4.8%	23.8%	9.5%	19.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	4	1	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	7	1	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	2	0	
	100.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	
60歳代	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
70歳代	5	1	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	1	1	0	
	100.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
80歳以上	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

<その他意見（主なもの）>

- 自分で解決したいと思ったから
- 基本的に人に相談をするタイプではない。
- 二人で話あって解決したから
- 本人へ伝える事だと思っていた事。また、男女の恋愛は大人なので、余程な事例でない限り、当人同士で解決する。責任をとる事だと思っていたから。
- 意識したことがない
- なんとなく、相手の気持ちも分かる。

(5) DV 防止に必要なこと

問 34 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 6-21)

DV 防止に必要なことについてみると、「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(57.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(47.4%)、「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(43.4%)、「加害者への罰則を強化する」(37.1%)、「メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う」(25.9%)の順となっており、学校や家庭における人権問題や暴力を防止するための若年層への教育が求められていると思われる。

[性別、性・年代別] (図表 6-21、図表 6-22)

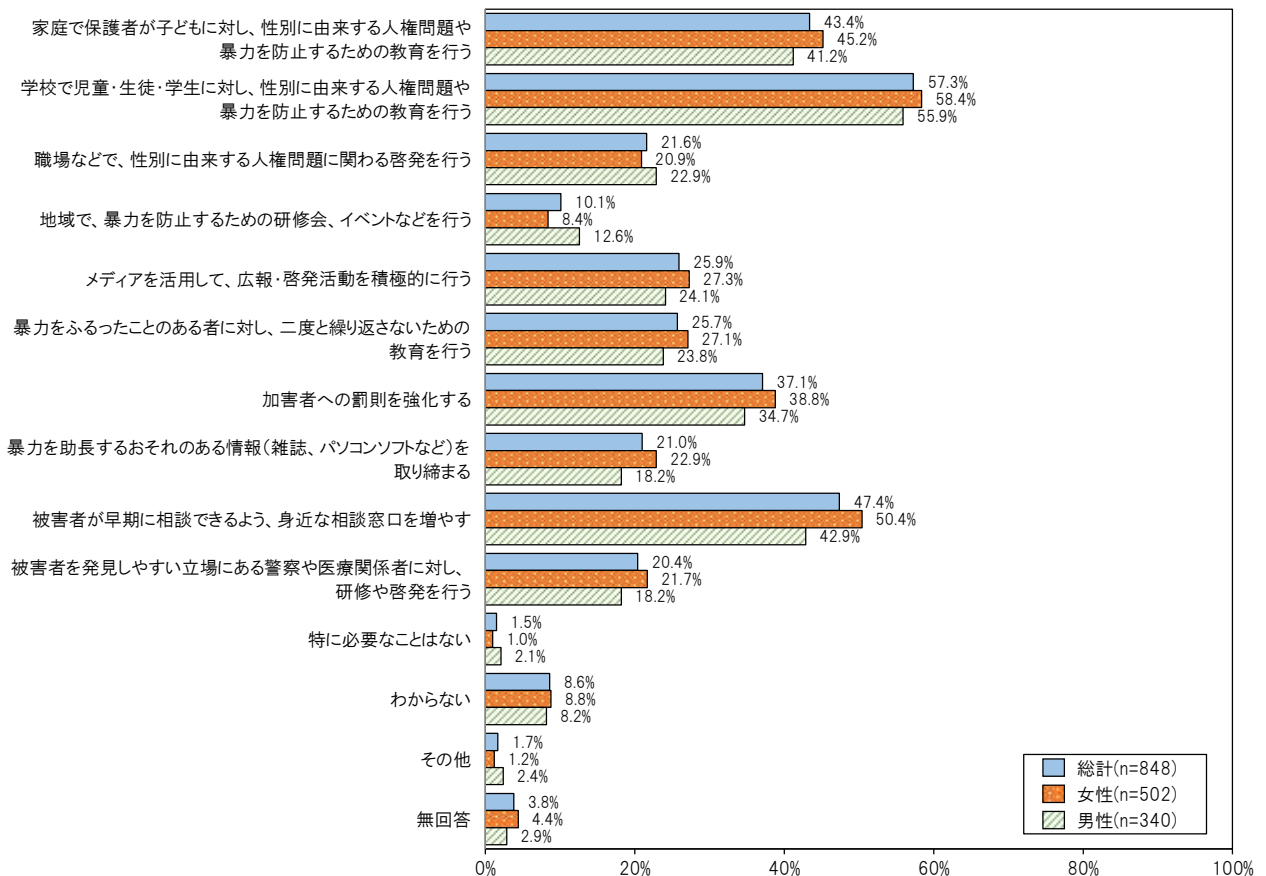
性別でみると、「職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う」、「地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」「特に必要なことはない」を除くすべての項目で女性が男性より高くなっている。その中でも「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」と回答した割合は4ポイント高く、一方で「地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」と回答した割合は男性が女性より4.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、10歳代の女性、20歳代の男性は「加害者への罰則を強化する」と回答した割合が最も高くなっている。

[前回調査との比較] (図表 6-23)

前回調査と比較すると、「職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う」と回答した割合は前回調査より5.6ポイント増加している。一方で、「暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、パソコンソフトなど)を取り締まる」と回答した割合は、6.8ポイント減少している。

図表 6-21 DV 防止に必要なこと・複数回答【総計、性別】



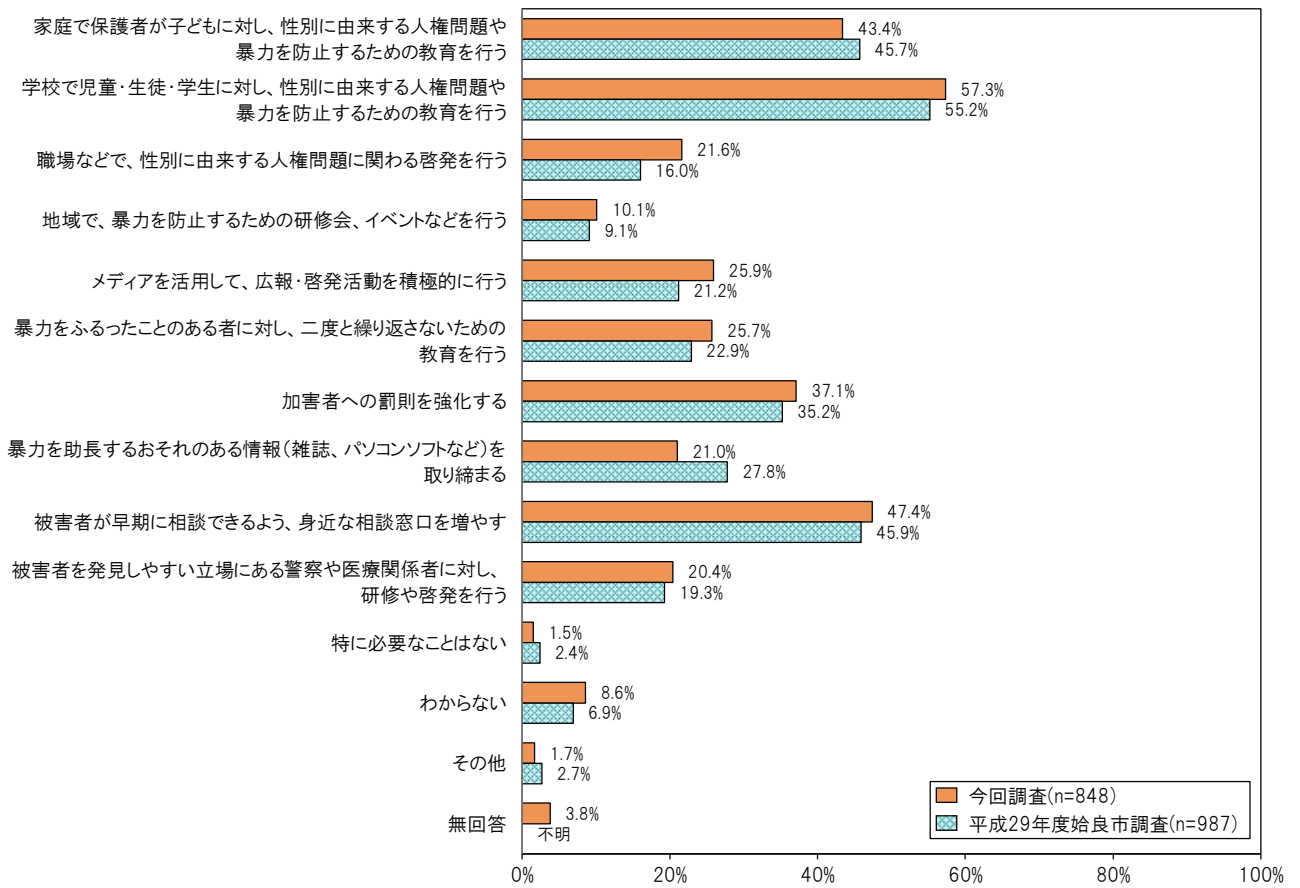
図表 6-22 DV防止に必要なこと・複数回答【性・年代別】

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプリング数	ための教育を行っていない	家庭で保護者(子どもと)に対し、性暴力防止に関する問題や暴力防止のための教育を行う	学校で児童・生徒・学生に対し、性暴力防止に関する問題や暴力防止のための教育を行う	職場などで、性暴力防止に関する問題や暴力防止のための教育を行う	地域で、暴力防止するための研究やイベントなどを開催する	メディアを活用して、広報活動や啓発活動を行う	加害者の罰則を強化する	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	ある情報(雑誌、パンフレットなど)を配布する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、パンフレットなど)を配布する	被害者が単に相談できるような身近な相談窓口を設ける	被害者が単に相談できるような身近な相談窓口を設ける	被害者を発覚しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	特に必要なことは	わからない	その他	無回答
総計	848	368	486	183	86	220	218	315	178	402	173	13	73	14	32			
	100.0%	43.4%	57.3%	21.6%	10.1%	25.9%	25.7%	37.1%	21.0%	47.4%	20.4%	1.5%	8.6%	1.7%	3.8%			
平成29年度始良市調査	987	451	545	47	90	209	226	347	274	453	190	24	68	27	-			
	100.0%	45.7%	55.2%	4.7%	9.1%	21.2%	22.9%	35.2%	27.8%	45.9%	19.3%	2.4%	6.9%	2.7%	-			
女性	502	227	293	105	42	137	136	195	115	253	109	5	44	6	22			
	100.0%	45.2%	58.4%	20.9%	8.4%	27.3%	27.1%	38.8%	22.9%	50.4%	21.7%	1.0%	8.8%	1.2%	4.4%			
10歳代	9	3	4	1	0	2	2	6	0	4	1	0	0	1	0			
	100.0%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	66.7%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%			
20歳代	25	14	17	7	1	5	6	14	1	16	8	0	2	0	0			
	100.0%	56.0%	68.0%	28.0%	4.0%	20.0%	24.0%	56.0%	4.0%	64.0%	32.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%			
30歳代	44	28	32	13	3	16	19	27	12	24	12	0	3	0	0			
	100.0%	63.6%	72.7%	29.5%	6.8%	36.4%	43.2%	61.4%	27.3%	54.5%	27.3%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%			
40歳代	82	36	45	17	9	24	23	38	20	40	17	0	12	2	1			
	100.0%	43.9%	54.9%	20.7%	11.0%	29.3%	28.0%	46.3%	24.4%	48.8%	20.7%	0.0%	14.6%	2.4%	1.2%			
50歳代	83	38	44	11	5	20	21	34	15	42	23	0	5	1	1			
	100.0%	45.8%	53.0%	13.3%	6.0%	24.1%	25.3%	41.0%	18.1%	50.6%	27.7%	0.0%	6.0%	1.2%	1.2%			
60歳代	105	50	68	31	14	38	36	43	32	56	30	0	6	1	4			
	100.0%	47.6%	64.8%	29.5%	13.3%	36.2%	34.3%	41.0%	30.5%	53.3%	28.6%	0.0%	5.7%	1.0%	3.8%			
70歳代	111	41	59	17	9	21	22	27	27	48	14	5	9	1	11			
	100.0%	36.9%	53.2%	15.3%	8.1%	18.9%	19.8%	24.3%	24.3%	43.2%	12.6%	4.5%	8.1%	0.9%	9.9%			
80歳以上	43	17	24	8	1	11	7	6	8	23	4	0	7	0	5			
	100.0%	39.5%	55.8%	18.6%	2.3%	25.6%	16.3%	14.0%	18.6%	53.5%	9.3%	0.0%	16.3%	0.0%	11.6%			
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
男性	340	140	190	78	43	82	81	118	62	146	62	7	28	8	10			
	100.0%	41.2%	55.9%	22.9%	12.6%	24.1%	23.8%	34.7%	18.2%	42.9%	18.2%	2.1%	8.2%	2.4%	2.9%			
10歳代	5	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0			
	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
20歳代	18	7	8	2	1	4	6	11	0	7	6	0	2	1	0			
	100.0%	38.9%	44.4%	11.1%	5.6%	22.2%	33.3%	61.1%	0.0%	38.9%	33.3%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%			
30歳代	28	12	18	6	2	11	9	11	7	12	4	0	2	2	0			
	100.0%	42.9%	64.3%	21.4%	7.1%	39.3%	32.1%	39.3%	25.0%	42.9%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%			
40歳代	33	13	14	5	2	7	8	14	2	16	7	1	1	2	0			
	100.0%	39.4%	42.4%	15.2%	6.1%	21.2%	24.2%	42.4%	6.1%	48.5%	21.2%	3.0%	3.0%	6.1%	0.0%			
50歳代	44	18	22	8	3	13	12	17	5	14	5	0	5	2	2			
	100.0%	40.9%	50.0%	18.2%	6.8%	29.5%	27.3%	38.6%	11.4%	31.8%	11.4%	0.0%	11.4%	4.5%	4.5%			
60歳代	87	40	56	24	12	19	16	27	16	42	20	1	8	0	2			
	100.0%	46.0%	64.4%	27.6%	13.8%	21.8%	18.4%	31.0%	18.4%	48.3%	23.0%	1.1%	9.2%	0.0%	2.3%			
70歳代	96	38	61	25	17	23	23	30	28	45	16	3	4	1	5			
	100.0%	39.6%	63.5%	26.0%	17.7%	24.0%	24.0%	31.3%	29.2%	46.9%	16.7%	3.1%	4.2%	1.0%	5.2%			
80歳以上	28	11	10	7	4	3	5	5	2	8	3	2	6	0	1			
	100.0%	39.3%	35.7%	25.0%	14.3%	10.7%	17.9%	17.9%	7.1%	28.6%	10.7%	7.1%	21.4%	0.0%	3.6%			
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
性別無回答ほか	6	1	3	0	1	1	1	2	1	3	2	1	1	0	0			
	100.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%			

<その他意見（主なもの）>

- 相談窓口を設定する。きちんと改善した例を広報する。加害者対応を警察と連携する。被害者は、すぐに、保護する体制をとる。やる気があれば、他の自治体とは差別化できる。
- 逃げこめる場所をたくさん作る。
- 男女どちらも被害者がいるので、個人の問題が大きいと思う。しかし、DVは許されない。窓口をもっと広げてほしい。
- 男性を追い詰めない社会を実現すること。
- 子供の頃から安定して育つ環境や大人（家族・地域の方々）とのコミュニケーションをとれるようにしていること。
- 1~11の事をしていても暴力を防止する事は出来ない。例として先日起こったバスに子供を忘れてその子が熱中症で亡くなった事件。これはやはり再発する。なぜかと言うと人は間違えるもの。対策としてはちゃんとシステムを作りつまり指標を作り各項目に○×をつけ、評価をしてNGだったら男女或いは親と子供をひきはなす。人の感情で決定してはいけない。人は間違えるからです。ちなみにバスに子供を置き去りにしない対策はチェックをしますと園長は言っていたが、人は間違えるからNGです。バスにセンサーを付けたりバスの最後部スイッチを押さないとエンジンが切れないようにするなど（韓国）。ちゃんとシステムをつけないければ不可です。（米国も韓国も義務化されていました）
- 暴力が起きれば警察は動くが、暴力がおきていなければ警察は動かない。
- 暴力につながるようなコミュニケーションの図り方や男女の脳（考え方の違い）など知る事も必要。
- 個々の自身の考え方
- 暴力をふるってしまう人の心のケア
- 加害者にカウンセリングをする
- ゆとりある生活できないと無理。
- 経済的安定性が必要と思います。経済的不安によるイライラ等の解消。

図表 6-23 DV 防止に必要なこと・複数回答【総計、前回調査】



7. 悩みや相談について

(1) 不安や悩みの有無と内容

問 35 あなたはこの1年間の生活の中で、不安や悩みがありましたか。
(あてはまるものを1つだけ選択)

問 36 【問 35 で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。】
それは、どのようなときに感じましたか。(あてはまるものを1つだけ選択)

[全体] (図表 7-1、図表 7-4)

不安や悩みの有無についてみると、「ある」と回答した人は 55.1%、「ない」と回答した人は 37.0% となっており、「ある」と回答した割合が半数を占めている。

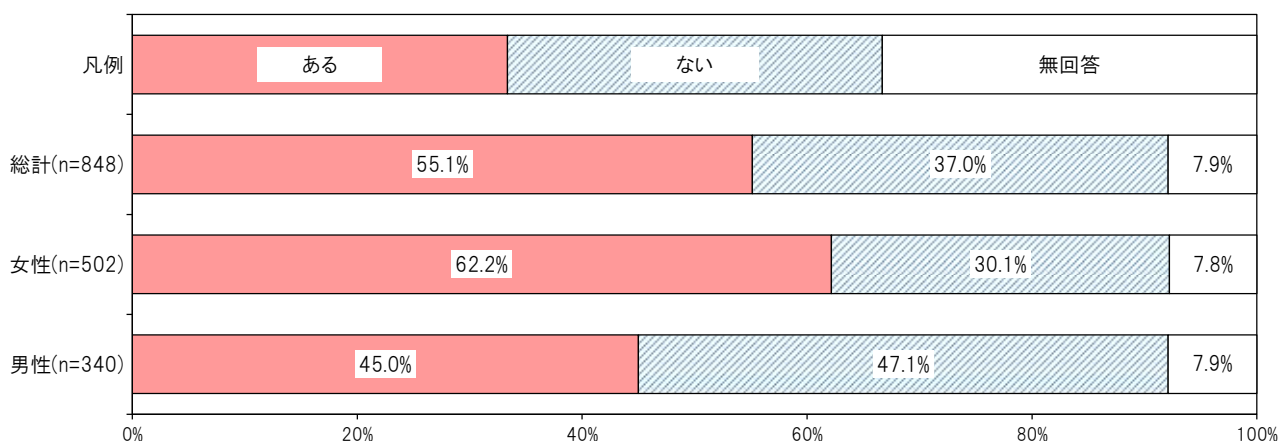
「ある」と回答した人の不安や悩みの内容についてみると、「病気・障がいなど身体の健康について」(39.4%) と回答した割合が最も高く、次いで「自分や家族の将来について」(37.0%)、「生活費・借金などお金について」(30.8%)、「自分の生き方に関すること」(25.1%)、「ストレス・うつなど心の健康について」(22.5%) の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 7-1、図表 7-2～図表 7-3)

性別でみると、女性は「ある」と回答した割合が 62.2% となっている。一方、男性は「ない」と回答した割合が 5 割弱と高くなっている。不安や悩みの内容別にみると、男女ともに「病気・障がいなど身体の健康について」と回答した割合が最も高くなっている。

性・年代別でみると、40～50 歳代の女性と 40 歳代の男性は「生活費・借金などお金について」と回答した割合が最も高く、10 歳代、60 歳代の女性と 20 歳代、50 歳代の男性は「自分や家族の将来について」と回答した割合が高くなっている。また、「病気・障がいなど身体の健康について」と回答した人は 70 歳以上の女性と 50 歳以上の男性の割合が高くなっている。

図表 7-1 不安や悩みの有無【総計、性別】



図表 7-2 不安や悩みの有無【性・年代別】

		サンプル数	ある	ない	無回答
上段：度数					
下段：構成比(%)					
総計		848	467	314	67
		100.0%	55.1%	37.0%	7.9%
性・年代別	女性	502	312	151	39
		100.0%	62.2%	30.1%	7.8%
	10歳代	9	5	4	0
		100.0%	55.6%	44.4%	0.0%
	20歳代	25	19	5	1
		100.0%	76.0%	20.0%	4.0%
	30歳代	44	36	7	1
		100.0%	81.8%	15.9%	2.3%
	40歳代	82	62	18	2
		100.0%	75.6%	22.0%	2.4%
	50歳代	83	64	18	1
		100.0%	77.1%	21.7%	1.2%
	60歳代	105	57	42	6
		100.0%	54.3%	40.0%	5.7%
	70歳代	111	52	40	19
		100.0%	46.8%	36.0%	17.1%
	80歳以上	43	17	17	9
		100.0%	39.5%	39.5%	20.9%
	無回答	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	340	153	160	27	
	100.0%	45.0%	47.1%	7.9%	
10歳代	5	0	5	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
20歳代	18	11	7	0	
	100.0%	61.1%	38.9%	0.0%	
30歳代	28	13	14	1	
	100.0%	46.4%	50.0%	3.6%	
40歳代	33	21	11	1	
	100.0%	63.6%	33.3%	3.0%	
50歳代	44	28	15	1	
	100.0%	63.6%	34.1%	2.3%	
60歳代	87	32	49	6	
	100.0%	36.8%	56.3%	6.9%	
70歳代	96	40	43	13	
	100.0%	41.7%	44.8%	13.5%	
80歳以上	28	8	15	5	
	100.0%	28.6%	53.6%	17.9%	
無回答	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
性別無回答ほか	6	2	3	1	
	100.0%	33.3%	50.0%	16.7%	

図表 7-3 不安や悩みの内容・複数回答【総計、性別】

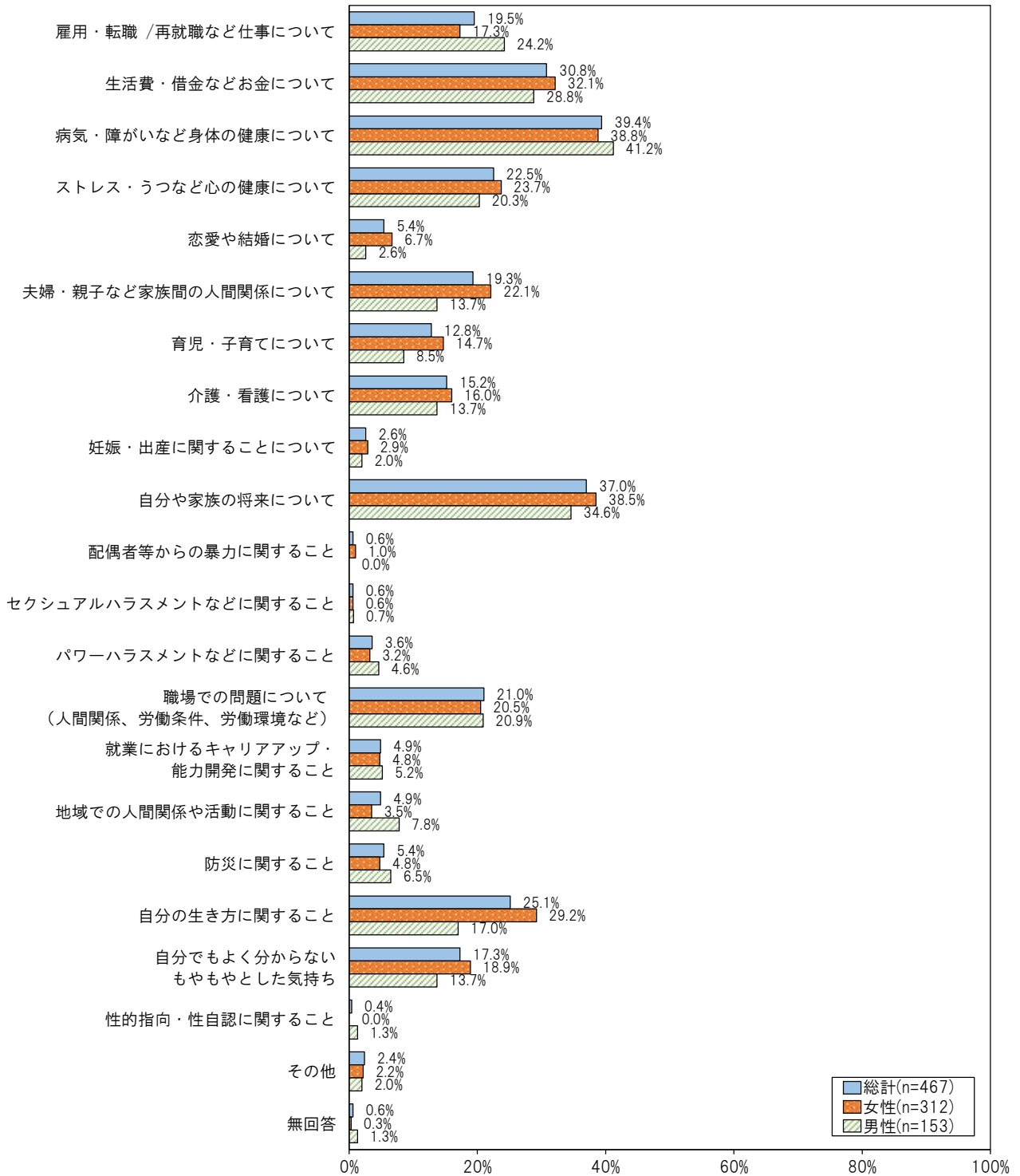
上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	雇用・転職・再就職など仕事について	生活費・借金やお金について	病気・障がいなど身体の不健康について	ストレス・うつなど心の健康について	恋愛や結婚について	夫婦・親子や家族間の人間関係について	育児・子育てについて	介護・看護について	妊娠・出産(関連する)	自分や家族の将来について	配偶者等からの暴力に関する
総計	467	91	144	184	105	25	90	60	71	12	173	3	
	100.0%	19.5%	30.8%	39.4%	22.5%	5.4%	19.3%	12.8%	15.2%	2.6%	37.0%	0.6%	
女性	312	54	100	121	74	21	69	46	50	9	120	3	
	100.0%	17.3%	32.1%	38.8%	23.7%	6.7%	22.1%	14.7%	16.0%	2.9%	38.5%	1.0%	
10歳代	5	0	1	1	2	1	0	0	0	0	4	0	
	100.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	
20歳代	19	8	8	5	8	9	1	1	1	1	9	0	
	100.0%	42.1%	42.1%	26.3%	42.1%	47.4%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	47.4%	0.0%	
30歳代	36	14	13	9	9	5	8	19	2	7	15	0	
	100.0%	38.9%	36.1%	25.0%	25.0%	13.9%	22.2%	52.8%	5.6%	19.4%	41.7%	0.0%	
40歳代	62	11	24	23	13	5	18	19	5	1	22	1	
	100.0%	17.7%	38.7%	37.1%	21.0%	8.1%	29.0%	30.6%	8.1%	1.6%	35.5%	1.6%	
50歳代	64	13	26	25	13	1	17	5	13	0	25	1	
	100.0%	20.3%	40.6%	39.1%	20.3%	1.6%	26.6%	7.8%	20.3%	0.0%	39.1%	1.6%	
60歳代	57	7	12	22	16	0	15	0	15	0	23	0	
	100.0%	12.3%	21.1%	38.6%	28.1%	0.0%	26.3%	0.0%	26.3%	0.0%	40.4%	0.0%	
70歳代	52	1	14	26	12	0	8	2	11	0	16	1	
	100.0%	1.9%	26.9%	50.0%	23.1%	0.0%	15.4%	3.8%	21.2%	0.0%	30.8%	1.9%	
80歳以上	17	0	2	10	1	0	2	0	3	0	6	0	
	100.0%	0.0%	11.8%	58.8%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	17.6%	0.0%	35.3%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	153	37	44	63	31	4	21	13	21	3	53	0	
	100.0%	24.2%	28.8%	41.2%	20.3%	2.6%	13.7%	8.5%	13.7%	2.0%	34.6%	0.0%	
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	11	5	3	0	3	3	1	2	0	1	6	0	
	100.0%	45.5%	27.3%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	
30歳代	13	6	3	1	4	1	2	4	0	2	3	0	
	100.0%	46.2%	23.1%	7.7%	30.8%	7.7%	15.4%	30.8%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%	
40歳代	21	7	11	5	10	0	4	3	1	0	6	0	
	100.0%	33.3%	52.4%	23.8%	47.6%	0.0%	19.0%	14.3%	4.8%	0.0%	28.6%	0.0%	
50歳代	28	10	9	11	6	0	2	3	9	0	11	0	
	100.0%	35.7%	32.1%	39.3%	21.4%	0.0%	7.1%	10.7%	32.1%	0.0%	39.3%	0.0%	
60歳代	32	7	5	17	4	0	6	0	4	0	7	0	
	100.0%	21.9%	15.6%	53.1%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	21.9%	0.0%	
70歳代	40	2	12	22	4	0	6	1	4	0	17	0	
	100.0%	5.0%	30.0%	55.0%	10.0%	0.0%	15.0%	2.5%	10.0%	0.0%	42.5%	0.0%	
80歳以上	8	0	1	7	0	0	0	0	3	0	3	0	
	100.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

上段:度数 下段:構成比(%)		サンプル数	セクハラ・ハラスメントなどに関する	バウハラスメントなどに関する	職場の問題(労働条件・労働環境など)に関する	就業・おけるキリノリツ・能力開発に関する	地域での人間関係や活動に関する	防犯に関する	自分の生き方に関する	自分やもく分からの(い)もやもとした気持ち	性的指向・性自認に関する	その他	無回答
総計	467	3	17	98	23	23	25	117	81	2	11	3	
	100.0%	0.6%	3.6%	21.0%	4.9%	4.9%	5.4%	25.1%	17.3%	0.4%	2.4%	0.6%	
女性	312	2	10	64	15	11	15	91	59	0	7	1	
	100.0%	0.6%	3.2%	20.5%	4.8%	3.5%	4.8%	29.2%	18.9%	0.0%	2.2%	0.3%	
10歳代	5	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	19	2	1	8	1	0	0	13	6	0	0	0	
	100.0%	10.5%	5.3%	42.1%	5.3%	0.0%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
30歳代	36	0	1	12	5	1	3	12	4	0	0	0	
	100.0%	0.0%	2.8%	33.3%	13.9%	2.8%	8.3%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	62	0	3	17	5	3	1	18	12	0	3	0	
	100.0%	0.0%	4.8%	27.4%	8.1%	4.8%	1.6%	29.0%	19.4%	0.0%	4.8%	0.0%	
50歳代	64	0	4	21	3	3	4	12	10	0	2	0	
	100.0%	0.0%	6.3%	32.8%	4.7%	4.7%	6.3%	18.8%	15.6%	0.0%	3.1%	0.0%	
60歳代	57	0	1	5	1	1	2	21	14	0	1	0	
	100.0%	0.0%	1.8%	8.8%	1.8%	1.8%	3.5%	36.8%	24.6%	0.0%	1.8%	0.0%	
70歳代	52	0	0	0	0	3	2	10	9	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	3.8%	19.2%	17.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
80歳以上	17	0	0	0	0	0	3	3	1	0	1	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	153	1	7	32	8	12	10	26	21	2	3	2	
	100.0%	0.7%	4.6%	20.9%	5.2%	7.8%	6.5%	17.0%	13.7%	1.3%	2.0%	1.3%	
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20歳代	11	0	0	2	0	0	0	4	3	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	
30歳代	13	0	1	7	2	1	1	3	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	7.7%	53.8%	15.4%	7.7%	7.7%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	21	1	4	7	2	2	2	6	5	0	0	0	
	100.0%	4.8%	19.0%	33.3%	9.5%	9.5%	9.5%	28.6%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
50歳代	28	0	2	9	2	0	0	4	2	1	1	0	
	100.0%	0.0%	7.1%	32.1%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	
60歳代	32	0	0	5	0	3	4	3	3	0	1	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	15.6%	0.0%	9.4%	12.5%	9.4%	9.4%	0.0%	3.1%	3.1%	
70歳代	40	0	0	2	1	4	3	4	6	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	5.0%	2.5%	10.0%	7.5%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	2.5%	
80歳以上	8	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
性別無回答ほか	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

<その他意見（主なもの）>

- コロナにならないかと心配。いつまで続くのか不安。
- コロナに対しての漠然とした不安
- コロナ
- コロナになってからの生活
- 親戚とのトラブル
- 子どもの学校の親との人間関係
- 親戚間での人間関係について
- 実家（空家）の片付け、処分等。
- 一人暮らしでの不安。
- 毎日の仕事、物流上昇と売り上げに関する事など。

図表 7-4 不安や悩みの内容・複数回答【総計、性別】



(2) 不安や悩みの相談の有無

問 37

【問 36 で1つでも○がついた方にお尋ねします。】

あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

(あてはまるものをすべて選択)

[全体] (図表 7-5)

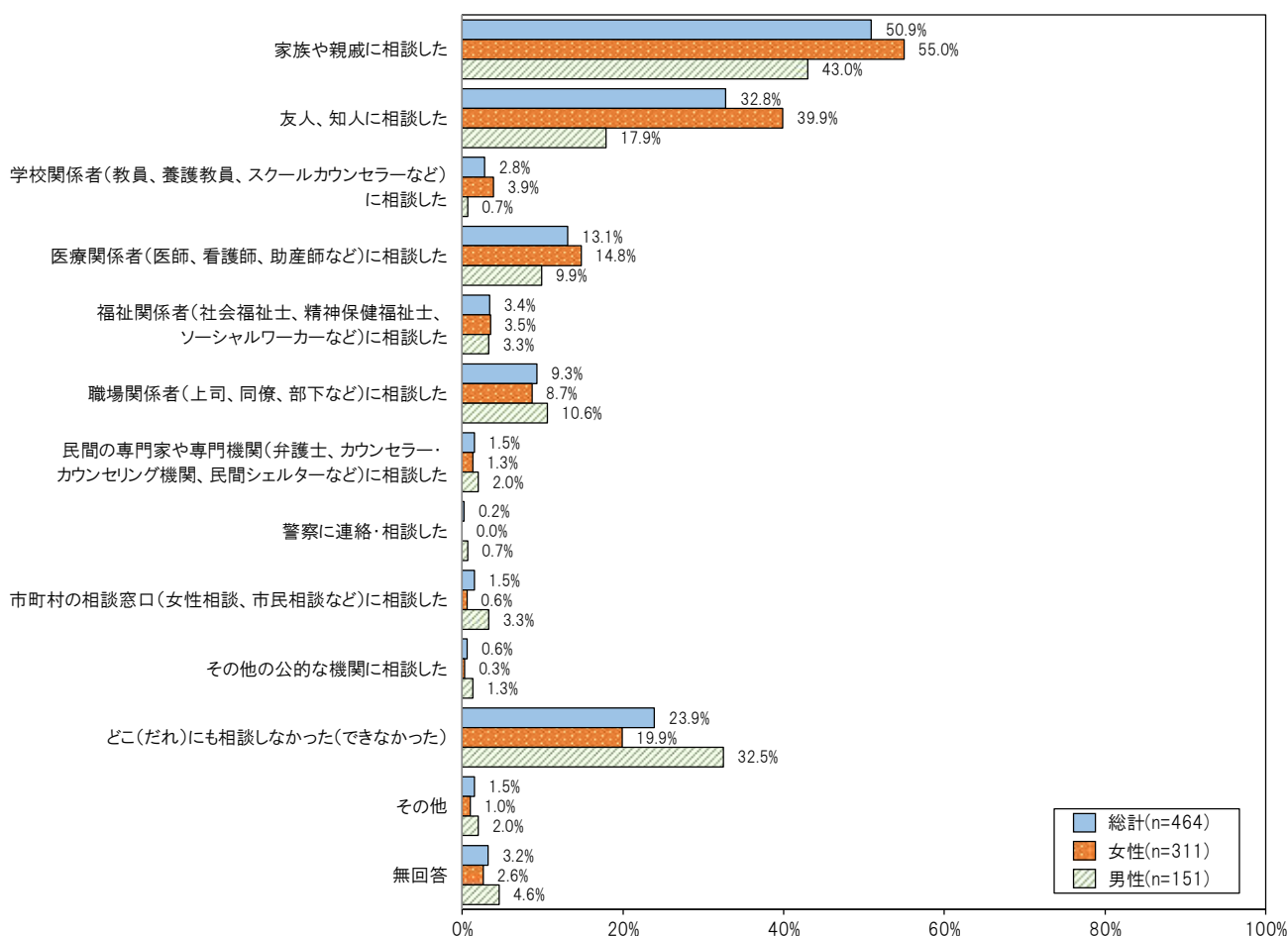
不安や悩みの相談有無についてみると、「家族や親戚に相談した」(50.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「友人、知人に相談した」(32.8%)、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(23.9%)、「医療関係者(医師、看護師、助産師など)に相談した」(13.1%)、「職場関係者(上司、同僚、部下など)に相談した」(9.3%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 7-5、図表 7-6)

性別でみると、男女ともに「家族や親戚に相談した」と回答した割合が最も高く、女性で6割弱、男性で4割強となっている。また、女性は男性より「友人、知人に相談した」と回答した割合が22.0ポイント高くなっている。一方で、男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が女性より12.6ポイント高くなっており、男女間でのギャップがみられる。

性・年代別でみると、10歳代の女性は「友人、知人に相談した」と回答した割合が最も高く、30歳代、50歳代、70歳代の男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が高くなっている。その他の年代は男女ともに「家族や親戚に相談した」と回答した割合がたかくなっている。

図表 7-5 不安や悩みの相談の有無・複数回答【総計、性別】



図表 7-6 不安や悩みの相談の有無・複数回答【性・年代別】

		サンプル数	家族や親戚に相談した	友人 知人に相談した	学校関係者 教員 養護教員 スクールカウンセラーなどに相談した	医療関係者 医師 看護士 助産師などに相談した	福祉関係者 社会福祉士 精神保健福祉士 ソーシャルワーカーなどに相談した	職場関係者 上司 同僚 部下などに相談した	民間の専門家や専門機関（弁護士 カウンセラー カウセリング機関 民間コンサルタント）に相談した	警察に連絡相談した	市町村の相談窓口 女性相談 市民相談などに相談した	その他の公的な機関に相談した	どなたにも相談しなからできなかった	その他	無回答	
上段:度数 下段:構成比(%)																
性・年代別	総計	464	236 50.9%	152 32.8%	13 2.8%	61 13.1%	16 3.4%	43 9.3%	7 1.5%	1 0.2%	7 1.5%	3 0.6%	111 23.9%	7 1.5%	15 3.2%	
	女性	311	171 55.0%	124 39.9%	12 3.9%	46 14.8%	11 3.5%	27 8.7%	4 1.3%	0 0.0%	2 0.6%	1 0.3%	62 19.9%	3 1.0%	8 2.6%	
	10歳代	5	3 60.0%	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	19	14 73.7%	12 63.2%	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	36	27 75.0%	20 55.6%	2 5.6%	2 5.6%	0 0.0%	8 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.8%
	40歳代	62	28 45.2%	24 38.7%	4 6.5%	7 11.3%	1 1.6%	5 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 1.6%	1 30.6%	19 1.6%	1 0.0%	0 0.0%
	50歳代	64	37 57.8%	19 29.7%	3 4.7%	3 4.7%	2 3.1%	7 10.9%	2 3.1%	0 0.0%	0 1.6%	1 0.0%	0 0.0%	15 23.4%	0 0.0%	2 3.1%
	60歳代	57	29 50.9%	28 49.1%	1 1.8%	12 21.1%	5 8.8%	3 5.3%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	10 17.5%	1 1.8%	0 0.0%
	70歳代	52	24 46.2%	13 25.0%	1 1.9%	15 28.8%	2 3.8%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 17.3%	0 0.0%	3 5.8%
	80歳以上	16	9 56.3%	3 18.8%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	151	65 43.0%	27 17.9%	1 0.7%	15 9.9%	5 3.3%	16 10.6%	3 2.0%	1 0.7%	5 3.3%	2 1.3%	2 32.5%	49 2.0%	3 2.0%	7 4.6%
	10歳代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	11	7 63.6%	6 54.5%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	13	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	21	12 57.1%	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	4 19.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%
	50歳代	28	12 42.9%	6 21.4%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	6 21.4%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 42.9%	1 3.6%	0 0.0%
	60歳代	31	17 54.8%	4 12.9%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 32.3%	0 0.0%	2 6.5%
	70歳代	39	10 25.6%	6 15.4%	0 0.0%	7 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 10.3%	4 5.1%	2 35.9%	14 2.6%	1 7.7%	3 7.7%
	80歳以上	8	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
性別無回答ほか	2	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	

<相談機関（主なもの）>

- ハローワーク

<その他意見（主なもの）>

- むしろ会社全体の事なので、みんなで共有している。
- 職場の人も同じことを思っている事だから。
- 相談してない。改善しないならやめると伝えた。
- 占い師に相談した。
- 今のところ自分のできるはんで

8. 始良市の男女共同参画施策について

(1) 男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと

問 38 あなたは、「男女共同参画社会」を形成していくために、始良市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものを3つ以内で選択)

[全体] (図表 8-1)

男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきことについてみると、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」(44.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」(31.4%)、「保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実させる」(25.7%)、「政策方針決定の場への女性の参画を進める」(14.2%)、「学校や家庭で、男女の人権に関わる啓発を進める」(14.0%)の順となっている。

[性別、性・年代別] (図表 8-1、図表 8-2)

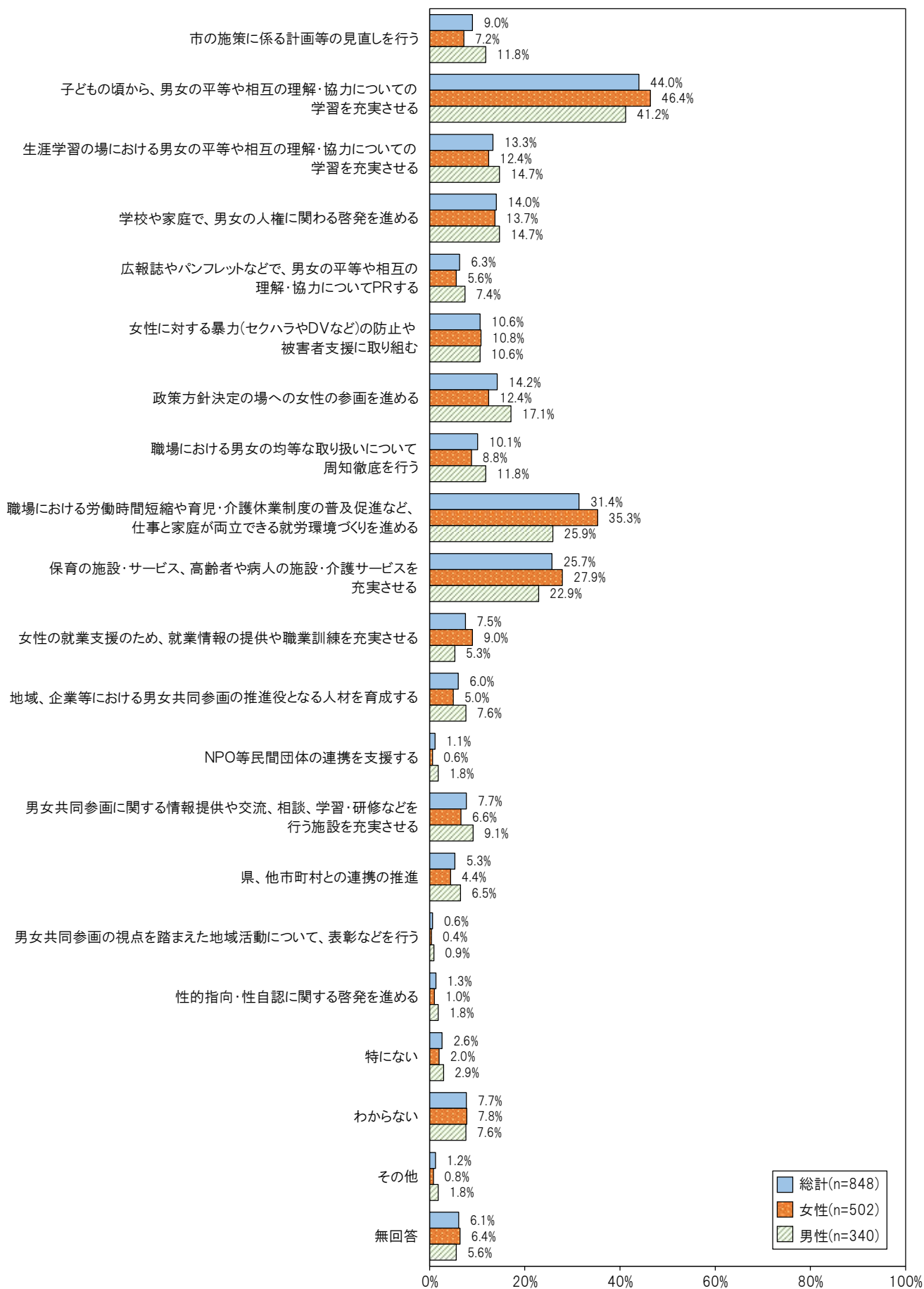
性別でみると、男女ともに「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」と回答した割合が最も高く、4割を超えている。

性・年代別でみると、10歳代の女性と20歳代の男性は「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」と回答した割合が最も高く、10歳代の女性では55.6%と半数を超えている。

[前回調査との比較] (図表 8-3)

前回調査と比較すると、「市の施策に係る計画等の見直しを行う」と「政策方針決定の場への女性の参画を進める」、「県、他市町村との連携の推進」と回答した割合は増加しているが、その他の項目は減少傾向にある。特に、「保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実させる」、「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」と回答した割合は7.0ポイント以上減少している。

図表 8-1 男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと・複数回答【総計、性別】



図表 8-2 男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと・複数回答【性・年代別、前回調査】

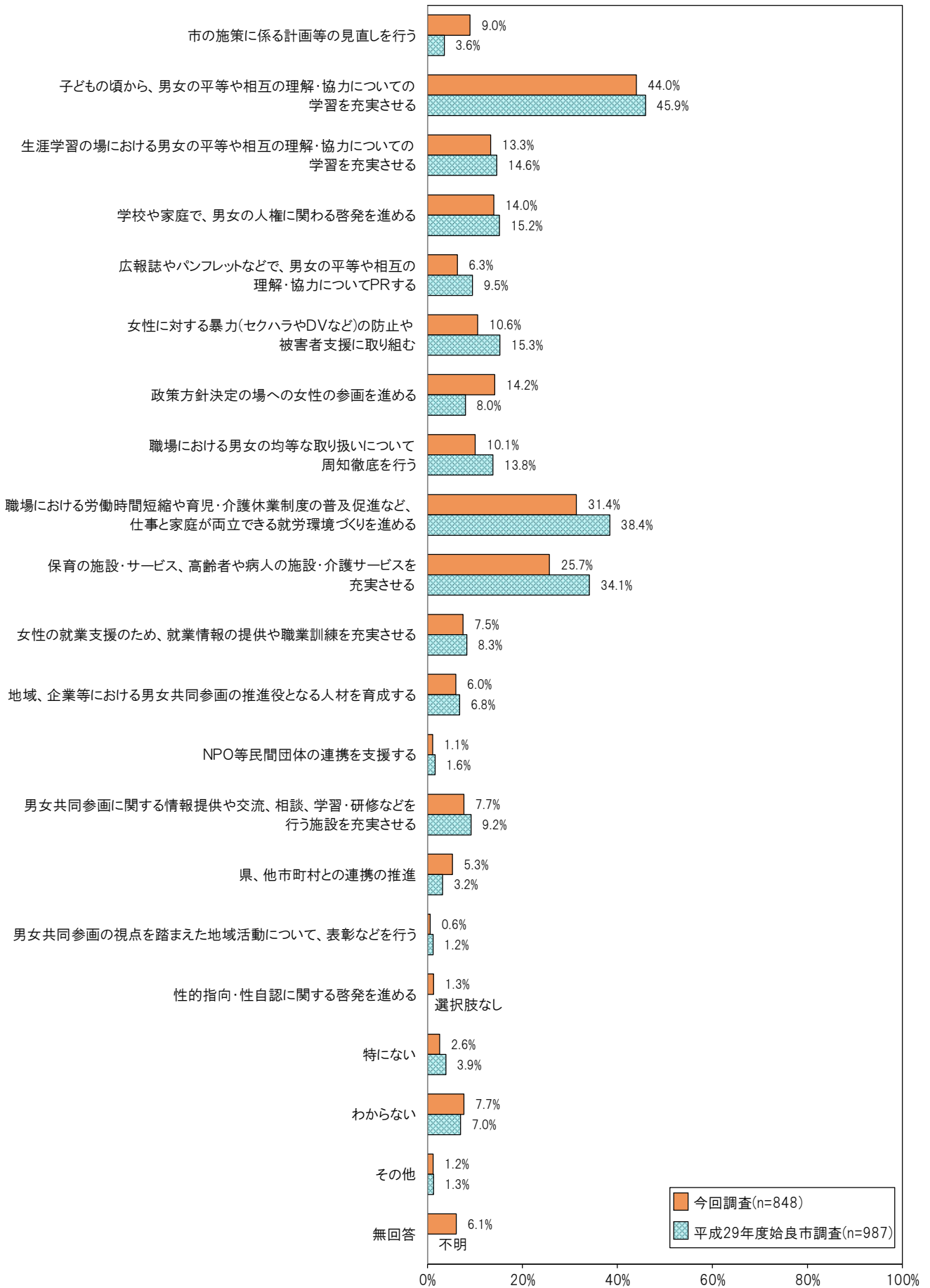
上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	市の施策に係る計画等の見直しを行う	子どもの頃から、男女の平等や相互の理解を協働しながら学習を充実させること	生涯学習の場における男女の平等や相互の理解を協働しながらの学習を充実させること	学校や家庭で、男女の人権に関わる啓発を進める	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等や相互の理解を協働しながらPRする	女性に対する暴力を久やDVなどの防止や被害者支援の取組を強化	政策方針決定の場での女性の参画を進める	職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める	職場における男女の均等な取組を促すため、周知徹底を行う	保育の施設・サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実させる	女性の就業支援のための、就業情報の提供や職業訓練を充実させる	女性の就業支援のための、就業情報の提供や職業訓練を充実させる	
総計		848	76 9.0%	373 44.0%	113 13.3%	119 14.0%	53 6.3%	90 10.6%	120 14.2%	86 10.1%	266 31.4%	218 25.7%	64 7.5%	64 7.5%	
平成29年度始良市調査		987	36 3.6%	453 45.9%	47 4.6%	150 15.2%	94 9.5%	151 15.3%	79 8.0%	136 13.8%	379 38.4%	337 34.1%	82 8.3%	82 8.3%	
性・年代別	女性	502	36 7.2%	233 46.4%	62 12.4%	69 13.7%	28 5.6%	54 10.8%	62 12.4%	44 8.8%	177 35.3%	140 27.9%	45 9.0%	45 9.0%	
	10歳代	9	1 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	
	20歳代	25	4 100.0%	10 40.0%	5 20.0%	3 12.0%	0 0.0%	2 8.0%	3 12.0%	3 12.0%	8 32.0%	2 8.0%	3 12.0%	3 12.0%	
	30歳代	44	4 100.0%	25 56.8%	5 11.4%	5 11.4%	3 6.8%	7 15.9%	2 4.5%	3 6.8%	19 43.2%	16 36.4%	4 9.1%	4 9.1%	
	40歳代	82	9 100.0%	43 52.4%	4 4.9%	11 13.4%	1 1.2%	8 9.8%	8 9.8%	9 11.0%	28 34.1%	22 26.8%	14 17.1%	14 17.1%	
	50歳代	83	5 100.0%	38 45.8%	15 18.1%	8 9.6%	5 6.0%	10 12.0%	6 7.2%	11 13.3%	28 33.7%	22 26.5%	6 7.2%	6 7.2%	
	60歳代	105	7 100.0%	52 49.5%	14 13.3%	18 17.1%	5 4.8%	12 11.4%	18 17.1%	8 7.6%	45 42.9%	32 30.5%	11 10.5%	11 10.5%	
	70歳代	111	2 100.0%	47 42.3%	16 14.4%	17 15.3%	13 11.7%	9 8.1%	19 17.1%	6 5.4%	32 28.8%	34 30.6%	5 4.5%	5 4.5%	
	80歳以上	43	4 100.0%	15 34.9%	3 7.0%	7 16.3%	1 2.3%	4 9.3%	6 14.0%	3 7.0%	12 27.9%	12 27.9%	1 2.3%	1 2.3%	
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	340	40 100.0%	140 41.2%	50 14.7%	50 14.7%	25 7.4%	36 10.6%	58 17.1%	40 11.8%	88 25.9%	78 22.9%	18 5.3%	18 5.3%	
	10歳代	5	2 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	20歳代	18	3 100.0%	4 22.2%	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	7 38.9%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	
	30歳代	28	3 100.0%	13 46.4%	4 14.3%	1 3.6%	1 3.6%	4 14.3%	7 25.0%	7 25.0%	12 42.9%	8 28.6%	1 3.6%	1 3.6%	
	40歳代	33	5 100.0%	12 36.4%	7 21.2%	2 6.1%	1 3.0%	5 15.2%	7 21.2%	2 6.1%	7 21.2%	6 18.2%	3 9.1%	3 9.1%	
	50歳代	44	4 100.0%	20 45.5%	3 6.8%	11 25.0%	3 6.8%	8 18.2%	7 15.9%	7 15.9%	10 22.7%	12 27.3%	4 9.1%	4 9.1%	
	60歳代	87	9 100.0%	48 55.2%	16 18.4%	19 21.8%	5 5.7%	6 6.9%	15 17.2%	9 10.3%	20 23.0%	17 19.5%	4 4.6%	4 4.6%	
	70歳代	96	11 100.0%	39 39.6%	14 14.6%	14 14.6%	10 10.4%	10 10.4%	16 16.7%	12 12.5%	25 26.0%	29 30.2%	5 5.2%	5 5.2%	
	80歳以上	28	3 100.0%	4 14.3%	2 7.1%	2 7.1%	3 10.7%	2 7.1%	4 14.3%	1 3.6%	5 17.9%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%	
	無回答	1	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	性別無回答ほか	6	0 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	地域・企業等における男女共同参画の推進役となる人材を育成する	NPO等民間団体との連携を支援する	男女共同参画に関する情報提供や交流・相談・学習研修などを行う施設を充実させる	県他市町村との連携の推進	男女共同参画の視点を踏まえた地域活動として、表彰などを行う	性的指向・性自認に関する啓発を進める	特に、	わからず	その他	無回答
総計		848	51 6.0%	9 1.1%	65 7.7%	45 5.3%	5 0.6%	11 1.3%	22 2.6%	65 7.7%	10 1.2%	52 6.1%
平成29年度始良市調査		987	67 6.8%	16 1.6%	91 9.2%	32 3.2%	12 1.2%	-	39 3.9%	69 7.0%	13 1.3%	-
性・年代別	女性	502	25 5.0%	3 0.6%	33 6.6%	22 4.4%	2 0.4%	5 1.0%	10 2.0%	39 7.8%	4 0.8%	32 6.4%
	10歳代	9	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	25	1 100.0%	0 0.0%	3 12.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	44	1 100.0%	0 0.0%	1 2.3%	4 9.1%	0 0.0%	1 2.3%	1 2.3%	1 2.3%	1 2.3%	1 2.3%
	40歳代	82	1 100.0%	1 1.2%	2 2.4%	3 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.7%	10 12.2%	0 0.0%	4 4.9%
	50歳代	83	3 100.0%	1 1.2%	7 8.4%	3 3.6%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	6 7.2%	0 0.0%	7 8.4%
	60歳代	105	11 100.0%	0 0.0%	6 5.7%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.8%	1 1.0%	5 4.8%
	70歳代	111	6 100.0%	1 0.9%	11 9.9%	6 5.4%	1 0.9%	0 0.0%	3 2.7%	8 7.2%	2 1.8%	8 7.2%
	80歳以上	43	2 100.0%	0 0.0%	3 7.0%	3 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 11.6%	0 0.0%	7 16.3%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	340	26 7.6%	6 1.8%	31 9.1%	22 6.5%	3 0.9%	6 1.8%	10 2.9%	26 7.6%	6 1.8%	19 5.6%
10歳代	5	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20歳代	18	1 100.0%	0 0.0%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	
30歳代	28	1 100.0%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	1 3.6%	
40歳代	33	0 100.0%	1 3.0%	1 3.0%	4 12.1%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.1%	1 3.0%	3 9.1%	
50歳代	44	1 100.0%	0 0.0%	4 9.1%	3 6.8%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.8%	2 4.5%	2 4.5%	
60歳代	87	8 100.0%	2 2.3%	10 11.5%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	7 8.0%	1 1.1%	4 4.6%	
70歳代	96	11 100.0%	1 1.0%	11 11.5%	6 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.2%	2 2.1%	0 0.0%	6 6.3%	
80歳以上	28	4 100.0%	1 3.6%	3 10.7%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.3%	6 21.4%	1 3.6%	3 10.7%	
無回答	1	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
性別無回答ほか	6	0 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	

<その他意見（主なもの）>

- 始良市の職員が見本となり、手本となる。管理職の半分を女性にする。まずこれを達成しなければ男女共同参画社会は無理と思う。
- 副市長を女性にする
- 市に大きな企業も無く都会に比べ必要とされる社会の変化に鈍い部分があるので、まず市役所から女性を管理職や副市長に登用するなどの積極的な取り組みが必要ではないかと感じる。
- 真剣にやる気があれば、国や県のやりかたをふまえるのではなく、相談窓口の設置、真剣な相談対応、具体的解決して、市民に公表、市民に安心感を与えるなど。
- 平等でないと考える事例が発生した場合に、直ちに相談でき、対策を検討するような仕掛けを構築すること。意見がもみつぶされないように、広く公開で意見が発表できるようにしたほうが良い。身内だけでなく、外部者にも意見を求めるほうが良い。
- 2番とにているが子どもが育つ環境（大人の意識を根本的にただす事）を理解し実現する事だと思います。
- 家庭教育の充実。相手を尊敬し、相手の人格を尊ぶことが根本なので、問38に書かれた施策に根本精神を生かす。
- ゆとりある生活ができないのに考えが及ぶ事は無い。

図表 8-3 男女共同参画社会形成のために行政が力を入れるべきこと・複数回答【総計、前回調査】



(2) 男女共同参画社会の実現に向けた意見・要望等（自由意見）

問 39 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

寄せられた自由意見の件数は126件であり、主な意見・要望を掲載している。

また、その内容は「男女共同参画社会の形成について」（36件）、「男女共同参画に向けた行政の取組について」（20件）、「男女共同参画に対する意識について」（17件）、「男女共同参画に関する教育について」（11件）、「男女共同参画に向けた啓発活動について」（9件）、「家庭生活について」（9件）、「就業について」（6件）、「子育てについて」（4件）、「その他」（11件）、「男女共同参画以外の意見」（3件）となっている。

■ 男女共同参画社会の形成について（36件）

【主な意見】

- 男女平等社会を目指すことは、いいことですが、人間はもともと男らしさ、女らしさの特性を持っています。それぞれの特性を生かし得るなら、協力していける社会（家庭）を目指していけばいいと思います。（女性・40歳代）
- アンケート調査の機会をもうけて下さりありがとうございました。社会は少しずつ前進しているのだなと実感致しました。男性、女性両方と一緒にお仕事させていただいていますが、能力や考え方に個人差はありますが性差は無いように感じます。今まで育った環境と教育から性別に差があると思いついて見受けられます？女性はお茶をいれて掃除するもの、家事をするものと年配の方が率先して職場でも家庭でも行い疑問を感じる事無く生きています。男性は子供が病気で、休ませて下さいと言い出しにくい雰囲気があり、勇気を出して申し出ても断られます。育休なんて夢のまた夢。子供と家族と地域と触れあう豊かさを経験する機会を男性にも作ってあげて下さい。自分達が年配になった時は、俺たち私たちの時代はこうだったとか言わずに、育児で休みが欲しいや旅行に行きたいと言った若い子達には気持ちよく休みをあげられるように、人の幸せを願えるゆとりのある高齢者になろうねと今朝、夫と話しました。市の方たちもアンケート調査して下さりありがとうございます。始良市が大好きです。今後も応援しています。（女性・40歳代）
- 時代も変化して行く中で、今迄の時代の価値観があり、それぞれの年齢層での価値観がある。戦後体験や、バブルを経て、物質価値から、今は物や食べ物に満たされている事から、心の時代となります。それぞれの時代の歴史がある為、なかなか平等に対しては、受け入れ難い年代の方がいらっしゃるのも、尊重だと思えます。これからの時代は風の時代ともいわれています。また、家庭環境がもっとも今後の未来の子供達へも影響を与えていきます。家庭環境はとても大きいと感じます。今の子供たちから、男女の共同の重要性や、エビデンス、男女だけでなく、性別問わず、思い合う心や、共存、協働しながら、自身を大切に作る心や、自己肯定感を高める事を学べば、自然と相手を大切に出来る人になります。小さなうちからの、教育で、道徳の時間等や、家庭で、学ぶ機会や、親の私たちからまずは意識して、家庭で、社会で、平等に働ける姿や、家庭では、協力して家事や、行事に参加する機会を創って行く事から、出来る形になり、今からの子供達も、そのような親の姿から、どちらかが負担や、辛い状況に映るのではなく、ともに協力する事で、時短や、心にもゆとりができ、その分、家族とゆっくり過ごす時間や、思いやりの言葉や、行動、笑顔が増える事や、父親、母親のそれぞれの時間も設け大切にする事が当たり前となる世の中になれば、それが何も特別な事としてではなく、自然に、社会参加の平等や、役割の平等や、男女、尊重しあい、個々が尊重され、大切にされる社会や世の中となっていける事をねがいます。まずは小さな1歩から？（女性・40歳代）
- 日本では男女共同参画社会の実現はまだまだ時間がかかると思います。女性で能力のある人はたくさんいらっしゃると思いますが、女性上司のパワハラ、男性上司のセクハラまではいかなくてもそれに近い事があると若い女性はすぐ辞めて一カ月ももたないことが多いと思います。女性リーダー（波乱万丈）の経験をされた人がでてきたら介護で苦しんでいる人の為の制度を（その他）の良いアイデアをだしてもらえるとと思います。乱雑な字ですみません。（女性・50歳代）

- このような意識調査を解いていくうえで、さらに考えさせられる機会になりました。人として生き易い社会を目指せるといいと思います。男女という性別に関係なくお互いを信頼し合い尊敬できる社会になればいいなと思っています。ありがとうございました。(女性・50歳代)
- 男女共同参画社会とはいっても、子どもを産むことは女性にしかできません。その不平等に対しては誰も声をあげない、それは普遍的な違いはどうにもならないことを皆、知っているから。であればそれを否定するのではなく、幸せな子どもが幸せに育める社会にして初めて男女共同参画社会と言えるのではないのでしょうか。乳飲み子は母親の元で安心して育てられる社会。そんな母親を社会から取り残さない社会。女性は女性にしかできないこと。男性には男性にしかできないこと。それを認めて受け入れてから双方が生きやすい世の中にしていくべき。(女性・50歳代)
- 男性と同じように、女性が活躍する場をどんどん増やしてほしい。(女性・50歳代)
- 私は、2年前まで他県に住んでいて、ほぼ専業主婦でした。月に3~4回程度料理を教えていました。主人が亡くなる1ヶ月前に、主人の故郷に引っ越しをして、現在パートタイムで働いています。フルタイムで働いて思った事は、主人への感謝です。子育て中に専業主婦で入れたこと、私の希望で料理教室をさせてもらったことに感謝しました。フルタイムで働いて、帰宅後の夕食をはじめ、家事はとてつらいです。子どもが小さければ、なおのこと大変です。そして逆に、私は専業主婦を頑張ってきたなあ~凄いとと思いました。食事や毎朝のお弁当作り、掃除洗濯等の家事をし、学校の父母教師会や町内会等の活動をし、主人をはじめ子どもたちを支えてきたんだと改めて専業主婦の役割の大切さに気付きました。今回、男女共同参画社会のアンケートを頂きましたが、現実には核家族で子育てをしながら、両親が正社員で働くのは(アベノミクスで話題になった一億総活躍社会は)、とても大変なことと思いました。子育てを振り返ってみて、私は専業主婦で子育てや地域活動に参加してきて良かったと思いました。また、余談ですが、「子ども食堂」を最初に作った方のインタビュー記事で「子ども食堂は、一時的なものでなければならない。やはり子どもにとって、親の手料理が一番大切である」というのが、今でも鮮明に覚えています。数年前に、私は、いくつかの「子ども食堂」取材して思った事は、「子ども食堂」は地域のコミュニケーションの場、いわゆる「地域食堂」だと思いました。「子ども食堂」という名前と内容が、一致していないと思いました。最後に、渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」にあるように、人は花を咲かせる居場所があるはずですが、気付かないだけだと思います。私も主人が亡くなって、専業主婦の役割の大切さを知りました。このアンケートが、お役に立てれば幸いです。(女性・50歳代)
- 人それぞれ考え方も違うので実現はなかなか難しいと思いますが、それでも実現に向けて皆が協力・努力していかななくてはならない。実現に向けてと言うポーズだけでは(特に政界の)何の解決にもつながらないとも思います。男女の区別なくお互いを認められる関係になったらと願います。(女性・60歳代)
- 始良市に住む皆さんが相手に対する思いやりの心を持って生活できればいいなと思います。(女性・60歳代)
- 昔に比べると、女性の社会進出も増し、家の中で家庭を守る人も少なくなっている(私がPTA活動をしている頃は仕事をしているお母さんは少なかった)。男性も家事・育児に協力している人も多くなったと思う反面、男性のパワハラや虐待も増えているとニュースでよく見るので平和な生活が続けられるような社会にしていきたい。(女性・60歳代)
- 子供の頃から両親が平等に働き楽しい家庭生活を送っていれば大人になって同じような環境家庭を作ると思います(女性・60歳代)
- 年金生活になってからはあまり考えた事ありません。最近のメディアに対する不満があります。何かにつけ小さな事もことこまかく報道し過ぎであるように思います。男女共同についても相手を思いやる心があれば、解決するものを思いやる気持ち助けようという日頃の気持ちがなくなっている。(女性・60歳代)
- 平和な社会をつくる為には、相手の事をよく理解し、言動にも注意を払い、納得できる生活を送る事が大切であると思います。(女性・60歳代)
- 一刻も早い実現を望みます。(女性・70歳代)

- 男女両方がお互いの強み、弱みを納得し協力して努力、能力の高上に努めよく話し合い、仲良くより良い人生を形造って行く事が大事だと思います。片方だけが我慢する事なくお互い助け合いより良い生活が出来る様に手を取り合って、前に進んでいく事だと思う。男女とたった2つしかない相棒なのでいかにうまくつきあっていくかにかかっている。それには相手を思いやり助け合いの心を持ち仲良く生きることだ。(女性・70歳代)
- 女性がもっと多面に参加して活動して欲しい(女性・70歳代)
- 男性も女性もみんなが相手を理解し、尊重しあえるようになったら良いと思う。(女性・70歳代)
- 用語解説で男女共同参画社会に関連の深い用語がたくさんある事を始めて知りました。ありがとうございました。これからの若い方々は男女平等で自分の能力を十分発揮できる仕事、活動が続けられる社会であってほしいです。私は高齢者です。上から押しえつけられ、物が言えない人生でした。最近、自分の生き方を振り返ることがあります。私は何も出来ませんが、男女共同参画社会の実現をよろしく願いいたします。(女性・80歳代)
- あまり平等になると女性が困ることも出てくるのでは？たとえば、体力差がある。男の方が力が強い。女性が体力や力が弱い部分は男性がカバーしていく。何もかも平等平等と言うとしんどいのでは？(男性・20歳代)
- 女性の問題と思われがちな課題ですが、男性の問題でもあると思います。ストレスを抱え、職場や家庭で言葉あたりが強くモラハラにつながりかねない状況が発生し、被害者は誰かに相談してもどうせこうなるだろうと突っ張り返される、相談しても改善されないといった事例を目の当たりにしたことがあります。学校、企業等へ簡易的な臨時監査のアンケートを匿名で行い、問題が上があれば個別に解決を行い平等な社会へと繋がれば良いと考えております(男性・20歳代)
- 市議の女性の数が少ないと思う。女性の意見を聞ける場を増やしてほしい。(男性・30歳代)
- 他人を、一人の人間として尊重する。心から。すべての、もの、ひとに感謝して生きることができれば幸せになれる。そんな世の中になると信じています。(男性・30歳代)
- 男・女の性別よりも、若い世代を中心に活動できる社会になればよいと感じる。(性別は関係ないのではないのでしょうか？男も女もやる人はやる。やらない人はやらない。)本問の回答とは異なると思うが、個人のやる気の問題ではないのでしょうか？(男性・40歳代)
- 男女平等の社会に早くなれると良いです。(男性・40歳代)
- 男女共同参画とは言うが、なかなか課題が多い。特に男女の性別の問題は、LGBTなど社会的に認知されたとはいえ、根深いものがある。生物的な性別と社会的な性別をごちゃ混ぜにしている考えの方が多いいようにも思う。最近の社会を騒がす問題でも男女共同参画が圧迫されていたことがわかったが、逆説的に言えばこの流れを超えて、これから落ち着いて議論ができる環境が整ってきたのかなと思う。(男性・40歳代)
- 鹿児島では難しい問題(男性・50歳代)
- 若い人達の間では男女平等の認識はあると言うが、中年以上の世代では未だに女のくせにと言う古い考え方がるので、この世代への教育が重要と考える。女性の地位向上は大切だが例えば課長職の女性を○人以上と言うような目標は逆差別ではないか？男女に関係なく能力で決定すべき。能力に関係なく女性何人以上の目標を満たせばOK(上から評価される)と言う本来の趣旨とはずれている気がする。(男性・60歳代)
- 始良市だけでなく、日本全体で豊かな社会を造る必要がある。その為には個々人の生活の向上が必要であるので、賃金等の収入の向上が図れる社会造りが必要である。又、子供の頃からの男女の平等や相互の理解協力について学習できるような体制造りが必要である。(男性・60歳代)
- 男女はもともと体のつくりや、できることできないことがあるので、お互い役割分担を相談し、女性でもやりたい人がいればやっていたいいし、やりたくないものを平等だからと言って、やらなければならないということもないと思います。個人ごとにやりたいこともやりたくないこともあるだろうから、みんながこのようにあらねばならないということではなくて、それぞれがお互いの役割を相談してやれば良いと思います。(男性・60歳代)
- 個人的には、男女の身体的な差異は認めつつも、「男」「女」とあまり意識せず、同じ仲間、人間とし接している。お互いを同じ人間として認め合うことが大事と思う。(男性・70歳代)

- 男女不平等を強く思っている人こそ、相手を心から信頼していないと思われます。人は1人では生きられません。寄り合って生きています。信頼と思いやりが大切だと思います。例えば、アルバイト・職場でも、一部の人に仕事が殺到した日は、まわりの人が手伝う事により、信頼関係が生まれます。自分は無視はいけません！相手を思いやる心が、大切だと思います。(男性・70歳代)
- ①女性も、積極的に行動に移すべき。(理解から行動へ) ②TVなどの解説者の質の向上を。③番組(TV)で、受け(視聴者)を重視したつまらないもの、人を優先しない。(男性・70歳代)
- 女性の意見も良く聞き入れる事。女性もいろんなことに興味を持つ事。(男性・70歳代)

■ 男女共同参画に向けた行政の取組について (20件)

【主な意見】

- パートナーシップ宣誓制度は実施しないのですか？(女性・30歳代)
- PTA講演会などで、男女共同参画を取り扱う講演への助成。始良市はPTA参加者の多くが女性。女性の意識づくりをする際に活用できる場だと思えます。(女性・40歳代)
- まず、男女平等の実現を目指しているのであれば、公的機関がその見本となる必要がある。旗振り役が女性雇用や育児などの手本を示さなくては民間はついてこない。始良市役所は見本となれる自治体ですか？ベッドタウンはやっぱり田舎根性って言われたままですか？(女性・40歳代)
- 始良市に50年以上住んでいます。地域開発されて人口も増加傾向となり、市の取り組みも幅広く全ての市政の満足度を上げることは難しいことかと思いますが、子供から高齢者まで住みやすい社会づくりに期待しています。(女性・60歳代)
- 市議の方々にもっと色々な事に頑張ってもらいたいです。(女性・70歳代)
- 今はコロナでなかなか外出も出来ませんが、始良市役所の新築に伴い、全ての市民が集える空間を設置してほしいです。(いろいろな世代間で意見交換が出来る場所)(女性・80歳代)
- より具体的な施策。(男性・30歳代)
- 先進的にやるなら、相談センター(建物)をつくり、解決まで、しっかりやる姿をみせる。たらいまわしにしたりしない。複数の原因がからむ場合でもS・W(ソーシャル・ワーカー)なども入れて真剣に対応する。「男女平等な社会をつくりましょう。」では意味はない。(男性・50歳代)
- 営利団体ではない地域のリーダー的存在の始良市が上記を達成し、広く手本となり法律で例えば男女1人の子供につき1年間育児休暇を取る事が決まれば法律だから無理して取得できる。私たち中小企業は7~8年ごとに不景気がやってきて仕事に対し心配なので個人的にも休めないし女性は子供を作れないの実情です。それでも20年前から女性は育児休暇を取り仕事に復帰できるようになってきました。男女共同参画社会を目指すためにはある程度強制的(法律)にシステム(しくみ)を変えないと実現不可能と思う。(男性・50歳代)
- 継続的な活動の実施で実現して下さい。(男性・60歳代)
- ①中国などにやらせている製造業の本邦帰還。→雇用を増やす。②食料自給率の向上。→農業の繁栄。③終身雇用の優位を認識→契約社員等を減らし生活を安定させる。他にもいろいろあるが、少子高齢化社会で男女の別なく健康で豊かに暮らすためにやるべき方策は実は小泉内閣以降の失敗を反省すればおのずからみつかる「男女共同参画社会」とあえて言わなくても、国民一人一人が能力を発揮し収入を得、人生を楽しむことが可能となる。(男性・60歳代)
- 福祉あいらいビュー・アンケート等に税金を使わないでほしい。固定資産税を安くしてほしい。職員を今の半分にして欲しい。市長は給料が高いので半額でいいのではないか。始良市は税金が高すぎる。(男性・60歳代)
- 具体的な事例等を優しい言葉で表現できないか(男性・60歳代)
- 少子化対策を実施し子供を育てやすい環境を作る市政を実施する。(男性・70歳代)
- 始良市議会の数を男女半々にしてそれぞれの意見を聞くことが先ず第一段階化と思う。(男性・70歳代)

- 行政がこの問題に対してすぐ行動してほしい。保養力はすばらしい。県内で使用できる割引サービス（5000円で10000円分するなど）市営住宅の保証人を一人にしてほしい。（2人は難しい）
（男性・70歳代）
- 苦情のある場所へ担当者は最初（始業～終了まで）から参加する事。年寄り特に単身の物の税の在り方を一考する事。（男性・80歳代）
- 80歳を超える国会、県会議員には遠慮してもらいたい。国・県段階の女性議員を増やす制度設計を。（男性・80歳代）

■ 男女共同参画に対する意識について（17件）

【主な意見】

- パワハラ、セクハラをどうにかしてほしい。パワハラ、セクハラで仕事を辞めたいと思っている。男が上だと思っている。女が下だと思っている。男が女の体を触ってくる。（女性・20歳代）
- 潜在意識レベルの固定観念や、暗黙の了解で押し寄せる世間の固定概念を変える事は難しいが、悩みを自認する自覚意識や、相談できる環境、それらをサポートできるコミュニティ、区や市の政策というのが大切だと思います。多様性が求められ、認められやすい時代になってきたと思いますが、まだまだ性差別などの見えない壁がある現実を共有して欲しいです。私自身が大人になってから性差別などを題材にした映画などを観る事で知識や価値観を得たので、教育機関でも作品などを通して、どういう感情や関心を抱いて自分ならどうしたいかなど社会問題に触れるきっかけづくりを大人になる前からして欲しい。そして、社会に出てからも問題に触れる機会がなければ、意識改革など無意味に等しいと思うのでこういうアンケート調査などで問題意識させる事は良い事だと思いました。頑張って活動してる人が報われる社会であって欲しいと願います。
（女性・20歳代）
- 60代、70代の“男尊女卑”の考え方の人間が変わらない限り、女性は苦しむと思う。時代に合わせて価値観をアップデートできないと、老害になってしまうので老人こそ、再教育が必要では？自分の価値観を子や孫に押しつける事がなくなればもっと楽しく過ごせると思う。
（女性・40歳代）
- パンフレットとかは、全くだめだと思う。税金のムダになる。お料理教室とかはOK（男性の）。料理とか楽しいと思わせる。公民館の事とかも、おばさんたちが率先してお茶とか出すからダメ。たまには、“今日はおんじょがお茶を入れもんそデー”とか作って、おやじに茶を入れてもらう。結局、本人の為にもなる。おばさんは、すわっちょっきゃん！！となれば良い。若い共働きの家庭は、ある程度は今時だと思う。やっぱり問題は60・70~のがんこじじいなよ。そして、おばちゃんも、それがあたり前田のクラッカーと思ってるから。そこを変えなきゃ。（女性・40歳代）
- 行政（国・県・市町村）と一般社会との格差を感じます。若年層はかなり意識が強いですよ！
（女性・50歳代）
- 外国人の方達は男女平等に感じる。参考にするのも良いと思う。（女性・60歳代）
- 私は職場での業務の在り方も子育てや育児に必要な事（地域活動や家庭行事等）も子供や親兄弟と共に実行して来たので自分が仕事をする上で周りに求めることはしてきませんでした。子供も自分が願ってきたように育ち、大人になってきているので満足しています。しかし最近の地域（若者）や職場環境には？？？と思っています。いろいろ書いてすみません。（女性・60歳代）
- 鹿児島は特に男女不平等を感じる。年配者の意識を変えないと無理です。（女性・60歳代）
- 他県から鹿児島県に来て住んでいます。未だに男尊女卑の考えが根付いている件だと感じる。職場だけでなく、自治会やサロンなどを利用して意識を変えていく事もしていったほうが良い。
（女性・60歳代）
- そこまでの男女のこだわり必要？（女性・70歳代）
- 75才の私は子供時代”女のくせに”とかの性差別に反発を感じたものですが、やはり”女”という事の甘えや性差別的考えに染まっている部分もあります。今の若い世代の方々は又、私達とは違ってきていると思います。皆が生き易くなるような世の中になって欲しいと思っています。
（女性・70歳代）

- 若い世代ほど、男女による差別意識は低いのではないかと思います。施策は、これらのアンケートをもとに計画されることと期待します。(女性・80歳代)
- もうこれは洗脳に近いものがあると思うので、幼いころからの教育というか、実際に親が共同で行っているという感覚を備えた子供達を育成していく以外ないのでは？と思うくらい根深い問題かと思う。早期に実現できれば本当に良い事だと思うが、女性には年齢に応じて整えてからの話ではないだろうか。少なくとも始良市には女子が大学に通う事すら白い目で見る人が存在するのが現実である。(男性・50歳代)
- 官民あらゆる機会の中で理解を得る職場を！(男性・60歳代)
- 行政や関連団体、組織などに女性の構成比(人数)を増やし、積極的に上へ登用していく、公の場などで活躍する女性が増えること、それを目にすることが地域の人々の古い固定化された意識を少しでも変えることになるのでは。(男性・60歳代)
- どちらかというとも男性優位の本県の長き古き伝統を短期間で改善するのは難しいと思うが、このような仕組みを通して少しずつ改善されていく事を期待しています。(男性・70歳代)

■ 男女共同参画に関する教育について(11件)

【主な意見】

- 年代によって違うとは思いますが、家事は女がするものとして育てられてきたので、急に意識を変える事はできませんが、今の子供達が男女共同参画について学ぶ事により、子供から親が学ぶきっかけになったり、一緒に学ぶ事ができたりすると思います。(女性・40歳代)
- 自分を含め、男性は～女性は～と固定観念がなかなかとれません、鹿児島は特にその傾向が強いと思います。小さい時からの教育が大事だと思います。(女性・50歳代)
- やはり小さい頃から家庭や学校で学習して言葉を知っていた方が良い。(女性・60歳代)
- やはり子供の頃からの教育が大切だと思います。世代間において教育の差からくる意識、考え方が違っています。これからの若い人達が平等な世の中で生き易くなるよう年寄りも頭を柔らかくして協力していきたいと思います。(女性・60歳代)
- 男女共同参画社会の事を幼少の時から学ばせて欲しい。男女共同参画社会が当り前の社会のあり方だと思える世の中になるのではないだろうか。(女性・70歳代)
- 八十路を超えた人間に今さらアンケート？けれども催促状が来たので出す事にしました。振り返ってみるとずっと女のくせに、ブスのくせにと言われ続けて生きてきたように思います。そして、今は昭和時代の頭で令和を生きてストレスを感じています。老人も新しい教育の場があれば良いと思います。健康とか歴史も大事ですが時事問題や流行についてなど。子供は親の後姿を見て育つと同時に祖父母の影響も大きいです。(女性・80歳代)
- 古い世代に染み付いた固定観念を変えるのは難しい部分があるので、これからを担う子供たちや若い世代への啓発や教育を重視したほうが良いのではないかと思います。世界的にはスタンダードとなっていることであっても、日本や中央から離れた地方は遅れている部分がたくさんあると知ることがまず必要だと思う。(男性・30歳代)
- 要は思いやりある人間関係を築くことが大事。そのためには教育が大事であるとともに、今一度選択を許される生涯学習でなく、生涯教育の視点から必要なことを小学校(或いは幼保から)から一般の大人まで学ぶ機会を大事にすること。思いやりこれがキーワード。(男性・60歳代)
- 小学校時代の道徳教育を見直して、現代版の道徳教育を行い、人としてやってはならない事、やるべき事について教えるべきだと思います。(男性・60歳代)

■ 男女共同参画に向けた啓発活動について(9件)

【主な意見】

- 困った時の支援や相談窓口があることを常に知っていれば安心できそうです。(女性・30歳代)

- 男女関わらず無意識に行なっている差別やハラスメントがまだ多くあると思いますのでそういった啓発が必要だと思います。女性1人1人が声を上げていくことが大事だと思います。女性はいつも機嫌良く笑顔でいるべきという慣習に負けずその都度声を上げることが大切だと思います。面倒臭い人になることを諦めない様にしたいです。(女性・30歳代)
- 今回、市民意識調査で初めて知りました。(言葉は見たりしていた)。男女共同参画社会に関する情報提供がわかりやすくあるといいなと思います。ワークライフバランスできたらいいと思いますが、仕事をしていると仕事と家事に追われ一日があつという間にすぎます。子供の頃から男女平等、家事、育児等学ぶ機会があつたらいいなと思います。子育て中の女性は仕事を持っていても熱や体調不良の時は子供を病院に連れて行ったり、勤務時間も限られてくるので働きやすい環境作りができたらいいいと思います。(女性・50歳代)
- 広報誌などPRする 情報機関など通じ意識させる(女性・70歳代)
- 男女共同参画社会の実現に向けて、理解を深めるため市の段取りのもと、各自治会等で講話を開く機会を設けたらと思う。(女性・70歳代)
- 家庭や職場で女性が様々な企画に参加し易い体制ができれば気兼ねなく行けて勉強の機会が増えると思う。(女性・70歳代)
- 仕事をしている時に男女共同参画社会等の講演に職場から参加した事あり。少しなりとその度理解を深めて行けた事は幸いだ。多くの方々が色々な講演会に参加されます事を望みます。(女性・80歳代)
- 男女が平等であることの定義をもっと広い世代の人と交流しながら学ぶ機会があるべきだと思う。(男性・60歳代)
- 今言われている男女共同参画と言われてもどうでしょうか？始良市民の半分理解しているのでしょうか？幅広く市民に伝われば良いですね。(性別無回答・50歳代)

■ 家庭生活について(9件)

【主な意見】

- お金を稼いでいなくても、育児や介護も社会に貢献する立派な労働だと思います。こういう人々が疲れたときなども利用出来るサービスがあると良いと思います。また実家が遠方の為、産後体調が悪くても休めず辛かった。働く所が決まらなると、保育園には入れず、その逆も難しく、失業保険が出ていたが、働く事はできなかつた。実家の近くに住むか、同じだけのサービスを受けられたら良かったです。(女性・40歳代)
- 女性は家事育児の負担が多すぎる。男性は自由に飲みや外出出来るが、女性は外出する為には、夫の了承を得ないと出掛けられない。当日も食事の準備や家事育児の準備を全て終わらせて、夫の機嫌を伺い出掛ける。家が気になり短時間で帰宅する。こんな感じである為、女性は(職場、学校の謝恩会ですら)外出するのがストレスになり、会があつても断るようになる。もう少し男性(夫)の協力、心の広さが欲しいと思います。(女性・40歳代)
- 女性が働きやすい環境を作ってほしいと思います。子育て・介護も女性だけがするのではなく、男性も助けられることはするようにしてほしいです。(女性・50歳代)
- 育児、介護両方とも男性女性に関わらずどちらでもいい社会になるといいですね。(女性・50歳代)
- 子育てをしながらの仕事をする女性は時間にゆとりがない。旦那の協力があたりまえになると良い。(女性・60歳代)
- 共働きで生活するのであれば子供を預けるところとか、生活・片付け、そうじ、料理をサポートする(始良市役所の窓口)機関があれば、スムーズに生活をストレスなくできると思う。女性自体外への吐き出しどころがない(女性・60歳代)
- 低収入で選択肢を増やせないのに労働時間短縮で収入減、育児・介護休業で収入減で生活して行けるのか？こんなアンケートでやってる風のアピールとか不要。実質的な可処分所得を増やさないと制度利用も困難な現実に気付いて下さい。(男性・40歳代)

■ 就業について（6件）

【主な意見】

- 男性の働き方が変わらない限り、女性はそれに合わせるしかない！（女性・30歳代）
- 私は、子育てをしながら、仕事をしたいです。今、失業中でパートを探しています。だけど、パートも子育てをしている親の都合の良い条件のところが少ないです。子どもは少年団や部活があり、親はいろいろお世話をしなくてはいけないから、土日を休みたいです。平日は学校の行事や係で休みたい日もあります。企業側はもう少し、子育て親の気持ちをくんでほしいです。世の中の的に賃金を多くしてほしいです。私は働くことはいやではないけど、蓄えが少ないから、先のことを不安に思いながら、生活することに疲れます。（女性・40歳代）
- やはり仕事と家庭が両立できる就労環境づくりそれと配偶者の協力と理解だと思えます。（女性・60歳代）
- 特に高齢者に男尊女卑の考えが根強く、時代の流れについていけない。企業においても、女性の場合は出産により、会社を休まなければいけないが、男性は休むことはない。男性も強制的に休ませることで、女性が後ろめたさを感じずにすむ。（男性・40歳代）

■ 子育てについて（4件）

【主な意見】

- 子育てを夫婦周りで行えるような地域作りが大事だと思います。（女性・60歳代）
- 自治会活動に参加している若いお父さん、赤ちゃんをおなかに抱っこしてしている若いお母さん等よく見かけるようになった。共働きも多い現在の家族は協力し合い出来る人が出来ることをする。社会は安心して子供を預けられる環境を作って欲しい。（女性・60歳代）
- 専業主婦+理解ある夫による家庭を前提としたPTA活動が強制的に行われていることに問題意識を持ち他地域の取り組みを参考に子供の為になっていない活動の見直しに市として積極的に取り組んでほしいです。仕事を無理して休んで子供を預けて子供ともっと触れ合う時間を設けましょうという研修会への参加をPTA研修部の活動として強制された時強くそう思いました。（女性・50歳代）
- 子供を気軽に預けられる施設（日祝含めて）がない限り、お母さん（女性）は共同参画する時間が作れないと思う。現状の法律では無理だと思う。（男性・30歳代）

■ その他（11件）

【主な意見】

- 始良市のゴミ捨てが不便で、家事、育児、働く人、忙しい人には、とても負担が大き過ぎる。（女性・30歳代）
- 職業訓練のサービス（低価格）（女性・40歳代）
- 多くの方が深い苦しみがあると思います。どうかわからないように吐口を作ってほしいです。（女性・40歳代）
- 私は男女共同参画社会はそんなに望んでいません。困格差社会を無くして欲しいです！（女性・50歳代）
- 個人の意見によって市民は、何を希望しているか、具体的にアピールできる場所があれば良いと思う（女性・60歳代）
- 時間がとればいろいろ参加したいが、体力的にも無理になってきました。（女性・70歳代）
- 施設や介護サービスを充実させて欲しいです。（女性・70歳代）
- 今回のアンケートも高齢者への質問がなかった。交通網の少ない場所に施設があり出かけられない。閉じこもりになる。（女性・80歳代）
- なぜ女性の面で（立場）で質問するのかが分からない。それこそ平等ではないのでは？（男性・60歳代）

- 現実社会は自分が育った頃とは大きく変化しているが、意識や環境はそれほど変わっていない
(男性・60歳代)
- 必要な場(職場、自治会等)に必要な知識があれば男女の差は不要。男女50%ではなく女性80%でも可。(男性・80歳代)

■ 男女共同参画以外の意見(3件)

【主な意見】

- 防災について、私の地域は農村地帯です。先日も台風の時、長時間の停電がありました。倒れた木が電線に接触して電気が止まったそうです。良く見て回りますと確かに電線にツタがからまったり、枝が引っかかったりしていますので、これを普段から取り除いてほしいと思います。また、田畑山をお持ちの方は進んで手入れをして草刈りなど行ってもらいたいです。車道に面しているところは特に通行の邪魔になります。公的な場所で持ち主はわかるはずですが、厳しく取り締まって欲しいです。又、地域振興課の方々はいろいろな事的情報を把握してほしいです。
(女性・70歳代)
- バス時刻についてですが、使う人の生活時間に合ったものにしていただきたいです。高齢者、免許証返納した人(バスを信用できずにいる人)は困っています。病院、買い物、ATMなどにタクシーを使わざるを得ないのです。住民に知らせて時刻表を決められないのでしょうか。(会社、市役所の皆様へ)(女性・80歳代)
- これからも始良で幸せに暮らしていきたいです。(男性・20歳代)

**男女共同参画社会についての市民意識調査
報告書**

令和5年3月

始良市 市民生活部 男女共同参画課 男女共同参画係
〒899-5492 始良市 宮島町 25 番地
TEL : 0995-66-3163 (直通) FAX : 0995-66-4501